オンラインユーザーズガイド

MFC-J7100CDW
MFC-J7300CDW
MFC-J7500CDW
MFC-J7600CDW

© 2021 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

目次

本ガイドの使い方 1
注意事項の定義 2
商標 3
オープンソースライセンスについて 4
著作権とライセンスについて 5
重要事項 6
本製品のご案内 7
本製品をご使用になる前に 8
操作パネルの概要 9
タッチパネル画面の概要 12
設定画面の概要 15
待ち受け画面を設定する 17
機能の初期画面を設定する 18
本製品にテキストを入力する 19
Brother Utilities へのアクセス（Windows） 20
ブラザーのソフトウェアとドライバーをアンインストールする（Windows） 21
Brother iPrint&Scan へのアクセス（Windows/Mac） 22
本製品の USB ケーブル / ネットワークケーブルの差し込み口の場所 23
紙の取り扱い 24
用紙のセット 25
用紙トレイ#1／用紙トレイ#2／用紙トレイ#3 に用紙をセットする 26
多目的トレイに用紙をセットする 42
印刷できない範囲 50
用紙設定 51
使用可能な印刷用紙について 57
原稿のセット 65
ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする 66
原稿台ガラスに原稿をセットする 68
読み取りできない範囲 69
印刷 70
パソコンから印刷する（Windows） 71
写真を印刷する（Windows） 72
文書を印刷する（Windows） 73
印刷ジョブをキャンセルする（Windows） 74
1 枚の用紙に複数ページを印刷する（N in 1）（Windows） 75
ポスターとして印刷する（Windows） 76
自動で用紙の両面に印刷する（自動両面印刷）（Windows） 77
自動で小冊子として印刷する（Windows） 80
セキュリティ印刷（Windows） 82
カラー文書をモノクロで印刷する（Windows） 83
長尺用紙に印刷する（Windows） 84
にじみや紙詰まりを防ぐ（Windows） 85
おまかせ印刷設定を使用する（Windows） 86
初期値の印刷設定を変更する（Windows） 89
印刷設定（Windows） 90

パソコンから印刷する（Mac） 94
Brother iPrint&Scan を使用して印刷する（Windows/Mac） 95
Brother iPrint&Scan を使用して写真または文書を印刷する（Windows/Mac） 96
Brother iPrint&Scan を使用して自動で用紙の両面に印刷する（自動両面印刷）（Windows/Mac） 98
Brother iPrint&Scan を使用して 1 枚の用紙に複数ページを印刷する（N in 1）（Windows/Mac） 100
Brother iPrint&Scan を使用してカラー文書をモノクロで印刷する（Windows/Mac） 101
USB フラッシュメモリーから直接印刷する 102
互換性のある USB フラッシュメモリー 103
USB フラッシュメモリーから写真を直接プリントする 104
USB フラッシュメモリー内の PDF ファイルを直接プリントする 114
E メールの添付ファイルを印刷する 116
スキャン 117
本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする 118
複数ページのレターサイズまたは A4 サイズの原稿をスキャンする 119
写真やグラフィックをスキャンする 120
スキャンしたデータを PDF ファイルとしてパソコンに保存する 122
スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーに保存する 124
複数の名刺および写真をスキャンする（おまかせ一括スキャン） 127
原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする（OCR） 128
スキャンしたデータをメールの添付ファイルとして保存する 130
スキャンしたデータを E メール受信者に送信する 132
スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する 134
スキャンしたデータを SSH FTP (SFTP) サーバーに保存する 138
スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する（Windows） 145
スキャンしたデータを SharePoint サーバーに保存する 149
Web サービスを使ってスキャンする（Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10） 153
Brother iPrint&Scan を使用してスキャン設定を変更する 157
Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする（Windows/Mac） 158
お使いのパソコンからスキャンする (Windows) 159
Nuance™ PaperPort™ 14SE またはその他の Windows アプリケーションを使用してスキャンする 160
Windows FAX とスキャンを使ってスキャンする 165
お使いのパソコンからスキャンする (Mac) 169
Web Based Management を使用してスキャン設定を行う 170
Web Based Management を使用してスキャンファイル名称を設定する 171
Web Based Management を使用してスキャンジョブの E メールレポートを設定する 172
コピー 173
コピーする 174
コピー画像を拡大または縮小する 176
ソートコピー 177
レイアウトコピーをする（N in 1 コピーまたはポスターコピー） 178
両面コピーする 181
ID カードをコピーする 184
A3 コピーのショートカットを使う 186
コピー設定 188
ファクス 190
ファクスを送信する 191

お使いのブラザー製品からファクスを送る 192
ADF(自動原稿送り装置)を使って両面ファクスを送信する 194
手動でファクスを送信する 195
複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信） 196
リアルタイム送信する 199
時間を指定してファクスを送信する（タイマー送信） 200
IP ファクスを送信する（データコネクト設定） 201
ファクス自動再ダイヤル設定を変更する 202
ファクス送信をキャンセルする 203
送信待ちファクスを確認、キャンセルする 204
ファクスオプション 205
ファクスを受信する 206
受信モードの設定 207
親切受信を設定する 212
みるだけ受信 213
サイズを超えた受信ファクスのサイズを縮小する 217
ファクス受信スタンプの設定 218
メモリー受信オプション 219
リモコン機能 226
リモートコードを使う 232
電話帳 234
ファクス/電話番号を登録する 235
同報送信のグループダイヤルを設定する 240
電話サービスと色々な接続方法 244
ナンバーディスプレイを利用する 245
電話/ファクス回線の色々な接続 246
送受信テストとファクスレポート 252
ファクス送受信テストをする 253
送信結果レポートの形式を設定する 254
通信管理レポートの間隔を設定する 255
PC-FAX 256
Windows 用 PC-FAX 257
Mac 用 PC-FAX 276
ネットワーク 277
対応している基本ネットワーク機能について 278
ネットワークを設定する 279
操作パネルを使用してネットワークを設定する 280
無線ネットワーク設定 281
無線ネットワークを使用する 282
Wi-Fi Direct®を使用する 295
無線 LAN を有効/無効にする 299
無線 LAN レポートを印刷する 300
ネットワーク機能 304
ネットワーク設定リストを印刷する 305
インターネットを使用したファクス（I-Fax） 306
Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時刻を同期する 327
ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする 330

セキュリティ 331
ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に 332
デバイスセキュリティの証明書を設定する 333
サポートされているセキュリティ証明書機能 334
証明書の作成とインストールの手順 335
自己署名証明書を作成する 336
CSR を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする 337
証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて 341
CA 証明書のインポートとエクスポートについて 344
複数の証明書を管理する 347
SSL/TLS を使用する 348
SSL/TLS について 349
SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理 352
SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する 357
SNMPv3 を使用する 359
SNMPv3 を使用した安全なネットワーク製品の管理 360
IPsec を使用する 362
IPsec について 363
Web Based Management を使用して IPsec を設定する 364
Web Based Management を使用して IPsec アドレステンプレートを設定する 366
Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する 368
IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する 376
IEEE 802.1x 認証について 377
Web Based Management を使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する 378
IEEE 802.1x 認証方式 380
Active Directory 認証を使用する 381
Active Directory 認証について 382
Web Based Management を使用して Active Directory 認証を設定する 383
本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する（Active Directory 認証） 385
LDAP 認証を使用する 386
LDAP 認証について 387
Web Based Management を使用して LDAP 認証を設定する 388
本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する（LDAP 認証） 389
セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する 390
セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する前に 391
Web Based Management を使用してセキュリティ機能ロック 3.0 を設定する 392
セキュリティ機能ロック 3.0 を使用してスキャンする 393
セキュリティ機能ロック 3.0 のパブリックモードを設定する 394
セキュリティ機能ロック 3.0 その他の機能について 395
本製品の操作パネルを使用して新しい IC カードを登録する 396
外付け IC カードリーダーを登録する 397
E メールを安全に送受信する 398
Web Based Management を使用して E メール送信または受信の設定を行う 399
ユーザー認証を使用して E メールを送信する 400
SSL/TLS を使用して安全な E-mai 送受信を行う 401
管理者 402
ネットワーク機能 403

セキュリティ機能 404
ネットワークセキュリティ 405
ユーザー認証 407
ブラザー管理ツール 408
モバイル/クラウド接続 409
クラウド接続機能 410
クラウド接続機能の概要 411
クラウド接続機能を使用してアクセスできるオンラインサービス 414
クラウド接続機能の設定 416
写真や原稿をスキャンしてアップロードする 422
外部メモリーに保存されている写真や文書をアップロードする 423
写真や文書をダウンロードして印刷する 424
クラウド接続機能を使用して文書をダウンロードし、外部メモリーに保存する 427
ファクスクラウド／E メール転送 428
AirPrint 431
AirPrint の概要 432
AirPrint を使用する前に（macOS） 433
AirPrint を使用して印刷する 434
AirPrint を使用してスキャンを行う（macOS） 437
AirPrint を使用してファクス送信を行う（macOS） 438
Mopria®プリントサービス 439
Brother Mobile Connect 440
近距離無線通信（NFC）による印刷 441
トラブルシューティング 442
エラーメッセージとメンテナンスメッセージ 443
ファクスや通信管理レポートの転送 450
クラウド接続機能のエラーメッセージ 454
原稿が詰まったときは 456
ADF(自動原稿送り装置)の上部の原稿詰まり 457
ADF(自動原稿送り装置)の下部の原稿詰まり 458
ADF(自動原稿送り装置)の内部の原稿詰まり 459
ADF(自動原稿送り装置)に詰まった紙片を取り除く 460
用紙が詰まったときは 461
製品の前面の用紙詰まり 462
製品の背面の用紙詰まり 467
紙片を取り除く 472
本製品に問題がある場合は 473
用紙の取り扱いと印刷の問題 474
電話とファクスの問題 481
その他の問題 488
ネットワークの問題 490
AirPrint の問題 498
本製品の情報を確認する 499
本製品を初期状態に戻す 500
リセット機能の概要 501
本製品を廃却するときは 502
日常のお手入れ 503

インクカートリッジを交換する 504
お使いのブラザー製品を清掃する 507
本製品からプリントヘッドのクリーニングをする 508
Web Based Management を使用してプリントヘッドをクリーニングする 509
パソコンからプリントヘッドのクリーニングをする（Windows） 510
プリントヘッドのノズル状態を自動で検知して改善する 511
スキャナーを清掃する 512
ADF（自動原稿送り装置）の原稿センサーを清掃する 514
本製品のタッチパネルを清掃する 515
本製品の外側を清掃する 516
本製品のプラテンを清掃する 518
排紙ローラーを清掃する 519
ベースパッドを清掃する 521
用紙トレイ#1 の給紙ローラーを清掃する 523
用紙トレイ#2 と用紙トレイ#3 の給紙ローラーを清掃する 525
お使いのブラザー製品を確認する 526
印刷品質をチェックする 527
罫線ずれ、文字ぶれを改善する 529
インク残量を確認する 530
本製品の状態をパソコンで確認する（Windows） 532
Brother iPrint＆Scan を使用して本製品の状態を確認する（Windows/Mac） 537
用紙送りを調整して縦線をなくす 539
印刷設定オプションを変更して印刷結果を改善する 540
本製品を梱包して輸送する 541
製品の設定 544
操作パネルから製品の設定を変更する 545
停電になったときは（メモリー保存） 546
基本設定 547
お好みの設定をショートカットとして登録する 561
レポートを印刷する 568
設定と機能一覧 571
Web Based Management を使用して製品の設定を変更する 593
Web Based Management とは 594
Web Based Management にアクセスする 595
Web Based Management へのログインパスワードを設定または変更する 598
Web Based Management を使用して本製品のアドレス帳を設定する 599
付録 600
仕様 601
アフターサービスのご案内 610

本ガイドの使い方

- 注意事項の定義
- 商標
- オープンソースライセンスについて
- 著作権とライセンスについて
- 重要事項

注意事項の定義

本ガイドでは、以下の記号が使用されます。

⚠警告	警告は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注意	注意は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
重要	重要は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
お願い	お願いは、ご使用していただく上での注意事項、制限事項などの内容を示しています。
	有益なヒントや補足情報を示しています。
	「感電の危険があること」を示しています。
太字	本製品の操作パネルやパソコン画面に表示されるボタンを示しています。
[XXXXX]	括弧で囲まれたテキストは、本製品の画面に表示されるメッセージを示しています。

関連情報

- 本ガイドの使い方

商標

Apple、App Store、AirPrint、Mac、macOS、iPadOS、iPad、iPhone、iPod touch および Safari は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

Nuance および PaperPort は、米国および／またはその他の国における Nuance Communications, Inc. およびその子会社の商標または登録商標です。

Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®および Wi-Fi Direct®は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

WPA™、WPA2™、WPA3™、および Wi-Fi Protected Setup™は、Wi-Fi Alliance®の商標です。

Android、Google Chrome、Google Drive および Google Play は、Google LLC の商標です。

EVERNOTE は、Evernote Corporation の登録商標であり、使用許諾を得て使用しています。

Bluetooth® ワードマークは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。ブラザー工業株式会社は使用許諾の下でこれらのマークを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

Mopria®および Mopria®のロゴは、米国およびその他の国における Mopria Alliance, Inc.の登録商標および/または未登録商標およびサービスマークです。不正使用は固く禁じられています。

Adobe®は、米国および／またはその他の国における Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

本ガイドに記載されているソフトウェアの各社は、各プログラムに固有のソフトウェアライセンス契約を有しています。

ソフトウェアの商標

FlashFX® is a registered trademark of Datalight, Inc.

FlashFX® Pro™ is a trademark of Datalight, Inc.

FlashFX® Tera™ is a trademark of Datalight, Inc.

Reliance™ is a trademark of Datalight, Inc.

Reliance Nitro™ is a trademark of Datalight, Inc.

Datalight® is a registered trademark of Datalight, Inc.

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

関連情報

- 本ガイドの使い方

オープンソースライセンスについて

オープンソースライセンスに関する記述は、弊社サポートサイト（support.brother.co.jp）の製品マニュアルをご覧ください。

関連情報

- 本ガイドの使い方

著作権とライセンスについて

©2021 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.
This product includes software developed by the following vendors:
This product includes the “KASAGO TCP/IP” software developed by ZUKEN ELMIC, Inc.
Copyright 1989-2020 Datalight, Inc., All Rights Reserved.
FlashFX® Copyright 1998-2020 Datalight, Inc.

関連情報

- 本ガイドの使い方

重要事項

- ブラザードライバーとソフトウェアの更新情報については、support.brother.co.jp を確認してください。
- 本製品の性能を最新の状態に保つため、最新のファームウェアの更新がないか、support.brother.co.jp をご確認ください。ファームウェアが最新でないと、製品の機能の一部がご利用になれない場合があります。
- 購入された国以外で本製品を使用しないでください。海外各国における無線通信および電力規制に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品で適切に使用できない恐れがあります。
- 本製品を交換または廃棄するときは、お買い上げ時の設定にリセットして個人情報をすべて削除することを強くお勧めします。
- 本文中の Windows 10 は、Windows 10 Home、Windows 10 Pro、Windows 10 Education、および Windows 10 Enterprise を指します。
- 本文中の Windows 11 は、Windows 11 Home、Windows 11 Pro、Windows 11 Education、および Windows 11 Enterprise を指します。
- 本文中の Windows Server 2008 は、Windows Server 2008 および Windows Server 2008 R2 を指します。
- 本ガイドでは、主に MFC-J7500CDW の画面メッセージが使用されています。
- 本ガイドでは、主に MFC-J7500CDW のイラストが使用されています。
- 本ガイド内の画面またはイラストはイメージであるため、実際の形状とは異なる場合があります。
- 特に指定のない限り、本書は Windows10 の画面を使用しています。実際のパソコンの画面はお使いの OS によって異なる可能性があります。
- 本ガイドならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
- 本ガイドにある XXX-XXXX は製品のモデル名を表します。

関連情報

- 本ガイドの使い方

関連トピック：

- 本製品を初期状態に戻す

本製品のご案内

- 本製品をご使用になる前に
- 操作パネルの概要
- タッチパネル画面の概要
- 本製品にテキストを入力する
- Brother Utilities へのアクセス（Windows）
- Brother iPrint&Scan へのアクセス（Windows/Mac）
- 本製品の USB ケーブル / ネットワークケーブルの差し込み口の場所

本製品をご使用になる前に

印刷操作を行う前に以下の内容を確認してください。

- 本製品に対応しているソフトウェアおよびドライバーがインストールされていることを確認します。
- USB ユーザーまたはネットワークケーブルユーザーの場合：インターフェイスケーブルが安全に接続されていることを確認します。

正しい用紙の選択

高印字品質を確保するには、正しい用紙を選択することが重要です。用紙を購入する前に、使用可能な用紙に関する情報をお読みになり、プリンタードライバーまたは印刷に使用するアプリケーションの設定に応じて印刷範囲を決定してください。

印刷、スキャン、およびファクス送信を同時に行う

メモリーにファクスを送受信している間やパソコンに原稿をスキャンしている間も、パソコンから印刷することができます。パソコンからの印刷中にファクス送信が中断されることはありません。しかし、コピーや受信したファクスを紙に印刷している場合は、印刷操作は中止され、コピーやファクス受信が完了すると再開されます。

ファイアウォール（Windows）

お使いのパソコンがファイアウォールによって保護されており、ネットワーク印刷やネットワークスキャン、PC-FAX が使えない場合はファイアウォールの設定を変更する必要があります。Windows ファイアウォールを使用し、インストーラーからドライバーをインストールした場合、必要なファイアウォールはすでに設定されています。別のファイアウォールを使用している場合は、お使いのファイアウォールのユーザーズガイドを参照するかメーカーに問い合わせてください。

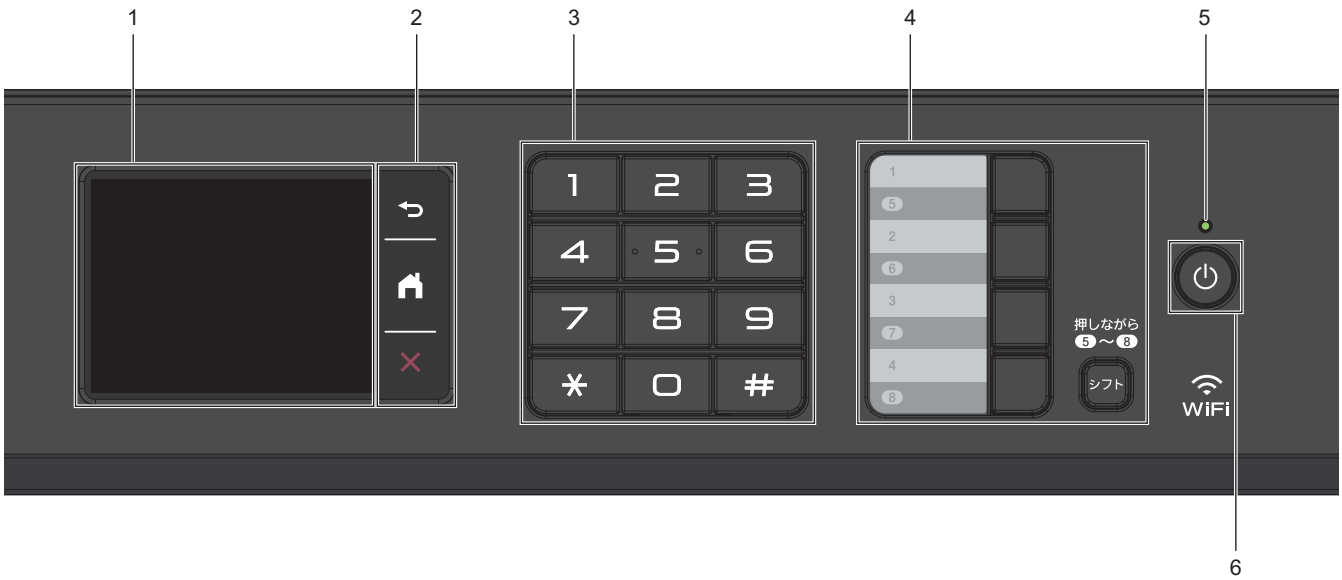
関連情報

- 本製品のご案内

操作パネルの概要

>> MFC-J7100CDW
>> MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

MFC-J7100CDW



1. **タッチパネル液晶ディスプレー（LCD）**
   画面に直接タッチして各設定を行います。
2. **メニューボタン**

   （戻る）

   前のメニューに戻るときに押します。

   （ホーム）

   ホーム画面に戻るときに押します。

   （キャンセル）

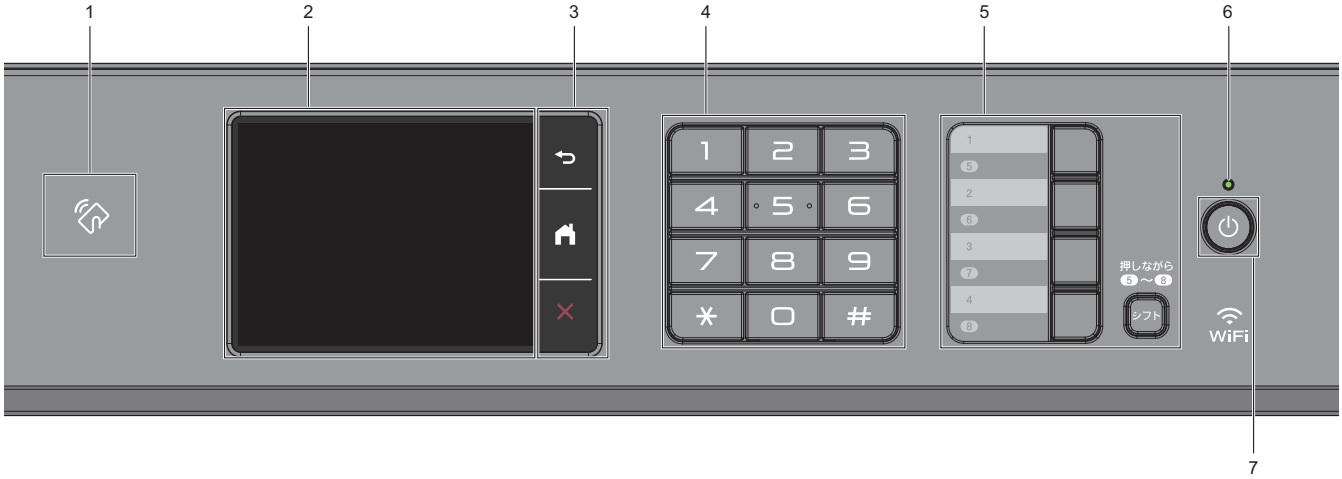
   処理中の動作を中止するときに押します。
3. **ダイヤルパッド**
   電話やファクス番号の入力や、印刷するコピーの部数を入力するときに押します。
4. **ワンタッチボタン**
   よく使う機能の設定条件をボタンに登録し、ワンタッチで呼び出せるようにします。ワンタッチボタンの 5～8 を使用する場合は、シフトボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。
   詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。
5. **LED 電源ランプ**
   製品の状態に応じて LED が点灯します。
   スリープモードになっている場合は、LED が点滅します。
6. **電源ボタン**

   を押して本製品の電源を入れます。

を長押しして本製品の電源を切ります。画面上に［電源をオフにします］と表示され、数秒間経ってから製品の電源が切れます。外付け電話や留守番電話機を接続している場合、それらの機器の電源は切れず、そのままご使用いただけます。

を使って電源をオフにした場合、印刷品質を維持するために定期的にプリントヘッドのクリーニングが行われます。プリントヘッドを長持ちさせ、インク効率を良くし、印刷品質を維持するため、本製品は常時電源に接続しておいてください。

MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW



1. **NFC（近距離無線通信）タッチ部分**

   (MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)

   操作パネルの NFC タッチ部分に IC カードをタッチすることでカード認証を使用できます。

   (MFC-J7300CDW)

   ご使用の Android™端末が NFC 機能に対応している場合、端末を NFC タッチ部分にタッチすることで、端末から印刷できます。

2. **タッチパネル液晶ディスプレー（LCD）**

   画面に直接タッチして各設定を行います。

3. **メニューボタン**

   （戻る）

   前のメニューに戻るときに押します。

   （ホーム）

   ホーム画面に戻るときに押します。

   （キャンセル）

   処理中の動作を中止するときに押します。

4. **ダイヤルパッド**

   電話やファクス番号の入力や、印刷するコピーの部数を入力するときに押します。

5. **ワンタッチボタン**

   よく使う機能の設定条件をボタンに登録し、ワンタッチで呼び出せるようにします。ワンタッチボタンの 5～8 を使用する場合は、シフトボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

   詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。

6. **LED 電源ランプ**

   製品の状態に応じて LED が点灯します。

   スリープモードになっている場合は、LED が点滅します。

7. **電源ボタン**

を押して本製品の電源を入れます。

を長押しして本製品の電源を切ります。画面上に［電源をオフにします］と表示され、数秒間経ってから製品の電源が切れます。外付け電話や留守番電話機を接続している場合、それらの機器の電源は切れず、そのままご使用いただけます。

を使って電源をオフにした場合、印刷品質を維持するために定期的にプリントヘッドのクリーニングが行われます。プリントヘッドを長持ちさせ、インク効率を良くし、印刷品質を維持するため、本製品は常時電源に接続しておいてください。

関連情報

- 本製品のご案内

関連トピック：

- 近距離無線通信（NFC）による印刷
- ショートカットを登録する

タッチパネル画面の概要

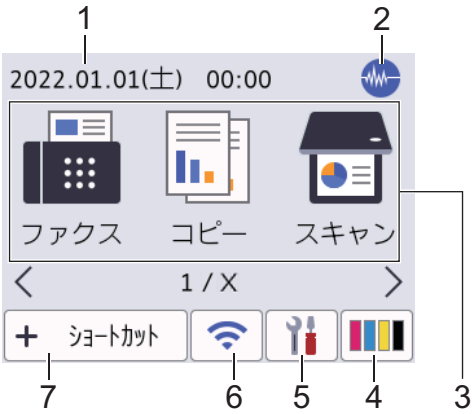
指で画面上の◀▶または▲▼を押して、製品オプションを表示させてアクセスします。

（MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）画面を左右上下にスワイプしてスクロールすることにより、製品オプションを表示させてアクセスすることもできます。

◀または▶を押すと、ホーム画面を切り替えることができます。

ホーム画面から、さまざまな設定にアクセスできます。

ホーム画面



製品が待機状態のとき、この画面に製品の状態が表示されます。この画面が表示されているとき、製品は次の操作の準備ができている状態です。

1. **日付と時刻**

   本製品に設定された日付と時刻が表示されます。

2. **静音モード**

   このアイコンは、［静音モード］が［オン］に設定されているときに表示されます。

   静音モードでは、印刷時の音を軽減することができます。静音モードがオンのときは、印刷速度が遅くなります。

3. **モード：**

   各モードに切り替えるときに押します。

   ［ファクス］/［コピー］/［スキャン］/［セキュリティ印刷］(MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)/［クラウド］/［お役立ちツール］/［メディア］/［便利な A3 コピー］/［ｿﾌﾄｳｪｱﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ］/［ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ］

4. **［インク］**

   使用可能なインクの残量を表示します。押すと［インク］メニューにアクセスすることができます。

   インクカートリッジの寿命が近づくか、または問題が起きると、インクの各色にエラーアイコンが表示されます。

5. **［メニュー］**

   押すと［メニュー］にアクセスすることができます。

6. **無線 LAN 状態**

   下記の表中の各アイコンは、無線ネットワークの状態を示しています。

	• お使いの製品は、無線 LAN アクセスポイント/ルーターに接続されていません。 このボタンを押して、無線設定を変更します。詳しい説明は「かんたん設置ガイド」をご覧ください。 • 無線設定が無効になっています。
	無線ネットワークに接続しています。 各ホーム画面に、3 段階表示で現在の無線信号の強さをあらわします。

	無線 LAN アクセスポイント/ルーターを検出できません。

無線 LAN 状態ボタンを押すと、無線設定をすることができます。

7. [ショートカット]

ファクス送信、コピー、スキャン、クラウド接続、お役立ちツールなど、よく使用する機能のショートカットを作成します。

- 3 つのショートカットタブを使うことができ、それぞれのタブに 6 つのショートカットを登録することができます。

- 画面下部に表示される を押すと、ホーム画面にアクセスできます。

8. **お知らせアイコン**

[ブラザーからのお知らせ]や[ファームウェア更新通知]を[オン]に設定すると、ブラザーからの新着情報が表示されます。

(インターネット接続が必要となり、通信料がかかります。)

を押すと詳細が表示されます。

9. **警告アイコン**

警告アイコンは、エラーまたはメンテナンスメッセージがあるときに表示されます。詳細を見るにはを押し、を押すとホーム画面に戻ります。

重要

ペンや針等のとがったもので画面を押さないでください。製品が損傷するおそれがあります。

お願い

電源コードを差し込んだ直後、または電源を入れた直後は、すぐには画面に触らないでください。エラーを起こすおそれがあります。

本製品は ARPHIC TECHNOLOGY CO., LTD.のフォントを採用しています。

関連情報

- 本製品のご案内
  - 設定画面の概要
  - 待ち受け画面を設定する
  - 機能の初期画面を設定する

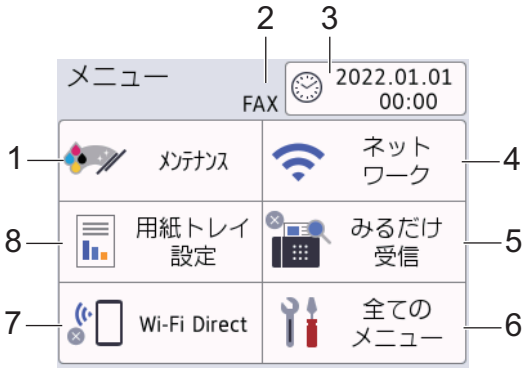
関連トピック：

- 印刷音を軽減する
- インク残量を確認する
- A3 コピーのショートカットを使う
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

設定画面の概要

[メニュー] を押すと、画面に本製品の状態が表示されます。

設定メニューでは、本製品のすべての設定ができます。



1. **[ﾒﾝﾃﾅﾝｽ]**
   押して以下のメニューにアクセスします。
   - [印刷品質のチェックと改善]
   - [ヘッドクリーニング]
   - [詰まった紙片の除去]
   - [給紙ロ－ラ－のクリ－ニング]
   - [インク残量]
   - [インクカートリッジ型番]
   - [印刷設定オプション]
   - [インクカートリッジ純正情報]
   - [自動ノズルチェック機能]
2. **受信モード**
   現在の受信モードを表示します。
3. **[時計セット]**
   日付と時刻を表示します。
   押すと [時計セット] メニューにアクセスすることができます。
4. **[ネットワーク]**
   ネットワーク接続を設定するときに押します。
   無線接続を使用している場合、3 段階表示 が画面に表示され、現在の無線信号の強さをあらわします。
5. **[みるだけ受信]**
   みるだけ受信の設定を表示します。
   押すと [みるだけ受信] メニューにアクセスすることができます。
6. **[全てのメニュー]**
   本製品のすべての設定のメニューにアクセスできます。
7. **[Wi-Fi Direct]**
   Wi-Fi Direct ネットワーク接続を設定するときに押します。
8. **[用紙トレイ設定]**
   押すと [用紙トレイ設定] メニューにアクセスすることができます。
   これらのオプションを使用して、用紙のサイズとタイプを変更します。

関連情報

- タッチパネル画面の概要

関連トピック：

- インク残量を確認する

待ち受け画面を設定する

待ち受け画面を特定のホーム画面またはショートカット画面に変更できます。

本製品が無操作で一定の時間が経過したり、を押すと製品は設定した画面に戻ります。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [画面設定] > [待機画面] を押します。
2. ▲または▼を押して画面オプションを表示させ、使用したい設定を選択します。
3. を押します。

   新しいホーム画面に切り替わります。

関連情報

- タッチパネル画面の概要

機能の初期画面を設定する

画面設定を使用して、スキャンの初期画面を設定できます。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [画面設定] > [スキャン画面] を押します。
2. ▲または▼を押してスキャンオプションを表示し、初期画面として設定するオプションを選択します。
3. を押します。

関連情報

- タッチパネル画面の概要

本製品にテキストを入力する

- 設定している機能によりキー配列が異なる場合があります。

本製品にテキストを入力する必要がある場合、画面にキーボードが表示されます。

- あアA1@を押して文字、数字、特殊記号を切り替えます。
- ⇧aAを押して小文字と大文字を選択します。
- カーソルを左右に動かすには、◀または▶を押します。

スペースを挿入する

- スペースを入力するには、[スペース]を押します。または、▶を押してカーソルを移動することもできます。

訂正する

- 誤った文字を修正する場合は、◀または▶を押して、誤った文字を反転表示します。⌫を押し、正しい文字を入力します。
- 文字を挿入するには、◀または▶を押し、カーソルを正しい場所まで移動してから文字を入力します。
- 1文字削除する場合は⌫を押します。すべての文字を削除する場合は⌫を長押しします。

関連情報

- 本製品のご案内

関連トピック：

- 複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信）
- 発信履歴から電話帳に番号を登録する
- ナンバーディスプレイの着信履歴から電話帳に番号を登録する
- 同報送信のグループダイヤルの名前を変更する
- 発信元を登録する
- ショートカットを変更、または削除する

Brother Utilities へのアクセス（Windows）

Brother Utilities は、お使いのパソコンにインストールされたブラザーアプリケーションに簡単にアクセスできるアプリケーションランチャーです。

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 10

     > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。
   - Windows 8.1

     スタート画面の左下にマウスを移動し、をクリックします（タッチ操作の端末の場合は、**スタート**画面を下から上にフリックし、**アプリ**画面を表示します）。

     アプリ が表示されたら、（**Brother Utilities**）をタップまたはクリックします。
   - Windows 7

     (スタート) > **すべてのプログラム** > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。
2. 本製品を選択します。

3. 利用する操作を選択します。

関連情報

- 本製品のご案内
  - ブラザーのソフトウェアとドライバーをアンインストールする（Windows）

ブラザーのソフトウェアとドライバーをアンインストールする（Windows）

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 10

     > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。
   - Windows 8.1

     スタート画面の左下にマウスを移動し、をクリックします（タッチ操作の端末の場合は、**スタート**画面を下から上にフリックし、**アプリ**画面を表示します）。

     アプリ が表示されたら、（**Brother Utilities**）をタップまたはクリックします。
   - Windows 7

     (スタート) > **すべてのプログラム** > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。
2. ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。左ナビゲーションバーの**ツール**をクリックして、**アンインストール**をクリックします。

   ダイアログボックスの指示に従い、ソフトウェアやドライバーをアンインストールします。

関連情報

- Brother Utilities へのアクセス（Windows）

Brother iPrint&Scan へのアクセス（Windows/Mac）

Windows および Mac 向けの Brother iPrint&Scan を使用して、お使いのパソコンから印刷およびスキャンします。

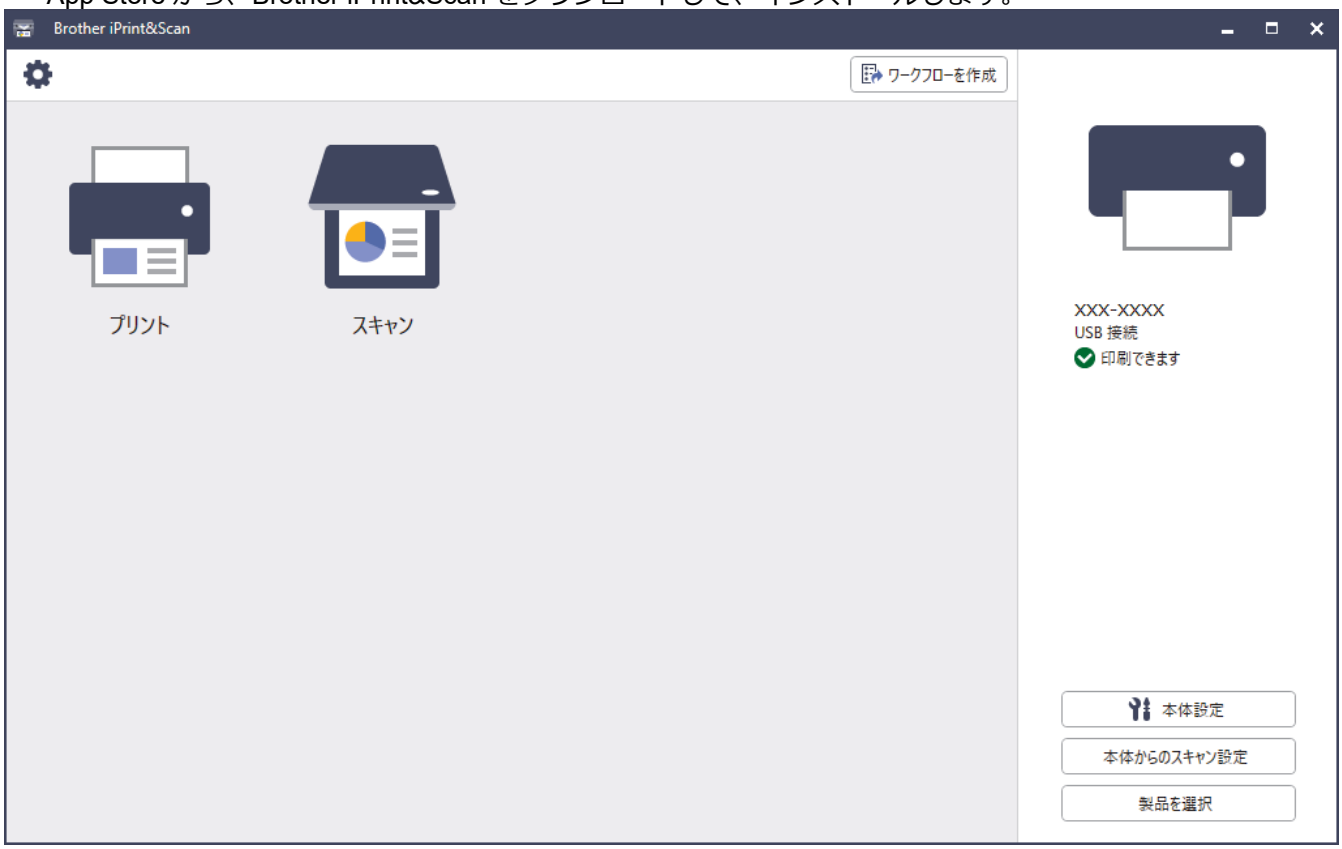
以下の画面は、Windows 向けの Brother iPrint&Scan の例を示しています。アプリケーションのバージョンによって、実際の画面と異なることがあります。

- Windows の場合

  support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページに移動し、最新のアプリケーションをダウンロードします。

- Mac の場合

  App Store から、Brother iPrint&Scan をダウンロードして、インストールします。



指示が表示された場合は、本製品を使用するために必要なドライバーとソフトウェアをインストールします。support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページからインストーラーをダウンロードします。

関連情報

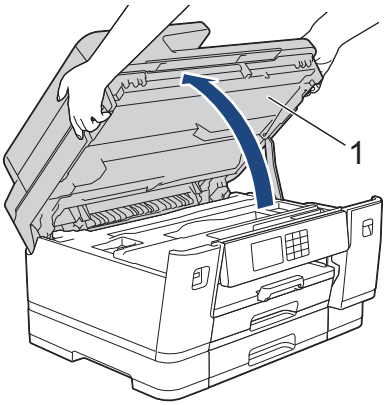
- 本製品のご案内

本製品の USB ケーブル / ネットワークケーブルの差し込み口の場所

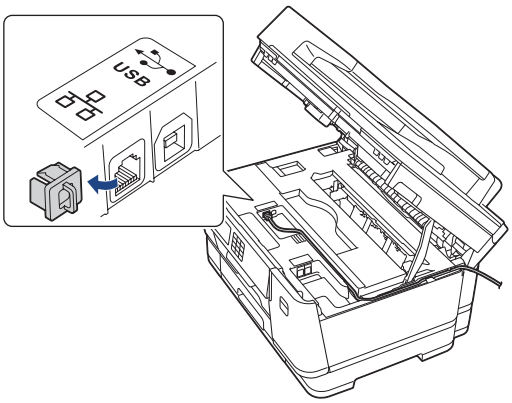
USB ケーブルとネットワークケーブルの差し込み口は、本製品の内部に配置されています。

本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

1. 本製品の左右側面にある指掛け部に指をかけて、両手で本体カバー（1）を保持される位置まで開きます。

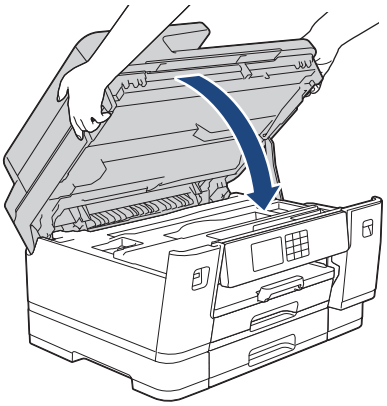


2. 図のように、本製品内部の（ご使用のケーブルに合った）正しい差し込み口を探します。



ケーブルを注意して溝におさめ、本製品の背面に引き出してください。

3. 本製品の左右側面にある指掛け部に指をかけて、本体カバーをゆっくりと閉じます。



関連情報

- 本製品のご案内

紙の取り扱い

- 用紙のセット
- 原稿のセット

用紙のセット

- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2／用紙トレイ#3 に用紙をセットする
- 多目的トレイに用紙をセットする
- 印刷できない範囲
- 用紙設定
- 使用可能な印刷用紙について
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 用紙の取り扱いと印刷の問題

用紙トレイ#1／用紙トレイ#2／用紙トレイ#3 に用紙をセットする

- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2／用紙トレイ#3 に A4 サイズや B5（JIS）サイズの用紙をセットする
- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2／用紙トレイ#3 に A3 サイズや B4（JIS）サイズの用紙をセットする
- 用紙トレイ#1 に写真用紙やはがきをセットする
- 用紙トレイ#1 に封筒をセットする

用紙トレイ#1／用紙トレイ#2／用紙トレイ#3 に A4 サイズや B5（JIS）サイズの用紙をセットする

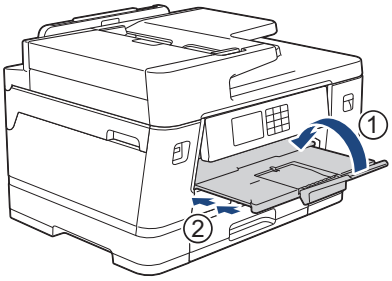
- ［トレイ確認］設定が［オン］に設定されているときに、本製品から用紙トレイを引き出すと、用紙サイズと用紙タイプを変更するかどうかを尋ねるメッセージが画面に表示されます。
- 異なるサイズの用紙をセットした場合、本製品かお持ちのパソコンの用紙サイズ設定を変更する必要があります。

  トレイ自動選択がプリンタードライバー（Windows）または本製品で設定されている場合、自動的に最適な用紙トレイから給紙されます。
- 用紙トレイ#2 では普通紙のみ使用できます。（MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW）
- 用紙トレイ#2 と用紙トレイ#3 では普通紙のみを使用できます。（MFC-J7600CDW）

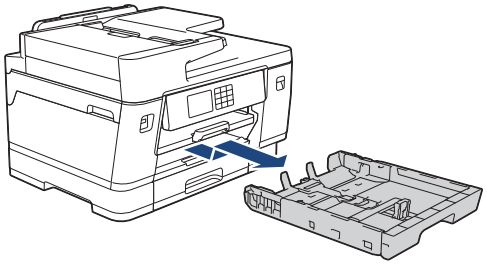
ここでは、用紙トレイ#1 への用紙のセット方法を説明します。

- （MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW）用紙トレイ#2 へのセットも同様に行えます。
- （MFC-J7600CDW）用紙トレイ#2 および用紙トレイ#3 へのセットも同様に行えます。

1. 排紙ストッパー（1）が開いている場合は、ストッパーを閉じてから排紙トレイ（2）を閉じます。

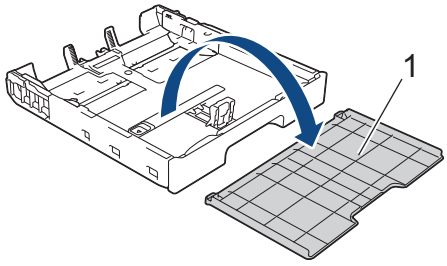


2. 矢印のように、用紙トレイを本製品から完全に引き出します。



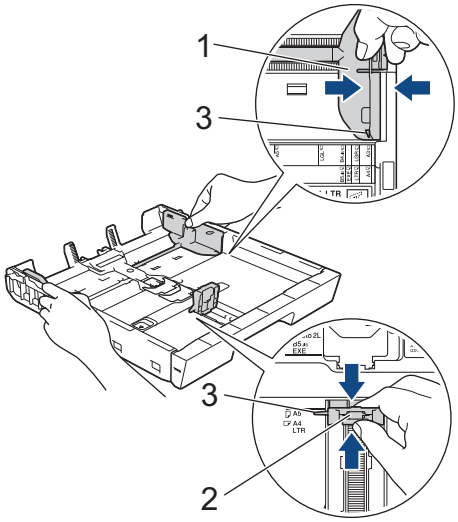
(MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)

用紙トレイ#2 または用紙トレイ#3（MFC-J7600CDW）にセットする場合、トレイカバー（1）を外します。

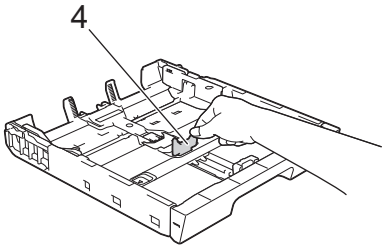


3. 用紙サイズに合わせて、用紙幅ガイド（1）と用紙長さガイド（2）を軽く押してスライドさせます。

   用紙幅ガイド（1）と用紙長さガイド（2）の三角マーク（3）が、使用する用紙のマークと合っていることを確認します。



B5（JIS）サイズの用紙を用紙トレイ#1 にセットする場合は、ストッパー（4）を起こしてください。

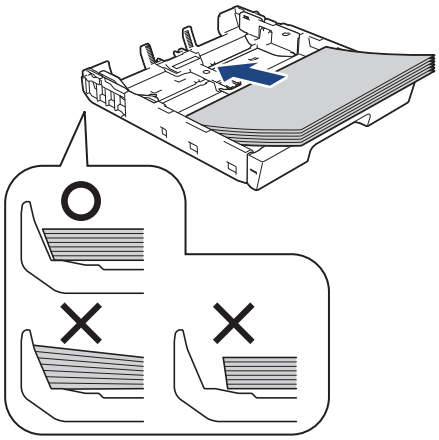


4. 紙詰まりや給紙不良を防ぐために、用紙をよくさばきます。

用紙がカールしていないこと、しわがないことを常に確認してください。

5. 印刷したい面を**下**にして、用紙を丁寧に用紙トレイにセットします。

横方向

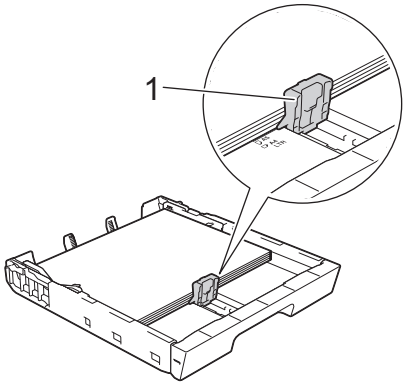


重要

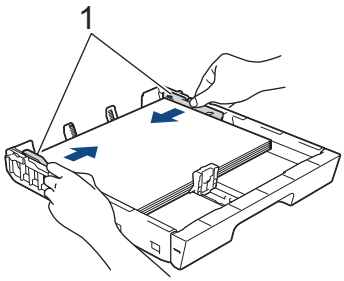
用紙を奥まで押し込まないように注意してください。用紙がトレイの奥で持ち上がり、給紙の問題が発生する場合があります。

トレイが空になる前に用紙を追加するときは、トレイから用紙を取り出し、追加する用紙を重ねます。重送を防ぐために、常に用紙をよくさばいてください。

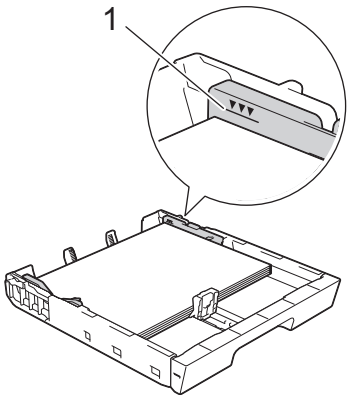
6. 用紙長さガイド（1）が用紙の端に当たっていることを確認します。



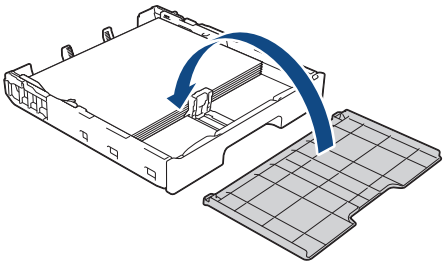
7. 用紙に合わせて用紙幅ガイド（1）を丁寧に調整します。
用紙ガイドが用紙の端に当たっていることを確認します。



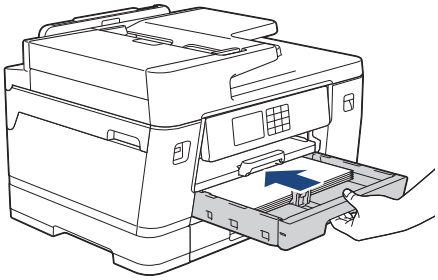
8. 用紙がトレイに平らにセットされており、最大積載マーク（1）よりも下であることを確認します。
用紙トレイに用紙を入れすぎると、紙詰まりを起こすおそれがあります。



(MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)
用紙トレイ#2 または用紙トレイ#3（MFC-J7600CDW）にセットする場合、トレイカバーを戻します。



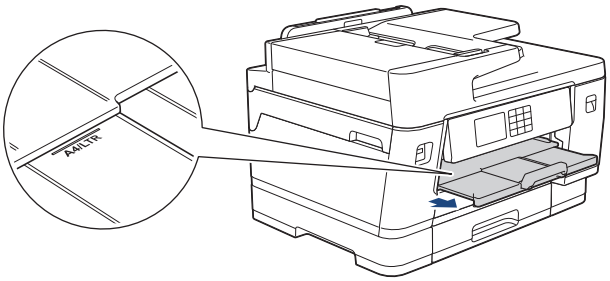
9. 用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けます。



重要

用紙トレイを本製品に強く押し込んだり、勢いよく押し込んだりしないでください。紙詰まりや給紙の問題が発生するおそれがあります。

10. 排紙トレイを所定の位置に固定されるまで引き出します。



11. 必要に応じて、本製品のメニューで用紙サイズ設定を変更します。

関連情報

- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2／用紙トレイ#3 に用紙をセットする

関連トピック：

- トレイ確認の設定を変更する
- 用紙サイズと用紙タイプを変更する

- 正しい印刷用紙を選択する

用紙トレイ#1／用紙トレイ#2／用紙トレイ#3 に A3 サイズや B4（JIS）サイズの用紙をセットする

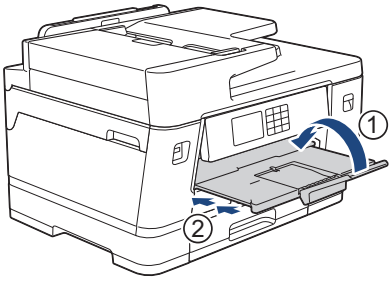
- ［トレイ確認］設定が［オン］に設定されているときに、本製品から用紙トレイを引き出すと、用紙サイズと用紙タイプを変更するかどうかを尋ねるメッセージが画面に表示されます。
- 異なるサイズの用紙をセットした場合、本製品かお持ちのパソコンの用紙サイズ設定を変更する必要があります。

  トレイ自動選択がプリンタードライバー（Windows）または本製品で設定されている場合、自動的に最適な用紙トレイから給紙されます。
- 用紙トレイ#2 では普通紙のみ使用できます。（MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW）
- 用紙トレイ#2 と用紙トレイ#3 では普通紙のみを使用できます。（MFC-J7600CDW）

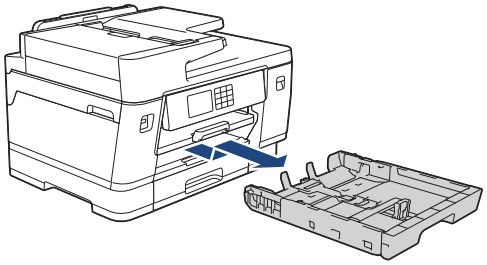
ここでは、用紙トレイ#1 への用紙のセット方法を説明します。

- （MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW）用紙トレイ#2 へのセットも同様に行えます。
- （MFC-J7600CDW）用紙トレイ#2 および用紙トレイ#3 へのセットも同様に行えます。

1. 排紙ストッパー（1）が開いている場合は、ストッパーを閉じてから排紙トレイ（2）を閉じます。

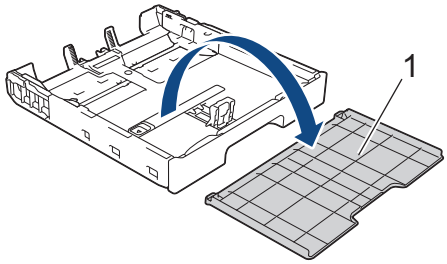


2. 矢印のように、用紙トレイを本製品から完全に引き出します。



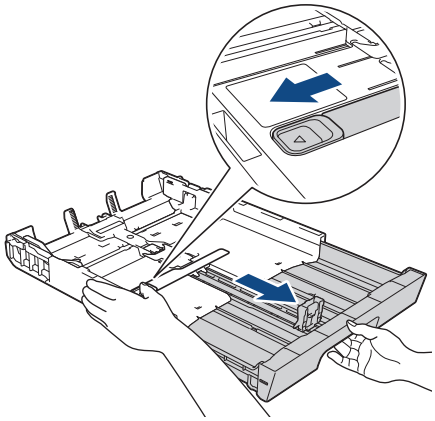
(MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)

用紙トレイ#2 または用紙トレイ#3（MFC-J7600CDW）にセットする場合、トレイカバー（1）を外します。

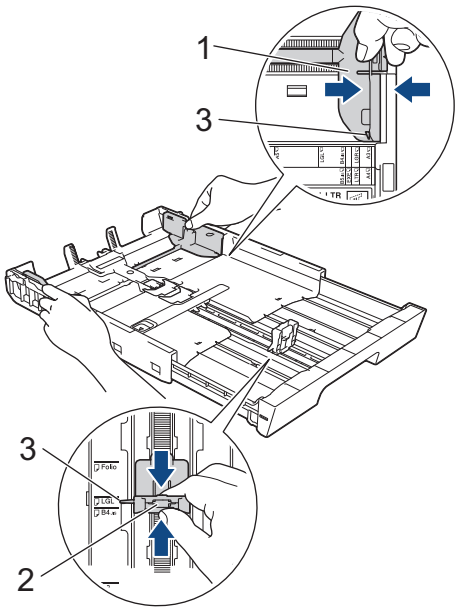


3. 平らな場所に用紙トレイを置きます。

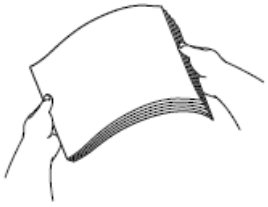
   緑色のスライダーを左に押してから、用紙トレイを所定の位置に固定されるまで引き出します。



4. 用紙サイズに合わせて、用紙幅ガイド（1）と用紙長さガイド（2）を軽く押してスライドさせます。
   用紙幅ガイド（1）と用紙長さガイド（2）の三角マーク（3）が、使用する用紙のマークと合っていることを確認します。



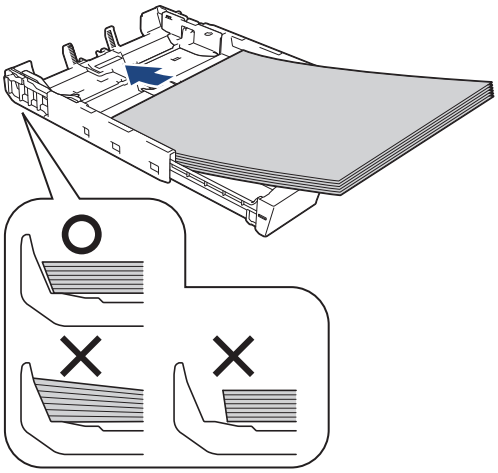
5. 紙詰まりや給紙不良を防ぐために、用紙をよくさばきます。



用紙がカールしていないこと、しわがないことを常に確認してください。

6. 印刷したい面を**下**にして、用紙を丁寧に用紙トレイにセットします。

縦方向

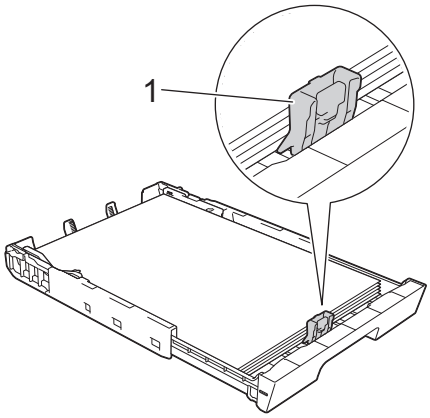


重要

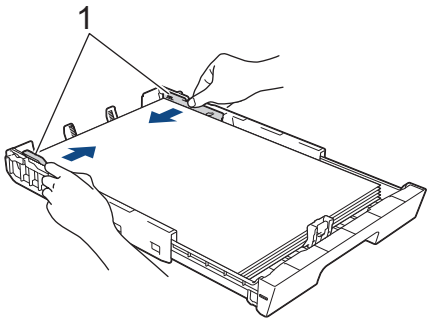
用紙を奥まで押し込まないように注意してください。用紙がトレイの奥で持ち上がり、給紙の問題が発生する場合があります。

トレイが空になる前に用紙を追加するときは、トレイから用紙を取り出し、追加する用紙を重ねます。重送を防ぐために、常に用紙をよくさばいてください。

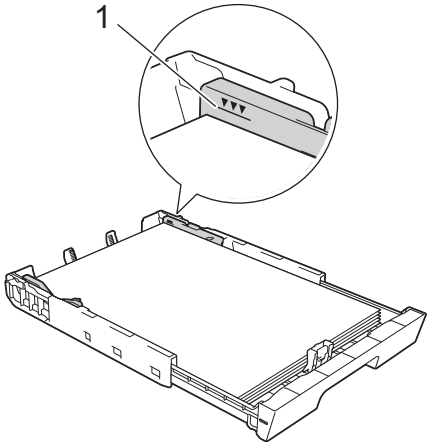
7. 用紙長さガイド（1）が用紙の端に当たっていることを確認します。



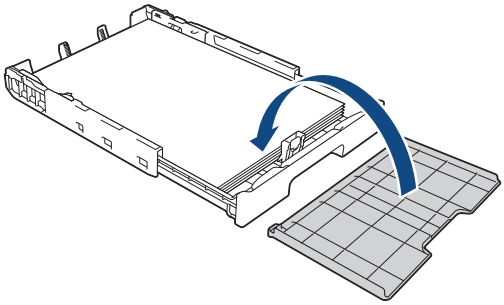
8. 用紙に合わせて用紙幅ガイド（1）を丁寧に調整します。
用紙ガイドが用紙の端に当たっていることを確認します。



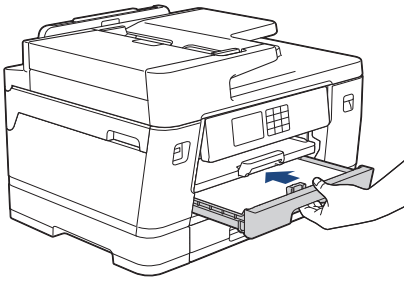
9. 用紙がトレイに平らにセットされており、最大積載マーク（1）よりも下であることを確認します。
用紙トレイに用紙を入れすぎると、紙詰まりを起こすおそれがあります。



(MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)
用紙トレイ#2 または用紙トレイ#3（MFC-J7600CDW）にセットする場合、トレイカバーを戻します。



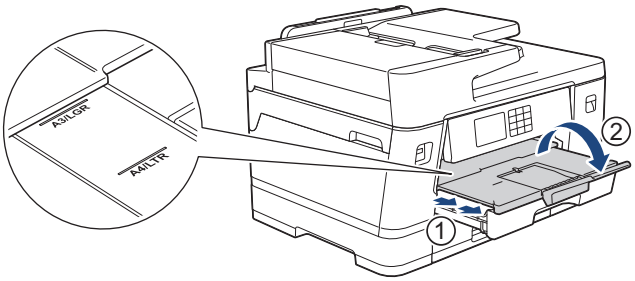
10. 用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けます。



重要

用紙トレイを本製品に強く押し込んだり、勢いよく押し込んだりしないでください。紙詰まりや給紙の問題が発生するおそれがあります。

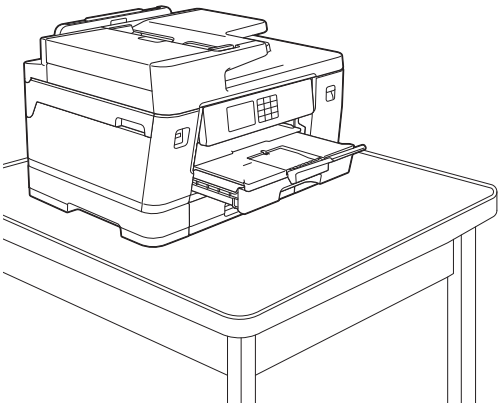
11. 排紙トレイ（1）を所定の位置に固定されるまで引き出し、排紙ストッパー（2）を開きます。

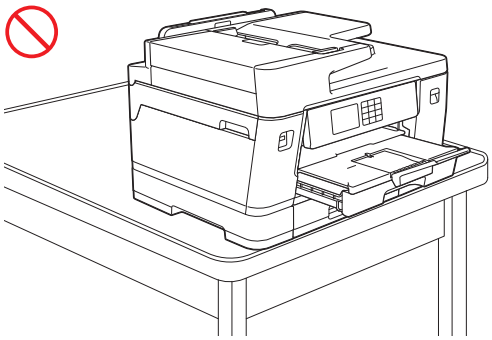


12. 必要に応じて、本製品のメニューで用紙サイズ設定を変更します。

⚠ 注意

トレイがプリンター台などからはみ出して通りがかりにぶつかることのないように、本製品を設置してください。本製品が落下して事故につながるおそれがあります。

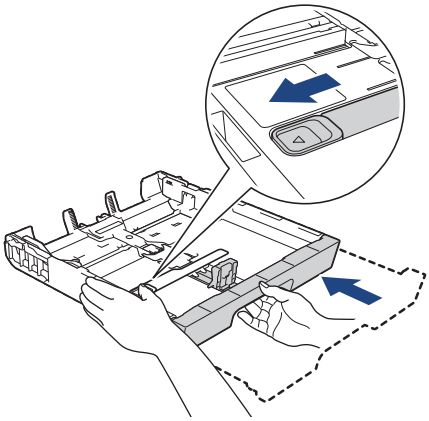




拡張したトレイを元に戻す前に、用紙を取り出してください。

平らな場所に用紙トレイを置きます。

緑色のスライダーを左に押してから、用紙トレイの正面を押し、元の位置に戻します。用紙トレイに紙をセットします。



関連情報

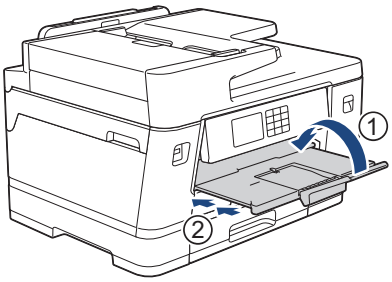
- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2／用紙トレイ#3 に用紙をセットする

用紙トレイ#1 に写真用紙やはがきをセットする

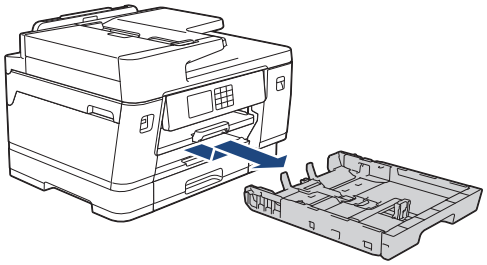
- ［トレイ確認］設定が［オン］に設定されているときに、本製品から用紙トレイを引き出すと、用紙サイズと用紙タイプを変更するかどうかを尋ねるメッセージが画面に表示されます。
- 異なるサイズの用紙をセットした場合、本製品かお持ちのパソコンの用紙サイズ設定を変更する必要があります。

  トレイ自動選択がプリンタードライバー（Windows）または本製品で設定されている場合、自動的に最適な用紙トレイから給紙されます。

1. 排紙ストッパー（1）が開いている場合は、ストッパーを閉じてから排紙トレイ（2）を閉じます。

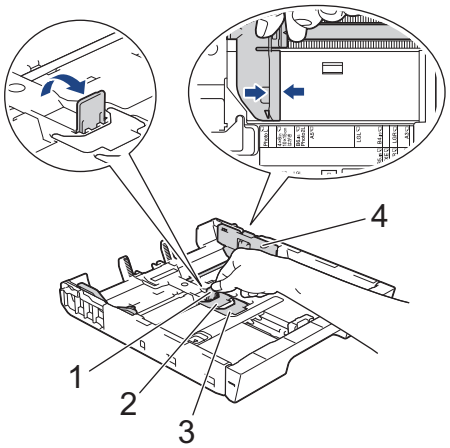


2. 矢印のように、用紙トレイを本製品から完全に引き出します。



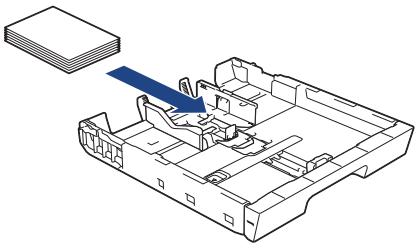
3. 以下のいずれかを行ってください：
   - 用紙トレイに L 判（9 x 13 cm）をセットする場合、Photo L ストッパー（1）を起こしてください。
   - 用紙トレイにはがきをセットする場合、はがきストッパー（2）を起こしてください。
   - 用紙トレイに 2L 判 (13 x 18 cm)、B6（JIS）をセットする場合、Photo 2L ストッパー（3）を起こしてください。

   用紙サイズに合わせて、用紙幅ガイド（4）を軽く押してスライドさせます。

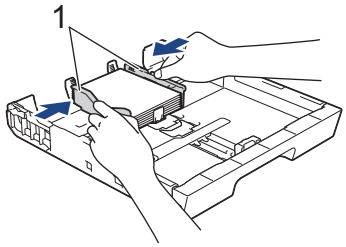


4. 印刷したい面を**下**にして、最大 20 枚の写真用紙を用紙トレイにセットします。

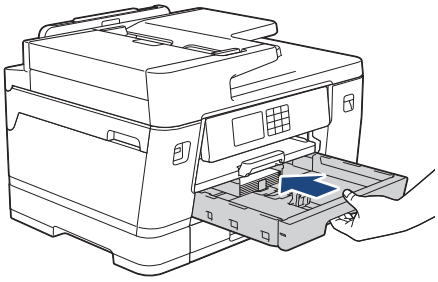
   20 枚を超える写真用紙をセットすると、紙詰まりを起こすおそれがあります。



5. 用紙に合わせて用紙幅ガイド（1）を丁寧に調整します。
   用紙ガイドが用紙の端に当たっており、用紙がトレイに平らにセットされていることを確認します。



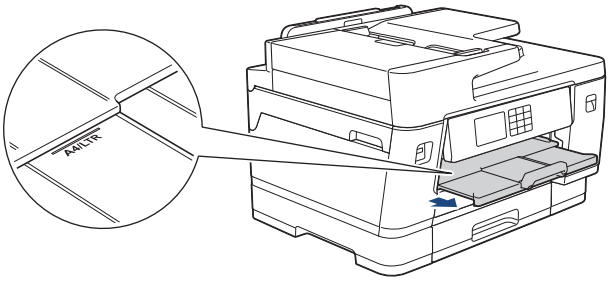
6. 用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けます。



重要

用紙トレイを本製品に強く押し込んだり、勢いよく押し込んだりしないでください。紙詰まりや給紙の問題が発生するおそれがあります。

7. 排紙トレイを所定の位置に固定されるまで引き出します。



8. 必要に応じて、本製品のメニューで用紙サイズ設定を変更します。

関連情報

- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2／用紙トレイ#3 に用紙をセットする

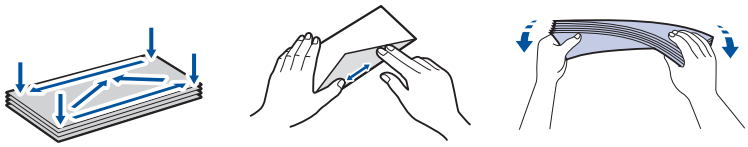
関連トピック：

- トレイ確認の設定を変更する
- 用紙サイズと用紙タイプを変更する
- 正しい印刷用紙を選択する

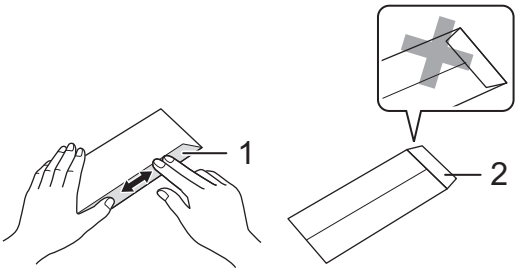
用紙トレイ#1 に封筒をセットする

- ［トレイ確認］設定が［オン］に設定されているときに、本製品から用紙トレイを引き出すと、用紙サイズと用紙タイプを変更するかどうかを尋ねるメッセージが画面に表示されます。
- さまざまなサイズの封筒をセットできます。「関連情報」をご覧ください：使用できる用紙
- 異なるサイズの用紙をセットした場合、本製品かお持ちのパソコンの用紙サイズ設定を変更する必要があります。

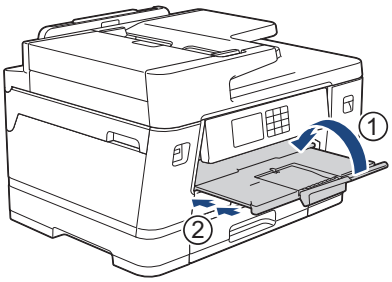
  トレイ自動選択がプリンタードライバー（Windows）または本製品で設定されている場合、自動的に最適な用紙トレイから給紙されます。
- 封筒の角や側面を押して平らにしてからトレイにセットします。



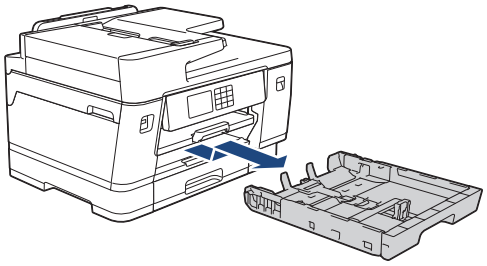
- 長辺に付いたふた（1）はしっかり折りたたんでください。短辺に付いたふた（2）は折りたたまないでください。



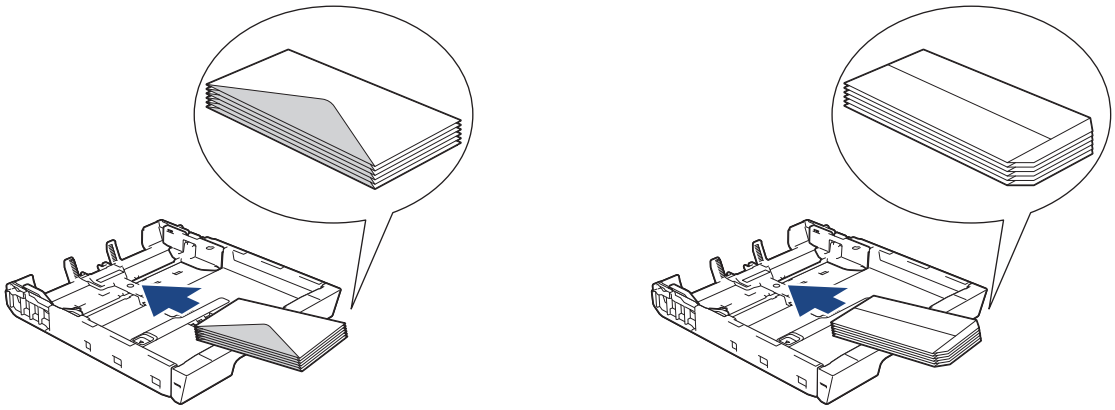
1. 排紙ストッパー（1）が開いている場合は、ストッパーを閉じてから排紙トレイ（2）を閉じます。



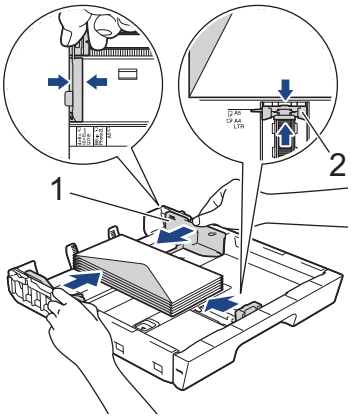
2. 矢印のように、用紙トレイを本製品から完全に引き出します。



3. 印刷したい面を**下**にして、最大 10 枚の封筒を用紙トレイにセットします。 10 枚を超える封筒をセットすると、紙詰まりを起こすおそれがあります。



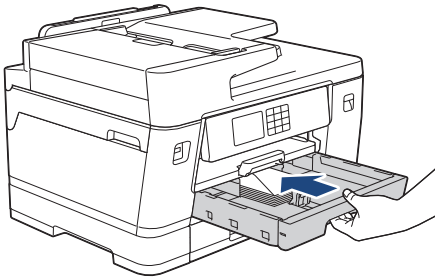
4. 封筒のサイズに合わせて、用紙幅ガイド（1）と用紙長さガイド（2）を軽く押してスライドさせます。
   封筒がトレイに平らにセットされていることを確認します。



重要

封筒が重なって給紙される場合は、用紙トレイに封筒を 1 枚ずつセットしてください。

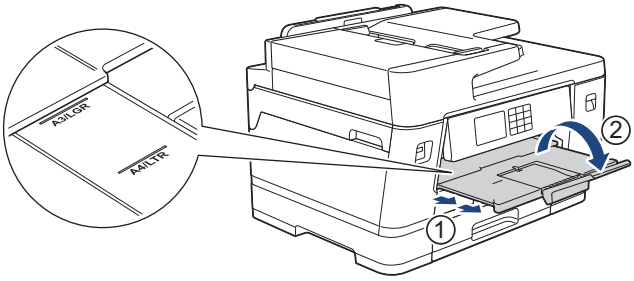
5. 用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けます。



重要

用紙トレイを本製品に強く押し込んだり、勢いよく押し込んだりしないでください。紙詰まりや給紙の問題が発生するおそれがあります。

6. 排紙トレイ（1）を所定の位置に固定されるまで引き出し、排紙ストッパー（2）を開きます。



7. 必要に応じて、本製品のメニューで用紙サイズ設定を変更します。

関連情報

- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2／用紙トレイ#3 に用紙をセットする

関連トピック：

- 使用できる用紙
- トレイ確認の設定を変更する
- 用紙サイズと用紙タイプを変更する
- 正しい印刷用紙を選択する

多目的トレイに用紙をセットする

- 多目的トレイにカット紙、写真用紙、はがきや封筒などをセットする
- 多目的トレイに長尺用紙をセットする

多目的トレイにカット紙、写真用紙、はがきや封筒などをセットする

写真用紙や封筒など特別な印刷用紙を使うときは、多目的トレイをご利用ください。

- ［トレイ確認］設定が［オン］に設定されているときに、多目的トレイに用紙をセットすると、用紙サイズと用紙タイプを変更するかどうかを尋ねるメッセージが画面に表示されます。
- 異なるサイズの用紙をセットした場合、本製品かお持ちのパソコンの用紙サイズ設定を変更する必要があります。

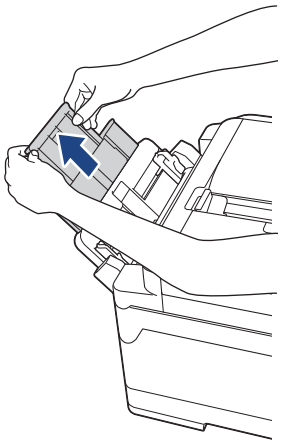
  トレイ自動選択がプリンタードライバー（Windows）または本製品で設定されている場合、自動的に最適なトレイから給紙されます。

お願い

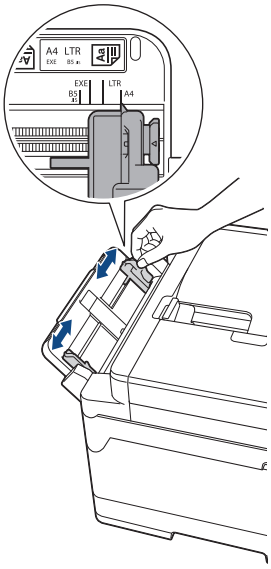
- 本製品にほこりが入るのを防ぐために、多目的トレイを使用しない場合は必ず閉じてください。

1. 多目的トレイを開きます。

A4 またはレターサイズより大きい用紙をセットしたい場合は、両手で用紙サポーターを所定の位置に固定されるまで引き上げます。



2. 多目的トレイの用紙ガイドを軽く押してスライドさせ、使用する用紙の幅に合わせます。

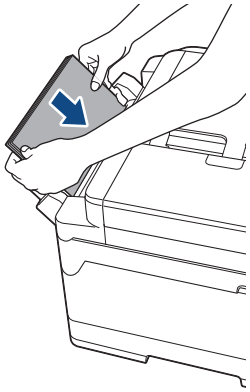


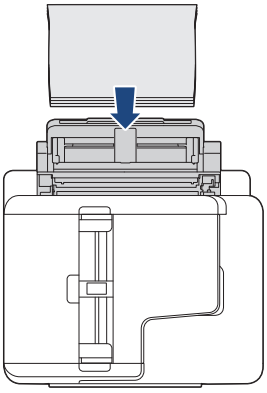
3. 紙詰まりや給紙不良を防ぐために、用紙をよくさばきます。

用紙がカールしていないこと、しわがないことを常に確認してください。

4. 印刷したい面を**上**にして、用紙を丁寧に多目的トレイにセットします。
   - A4、レター、エグゼクティブ、B5（JIS）

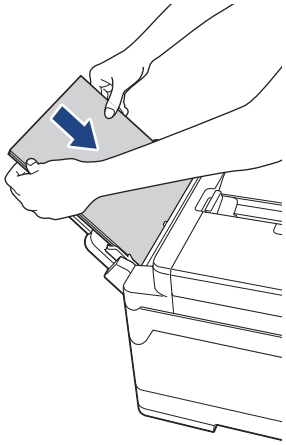
横方向

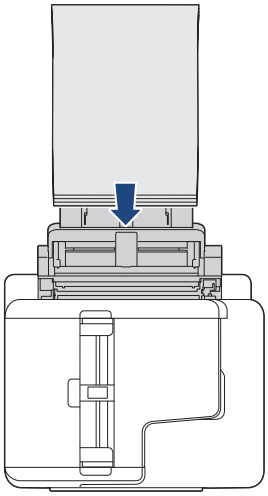




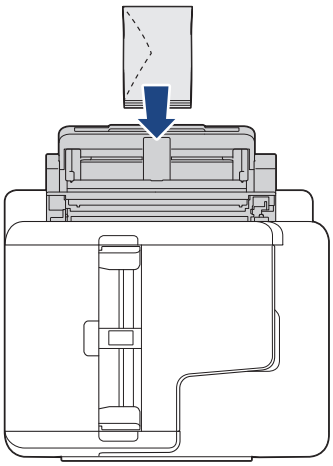
   - A3、B4（JIS）、レジャー、リーガル、A5、A6、B6（JIS）、L 判、2L 判、はがき、往復はがき、ポストカード、インデックスカード、封筒

縦方向

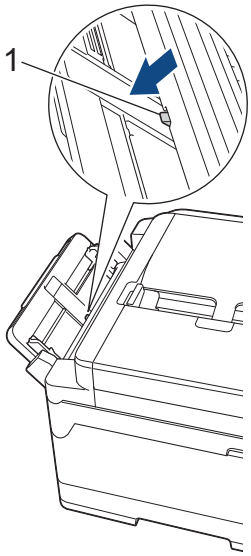




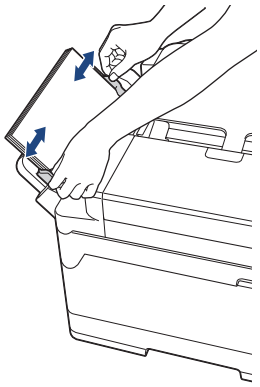
封筒を使用する場合は、印刷したい面を**上**にし、イラストのようにふたが左側にくるようにセットします。



多目的トレイに用紙をセットできない場合は、解除レバー（1）を本製品の背面に向かって押して用紙をセットします。

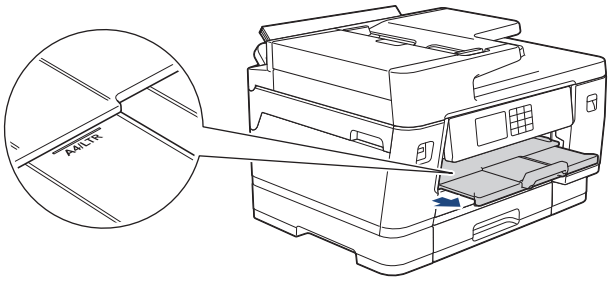


5. 両手を使って、多目的トレイの用紙ガイドを用紙に丁寧に合わせます。

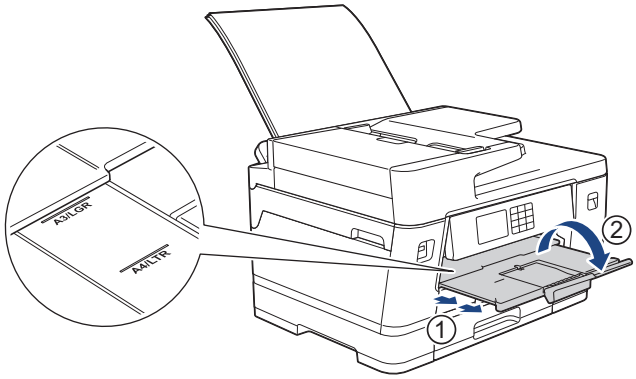


- 用紙ガイドを用紙に強く押し付けないでください。用紙が折り重なって紙詰まりが発生する場合があります。
- 多目的トレイの用紙ガイド間の中央に用紙をセットします。用紙が中央にセットされていない場合は、用紙を引き出し、もう一度中央に差し込んでください。

6. 以下のいずれかを行ってください：
   - A4、レター、または小さいサイズの用紙を使用する場合は、排紙トレイを所定の位置に固定されるまで引き出します。



   - A4、レターよりも大きい用紙または封筒を使用する場合は、排紙トレイ（1）を所定の位置に固定されるまで引き出し、排紙ストッパー（2）を開きます。



7. 必要に応じて、本製品のメニューで用紙サイズ設定を変更します。

多目的トレイを閉じる前に、印刷が終了していることを確認してください。

関連情報

- 多目的トレイに用紙をセットする

関連トピック：

- 正しい印刷用紙を選択する
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

多目的トレイに長尺用紙をセットする

長尺用紙を多目的トレイにセットする場合は、一度に **1 枚**ずつセットします。

- 長尺用紙（210 x 900mm、297 x 900mm、または 297 x 1200mm など）に印刷するには、多目的トレイを使用します。
- 長尺用紙は、パソコンから印刷する場合、または AirPrint を使用して印刷する場合にのみ使用してください。コピーやファクスでは長尺用紙を使用しないでください。
- ［トレイ確認］設定が［オン］に設定されているときに、多目的トレイに用紙をセットすると、用紙サイズと用紙タイプを変更するかどうかを尋ねるメッセージが画面に表示されます。
- 異なるサイズの用紙をセットした場合、本製品かお持ちのパソコンの用紙サイズ設定を変更する必要があります。

  トレイ自動選択がプリンタードライバー（Windows）または本製品で設定されている場合、自動的に最適なトレイから給紙されます。

お願い

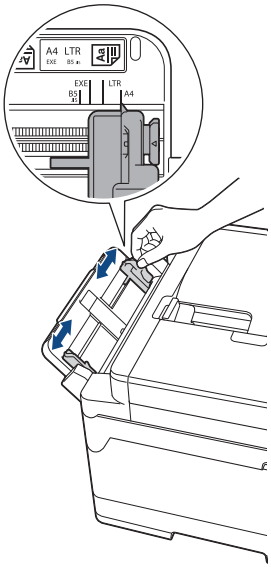
- 本製品にほこりが入るのを防ぐために、多目的トレイを使用しない場合は必ず閉じてください。

1. 多目的トレイを開きます。

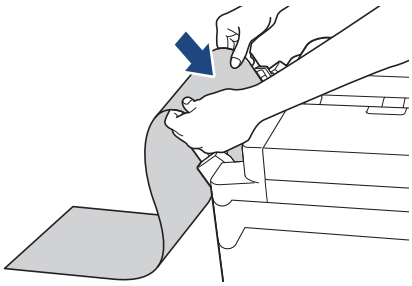
重要

長尺用紙をセットする際は、用紙サポーターを引き上げないでください。用紙が傷つく原因となります。

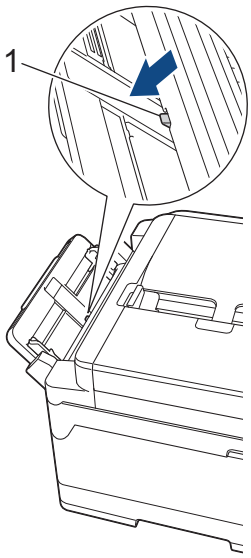
2. 多目的トレイの用紙ガイドを軽く押してスライドさせ、使用する用紙の幅に合わせます。



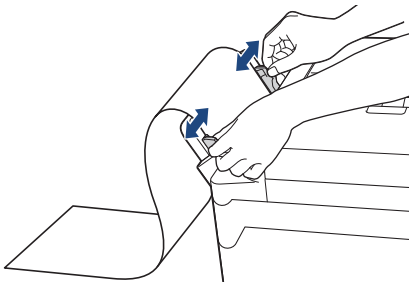
3. 印刷したい面を**上**にして、**用紙を 1 枚**だけ多目的トレイにセットします。1 枚の用紙を両手で多目的トレイに挿入し、用紙の先端が給紙ローラーに当たるまで差し込みます。



多目的トレイに用紙をセットできない場合は、解除レバー（1）を本製品の背面に向かって押して用紙をセットします。



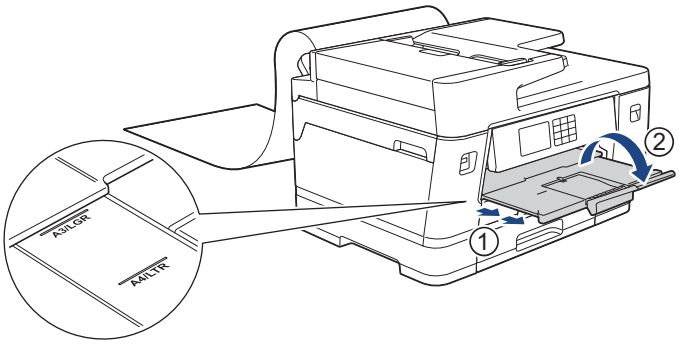
4. 両手を使って、多目的トレイの用紙ガイドを用紙に丁寧に合わせます。



重要

多目的トレイには、一度に複数枚の長尺用紙をセットしないでください。紙詰まりの原因になる場合があります。複数ページを印刷するときは、次の用紙をセットするよう促すメッセージが画面に表示されるまで、次の用紙をセットしないでください。

5. 排紙トレイ（1）を所定の位置に固定されるまで引き出し、排紙ストッパー（2）を開きます。



長尺用紙を多目的トレイにセットすると、印刷後に印刷されたページが落下しないように保持されます。印刷が完了したら、印刷用紙を取り出し、[OK]を押します。

6. 本製品のメニューで、用紙サイズの設定を[210x900mm]、[297x900mm]、[297x1200mm]、または[ユーザー定義サイズ]に変更します。[ユーザー定義サイズ]では実際のサイズを入力する必要があります。

多目的トレイを閉じる前に、印刷が終了していることを確認してください。

関連情報

- 多目的トレイに用紙をセットする

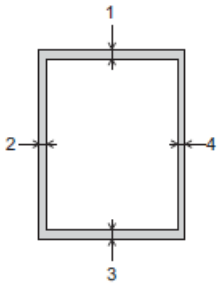
関連トピック：

- 正しい印刷用紙を選択する
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 長尺用紙に印刷する（Windows）

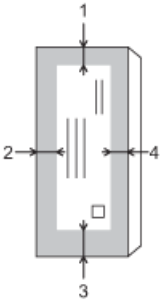
印刷できない範囲

印刷できない範囲は、お使いのアプリケーションの設定によって異なります。下図ではカット紙と封筒の印刷できない範囲をあらわしています。ふちなし印刷機能が有効になっている場合、本製品はカット紙の網掛け部分に印刷ができます。

カット紙



封筒



	上部（1）	左（2）	下部（3）	右（4）
カット紙	3mm	3mm	3mm [1]	3mm
封筒	12mm	3mm	12mm	3mm

ふちなし印刷機能は封筒と両面印刷では利用できません。

関連情報

- 用紙のセット

関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題

[1] 長尺用紙（210 x 900mm、297 x 900mm、297 x 1200mm など）を使用する場合は 5mm になります。

用紙設定

- 用紙サイズと用紙タイプを変更する
- トレイ確認の設定を変更する
- 目的によって初期トレイを設定する
- 用紙トレイの優先順位を変更する
- 用紙残量通知設定を変更する
- サイズを超えた受信ファクスのサイズを縮小する

用紙サイズと用紙タイプを変更する

用紙サイズと用紙タイプを用紙トレイに設定します。

- 使用している用紙タイプを本製品に設定することで、高い印刷品質を得ることができます。
- トレイにセットする用紙のサイズを変更した場合、同時に画面で用紙サイズ設定を変更する必要があります。

1. ［メニュー］> ［全てのメニュー］> ［基本設定］> ［用紙トレイ設定］を押します。セットしたいトレイオプションを押します。
2. ［用紙タイプ］を押します。
3. ▲または▼を押して用紙タイプオプションを表示させ、設定したいオプションを押します。

- （MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW）トレイ#2 では普通紙のみをご使用ください。
- （MFC-J7600CDW）トレイ#2 とトレイ#3 では普通紙のみをご使用ください。

4. ［用紙サイズ］を押します。
5. ▲または▼を押して用紙サイズオプションを表示させ、設定したいオプションを押します。
6. を押します。

用紙は、印刷面を上にして、本製品の前面の用紙トレイの上に排出されます。光沢紙を使用する場合は、汚れや紙詰まりを防ぐために、用紙が排紙されたらすぐに取り除いてください。

関連情報

- 用紙設定

関連トピック：

- 用紙トレイ#1 に封筒をセットする
- 使用可能な印刷用紙について
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2／用紙トレイ#3 に A4 サイズや B5（JIS）サイズの用紙をセットする

トレイ確認の設定を変更する

この設定が［オン］に設定されているときに、用紙トレイを引き出したり、多目的トレイに用紙をセットすると、用紙サイズと用紙タイプの設定を変更するかどうかを尋ねるメッセージが画面に表示されます。

お買い上げ時の設定は［オン］です。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［基本設定］を押します。
2. ［用紙トレイ設定］を押します。
3. ▲または▼を押して［トレイ確認］を表示させ、それを押します。
4. ［オン］または［オフ］を押します。
5. を押します。

関連情報

- 用紙設定

関連トピック：

- 用紙トレイ#1 に封筒をセットする
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2／用紙トレイ#3 に A4 サイズや B5（JIS）サイズの用紙をセットする

目的によって初期トレイを設定する

各モードで使用する初期トレイを変更します。

本製品は、設定された優先順位に従って一番適切なトレイから給紙します。

使用できるトレイはお使いのモデルによって異なります。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [用紙トレイ設定] を押します。
   - コピーモードで印刷するときに使用するトレイを設定する場合は、[トレイ設定:コピー] > [用紙トレイ選択] を押します。
   - 受信ファクスを印刷するときに使用するトレイを設定する場合は、[トレイ設定:ファクス] > [用紙トレイ選択] を押します。
   - 写真を印刷するときに使用するトレイを設定する場合は、[トレイ設定:JPEG プリント(メディア)] > [用紙トレイ選択] を押します。
2. セットしたいトレイオプションを押します。

[トレイ自動選択] に設定している場合、セットしてある用紙種類とサイズによって一番適切なトレイから給紙します。

3. を押します。

関連情報

- 用紙設定

用紙トレイの優先順位を変更する

各モードで使用する初期トレイの優先順位を変更します。

トレイの設定で［トレイ自動選択］が選択されていると、トレイの優先順位設定に従い、用紙タイプと用紙サイズが最適なトレイから給紙されます。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［基本設定］>［用紙トレイ設定］を押します。
2. ［トレイ設定：コピー］、［トレイ設定：ファクス］、［トレイ設定：プリント］または［トレイ設定：JPEG プリント（メディア）］を押します。
3. ［トレイ優先順位］を押します。
4. セットしたいオプションを押します。
5. を押します。

関連情報

- 用紙設定

用紙残量通知設定を変更する

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

用紙残量通知設定が［オン］に設定されていると、トレイにセットされた用紙の残り枚数が少なくなっていることを知らせるメッセージが表示されます。

お買い上げ時の設定は［オン］です。

また、コピーモードのトレイ選択オプションに表示されるアイコンで用紙残量を確認できます。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［基本設定］>［用紙トレイ設定］>［用紙残量通知］を押します。
2. ［オン］または［オフ］を押します。
3. を押します。

関連情報

- 用紙設定

使用可能な印刷用紙について

印刷品質は使用する用紙の種類に影響を受けます。

印刷品質保持のため、ご使用の用紙タイプを毎回正しく設定してください。

普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙、再生紙、封筒を使用できます。

用紙を大量に購入する前に、様々な種類の用紙を試してみることをお勧めします。

印刷品質保持のため、ブラザー専用紙をご利用ください。

- インクジェット紙（コート紙）や光沢紙に印刷するときは、プリンタードライバー、印刷に使用するアプリケーションまたは本製品の用紙タイプ設定で正しい印刷用紙が選択されていることを確認してください。
- 写真用紙に印刷するときは、実際に印刷したい枚数より 1 枚多く用紙トレイにセットしてください。
- 写真用紙を使用する場合は、汚れや紙詰まりを避けるため、用紙が排紙されたらすぐに取り出してください。
- 印刷直後は印刷面が完全に乾ききっておらず、インクで汚れる可能性があるため、印刷面に触れないようにしてください。

関連情報

- 用紙のセット
  - 推奨紙
  - 印刷用紙の取り扱い
  - 正しい印刷用紙を選択する

関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- 用紙サイズと用紙タイプを変更する

推奨紙

最高の印字品質のため、表に記載されている用紙を使用することを推奨しています。

ブラザー専用紙

用紙タイプ（サイズ）	型番	枚数
上質普通紙（A3）	BP60PA3	250 枚入り
上質普通紙（A4）	BP60PA	250 枚入り
写真光沢紙（A3）	BP71GA3	20 枚入り
写真光沢紙（A4）	BP71GA4	20 枚入り
写真光沢紙（L 判）	BP71GLJ50	50 枚入り
	BP71GLJ100	100 枚入り
	BP71GLJ300	300 枚入り
	BP71GLJ500	500 枚入り
インクジェット紙（マット仕上げ）（A3）	BP60MA3	25 枚入り
インクジェット紙（マット仕上げ）（A4）	BP60MA	25 枚入り

関連情報

- 使用可能な印刷用紙について

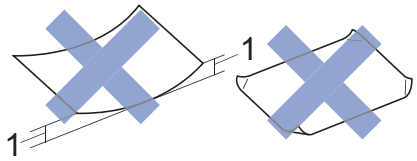
印刷用紙の取り扱い

- 印刷用紙は購入時のパッケージに封をして保管してください。平らな場所に置いて、多湿、直射日光、高温を避けてください。
- 写真用紙の光沢のある面には触れないでください。
- 封筒によってアプリケーション上で余白の設定が必要な場合があります。大量の封筒に印刷する前に、試し印刷を行ってください。

重要

以下のような印刷用紙は使わないでください：

- 破損している、カールしている、しわがある、特殊な形状をしている



1. **2mm 以上カールしていると、紙詰まりを起こす可能性があります。**

- 過度に光沢がある、表面のざらつきが強い
- 束ねた時にきれいにまとまらない
- 横目紙

以下のような封筒は使わないでください。

- 窓付き封筒
- エンボス加工がされたもの
- 留め金やホチキスで閉じてある封筒
- 内側に印刷がほどこされているもの
- ふたにのりが付いているもの
- 二重封筒（ふたの部分が二重になった封筒）

ふたにのりが付いている封筒	二重封筒

使用する封筒の厚さ、サイズ、ふたの形状が原因で給紙の問題が発生する場合があります。

関連情報

- 使用可能な印刷用紙について

関連トピック：

- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2／用紙トレイ#3 に用紙をセットする

正しい印刷用紙を選択する

- 使用できる用紙
- 用紙トレイにセットできる用紙の向きと容量について
- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2／用紙トレイ#3 に A4 サイズや B5（JIS）サイズの用紙をセットする
- 用紙トレイ#1／用紙トレイ#2／用紙トレイ#3 に A3 サイズや B4（JIS）サイズの用紙をセットする
- 用紙トレイ#1 に写真用紙やはがきをセットする
- 用紙トレイ#1 に封筒をセットする
- 多目的トレイにカット紙、写真用紙、はがきや封筒などをセットする
- 多目的トレイに長尺用紙をセットする

使用できる用紙

用紙タイプ	用紙サイズ		用途				
			ファクス	コピー	ダイレクト印刷		プリンター
					JPEG プリント	PDF プリント [1]	
カット紙	A3	297 x 420mm	○	○	○	○	○
	A4	210 x 297mm	○	○	○	○	○
	レジャー	279.4 x 431.8mm	-	-	-	-	○
	レター	215.9 x 279.4mm	-	-	-	-	○
	リーガル	215.9 x 355.6mm	-	-	-	-	○
	エグゼクティブ	184.1×266.7mm	-	-	-	-	○
	B4（JIS）	257 x 364mm	○	○	-	○	○
	B5（JIS）	182 x 257mm	-	○	-	○	○
	B6（JIS）	128 x 182mm	-	-	-	-	○
	A5	148 x 210mm	-	○	-	○	○
	A6	105 x 148mm	-	○	-	○	○
	長尺用紙	210 x 900mm 297 x 900mm 297 x 1200mm	-	-	-	-	○
はがき	はがき（普通紙、インクジェット紙）[2] [3]	100 x 148mm	-	○	○	-	○
	往復はがき（折っていないもの）[3] [4]	148 x 200mm	-	-	-	-	○
カード	ポストカード	101.6 x 152.4mm	-	-	-	-	○
	L 判	89 x 127mm	-	○	○	-	○
	2L 判	127 x 178 mm	-	○	○	-	○
	インデックスカード	127 x 203.2mm	-	-	-	-	○
封筒	角形 2 号封筒	240 x 332mm	-	-	-	-	○
	長形 3 号封筒	120 x 235mm	-	-	-	-	○
	長形 4 号封筒	90 x 205mm	-	-	-	-	○
	洋形 2 号封筒	114 x 162mm	-	-	-	-	○
	洋形 4 号封筒	105 x 235mm	-	-	-	-	○
	Com-10 封筒	104.7 x 241.3mm	-	-	-	-	○
	DL 封筒	110 x 220mm	-	-	-	-	○

1 PDF プリントは MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW のみ対応しています。

2 写真用光沢はがきは非対応です。
はがき（インクジェット紙）は、自動両面印刷できません。
はがき（普通紙）は、自動両面印刷できます。この場合、通信面から先に印刷すると、印刷速度や印刷品質が落ちる場合があります。宛先面から先に印刷することをお勧めします。

3 はがきを手動両面印刷する場合は、多目的トレイを使用してください。

4 往復はがきには、「折ってあるタイプのもの」と「折り目はあるが折っていないタイプのもの」があります。「折り目はあるが折っていないタイプのもの」をご使用ください。「折ってあるタイプのもの」を使用すると往復はがきの後端に汚れなどが発生することがあります。

関連情報

- 正しい印刷用紙を選択する

関連トピック：

- 用紙トレイ#1 に封筒をセットする

用紙トレイにセットできる用紙の向きと容量について

	用紙サイズ	用紙の種類	枚数	重さ	厚み
用紙トレイ 1	＜横方向＞ A4、レター、エグゼクティブ、B5 (JIS) ＜縦方向＞ A3、レジャー、B4 (JIS)、リーガル、A5、B6 (JIS)、A6、インデックスカード、L 判、2L 判、はがき、往復はがき、ポストカード、DL 封筒、Com-10、角形 2 号封筒、長形 3 号封筒、長形 4 号封筒、洋形 2 号封筒、洋形 4 号封筒	普通紙、再生紙	250 [1]	64～120g/m²	0.08～0.15mm
		インクジェット紙	20	64～200g/m²	0.08～0.25mm
		光沢紙 [2]	20	最大 220g/m²	最大 0.25mm
		はがき、往復はがき、ポストカード	30	最大 200g/m²	最大 0.25mm
		インデックスカード	30	最大 120g/m²	最大 0.15mm
		封筒	10	80～95g/m²	最大 0.52mm
用紙トレイ 2（MFC-J7300CDW/ MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW）	＜横方向＞ A4、レター ＜縦方向＞ A3、レジャー、B4（JIS）、リーガル	普通紙、再生紙	250 [1]	64～120g/m²	0.08～0.15mm
用紙トレイ 3（MFC-J7600CDW）	＜横方向＞ A4、レター ＜縦方向＞ A3、レジャー、B4（JIS）、リーガル	普通紙、再生紙	250 [1]	64～120g/m²	0.08～0.15mm
多目的トレイ	＜横方向＞ A4、レター、エグゼクティブ、B5 (JIS) ＜縦方向＞ A3、レジャー、B4 (JIS)、リーガル、A5、B6 (JIS)、A6、インデックスカード、L 判、2L 判、はがき、往復はがき、ポストカード、DL 封筒、Com-10、角形 2 号封筒、長形 3 号封筒、長形 4 号封筒、洋形 2 号封筒、洋形 4 号封筒	普通紙、再生紙	100 [3]	64～120g/m²	0.08～0.15mm
		インクジェット紙	20（A4／レターまで） 5（A4／レターより大きいサイズ）	64～200g/m²	0.08～0.25mm
		光沢紙 [2]	20（A4／レターまで） 5（A4／レターより大きいサイズ）	最大 220g/m²	最大 0.3mm
		はがき、往復はがき、ポストカード	50 [4]	最大 220g/m²	最大 0.3mm
		インデックスカード	50 [4]	最大 120g/m²	最大 0.15mm
		封筒	20（A4／レターまで） 5（A4／レターより大きいサイズ）	80～95g/m²	最大 0.52mm
	長尺用紙（210 x 900mm、297 x 900mm、297 x 1200mm）	普通紙、再生紙、インクジェット紙、光沢紙	1	64～220g/m²	0.08～0.25mm

[1] 80g/m² の用紙の目安です。実際には、トレイ内側の上限マーク（▼の目印）を超えないようにセットしてください。

[2] ブラザー BP71 写真光沢紙の坪量は 260g/m^2 ですが、本製品の専用紙として作られていますのでご使用いただけます。
[3] 80g/m^2 の用紙の目安です。
[4] 厚さ 0.23mm の用紙の目安です。

関連情報

- 正しい印刷用紙を選択する

原稿のセット

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする
- 原稿台ガラスに原稿をセットする
- 読み取りできない範囲

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）は、複数枚の原稿をセットして 1 枚ずつ送ることができます。

表内に記載されているサイズや坪量の範囲内の用紙をご使用ください。ADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットする前に、原稿をよくさばきます。

原稿のサイズと坪量

長さ：[1]	148～431.8mm
幅：	105～297mm
坪量：	64～120g/m²

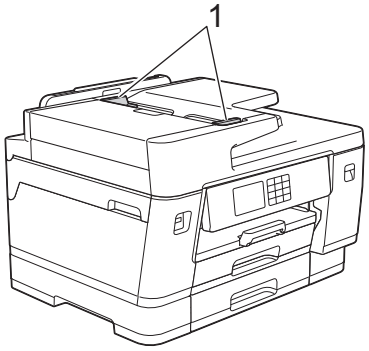
[1] 長尺機能選択時は最大 900mm まで対応できます。

重要

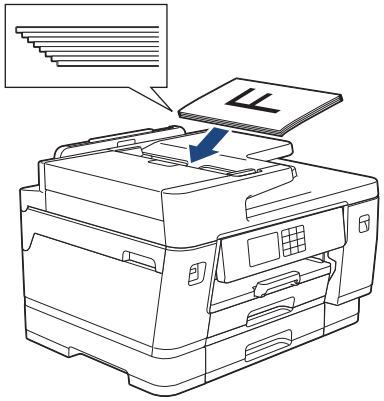
- 原稿が送られている間は引っぱらないでください。
- カールした用紙、しわのある用紙、折ってある用紙、破れた用紙、ホチキスで閉じてある用紙、クリップの付いた用紙、のりが付いた用紙、またはテープが付いた用紙は使わないでください。
- ボール紙、新聞紙、または布は使わないでください。
- 原稿の修正液またはインクが完全に乾いたことを確認してください。

（MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）
ADF(自動原稿送り装置)を使って、最大 A3 サイズまで両面原稿をファクス、コピーまたはスキャンすることができます。

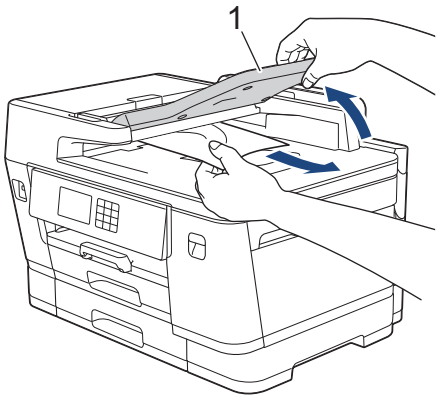
1. 用紙をよくさばきます。
2. 用紙ガイド（1）を原稿のサイズに合うように調整します。



3. イラストのように、原稿の読み取りたい面を**上**に向けて ADF(自動原稿送り装置)にセットし、ストッパーに当たる位置まで差し込むと、ピッという音がなります。



サイズの小さい原稿をセットして取り除けなくなった場合は、ADF 原稿トレイ（1）を持ち上げ、原稿を取り除きます。



重要

原稿台ガラスに原稿を置いたままにしないでください。ADF(自動原稿送り装置)に紙が詰まる場合があります。

関連情報

- 原稿のセット

関連トピック：

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 電話とファクスの問題
- その他の問題
- コピーする

原稿台ガラスに原稿をセットする

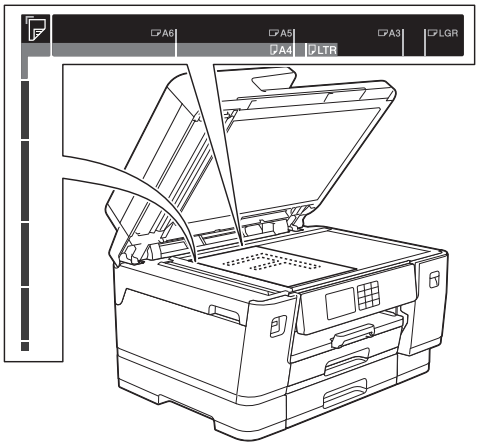
原稿台ガラスを使用して、1 ページずつファクス、コピー、またはスキャンします。

対応用紙サイズ

長さ：	最大 431.8mm
幅：	最大 297mm
重さ：	最大 2kg

原稿台ガラスを使用する場合は、ADF（自動原稿送り装置）に何もセットしないでください。

1. 原稿台カバーを持ち上げます。
2. イラストのように、原稿の読み取りたい面を**下**にして、原稿台ガラスの左奥に合わせてセットします。



3. 原稿台カバーを閉じます。

重要

本や厚みのある原稿をスキャンする場合は、原稿台カバーを無理に閉じたり、強く押さえたりしないでください。

関連情報

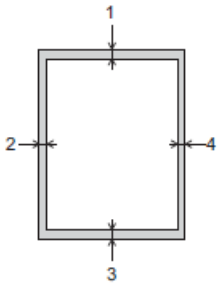
- 原稿のセット

関連トピック：

- 電話とファクスの問題
- その他の問題
- コピーする

読み取りできない範囲

読み取りできない範囲は、お使いのアプリケーションの設定によって異なります。下記の数字は、代表的な読み取りできない範囲です。



用途	原稿サイズ	上部（1） 下部（3）	左（2） 右（4）
ファクス	A3、B4（JIS）	3mm	4.5mm
	A4		3mm
	レジャー		3.7mm
	レター		4mm
	リーガル		
コピー	全用紙サイズ		3mm
スキャン		1mm	1mm

関連情報

- 原稿のセット

印刷

- パソコンから印刷する（Windows）
- パソコンから印刷する（Mac）
- Brother iPrint&Scan を使用して印刷する（Windows/Mac）
- USB フラッシュメモリーから直接印刷する
- E メールの添付ファイルを印刷する

パソコンから印刷する（Windows）

- 写真を印刷する（Windows）
- 文書を印刷する（Windows）
- 印刷ジョブをキャンセルする（Windows）
- 1 枚の用紙に複数ページを印刷する（N in 1）（Windows）
- ポスターとして印刷する（Windows）
- 自動で用紙の両面に印刷する（自動両面印刷）（Windows）
- 自動で小冊子として印刷する（Windows）
- セキュリティ印刷（Windows）
- カラー文書をモノクロで印刷する（Windows）
- 長尺用紙に印刷する（Windows）
- にじみや紙詰まりを防ぐ（Windows）
- おまかせ印刷設定を使用する（Windows）
- 初期値の印刷設定を変更する（Windows）
- 印刷設定（Windows）

写真を印刷する（Windows）

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. 用紙トレイに正しい用紙をセットしているか確認します。

   重要

   - 印刷品質維持のため、弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。
   - 写真用紙に印刷するときは、実際に印刷したい枚数より 1 枚多く用紙トレイにセットしてください。
4. **基本設定**タブをクリックします。
5. **用紙種類** のリストからお使いになる用紙の種類を選択します。

   重要

   印刷品質保持のため、ご使用の**用紙種類**を毎回正しく設定してください。
6. **用紙サイズ**のリストから用紙サイズを選択します。
7. 必要に応じて、**ふちなし印刷** のチェックボックスを選択します。
8. **カラー/モノクロ**設定で、**カラー**を選択します。
9. **印刷の向き**欄で**縦**または**横**オプションを選択し、印刷物の向きを設定します。

   お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。
10. **部数**欄に、印刷したい部数（1～999 部）を入力します。
11. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
12. **OK** をクリックします。
13. 印刷操作を完了します。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 印刷設定（Windows）

文書を印刷する（Windows）

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. 用紙トレイに正しいサイズの用紙がセットされているかを確認します。
4. **基本設定**タブをクリックします。
5. **用紙種類** のリストからお使いになる用紙の種類を選択します。

   重要

   印刷品質保持のため、ご使用の**用紙種類**を毎回正しく設定してください。
6. **用紙サイズ**のリストから用紙サイズを選択します。
7. **カラー/モノクロ**で、**カラー**または**モノクロ**オプションを選択します。
8. **印刷の向き**欄で**縦**または**横**オプションを選択し、印刷物の向きを設定します。

   お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。
9. **部数**欄に、印刷したい部数（1～999 部）を入力します。
10. 複数ページの内容を 1 枚に印刷したいとき、または 1 ページの内容を複数枚にわたって印刷したいときは、**レイアウト** のリストからお好みの設定を選択します。
11. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
12. **OK** をクリックします。
13. 印刷操作を完了します。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- インク残量を確認する
- 印刷設定（Windows）

印刷ジョブをキャンセルする（Windows）

印刷キュー（印刷待ちジョブリスト）に送られた印刷ジョブを印刷しなかったり、印刷キューへの送信時にエラーが発生した場合、他の印刷ジョブを印刷するために、印刷されていないジョブを削除する必要があります。

1. タスクトレイのプリンターアイコンをダブルクリックします。
2. キャンセルする印刷ジョブを選択します。
3. **ドキュメント**メニューをクリックします。
4. **キャンセル**を選択します。
5. **はい**をクリックします。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 本製品の状態をパソコンで確認する（Windows）

1 枚の用紙に複数ページを印刷する（N in 1）（Windows）

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **基本設定**タブをクリックします。
4. **印刷の向き**欄で**縦**または**横**オプションを選択し、印刷物の向きを設定します。

   お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。
5. **レイアウト**のリストから **2 ページ**、**4 ページ**、**9 ページ**、または **16 ページ**を選択します。
6. **ページの順序**のリストからページの順序を選択します。
7. **仕切り線**のリストから仕切り線のタイプを選択します。
8. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
9. **OK** をクリックし、印刷操作を完了します。

関連情報

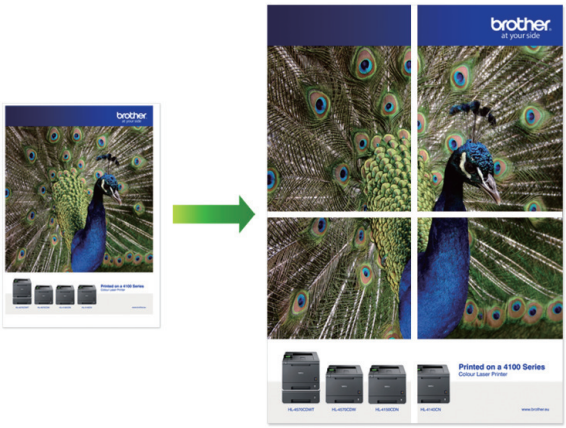
- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 印刷設定（Windows）

ポスターとして印刷する（Windows）

印刷サイズを拡大してポスターモードで文書や画像を印刷します。



1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **基本設定**タブをクリックします。
4. **レイアウト**のリストから**縦 2 x 横 2 倍**または**縦 3 x 横 3 倍**を選択します。
5. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
6. **OK** をクリックします。
7. 印刷操作を完了します。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 印刷設定（Windows）

自動で用紙の両面に印刷する（自動両面印刷）（Windows）

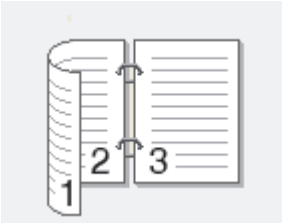
- 紙詰まり解除カバーが閉まっていることを確認します。
- 用紙がカールしている場合は、真っ直ぐに伸ばしてから用紙トレイに戻します。
- 普通紙を使用します。ボンド紙は使用しないでください。
- 用紙が薄いと、しわになることがあります。

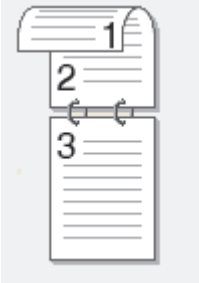
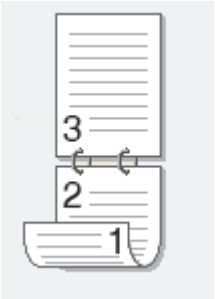
1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

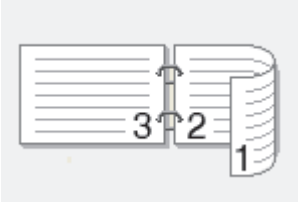
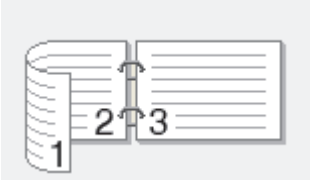
   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **基本設定**タブをクリックします。
4. **印刷の向き**欄で**縦**または**横**オプションを選択し、印刷物の向きを設定します。

   お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。
5. **両面印刷/小冊子印刷**ドロップダウンリストをクリックし、**両面印刷**を選択します。
6. **両面印刷設定**ボタンをクリックします。
7. **とじ方**メニューからオプションのいずれかを選択します。

   両面が選択された場合、それぞれの向きで、4 種類の両面印刷の綴じ方から選択できます。

縦向き	詳細
長辺とじ (左)	
長辺とじ (右)	

縦向き	詳細
短辺とじ (上)	
短辺とじ (下)	

横向き	詳細
長辺とじ (上)	
長辺とじ (下)	
短辺とじ (右)	
短辺とじ (左)	

8. 綴じるための余白をインチまたはミリメートルで指定したいときは、**とじしろ**チェックボックスを選択します。
9. **OK** をクリックして、プリンタードライバー画面に戻ります。
10. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。

この機能を使用する場合、**用紙種類**で**普通紙**、かつ、**用紙サイズ**で**ハガキ**を選んだとき以外は、ふちなし印刷は利用できません。

11. **OK** を再度クリックし、印刷操作を完了します。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 印刷設定（Windows）
- 自動で小冊子として印刷する（Windows）

自動で小冊子として印刷する（Windows）

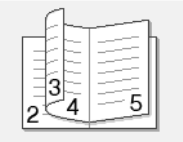
印刷された用紙を中央で折り曲げると、ページ番号順に正しく並ぶように印刷されます。印刷した後にページ順を入れ替える手間がかかりません。

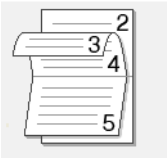
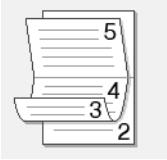
- 紙詰まり解除カバーが閉まっていることを確認します。
- 用紙がカールしている場合は、真っ直ぐに伸ばしてから用紙トレイに戻します。
- 普通紙を使用します。ボンド紙は使用しないでください。
- 用紙が薄いと、しわになることがあります。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **基本設定**タブをクリックします。
4. **印刷の向き**欄で**縦**または**横**オプションを選択し、印刷物の向きを設定します。

お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。

5. **両面印刷/小冊子印刷**ドロップダウンリストをクリックして、**小冊子印刷**を選択します。
6. **両面印刷設定**ボタンをクリックします。
7. **とじ方**メニューからオプションのいずれかを選択します。
   各方向に対して、両面印刷用に 2 種類の綴じ方向があります。

縦向き	詳細
左とじ	
右とじ	

横向き	詳細
上とじ	
下とじ	

8. **小冊子印刷方法**メニューからオプションのいずれかを選択します。

オプション	詳細
全ページをまとめて印刷	各ページが小冊子形式（1 枚に 4 ページ、片面に 2 ページ）で印刷されます。印刷物を中央で折って小冊子を作ります。
複数ページに分けて印刷	このオプションを使用すると、小冊子全体を少数ページの複数の冊子に分けて印刷し、印刷されたページの順序を変えずに各小冊子の中央で折ることができます。各小冊子の枚数を指定できます（1～15 枚）。このオプションは、印刷ページ数が多い小冊子を折る場合に便利です。

9. 綴じるための余白をインチまたはミリメートルで指定したいときは、**とじしろ**チェックボックスを選択します。
10. **OK** をクリックして、プリンタードライバー画面に戻ります。
11. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。

この機能を使用する場合、ふちなし印刷は利用できません。

12. **OK** をクリックします。
13. 印刷操作を完了します。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 印刷設定（Windows）
- 自動で用紙の両面に印刷する（自動両面印刷）（Windows）

セキュリティ印刷（Windows）

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

セキュリティ印刷を使用して、本製品の操作パネルでパスワードを入力するまで機密文書や取り扱い注意の文書が印刷されないようにします。

本製品の電源を切ると、セキュリティデータは本製品から削除されます。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能**タブをクリックします。
4. **セキュリティ印刷**欄の**設定**ボタンをクリックします。
5. **セキュリティ印刷**チェックボックスを選択します。
6. **パスワード**欄で 4 桁のパスワードを入力します。
7. 必要に応じて **ユーザー名**および **印刷ジョブ名**をテキスト欄に入力します。
8. **OK** をクリックし、 **セキュリティ印刷設定**画面を閉じます。
9. **OK** をクリックします。
10. 印刷操作を完了します。
11. 本製品の操作パネルで、◀または▶を押して［セキュリティ印刷］を表示し、［セキュリティ印刷］を押します。
12. ▲または▼を押して、ユーザー名を表示し、お使いのユーザー名を押します。
13. 4 桁のパスワードを入力し、［OK］を押します。
14. ▲または▼を押して印刷ジョブを表示し、表示した印刷ジョブを押します。
15. 枚数を入力します。
16. ［スタート］を押します。
    データが印刷されます。

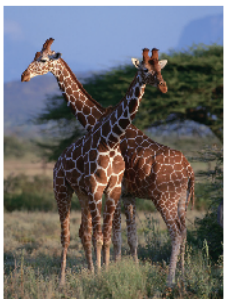
セキュリティデータは印刷後、本製品のメモリーから削除されます。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

カラー文書をモノクロで印刷する（Windows）

モノクロモードは、カラーモードより、印刷速度が速くなります。文書にカラーが含まれている場合にモノクロモードを選択すると、256 階調のグレースケールで印刷します。



1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **基本設定**タブをクリックします。
4. **カラー/モノクロ**設定で、**モノクロ**を選択します。
5. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
6. **OK** をクリックします。
7. 印刷操作を完了します。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

長尺用紙に印刷する（Windows）

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. 多目的トレイに長尺用紙（210 x 900 mm、297 x 900 mm、または 297 x 1200 mm など）が **1 枚**だけセットされていることを確認してください。
4. **基本設定**タブをクリックします。
5. **用紙種類** のリストからお使いになる用紙の種類を選択します。

   重要

   印刷品質保持のため、ご使用の**用紙種類**を毎回正しく設定してください。

6. **用紙サイズ**のリストをクリックし、**ユーザー定義...**を選択します。幅、高さ、およびその他の情報を**ユーザー定義サイズ**に入力し、**OK** をクリックします。

   リストから **210 x 900 mm**、**297 x 900 mm**、または **297 x 1200 mm** を選択することもできます。

7. **カラー/モノクロ**で、**カラー**または**モノクロ**オプションを選択します。
8. **印刷の向き**欄で、**縦**オプションを選択します。

   お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。

9. **部数**欄に、印刷したい部数（1～999 部）を入力します。
10. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
11. **OK** をクリックします。
12. 印刷操作を完了します。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 多目的トレイに長尺用紙をセットする

にじみや紙詰まりを防ぐ（Windows）

印刷する用紙の種類によっては、乾燥時間を長めにとる必要があります。にじみや紙詰まり等の問題が起きる場合は、**用紙汚れの低減**オプションを変更します。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能**タブをクリックします。
4. **その他特殊機能**ボタンをクリックします。
5. 画面左側の**用紙汚れの低減**オプションを選択します。
6. 以下のオプションからいずれかを選択します。

用紙種類	オプション		詳細
普通紙/ハガキ	**自動両面印刷**または**片面印刷**	**オフ/ オン**	通常の速度、通常のインク量で印刷するには、**オフ**を選択します。 遅めの速度、少なめのインク量で印刷するには、**オン**を選択します。印刷物は、印刷プレビューに表示されるよりも薄い場合があります。
光沢紙	**オフ/ オン**		通常の速度、通常のインク量で印刷するには、**オフ**を選択します。 遅めの速度、少なめのインク量で印刷するには、**オン**を選択します。印刷物は、印刷プレビューに表示されるよりも薄い場合があります。

7. **OK** をクリックして、プリンタードライバー画面に戻ります。
8. **OK** をクリックします。
9. 印刷操作を完了します。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- 印刷設定オプションを変更して印刷結果を改善する

おまかせ印刷設定を使用する（Windows）

あらかじめよく使用する印刷設定が**おまかせ設定**として登録されています。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **おまかせ設定**タブをクリックします。

4. 印刷設定一覧から項目を選択します。

   設定内容は、プリンタードライバー画面の左側に表示されます。
5. 以下のいずれかを行ってください：
   - 選択した設定が印刷したい設定になっていれば、**OK** をクリックします。
   - 設定を変更するには、**基本設定**または**拡張機能**タブまで戻り、設定を変更して **OK** をクリックします。

次回印刷するときに**おまかせ設定**タブをウィンドウの前面に表示させるには、**おまかせ設定タブを常に最初に表示する**のチェックボックスにチェックを入れます。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

- おまかせ印刷設定を作成または削除する（Windows）

関連トピック：

- 印刷設定（Windows）

おまかせ印刷設定を作成または削除する（Windows）

カスタマイズした新しいおまかせ印刷の設定を最大 20 個まで追加できます。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. 以下のいずれかを行ってください：

   新しくおまかせ印刷の設定を追加する：

   a. **基本設定**タブおよび**拡張機能**タブをクリックし、新しいおまかせ設定として登録したい内容にカスタマイズします。

   b. **おまかせ設定**タブをクリックします。

   c. **おまかせ設定を登録** をクリックします。

   おまかせ設定を登録ダイアログボックスが表示されます。

   d. **名称**に新しいおまかせ印刷設定の名称を入力します。

   e. このおまかせ印刷設定に使うアイコンを、アイコン一覧から選んでクリックします。

   f. **OK** をクリックします。

   新しいおまかせ印刷設定の名称が**おまかせ設定**タブの一覧に追加されます。

   作成したおまかせ印刷設定を削除する：

   a. **おまかせ設定**タブをクリックします。

   b. **おまかせ設定を削除** をクリックします。

   おまかせ設定を削除ダイアログボックスが表示されます。

   c. 削除したい設定を選択します。

   d. **削除** をクリックします。

   e. **はい** をクリックします。

   f. **閉じる** をクリックします。

関連情報

- おまかせ印刷設定を使用する（Windows）

初期値の印刷設定を変更する（Windows）

アプリケーションの印刷設定を変更した場合、その変更はそのアプリケーションで印刷される文書にのみ適用されます。すべての Windows アプリケーションの印刷設定を変更するには、プリンタードライバーのプロパティを設定する必要があります。

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows Server 2008 の場合：

     (スタート) > **コントロール パネル** > **ハードウェアとサウンド** > **プリンタ**をクリックします。
   - Windows 7 および Windows Server 2008 R2 の場合：

     (スタート) > **デバイスとプリンター**をクリックします。
   - Windows 8.1 の場合

     マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックして、**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
   - Windows 10、Windows Server 2016、および Windows Server 2019 の場合

     > **Windows システム ツール** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
   - Windows Server 2012 の場合：

     マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックして、**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
   - Windows Server 2012 R2 の場合

     スタート画面で**コントロールパネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
2. **Brother XXX-XXXX Printer**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を右クリックして、**プリンターのプロパティ**を選択します。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。

   プリンターのプロパティのダイアログボックスが表示されます。
3. **全般**タブをクリックし、**印刷の基本設定**または**基本設定**ボタンをクリックします。

   プリンタードライバーのダイアログボックスが表示されます。
4. すべての Windows プログラムでデフォルトとして使いたい印刷設定を選択します。
5. **OK** をクリックします。
6. プリンタープロパティダイアログボックスを閉じます。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

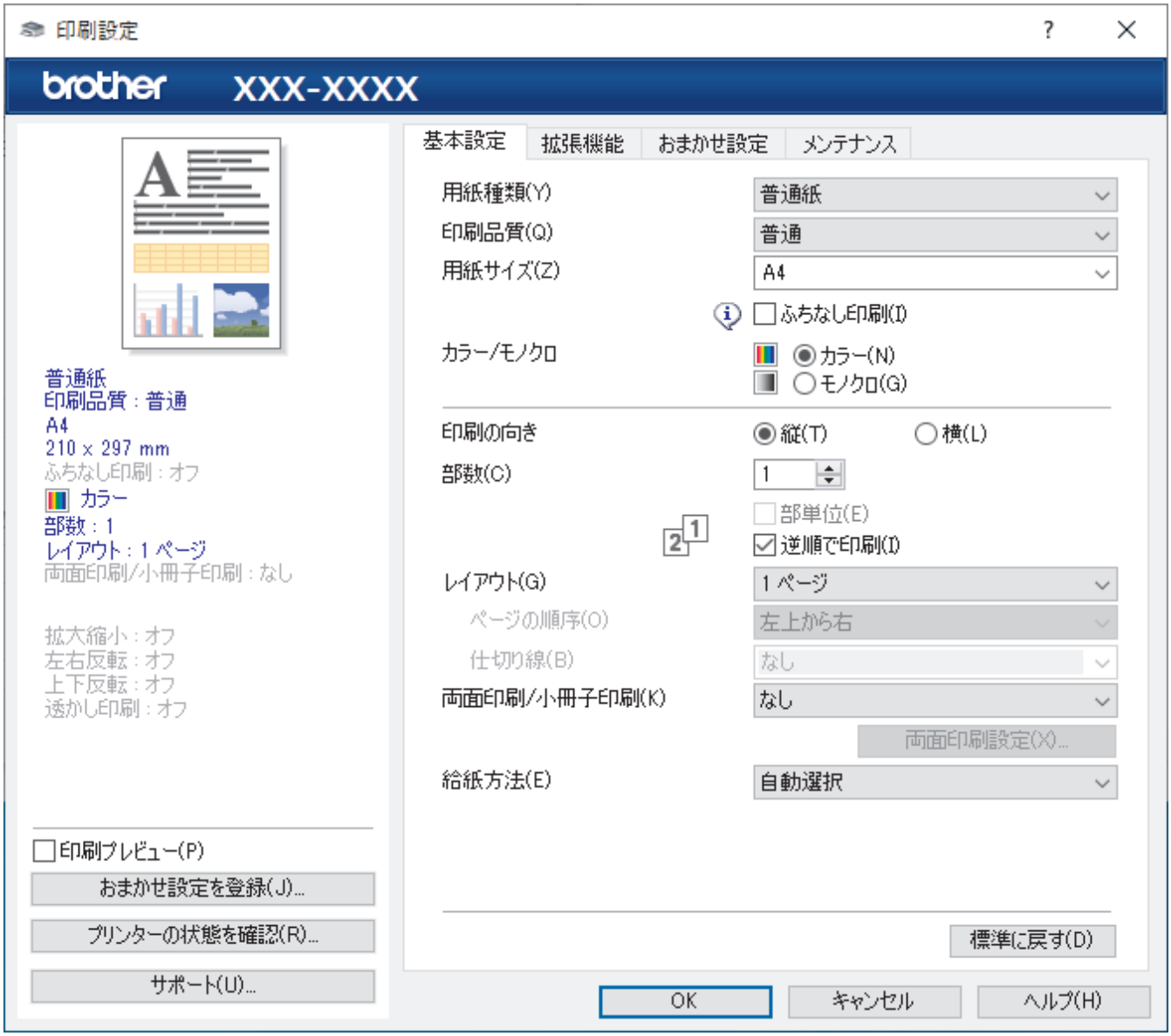
関連トピック：

- 印刷設定（Windows）

印刷設定（Windows）

>> 基本設定タブ
>> 拡張機能タブ

基本設定タブ



1. **用紙種類**

   使用する用紙の種類を選択します。印刷品質保持のため、選択された用紙の種類に合った印刷設定を本製品が自動的に設定します。

2. **印刷品質**

   印刷の品質を選択します。印刷品質と印刷速度には相互関係があるため、品質が高いほど印刷速度は遅くなります。

3. **用紙サイズ**

   使用する用紙サイズを選択します。標準の用紙サイズから選択するか、カスタム用紙サイズを作成するか選択します。

   ふちなし印刷

   写真をふちなし印刷する場合に選択します。使用している用紙サイズよりも若干大きいサイズで画像データが作成されているため、写真の端は少し切り取られます。

用紙種類と印刷品質との組み合わせやアプリケーションによっては、ふちなし印刷を選択できない場合があります。

4. **カラー/モノクロ**

   カラーまたはモノクロ印刷を選択します。カラーモードよりもモノクロモードの方が印刷速度が速くなります。原稿にカラーが含まれる場合にモノクロモードを選択すると、256 階調のグレースケールで印刷されます。

5. **印刷の向き**

   印刷の向き（縦または横）を選択します。

   お使いのアプリケーションに同様の設定がある場合、アプリケーションを使用して印刷の向きを設定することをお勧めします。

6. **部数**

   印刷する部数（1～999）を入力します。

   部単位

   複数ページの文書を元のページの順序に合わせて印刷する場合に、選択します。選択した場合は、文書一式を一部印刷し、設定した部数に応じて残りの部数分だけ同様に印刷が繰り返されます。選択しない場合は、各ページが設定された部数だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。

   逆順で印刷

   原稿を逆の順序で印刷する場合に選択します。原稿の最後のページが最初に印刷されます。

7. **レイアウト**

   複数ページの内容を 1 枚に印刷したいとき、または 1 ページの内容を複数枚にわたって印刷したいときに選択します。

   ページの順序

   複数ページの内容を 1 枚に印刷するときのページの順序を選択します。

   仕切り線

   複数ページの内容を 1 枚に印刷するときの仕切り線の種類を選択します。

8. **両面印刷/小冊子印刷**

   両面印刷または小冊子印刷をする場合に選択します。

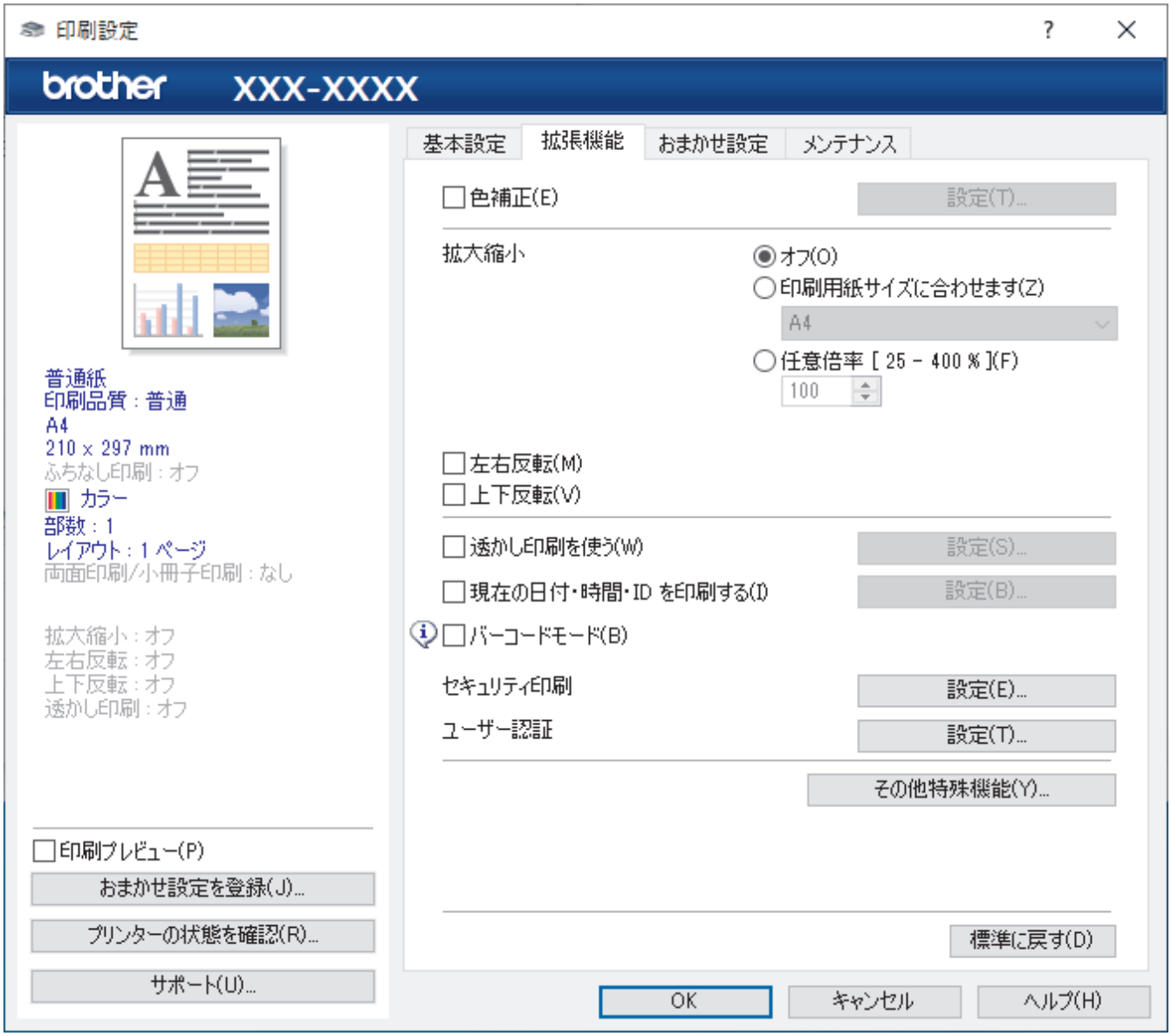
   両面印刷設定ボタン

   綴じ方を選択するときにこのボタンを押します。それぞれの向きごとに 4 タイプの綴じ方があります。

9. **給紙方法**

   印刷条件や目的に合った給紙方法を選択します。

拡張機能タブ



1. **色補正**

   色補正機能を使用する場合は、この設定を選択します。この機能は、画像を分析し、鮮明さ、ホワイトバランス、および色の濃さを改善します。画像サイズとお使いのパソコンの仕様によっては、この処理には数分かかる場合があります。

2. **拡大縮小**

   印刷したい文書の内容を拡大、または縮小するときに選択します。

   印刷用紙サイズに合わせます

   印刷に使用する用紙サイズに合わせて文書のサイズを拡大、縮小するときに選択します。選択した場合は、ドロップダウンリストから用紙サイズを選択します。

   任意倍率 [25 - 400 %]

   文書のページを手動で拡大または縮小する場合は、このオプションを選択します。このオプションを選択した場合は、入力欄に値を入力します。

3. **左右反転**

   左右を水平方向に反転して印刷できます。

4. **上下反転**

   上下を 180 度回転して印刷できます。

5. **透かし印刷を使う**

   ロゴや文字を透かしとして文書に印刷するときに選択します。あらかじめ設定されている透かしから 1 つを選択するか、新しい透かしを追加するか、または自分で作成した画像ファイルを使用します。

6. **現在の日付・時間・ID を印刷する**

   日時およびログインユーザー名を文書に印刷する場合に選択します。

7. **バーコードモード**

   バーコードを最適な品質と解像度で印刷するには、このオプションを選択します。

8. **（MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）セキュリティ印刷**

   この機能は、本製品の操作パネルでパスワードを入力するまで機密文書や取り扱い注意の文書が印刷されないようにします。

9. **ユーザー認証**

   この機能を使用すると、各ユーザーに対する制限を確認できます。

10. **その他特殊機能ボタン**

    カラー詳細設定

    ハーフトーンを表現する点を配列するための方法を選択します。

    印刷物の色を調整して、パソコン画面に表示されるものに近づけることができます。

    用紙汚れの低減

    印刷する用紙の種類によっては、乾燥時間を長めにとる必要があります。印刷物に汚れがある場合や紙詰まりが発生する場合は、このオプションを変更します。

    本体情報の取得

    本製品用に設定されたお買い上げ時の設定を使用して印刷品質を最適化する場合は、このオプションを選択します。本製品を交換したり、本製品のネットワークアドレスを変更した場合は、このオプションを使用します。

    プリント アーカイブ

    印刷データを PDF 形式でパソコンに保存するときに選択します。

    罫線ずれの低減

    印刷されたテキストがぼやけていたり、画像がかすれている場合は、印刷位置を調整するためこのオプションを選択します。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- 写真を印刷する（Windows）
- 文書を印刷する（Windows）
- 1 枚の用紙に複数ページを印刷する（N in 1）（Windows）
- ポスターとして印刷する（Windows）
- 自動で用紙の両面に印刷する（自動両面印刷）（Windows）
- 自動で小冊子として印刷する（Windows）
- おまかせ印刷設定を使用する（Windows）
- 初期値の印刷設定を変更する（Windows）
- 印刷設定オプションを変更して印刷結果を改善する

パソコンから印刷する（Mac）

- AirPrint を使用して印刷を行う（macOS）

Brother iPrint&Scan を使用して印刷する（Windows/Mac）

- Brother iPrint&Scan を使用して写真または文書を印刷する（Windows/Mac）
- Brother iPrint&Scan を使用して自動で用紙の両面に印刷する（自動両面印刷）（Windows/Mac）
- Brother iPrint&Scan を使用して 1 枚の用紙に複数ページを印刷する（N in 1）（Windows/Mac）
- Brother iPrint&Scan を使用してカラー文書をモノクロで印刷する（Windows/Mac）

Brother iPrint&Scan を使用して写真または文書を印刷する（Windows/Mac）

1. 用紙トレイに正しい用紙をセットしているか確認します。

重要

写真印刷の場合：
- 印刷品質維持のため、弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。
- 写真用紙に印刷するときは、実際に印刷したい枚数より 1 枚多く用紙トレイにセットしてください。

2. Brother iPrint&Scan を起動します。
   - Windows

     （**Brother iPrint&Scan**）を起動します。
   - Mac

     Finder メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

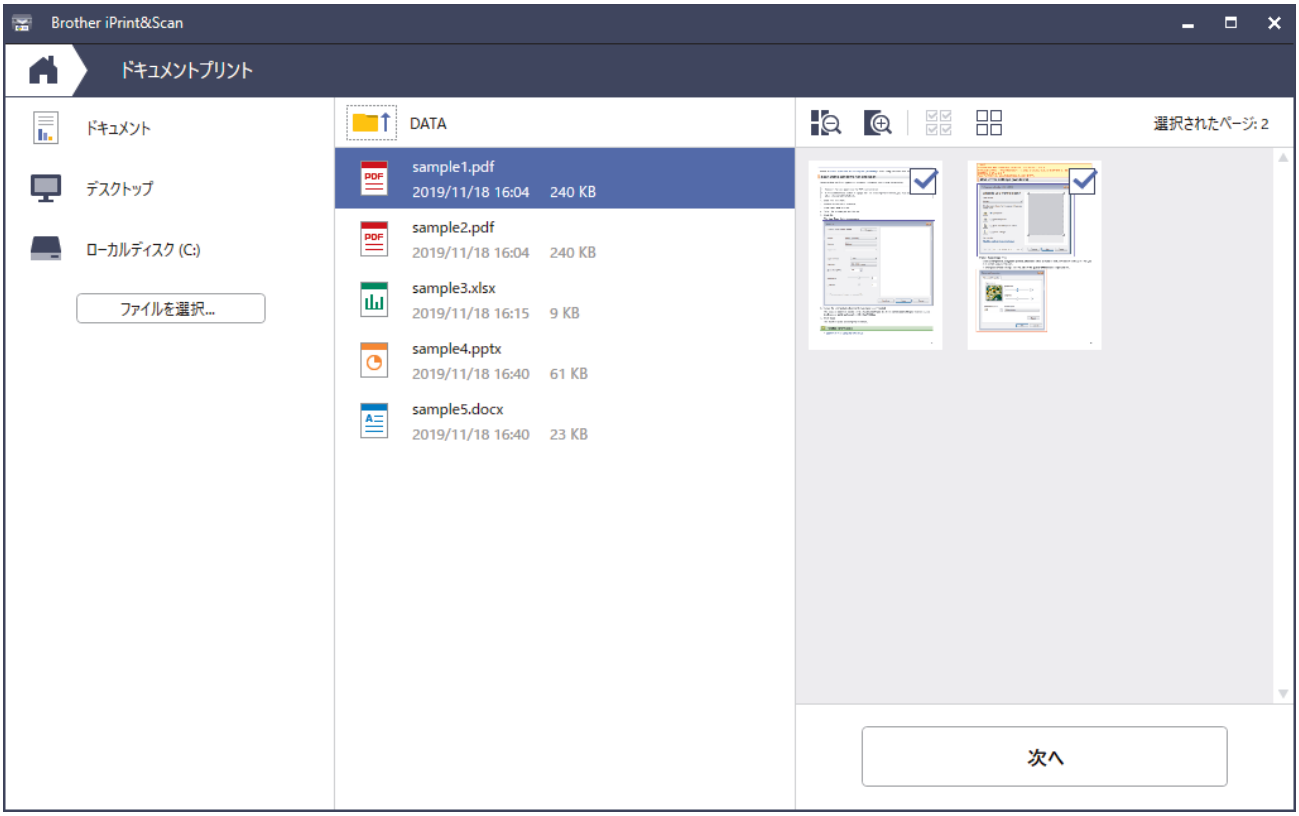
   Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。
3. 本製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧から本製品のモデル名を選択します。**OK** をクリックします。
4. **プリント**をクリックします。
5. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows

     写真または**ドキュメント**をクリックします。
   - Mac

     写真または **PDF** をクリックします。
6. 印刷するファイルを選択し、次のいずれかの操作を実行します。
   - Windows

     次へ をクリックします。
   - Mac

     開くをクリックし、指示が表示された場合は**次へ**をクリックします。



- アプリケーションのバージョンによって、実際の画面と異なることがあります。
- 最新のアプリケーションを使用してください。「関連情報」をご覧ください。
- ページ数が多い文書を印刷する場合、印刷するページを選択することもできます。

7. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
8. **プリント**をクリックします。

重要

写真印刷の場合：
印刷品質保持のため、ご使用の**用紙種類**を毎回正しく設定してください。

関連情報

- Brother iPrint&Scan を使用して印刷する（Windows/Mac）

関連トピック：

- Brother iPrint&Scan へのアクセス（Windows/Mac）

Brother iPrint&Scan を使用して自動で用紙の両面に印刷する（自動両面印刷）（Windows/Mac）

- 紙詰まり解除カバーが閉まっていることを確認します。
- 用紙がカールしている場合は、真っ直ぐに伸ばしてから用紙トレイに戻します。
- 普通紙を使用します。ボンド紙は使用しないでください。
- 用紙が薄いと、しわになることがあります。

1. Brother iPrint&Scan を起動します。
   - Windows

     （**Brother iPrint&Scan**）を起動します。
   - Mac

     Finder メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

   Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。
2. 本製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧から本製品のモデル名を選択します。**OK** をクリックします。
3. **プリント**をクリックします。
4. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows

     ドキュメント をクリックします。
   - Mac

     PDF をクリックします。
5. 印刷するファイルを選択し、次のいずれかの操作を実行します。
   - Windows

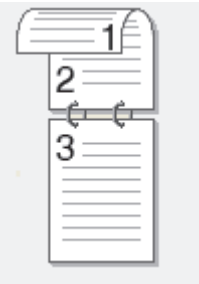
     次へ をクリックします。
   - Mac

     開くをクリックし、指示が表示された場合は**次へ**をクリックします。

ページ数が多い文書を印刷する場合、印刷するページを選択することもできます。

6. **両面印刷**ドロップダウンリストから、いずれかのオプションを選択します。

   両面印刷の綴じ方は 2 種類あります。

オプション	詳細
オン (長辺とじ)	
オン (短辺とじ)	

7. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
8. **プリント**をクリックします。

関連情報

- Brother iPrint&Scan を使用して印刷する（Windows/Mac）

Brother iPrint&Scan を使用して 1 枚の用紙に複数ページを印刷する（N in 1）（Windows/Mac）

1. （**Brother iPrint&Scan**）を起動します。

   Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。
2. 本製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧から本製品のモデル名を選択します。**OK** をクリックします。
3. **プリント**をクリックします。
4. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows

     ドキュメント をクリックします。
   - Mac

     PDF をクリックします。
5. 印刷するファイルを選択し、次のいずれかの操作を実行します。
   - Windows

     次へ をクリックします。
   - Mac

     開くをクリックし、指示が表示された場合は**次へ**をクリックします。

ページ数が多い文書を印刷する場合、印刷するページを選択することもできます。

6. **レイアウト**ドロップダウンリストをクリックして、各シートに印刷するページ数を選択します。
7. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
8. **プリント**をクリックします。

関連情報

- Brother iPrint&Scan を使用して印刷する（Windows/Mac）

Brother iPrint&Scan を使用してカラー文書をモノクロで印刷する（Windows/Mac）

モノクロモードは、カラーモードより、印刷速度が速くなります。文書にカラーが含まれている場合にモノクロモードを選択すると、256 階調のグレースケールで印刷します。

1. Brother iPrint&Scan を起動します。
   - Windows

     （**Brother iPrint&Scan**）を起動します。
   - Mac

     Finder メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

   Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。
2. 本製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧から本製品のモデル名を選択します。**OK** をクリックします。
3. **プリント**をクリックします。
4. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows

     写真または**ドキュメント**をクリックします。
   - Mac

     写真または **PDF** をクリックします。
5. 印刷するファイルを選択し、次のいずれかの操作を実行します。
   - Windows

     次へ をクリックします。
   - Mac

     開くをクリックし、指示が表示された場合は**次へ**をクリックします。

ページ数が多い文書を印刷する場合、印刷するページを選択することもできます。

6. **カラー/モノクロ**ドロップダウンリストをクリックして、**モノクロ**を選択します。
7. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
8. **プリント**をクリックします。

関連情報

- Brother iPrint&Scan を使用して印刷する（Windows/Mac）

USB フラッシュメモリーから直接印刷する

- 互換性のある USB フラッシュメモリー
- USB フラッシュメモリーから写真を直接プリントする
- USB フラッシュメモリー内の PDF ファイルを直接プリントする

互換性のある USB フラッシュメモリー

本ブラザー製品は、一般的なデータ記憶装置用のメディアドライブ（スロット）を備えています。

重要

USB 差し込み口は、USB フラッシュメモリーおよび USB マスストレージ規格に準拠した USB 機器にのみ対応しています。他の USB 機器には対応していません。

互換性のあるメディア	
USB フラッシュメモリー	

互換性のある USB フラッシュメモリー	
USB クラス	USB マスストレージクラス
USB マスストレージサブクラス	SCSI または SFF-8070i
転送プロトコル	一括転送のみ
形式 [1]	FAT12/FAT16/FAT32/exFAT
セクターサイズ	最大 4096 バイト
暗号化	暗号化された機器はサポートされていません。

[1] NTFS 形式はサポートされていません。

関連情報

- USB フラッシュメモリーから直接印刷する
- スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーに保存する

USB フラッシュメモリーから写真を直接プリントする

本製品がお使いのパソコンに接続していない場合でも、USB フラッシュメモリーから直接写真をプリントできます。

- 写真プリントに関する注意
- USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする

写真プリントに関する注意

お使いの製品は、一般的なデジタルカメラ画像や USB フラッシュメモリーに対応しています。写真印刷の問題を回避するために、以下の注意点をよくお読みください：

- .JPG 以外の拡張子の画像はご使用いただけません（.JPEG、.TIF、.GIF など他の拡張子の画像は認識されません）。
- ダイレクトプリントとパソコンを使用した写真プリント操作は別々に行ってください。（同時に操作することはできません。）
- USB フラッシュメモリー内にある最大 999 ファイル[1] まで読み込み可能です。

下記の点にご注意ください：

- インデックスシートや画像の印刷時に、破損している画像があると、有効な画像のみが印刷されます。破損している画像は印刷されません。
- 本製品では、Windows によってフォーマットされた USB フラッシュメモリーをお使いいただけます。

関連情報

- USB フラッシュメモリーから写真を直接プリントする

1 USB フラッシュメモリー内のフォルダも 1 ファイルとして数えられます。

USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする

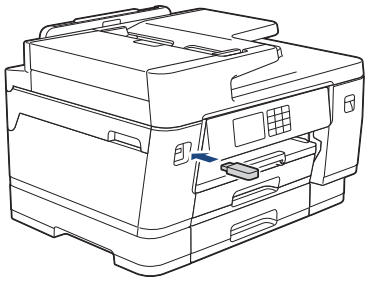
- USB フラッシュメモリー内の写真を見る／プリントする
- USB フラッシュメモリーから写真のインデックスシート（サムネイル）をプリントする
- 写真の番号を指定してプリントする
- 画像トリミングして印刷する
- USB フラッシュメモリーからふちなし印刷を行う
- 写真データの日付を印刷する
- 写真プリント設定

USB フラッシュメモリー内の写真を見る／プリントする

印刷する前に画面で写真を閲覧したり、USB フラッシュメモリーに保存されている画像を印刷したりできます。

- 写真のサイズが大きいときは、各写真が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

1. USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込みます。



2. [JPEG プリント] > [画像選択] を押します。
3. ◀または▶を押して印刷したい写真を表示し、選択します。

全ての写真を印刷するには、[全選択] を押し、[はい] を押して確定します。

4. 以下のいずれかの方法で部数を入力します：
   - 画面の [-] または [+] を押します。
   - ×01 を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK] を押します。
   - ダイヤルパッドを使用して部数を入力します。
5. [OK] を押します。
6. 印刷したいすべての写真を選択するまで直前の 3 手順を繰り返します。
7. [OK] を押します。
8. オプションの一覧が表示されるので確認します。
9. 印刷設定を変更するには、[印刷設定] を押します。

   完了したら、[OK] を押します。
10. [スタート] を押します。

関連情報

- USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする

関連トピック：

- 写真プリント設定

USB フラッシュメモリーから写真のインデックスシート（サムネイル）をプリントする

インデックスシートをプリントして USB フラッシュメモリーにある全ての写真の縮小プレビューを確認します。

- 画像に番号が割り振られます（No.1、No.2、No.3、など）。
  お使いのデジカメやパソコンが写真を識別するために付与した番号やファイル名は、本製品は認識しません。
- 20 文字以下のファイル名のみ正しくインデックスシートに印刷されます。

1. USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込みます。
2. ［JPEG プリント］> ［インデックス］> ［インデックスシート］を押します。
3. 印刷設定を変更するには、［印刷設定］を押します。
   完了したら、［OK］を押します。

オプション	詳細
［用紙タイプ］	用紙の種類を選択します。

4. ［スタート］を押します。

関連情報

- USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする

関連トピック：

- 写真の番号を指定してプリントする

写真の番号を指定してプリントする

画像自体をプリントする前に、インデックスシート（サムネイル）を印刷して写真の番号を確認してください。

1. USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込みます。
2. [JPEG プリント] > [インデックス] > [番号指定プリント] を押します。
3. インデックスシートを参照して、プリントしたい写真の番号を入力します。写真の番号を選択したら、[OK] を押します。

- 一度に複数の番号を入力する場合はカンマまたはハイフンを使用します。例えば、No.1、No.3 と No.6 をプリントするには **1, 3, 6** と入力します。番号の範囲を指定してプリントする場合はハイフンを使います。例えば、No.1 から No.5 までの写真をプリントする場合は **1-5** と入力します。
- プリントしたい写真の番号を指定するのに、最大 12 文字（カンマやハイフンを含む）まで入力できます。

4. 以下のいずれかの方法で部数を入力します：
   - 画面の [-] または [+] を押します。
   - ×01 を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK] を押します。
   - ダイヤルパッドを使用して部数を入力します。
5. 印刷設定を変更するには、[印刷設定] を押します。

   完了したら、[OK] を押します。
6. [スタート] を押します。

関連情報

- USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする

関連トピック：

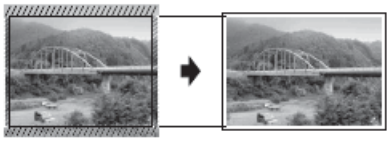
- USB フラッシュメモリーから写真のインデックスシート（サムネイル）をプリントする
- 写真プリント設定

画像トリミングして印刷する

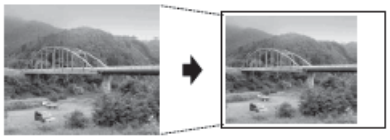
写真の縦幅や横幅が印刷範囲に収まらない場合、画像の一部を切り取ります。

- お買い上げ時の設定はオンです。画像全体を印刷するには、この設定をオフに変更します。
- [画像トリミング]の設定をオフにした場合、[ふちなし印刷]の設定もオフにしてください。

画像トリミング：する



画像トリミング：しない



1. USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込みます。
2. [JPEG プリント] > [画像選択]を押します。
3. ◀または▶を押して、各写真を表示させます。写真が表示されたら、選択してから[OK]を押します。
4. [OK]を押します。
5. [印刷設定] > [画像トリミング]を押します。
6. [する]（または[しない]）を押します。
7. 完了したら、または[OK]を押します。
8. [スタート]を押します。

関連情報

- USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする

関連トピック：

- その他の問題

USB フラッシュメモリーからふちなし印刷を行う

印刷領域いっぱいに印刷します。通常より印刷に時間がかかります。

1. USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込みます。
2. [JPEG プリント] > [画像選択] を押します。
3. ◀ または ▶ を押して、各写真を表示させます。写真が表示されたら、選択してから [OK] を押します。
4. [OK] を押します。
5. [印刷設定] > [ふちなし印刷] を押します。
6. [する]（または [しない]）を押します。
7. 完了したら、 または [OK] を押します。
8. [スタート] を押します。

関連情報

- USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする

関連トピック：

- その他の問題

写真データの日付を印刷する

写真データに含まれている日付を印刷します。右下の角に日付が印刷されます。この設定を使用するには、写真データに日付の情報が含まれている必要があります。

1. USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込みます。
2. [JPEG プリント] > [画像選択] を押します。
3. ◀ または ▶ を押して、各写真を表示させます。写真が表示されたら、選択してから [OK] を押します。
4. [OK] を押します。
5. [印刷設定] > [日付印刷] を押します。
6. [する]（または [しない]）を押します。
7. 完了したら、 または [OK] を押します。
8. [スタート] を押します。

関連情報

- USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする

写真プリント設定

[印刷設定] を押すと、表内の設定が表示されます。

オプション	詳細
[プリント画質]	原稿の種類に応じて、プリント画質を選択します。 [用紙タイプ] 設定で [インクジェット紙] のオプションを選択すると、[きれい] のみ選択できます。
[用紙トレイ選択]	用紙トレイを選択します。
[用紙タイプ]	用紙の種類を選択します。
[用紙サイズ]	用紙サイズを選択します。
[プリントレイアウト]	印刷の配置を選択します。
[明るさ]	明るさを調整します。
[コントラスト]	コントラストを調整します。 コントラストレベルを上げると、画像がよりくっきりし、鮮やかになります。
[画像トリミング]	用紙サイズやプリントサイズに合うように収まらない部分の画像をトリミングします。画像全体を印刷したい場合や、トリミングが不要な場合は、この機能をオフにしてください。
[ふちなし印刷]	印刷領域を印刷用紙いっぱいに広げます。
[日付印刷]	写真に日付を入れて印刷します。
[設定を保持する]	頻繁に使用する印刷設定を、初期値として保存します。
[設定をリセットする]	設定をお買い上げ時の状態に戻します。

関連情報

- USB フラッシュメモリー内の写真を直接プリントする

関連トピック：

- USB フラッシュメモリー内の写真を見る／プリントする
- 写真の番号を指定してプリントする

USB フラッシュメモリー内の PDF ファイルを直接プリントする

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

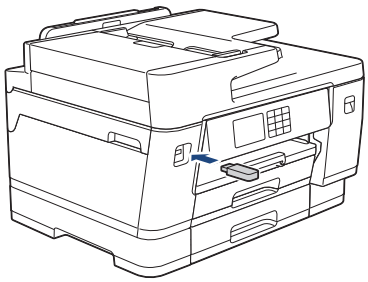
USB フラッシュメモリーから PDF ファイルを直接プリントできます。

2 GB 以上の PDF ファイルはプリントできません。

重要

製品の損傷を防ぐため、USB 差し込み口には USB フラッシュメモリー以外のものは差し込まないでください。

1. USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込みます。



2. [PDF プリント] を押します。

セキュリティ機能ロックがオンになっている場合、ダイレクトプリントを使用できない可能性があります。

3. ▲ または ▼ を押して印刷する PDF ファイルを表示し、そのファイルを押します。
4. 以下のいずれかの方法で部数を入力します：
   - 画面の [-] または [+] を押します。
   - ×001 を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK] を押します。
   - ダイヤルパッドを使用して部数を入力します。
5. オプションの一覧が表示されるので確認します。
6. 印刷設定を変更するには、[印刷設定] を押します。

   完了したら、[OK] を押します。

オプション	詳細
[プリント画質]	原稿の種類に応じて、プリント画質を選択します。
[用紙トレイ選択]	用紙トレイを選択します。
[用紙サイズ]	用紙サイズを選択します。
[レイアウト]	1 枚の用紙に複数ページプリントする場合や、1 ページの文書を複数枚の用紙にプリントする場合はこのオプションを設定します。
[両面印刷]	両面綴じの種類を選択します。
[部単位]	複数ページの文書を順番通りに部単位でプリントする場合はこのオプションをオンに設定します。

オプション	詳細
[PDF オプション]	PDF に付けた注釈とスタンプをプリントする場合はこのオプションを選択します。
[設定を保持する]	頻繁に使用する印刷設定を、初期値として保存します。
[設定をリセットする]	設定をお買い上げ時の状態に戻します。

7. [モノクロ スタート] または [カラー スタート] を押します。

重要

プリントが終わるまで、USB 差し込み口から USB フラッシュメモリーを取り出さないでください。

関連情報

- USB フラッシュメモリーから直接印刷する

E メールの添付ファイルを印刷する

E メールで本製品にファイルを送信して印刷できます。

- 最大 10 個、計 20MB の文書をメールに添付できます。
- この機能は、次の形式に対応しています。
  - 文書ファイル：PDF、TXT、Microsoft Word ファイル、Microsoft Excel ファイル、および Microsoft PowerPoint ファイル
  - 画像ファイル：JPEG、BMP、GIF、PNG、TIFF
- 本製品は E メールの文章と添付ファイルの両方を印刷します。E メールの添付ファイルのみ印刷するには、必要に応じて設定を変更します。

1. ◀ または ▶ を押して [お役立ちツール] を表示します。

   [お役立ちツール] を押します。

   - インターネット接続に関する情報が表示された場合は、内容を確認してから、[OK] を押します。
   - クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、[OK] を押します。

2. ▲ または ▼ を押して [オンライン機能] を表示させ、それを押します。

   - この機能がロックされている場合は、ネットワーク管理者に連絡してアクセスできるように依頼してください。
   - [オンライン機能] に関する情報が表示された場合、その情報をお読みになり、[OK] を押します。

3. [機能をオンにする] を押します。

   画面の指示に従います。オンライン機能が有効になります。

4. ▲ または ▼ を押して [E メールプリント] オプションを表示させて押します。

   [E メールプリント] に関する情報が表示された場合、その情報をお読みになり、[OK] を押します。

5. [機能をオンにする] を押します。

   画面の指示に従います。説明シートが印刷されます。

6. シートに記載されているメールアドレスに E メールを送信します。メールの添付ファイルが印刷されます。

   E メールアドレスやプリンター設定などの設定を変更するには、Web Based Management にアクセスし、左側のナビゲーションメニューの**オンライン機能** > **オンライン機能設定**をクリックしてから、**オンライン機能の設定**ボタンをクリックします。

関連情報

- 印刷

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

スキャン

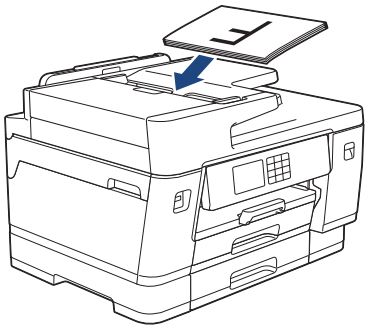
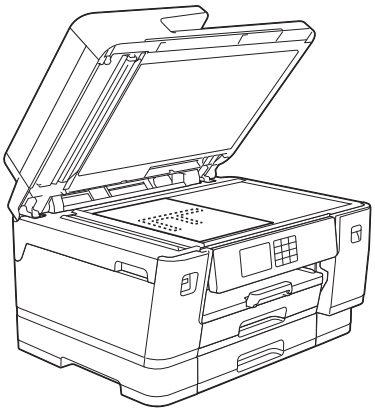
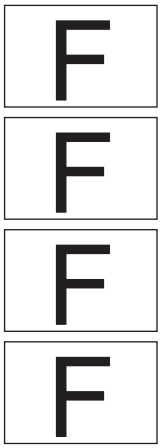
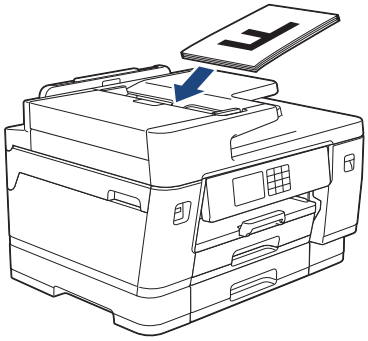
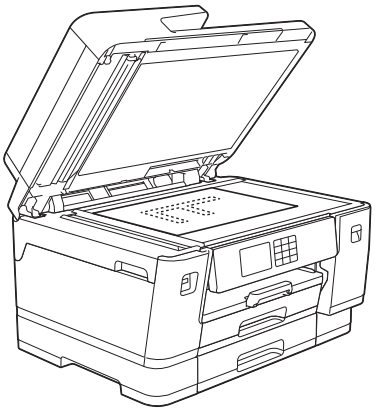
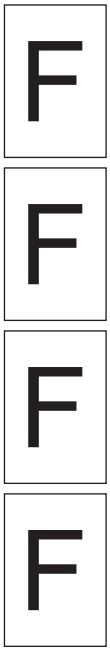
- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする
- Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする（Windows/Mac）
- お使いのパソコンからスキャンする (Windows)
- お使いのパソコンからスキャンする (Mac)
- Web Based Management を使用してスキャン設定を行う

本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

- 複数ページのレターサイズまたは A4 サイズの原稿をスキャンする
- 写真やグラフィックをスキャンする
- スキャンしたデータを PDF ファイルとしてパソコンに保存する
- スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーに保存する
- 複数の名刺および写真をスキャンする（おまかせ一括スキャン）
- 原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする（OCR）
- スキャンしたデータをメールの添付ファイルとして保存する
- スキャンしたデータを E メール受信者に送信する
- スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する
- スキャンしたデータを SSH FTP (SFTP) サーバーに保存する
- スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する（Windows）
- スキャンしたデータを SharePoint サーバーに保存する
- Web サービスを使ってスキャンする（Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10）
- Brother iPrint&Scan を使用してスキャン設定を変更する

複数ページのレターサイズまたは A4 サイズの原稿をスキャンする

複数ページの A4 サイズまたはレターサイズの原稿をスキャンする場合は、縦向きの原稿は短辺を上に配置し、横向きの原稿は長辺を上に配置します。

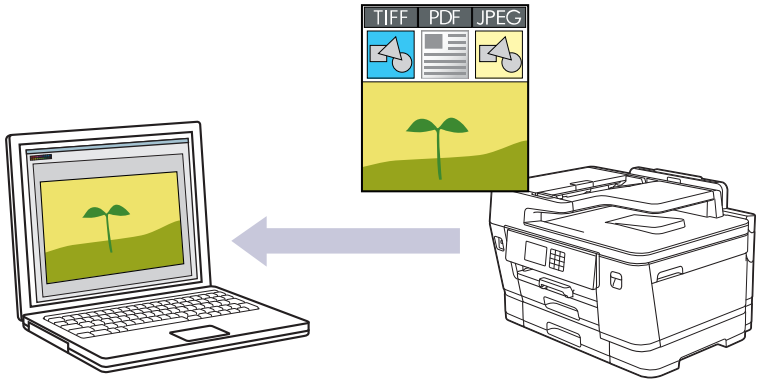
原稿の向き	スキャン結果
長辺から **ADF（自動原稿送り装置）**  **原稿台ガラス** 	
短辺から **ADF（自動原稿送り装置）**  **原稿台ガラス** 	

関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

写真やグラフィックをスキャンする

スキャンした写真やグラフィックを、お使いのパソコンに直接送信します。



本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。変更を保持する場合は、Brother iPrint&Scan を使用します。

1. 原稿をセットします。
2. ［スキャン］> ［PC］> ［イメージ］を押します。
3. 本製品がネットワークに接続されている場合、▲または▼を押して、スキャンしたデータを送信するパソコンを表示させ、該当のパソコン名を選択します。

画面上でパスワードの入力を求められた場合、パソコンで設定している 4 桁のパスワードを入力し、［OK］を押します。

4. 設定を変更するには、［設定変更］を押します。

［設定変更］を使用するには、Brother iPrint&Scan がインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。

5. ［スキャン設定］> ［本体側の設定に従う］を押します。
6. 変更したいスキャン設定を選択して、［OK］を押します。

オプション	詳細
［両面スキャン］ (MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)	両面スキャンモードを選択します。
［カラー設定］	原稿のカラー設定を選択します。
［解像度］	原稿のスキャン解像度を選択します。
［ファイル形式］	原稿のファイル形式を選択します。
［原稿サイズ］	原稿サイズを選択します。
［明るさ］	明るさレベルを選択します。
［コントラスト］	コントラストレベルを選択します。
［傾き補正］	原稿を読み取った時に原稿の傾きを自動的に補正します。
［白紙除去］	オンが選択されていると、スキャンした原稿にある空白ページを除いてデータを保存します。

オプション	詳細
［地色除去］	除去する地色の濃度を変更します。

- 設定値をショートカットとして保存するには、［ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録］を押します。設定を直接スタート機能にするかどうかを尋ねられます。画面の指示に従います。

7. ［スタート］を押します。

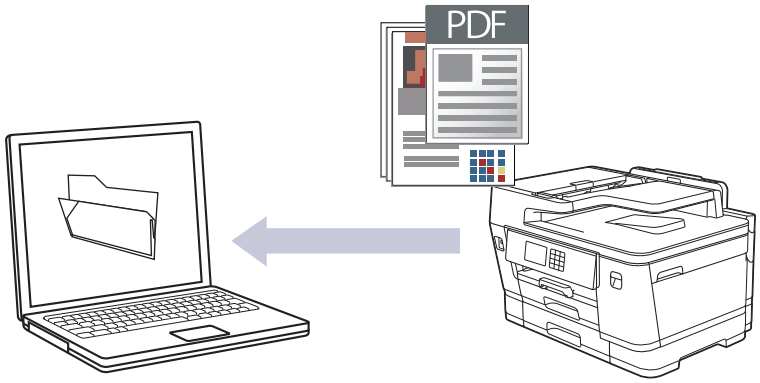
   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

スキャンしたデータを PDF ファイルとしてパソコンに保存する

原稿をスキャンし、お使いのパソコン上に PDF ファイルとして保存します。



本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。変更を保持する場合は、Brother iPrint&Scan を使用します。

1. 原稿をセットします。
2. ［スキャン］> ［PC］> ［ファイル］を押します。
3. 本製品がネットワークに接続されている場合、▲または▼を押して、スキャンしたデータを送信するパソコンを表示させ、該当のパソコン名を選択します。

画面上でパスワードの入力を求められた場合、パソコンで設定している 4 桁のパスワードを入力し、［OK］を押します。

4. 設定を変更するには、［設定変更］を押します。

［設定変更］を使用するには、Brother iPrint&Scan がインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。

5. ［スキャン設定］> ［本体側の設定に従う］を押します。
6. 変更したいスキャン設定を選択して、［OK］を押します。

オプション	詳細
［両面スキャン］ (MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)	両面スキャンモードを選択します。
［カラー設定］	原稿のカラー設定を選択します。
［解像度］	原稿のスキャン解像度を選択します。
［ファイル形式］	原稿のファイル形式を選択します。
［原稿サイズ］	原稿サイズを選択します。
［明るさ］	明るさレベルを選択します。
［コントラスト］	コントラストレベルを選択します。
［傾き補正］	原稿を読み取った時に原稿の傾きを自動的に補正します。
［白紙除去］	オンが選択されていると、スキャンした原稿にある空白ページを除いてデータを保存します。

オプション	詳細
［地色除去］	除去する地色の濃度を変更します。

- 設定値をショートカットとして保存するには、［ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録］を押します。設定を直接スタート機能にするかどうかを尋ねられます。画面の指示に従います。

7. ［スタート］を押します。

   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

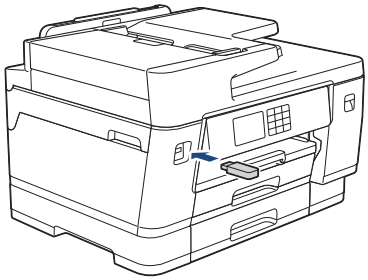
関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーに保存する

パソコンを使わずに、原稿をスキャンして USB フラッシュメモリーに直接保存します。

1. 原稿をセットします。
2. USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込みます。



3. ［スキャン： メディア］を押します。
4. 設定値を変更するには、［設定変更］を押して、次の手順に進みます。

- 変更した設定を初期値とするには、設定値を変更して［設定を保持する］を押し、［はい］を押します。
- お買い上げ時の設定に戻すには、［設定をリセットする］を押し、［はい］を押します。

5. 変更したいスキャン設定を選択して、［OK］を押します。

オプション	詳細
［両面スキャン］ (MFC-J7300CDW/ MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	両面スキャンモードを選択します。
［カラー設定］	原稿のカラー設定を選択します。
［解像度］	原稿のスキャン解像度を選択します。
［ファイル形式］	原稿のファイル形式を選択します。
［原稿サイズ］	原稿サイズを選択します。
［明るさ］	明るさレベルを選択します。
［コントラスト］	コントラストレベルを選択します。
［ファイル名］	ファイル名を変更します。
［ファイル名項目順序］	ファイル名の日付やカウンター番号、その他の項目の表示順を選択します。
［おまかせ一括スキャン］	原稿台ガラスにセットした複数の原稿をスキャンして、USB フラッシュメモリーに保存します。本製品は、各原稿をスキャンし、複数のファイルまたは複数ページを含んだ 1 つのファイルを作成できます。
［傾き補正］	原稿を読み取った時に原稿の傾きを自動的に補正します。
［白紙除去］	オンが選択されていると、スキャンした原稿にある空白ページを除いてデータを保存します。
［白紙除去レベル調整］	スキャンしたデータの空白ページを検出する感度を選択します。感度が高いほど、空白ページが検出されやすくなります。
［地色除去］	除去する地色の濃度を変更します。

オプション	詳細
［エッジ調整］	原稿の余白を調整します。

- 設定値をショートカットとして保存するには、［ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録］を押します。設定を直接スタート機能にするかどうかを尋ねられます。画面の指示に従います。

6. ［スタート］を押します。
7. 原稿台ガラスを使用している場合は、次のページをセットし、［読み取り開始］を押します。スキャンするページがもうない場合は、［読み取り完了］を押します。スキャンが終了したら、本製品から USB フラッシュメモリーを取り外す前に、必ず［読み取り完了］を選択してください。

重要

データの読み込み中は、画面にメッセージが表示されます。データの読み込み中は、電源コードを抜いたり、本製品から USB フラッシュメモリーを取り外したりしないでください。データが失われたり、USB フラッシュメモリーが損傷する恐れがあります。

関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする
  - 互換性のある USB フラッシュメモリー

互換性のある USB フラッシュメモリー

本ブラザー製品は、一般的なデータ記憶装置用のメディアドライブ（スロット）を備えています。

重要

USB 差し込み口は、USB フラッシュメモリーおよび USB マスストレージ規格に準拠した USB 機器にのみ対応しています。他の USB 機器には対応していません。

互換性のあるメディア	
USB フラッシュメモリー	

互換性のある USB フラッシュメモリー	
USB クラス	USB マスストレージクラス
USB マスストレージサブクラス	SCSI または SFF-8070i
転送プロトコル	一括転送のみ
形式 [1]	FAT12/FAT16/FAT32/exFAT
セクターサイズ	最大 4096 バイト
暗号化	暗号化された機器はサポートされていません。

1 NTFS 形式はサポートされていません。

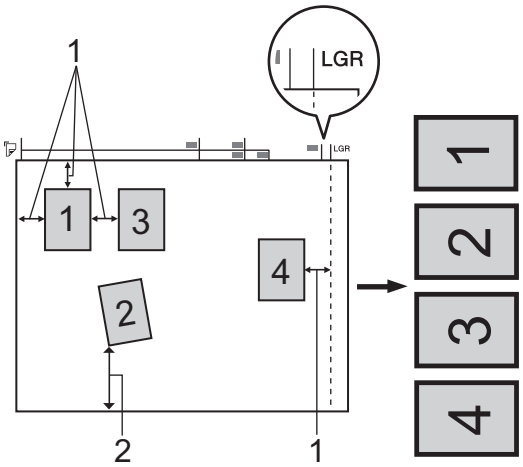
関連情報

- USB フラッシュメモリーから直接印刷する
- スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーに保存する

複数の名刺および写真をスキャンする（おまかせ一括スキャン）

原稿台ガラスにセットされた複数の原稿をスキャンすることができます。本製品は各原稿をスキャンし、おまかせ一括スキャン機能を使って複数のファイルまたは 1 つの複数ページファイルを作成できます。

おまかせ一括スキャンについて



1. 10mm 以上
2. 20mm 以上（下部）

- この設定は、長方形または正方形の原稿にのみ使用可能です。
- 原稿の長さが長すぎたり幅が広すぎたりすると、スキャンできないことがあります。
- 原稿は図のように、原稿台ガラスの端にかからないようセットする必要があります。
- 各原稿の間隔を最低 10mm 以上離してセットする必要があります。
- おまかせ一括スキャンは、原稿台ガラス上の原稿の傾きを調整します。ただし、300 x 300 dpi 以下で原稿が 45 度以上傾いている、または 600 x 600dpi で原稿が 10 度以上傾いている場合は、スキャンできないことがあります。
- おまかせ一括スキャンを使うときには、ADF（自動原稿送り装置）に原稿を置かないでください。
- おまかせ一括スキャン機能は、原稿のサイズに応じて、最大で 32 の原稿に対して利用することができます。

おまかせ一括スキャン機能を使用する場合は、原稿台ガラスに原稿をセットする必要があります。

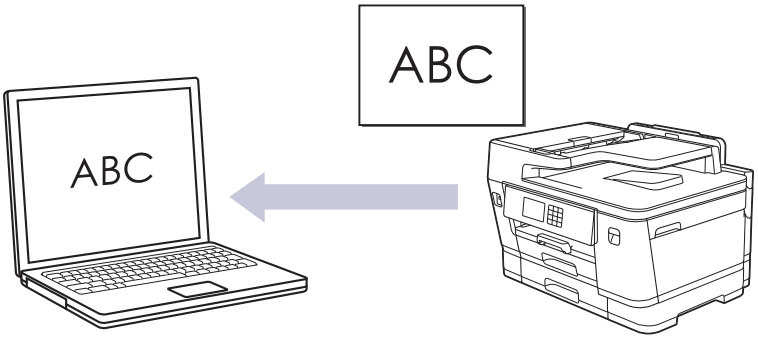
1. 原稿台ガラスに原稿をセットします。
2. USB フラッシュメモリーを本製品に差し込みます。
3. ［スキャン： メディア］> ［設定変更］ > ［おまかせ一括スキャン］を押します。
4. ［オン］を押します。
5. ［OK］を押します。
6. ［スタート］を押します。
   本製品はスキャンを開始します。画面に表示される指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする（OCR）

本製品は、OCR（光学式文字認識）の技術を使って、スキャンした文書の文字をテキストに変換することができます。任意のテキスト編集アプリケーションを使ってこのテキストを編集できます。



- 本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。変更を保持する場合は、Brother iPrint&Scan を使用します。

1. 原稿をセットします。
2. ［スキャン］> ［PC］> ［OCR］を押します。
3. 本製品がネットワークに接続されている場合、▲または▼を押して、スキャンしたデータを送信するパソコンを表示させ、該当のパソコン名を選択します。

画面上でパスワードの入力を求められた場合、パソコンで設定している 4 桁のパスワードを入力し、［OK］を押します。

4. 設定を変更するには、［設定変更］を押します。

［設定変更］を使用するには、Brother iPrint&Scan がインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。

5. ［スキャン設定］> ［本体側の設定に従う］を押します。
6. 変更したいスキャン設定を選択して、［OK］を押します。

オプション	詳細
［両面スキャン］ (MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)	両面スキャンモードを選択します。
［カラー設定］	原稿のカラー設定を選択します。
［解像度］	原稿のスキャン解像度を選択します。
［ファイル形式］	原稿のファイル形式を選択します。
［原稿サイズ］	原稿サイズを選択します。
［明るさ］	明るさレベルを選択します。
［コントラスト］	コントラストレベルを選択します。
［傾き補正］	原稿を読み取った時に原稿の傾きを自動的に補正します。

オプション	詳細
［白紙除去］	オンが選択されていると、スキャンした原稿にある空白ページを除いてデータを保存します。
［地色除去］	除去する地色の濃度を変更します。

- 設定値をショートカットとして保存するには、［ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録］を押します。設定を直接スタート機能にするかどうかを尋ねられます。画面の指示に従います。

7. ［スタート］を押します。

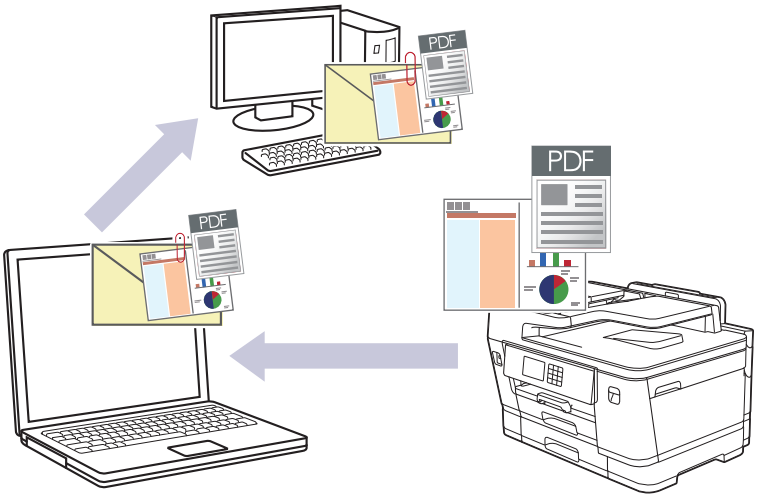
本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

スキャンしたデータをメールの添付ファイルとして保存する

スキャンしたデータを本製品からお使いの電子メールアプリケーションに添付ファイルとして送信します。



- 本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。変更を保持する場合は、Brother iPrint&Scan を使用します。
- 本製品のスキャンボタンを使って電子メールにスキャンするには、Brother iPrint＆Scan で次のアプリケーションのいずれかを選択していることを確認してください。
  - Windows：Microsoft Outlook
  - Mac：Apple Mail

  その他のアプリケーションやウェブメールサービスの場合は、スキャン to イメージまたはスキャン to ファイル機能を使って原稿をスキャンして、スキャンしたデータを電子メールに添付してください。

1. 原稿をセットします。
2. ［スキャン］> ［PC］> ［E メール添付］を押します。
3. 本製品がネットワークに接続されている場合、▲または▼を押して、スキャンしたデータを送信するパソコンを表示させ、該当のパソコン名を選択します。

画面上でパスワードの入力を求められた場合、パソコンで設定している 4 桁のパスワードを入力し、［OK］を押します。

4. 設定を変更するには、［設定変更］を押します。

［設定変更］を使用するには、Brother iPrint&Scan がインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。

5. ［スキャン設定］> ［本体側の設定に従う］を押します。
6. 変更したいスキャン設定を選択して、［OK］を押します。

オプション	詳細
［両面スキャン］ (MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)	両面スキャンモードを選択します。
［カラー設定］	原稿のカラー設定を選択します。
［解像度］	原稿のスキャン解像度を選択します。

オプション	詳細
［ファイル形式］	原稿のファイル形式を選択します。
［原稿サイズ］	原稿サイズを選択します。
［明るさ］	明るさレベルを選択します。
［コントラスト］	コントラストレベルを選択します。
［傾き補正］	原稿を読み取った時に原稿の傾きを自動的に補正します。
［白紙除去］	オンが選択されていると、スキャンした原稿にある空白ページを除いてデータを保存します。
［地色除去］	除去する地色の濃度を変更します。

- 設定値をショートカットとして保存するには、［ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録］を押します。設定を直接スタート機能にするかどうかを尋ねられます。画面の指示に従います。

7. ［スタート］を押します。

本製品はスキャン動作を開始します。スキャンされたデータを添付ファイルとして、パソコンのメールソフトの送信画面が表示されます。

関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

スキャンしたデータを E メール受信者に送信する

パソコンを使用せずに、スキャンしたデータを本製品から E メールの受信者に直接送信します。

- スキャンしたデータを E メールの受信者に送信するには、ネットワークおよび E メールの送受信に使用する E メールサーバーと通信するように本製品を設定する必要があります。
- 操作パネルまたは Web Based Management を使い、これらを設定することができます。
- スキャン to E メール送信機能を使用するには、本製品をネットワークに接続し、SMTP サーバーにアクセスする必要があります。操作を進める前に、次の SMTP 電子メールの設定が必要になります。
  - サーバーアドレス
  - ポート番号
  - ユーザー名
  - 暗号化タイプ（SSL または TLS）
  - E メールサーバー証明書（使用する場合）

  これらの設定がない場合は、E メールサービスプロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1. 原稿をセットします。
2. ［スキャン］> ［E メール送信］を押します。

(MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)

- E メールアドレスをユーザー ID と共に登録している場合、セキュリティ機能ロック、Active Directory 認証、または LDAP 認証を使用して本製品にログインすると、［自分宛］ボタンが表示されます。
- お使いの E メールアドレスにスキャンしたデータを送信するには、［自分宛］を押します。E メールアドレスが画面に表示されたら、［次へ］を押します。
- Web Based Management でこの機能を有効にするには、左側のナビゲーションメニューで**スキャン** > **スキャン to E メール送信**をクリックします。**自分宛に送信** 欄で、 **オン**を選択します。

3. 以下のいずれかを行って、宛先 E-mail アドレスを入力します。
   - E-mail アドレスを手動で入力するには［手動入力］を押して、画面に表示される文字ボタンを使用して入力します。完了したら、［OK］を押します。
   - E メールアドレスが本製品のアドレス帳に保存されている場合は、［電話帳］を押して、該当のアドレスを選択します。

     ［OK］を押します。
4. E-mail アドレスを確認し、［次へ］を押します。
5. 設定値を変更するには、［設定変更］を押して、次の手順に進みます。

- 変更した設定を初期値とするには、設定値を変更して［設定を保持する］を押し、［はい］を押します。
- お買い上げ時の設定に戻すには、［設定をリセットする］を押し、［はい］を押します。

6. 変更するスキャン設定を選択し、［OK］を押します。

オプション	詳細
［両面スキャン］ (MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)	両面スキャンモードを選択します。
［カラー設定］	原稿のカラー設定を選択します。

オプション	詳細
［解像度］	原稿のスキャン解像度を選択します。
［ファイル形式］	原稿のファイル形式を選択します。
［原稿サイズ］	原稿サイズを選択します。
［明るさ］	明るさレベルを選択します。
［コントラスト］	コントラストレベルを選択します。
［エッジ調整］	原稿の余白を調整します。
［プレビュー］ (MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)	スキャンしたデータを保存する前に、スキャン結果を画面でプレビューします。

- 設定値をショートカットとして保存するには、［ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録］を押します。設定を直接スタート機能にするかどうかを尋ねられます。画面の指示に従います。
- （MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）スキャンしたデータを保存する前にスキャン結果をプレビューするには、を押してから［ﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ］を押します。本製品は原稿をスキャンし、スキャン結果を画面に表示します。スキャン結果に問題がない場合は、［スタート］を押して保存し、処理を終了します。

7. ［スタート］を押します。

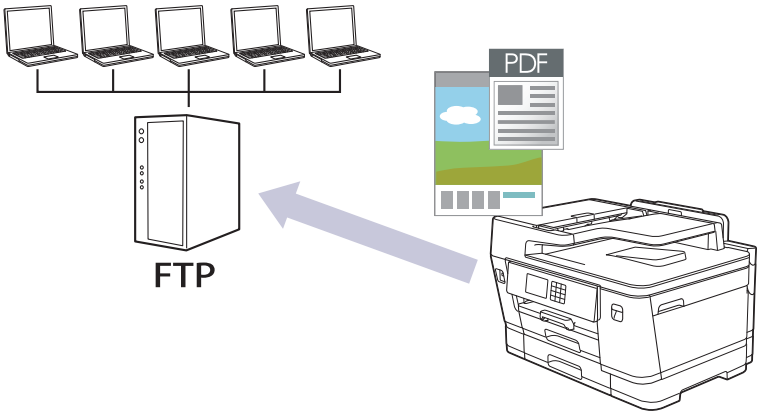
   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する

スキャンしたデータを共有する必要がある場合、原稿をスキャンして FTP サーバーに直接送ることができます。プロファイルを設定して、任意のスキャン to FTP の送信先を保存することもできます。



- スキャン to FTP プロファイルを設定する
- スキャンしたデータを FTP サーバーに送信する

スキャン to FTP プロファイルを設定する

スキャン to FTP プロファイルを設定し、スキャンしたデータを指定の FTP サーバーに直接送ることができます。

Windows の場合は Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Edge、Mac の場合は Safari 13、Android（4.x 以降）の場合は Google Chrome™、iOS（10.x 以降）の場合は Google Chrome™/Safari が推奨されます。どのウェブブラウザーの場合も、JavaScript および Cookies を有効にして使用してください。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. （MFC-J7100CDW/MFC-J7300CDW）ナビゲーションメニューに移動して、**スキャン** > **スキャン to FTP/Network** をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. （MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）ナビゲーションメニューに移動して、**スキャン** > **スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint** をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

6. **FTP** を選択し、**OK** をクリックします。
7. （MFC-J7100CDW/MFC-J7300CDW）**FTP/ネットワークファイル スキャンプロファイル**メニューをクリックします。
8. （MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）**FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint スキャンプロファイル**メニューをクリックします。
9. 設定または変更したいプロファイルを選択します。

?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

オプション	説明
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します（15 文字以下の英数字）。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
サーバー アドレス	ホストアドレス（例：ftp.example.com、最大 64 文字）または IP アドレス（例：192.23.56.189）を入力します。
ポート番号	FTP サーバーへアクセスするための**ポート番号**を設定します。お買い上げ時の設定は、ポート 21 です。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。
ユーザー名	FTP サーバーへのデータの書き込みが許可されているユーザー名（32 文字以下）を入力します。
パスワード	**ユーザー名**欄に入力したユーザー名のパスワード（32 文字以下）を入力します。**パスワード確認**欄にパスワードを再入力します。
SSL/TLS	**SSL/TLS** オプションを設定して、SSL/TLS 通信を使用して安全にスキャンします。必要に応じて **CA 証明書** 設定を変更します。

オプション	説明
転送先フォルダー	スキャンしたデータの送信先となる FTP サーバーのフォルダーへのパス（60 文字以下）を入力します。パスの先頭はスラッシュにしないでください（例：brother/abc）。
ファイル名	指定のプリセット名またはユーザー定義の名前から、ファイル名を選択します。ナビゲーションメニューの**スキャン ファイル名称**メニューで、ユーザー定義の名前とファイル名のスタイルを設定できます。
画質	品質設定を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
ファイル形式	スキャンした文書に使用するファイル形式を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
原稿サイズ	リストから原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。
傾き補正	**オン**を選択すると、原稿を読み取った時に原稿の傾きが自動的に補正されるように本製品を設定します。
白紙除去	**オン**オプションを選択して、スキャン結果から原稿の空白ページを削除します。
白紙除去レベル調整	スキャンしたデータの空白ページを検出する感度を選択します。感度が高いほど、空白ページが検出されやすくなります。
両面読取 （MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）	**長辺とじ**または**短辺とじ**を選択して、元のレイアウトに応じて原稿の両面をスキャンします。
地色除去	除去する地色の量を変更します。
エッジ調整	原稿の余白を調整します。
明るさ	明るさレベルを選択します。
コントラスト	コントラストレベルを選択します。
パッシブモード	FTP サーバーおよびネットワークファイアウォール設定に応じて、**パッシブモード**のオフ／オン設定を切り替えます。お買い上げ時の設定はオンです。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。

10. **OK** をクリックします。

関連情報

- スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

スキャンしたデータを FTP サーバーに送信する

>> MFC-J7100CDW/MFC-J7300CDW
>> MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

MFC-J7100CDW/MFC-J7300CDW

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [FTP サーバー] を押します。
3. Web Based Management を使用してセットアップした、サーバーのプロファイルが一覧表示されます。使用するプロファイルを選択します。プロファイルが完全ではない場合（例えば、ログオンアカウント名およびパスワードが存在しない、または画質やファイル形式が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。
4. [スタート] を押します。

   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [(S) FTPｻｰﾊﾞｰ] を押します。
3. Web Based Management を使用してセットアップした、サーバーのプロファイルが一覧表示されます。使用するプロファイルを選択します。プロファイルが完全ではない場合（例えば、ログオンアカウント名およびパスワードが存在しない、または画質やファイル形式が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。

   スキャンしたデータを保存する前にスキャン結果をプレビューするには、 を押してから [ﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ] を押します。本製品は原稿をスキャンし、スキャン結果を画面に表示します。スキャン結果に問題がない場合は、[スタート] を押して保存し、処理を終了します。

4. [スタート] を押します。

   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

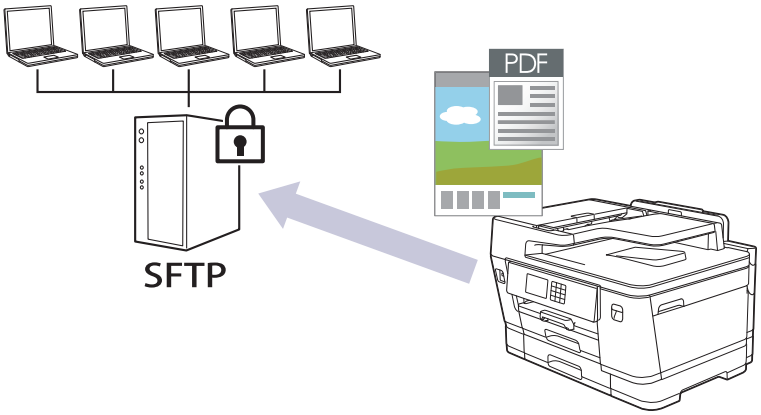
関連情報

- スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する

スキャンしたデータを SSH FTP (SFTP) サーバーに保存する

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

原稿をスキャンし、SFTP サーバーに直接送信します。SFTP サーバーは、FTP サーバーよりもセキュリティが強化されたサーバーです。さらに便利にするために、異なるプロファイルを設定して、任意のスキャン to SFTP の送信先を保存します。



- スキャン to SFTP プロファイルを設定する
- Web Based Management を使用してクライアント鍵ペアを作成する
- Web Based Management を使用してクライアント鍵ペアをエクスポートする
- Web Based Management を使用してサーバーの公開鍵をインポートする
- スキャンしたデータを SFTP サーバーに送信する

スキャン to SFTP プロファイルを設定する

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

スキャン to SFTP プロファイルを設定して、スキャンしたデータを SFTP の場所に直接アップロードします。

Windows の場合は Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Edge、Mac の場合は Safari 13、Android（4.x 以降）の場合は Google Chrome™、iOS（10.x 以降）の場合は Google Chrome™/Safari が推奨されます。どのウェブブラウザーの場合も、JavaScript および Cookies を有効にして使用してください。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**スキャン** > **スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint** をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **SFTP** を選択し、**OK** をクリックします。
6. **FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint スキャンプロファイル**メニューをクリックします。
7. 設定または変更したいプロファイルを選択します。

?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

オプション	説明
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します（15 文字以下の英数字）。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
サーバー アドレス	ホストアドレス（例：ftp.example.com、最大 64 文字）または IP アドレス（例：192.23.56.189）を入力します。
ユーザー名	SFTP サーバーへのデータの書き込みが許可されているユーザー名（32 文字以下）を入力します。
認証方法	**パスワード**または**公開鍵**を選択します。 以下のいずれかを行ってください： • **パスワード**を選択した場合、**ユーザー名**欄に入力したユーザー名に対するパスワード（最大 32 文字）を入力します。**パスワード確認**欄にパスワードを再入力します。 • **公開鍵**を選択した場合、**クライアント鍵ペア**ドロップダウンリストから、認証の種類を選択します。
サーバー公開鍵	認証の種類を選択します。
転送先フォルダー	スキャンしたデータの送信先となる SFTP サーバーのフォルダーへのパス（60 文字以下）を入力します。パスの先頭はスラッシュにしないでください（例：brother/abc）。

オプション	説明
ファイル名	指定のプリセット名またはユーザー定義の名前から、ファイル名を選択します。ナビゲーションメニューの**スキャン ファイル名称**メニューで、ユーザー定義の名前とファイル名のスタイルを設定できます。
画質	品質設定を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
ファイル形式	スキャンした文書に使用するファイル形式を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
原稿サイズ	リストから原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。
傾き補正	**オン**を選択すると、原稿を読み取った時に原稿の傾きが自動的に補正されるように本製品を設定します。
白紙除去	**オン**オプションを選択して、スキャン結果から原稿の空白ページを削除します。
白紙除去レベル調整	スキャンしたデータの空白ページを検出する感度を選択します。感度が高いほど、空白ページが検出されやすくなります。
両面読取	**長辺とじ**または**短辺とじ**を選択して、元のレイアウトに応じて原稿の両面をスキャンします。
地色除去	除去する地色の量を変更します。
エッジ調整	原稿の余白を調整します。
明るさ	明るさレベルを選択します。
コントラスト	コントラストレベルを選択します。
ポート番号	SFTP サーバーへアクセスするための**ポート番号**を設定します。お買い上げ時の設定は、ポート 22 です。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。

8. **OK** をクリックします。

関連情報

- スキャンしたデータを SSH FTP (SFTP) サーバーに保存する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

Web Based Management を使用してクライアント鍵ペアを作成する

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **クライアント鍵ペア**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **クライアント鍵ペアの作成** をクリックします。
6. **クライアント鍵ペア名**欄に、任意の名前を入力します（最大 20 文字）。
7. **公開鍵アルゴリズム**ドロップダウンリストをクリックし、使用するアルゴリズムを選択します。
8. **OK** をクリックします。

   クライアント鍵ペアが作成され、本製品のメモリーに保存されます。**クライアント鍵ペア一覧**に、クライアント鍵ペア名と公開鍵アルゴリズムが表示されます。

関連情報

- スキャンしたデータを SSH FTP (SFTP) サーバーに保存する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

Web Based Management を使用してクライアント鍵ペアをエクスポートする

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **クライアント鍵ペア**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **クライアント鍵ペア一覧**と共に表示される**公開鍵のエクスポート**をクリックします。
6. **OK** をクリックします。
7. ファイルの保存先とする場所を指定します。

クライアント鍵ペアがパソコンにエクスポートされます。

関連情報

- スキャンしたデータを SSH FTP (SFTP) サーバーに保存する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

Web Based Management を使用してサーバーの公開鍵をインポートする

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **サーバー公開鍵**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **サーバー公開鍵のインポート**をクリックします。
6. インポートするファイルを指定します。
7. **OK** をクリックします。

サーバー公開鍵が本製品にインポートされます。

関連情報

- スキャンしたデータを SSH FTP (SFTP) サーバーに保存する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

スキャンしたデータを SFTP サーバーに送信する

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

1. 原稿をセットします。
2. ［スキャン］> ［(S) FTPｻｰﾊﾞｰ］を押します。
3. Web Based Management を使用してセットアップした、サーバーのプロファイルが一覧表示されます。使用するプロファイルを選択します。プロファイルが完全ではない場合（例えば、画質やファイルの種類が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。

スキャンしたデータを保存する前にスキャン結果をプレビューするには、を押してから［ﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ］を押します。本製品は原稿をスキャンし、スキャン結果を画面に表示します。スキャン結果に問題がない場合は、［スタート］を押して保存し、処理を終了します。

4. ［スタート］を押します。

   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

- スキャンしたデータを SSH FTP (SFTP) サーバーに保存する

スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する（Windows）

スキャンしたデータを、ネットワーク上の CIFS サーバーに直接送ることができます。プロファイルを設定して、任意のスキャン to ネットワークの送信先を保存することもできます。

- スキャン to ネットワークプロファイルを設定する
- スキャンしたデータを CIFS サーバーに送信する

スキャン to ネットワークプロファイルを設定する

スキャン to ネットワークのプロファイルを設定し、スキャンしたデータを指定の CIFS サーバーに直接送ることができます。

Windows の場合は Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Edge、Mac の場合は Safari 13、Android（4.x 以降）の場合は Google Chrome™、iOS（10.x 以降）の場合は Google Chrome™/Safari が推奨されます。どのウェブブラウザーの場合も、JavaScript および Cookies を有効にして使用してください。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. （MFC-J7100CDW/MFC-J7300CDW）ナビゲーションメニューに移動して、**スキャン** > **スキャン to FTP/Network** をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. （MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）ナビゲーションメニューに移動して、**スキャン** > **スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint** をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

6. **ネットワーク**を選択し、**OK** をクリックします。

（MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）
CIFS サーバー上の指定したフォルダーにデータを送信する場合は、**自分のフォルダに送信**で**オン**を選択します。

7. （MFC-J7100CDW/MFC-J7300CDW）**FTP/ネットワークファイル スキャンプロファイル**メニューをクリックします。
8. （MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）**FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint スキャンプロファイル**メニューをクリックします。
9. 設定または変更したいプロファイルを選択します。

?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

オプション	説明
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します（15 文字以下の英数字）。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
ネットワークフォルダパス	スキャンしたデータの送信先である CIFS サーバー上のフォルダーのパスを入力します。
ファイル名	指定のプリセット名またはユーザー定義の名前から、ファイル名を選択します。ナビゲーションメニューの**スキャン ファイル名称**メニューで、ユーザー定義の名前とファイル名のスタイルを設定できます。
画質	品質設定を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。

オプション	説明
ファイル形式	スキャンした文書に使用するファイル形式を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
原稿サイズ	リストから原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。
傾き補正	**オン**を選択すると、原稿を読み取った時に原稿の傾きが自動的に補正されるように本製品を設定します。
白紙除去	**オン**オプションを選択して、スキャン結果から原稿の空白ページを削除します。
白紙除去レベル調整	スキャンしたデータの空白ページを検出する感度を選択します。感度が高いほど、空白ページが検出されやすくなります。
両面読取（MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）	**長辺とじ**または**短辺とじ**を選択して、元のレイアウトに応じて原稿の両面をスキャンします。
地色除去	除去する地色の量を変更します。
エッジ調整	原稿の余白を調整します。
明るさ	明るさレベルを選択します。
コントラスト	コントラストレベルを選択します。
接続時にパスワード認証を行う	このプロファイルをパスワードで保護するには、**オン**を選択し、**接続パスワード**欄に 4 桁のパスワードを入力します。
認証方法	認証方式を選択します。
ユーザー名	**ネットワークフォルダパス**欄で指定したフォルダーへのデータの書き込み許可を持つユーザー名（最大 96 文字）を入力します。ユーザー名がドメインの一部である場合、以下のいずれかの形式でユーザー名を入力します。 **ユーザー名@ドメイン名** **ドメイン名\ユーザー名**
パスワード	**ユーザー名**欄に入力したユーザー名のパスワード（32 文字以下）を入力します。**パスワード確認**欄にパスワードを再入力します。
Kerberos サーバーアドレス	Kerberos サーバーアドレスを入力します（例：kerberos.example.com、最大 64 文字）。

10. **OK** をクリックします。
11. SNTP（ネットワークタイムサーバー）を設定するか、操作パネルで日付、時刻、およびタイムゾーンを正しく設定する必要があります。時刻は、Kerberos サーバーおよび CIFS サーバーで使用されるものと一致しなければなりません。

関連情報

- スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する（Windows）

関連トピック：

- Web Based Management で日時を設定する
- Web Based Management にアクセスする

スキャンしたデータを CIFS サーバーに送信する

1. 原稿をセットします。
2. ［スキャン］> ［ネットワーク］を押します。

（MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）

- ユーザー ID を登録している場合、Active Directory または LDAP 認証を使用して本製品にログインすると、［自分のﾌｫﾙﾀﾞ］が表示されます。
- CIFS サーバー上の指定したフォルダーにスキャンしたデータを送信するには、［自分のﾌｫﾙﾀﾞ］を押します。
- この機能を Web Based Management で有効にするには、ナビゲーションメニューに移動して、**スキャン** > **スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint** をクリックします。**自分のフォルダに送信** 欄で、 **オン**を選択します。

3. Web Based Management を使用してセットアップした、サーバーのプロファイルが一覧表示されます。使用するプロファイルを選択します。プロファイルが完全ではない場合（例えば、ログオンアカウント名およびパスワードが存在しない、または画質やファイル形式が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。

（MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）スキャンしたデータを保存する前にスキャン結果をプレビューするには、 を押してから［ﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ］を押します。本製品は原稿をスキャンし、スキャン結果を画面に表示します。スキャン結果に問題がない場合は、［スタート］を押して保存し、処理を終了します。

4. ［スタート］を押します。

   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

- スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する（Windows）

スキャンしたデータを SharePoint サーバーに保存する

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

スキャンした情報を共有する必要がある場合、原稿をスキャンして、SharePoint サーバーに直接送信します。さらに便利な使用法として、異なるプロファイルを設定して、任意のスキャン to SharePoint の送信先を保存します。

- スキャン to SharePoint プロファイルを設定する
- スキャンしたデータを SharePoint サーバーに送信する

スキャン to SharePoint プロファイルを設定する

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

スキャン to SharePoint プロファイルを設定してスキャンし、スキャンしたデータを SharePoint の指定先に直接アップロードします。

Windows の場合は Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Edge、Mac の場合は Safari 13、Android（4.x 以降）の場合は Google Chrome™、iOS（10.x 以降）の場合は Google Chrome™/Safari が推奨されます。どのウェブブラウザーの場合も、JavaScript および Cookies を有効にして使用してください。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**スキャン** > **スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint** をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **SharePoint** を選択し、**OK** をクリックします。
6. **FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint スキャンプロファイル**メニューをクリックします。
7. 設定または変更したいプロファイルを選択します。

?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

オプション	詳細
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します（15 文字以下の英数字）。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
SharePoint サイトのアドレス	ブラウザーのアドレスバーに表示されたフルパスのアドレス（例：http://SharePointSiteAddress/Shared%20Documents/Forms/AllItems.aspx）、または IP アドレス（例：http://192.168.0.1/Shared%20Documents/Forms/AllItems.aspx）をコピーアンドペーストします。
ファイル名	指定のプリセット名またはユーザー定義の名前から、ファイル名を選択します。ナビゲーションメニューの**スキャン ファイル名称**メニューで、ユーザー定義の名前とファイル名のスタイルを設定できます。
画質	品質設定を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
ファイル形式	スキャンした文書に使用するファイル形式を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
原稿サイズ	リストから原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。

オプション	詳細
傾き補正	**オン**を選択すると、原稿を読み取った時に原稿の傾きが自動的に補正されるように本製品を設定します。
白紙除去	**オン**オプションを選択して、スキャン結果から原稿の空白ページを削除します。
白紙除去レベル調整	スキャンしたデータの空白ページを検出する感度を選択します。感度が高いほど、空白ページが検出されやすくなります。
両面読取	**長辺とじ**または**短辺とじ**を選択して、元のレイアウトに応じて原稿の両面をスキャンします。
地色除去	除去する地色の量を変更します。
エッジ調整	原稿の余白を調整します。
明るさ	明るさレベルを選択します。
コントラスト	コントラストレベルを選択します。
接続時にパスワード認証を行う	このプロファイルをパスワードで保護するには、**オン**を選択し、**接続パスワード**欄に 4 桁のパスワードを入力します。
認証方法	認証方式を選択します。**自動**を選択した場合、認証方式は自動的に検出されます。
ユーザー名	**SharePoint サイトのアドレス**欄で指定したフォルダーへのデータの書き込み許可を持つユーザー名（最大 96 文字）を入力します。ユーザー名がドメインの一部である場合、以下のいずれかの形式でユーザー名を入力します。 **ユーザー名@ドメイン名** **ドメイン名\ユーザー名**
パスワード	**ユーザー名**欄に入力したユーザー名のパスワード（32 文字以下）を入力します。**パスワード確認**欄にパスワードを再入力します。
Kerberos サーバーアドレス	Kerberos サーバーアドレスを入力します（例：kerberos.example.com、最大 64 文字）。

8. **OK** をクリックします。

関連情報

- スキャンしたデータを SharePoint サーバーに保存する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

スキャンしたデータを SharePoint サーバーに送信する

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [SharePoint]を押します。
3. Web Based Management を使用してセットアップした、サーバーのプロファイルが一覧表示されます。使用するプロファイルを選択します。プロファイルが完全ではない場合（例えば、ログオンアカウント名およびパスワードが存在しない、または画質やファイル形式が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。

スキャンしたデータを保存する前にスキャン結果をプレビューするには、を押してから[ﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ]を押します。本製品は原稿をスキャンし、スキャン結果を画面に表示します。スキャン結果に問題がない場合は、[スタート]を押して保存し、処理を終了します。

4. [スタート]を押します。

   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

- スキャンしたデータを SharePoint サーバーに保存する

Web サービスを使ってスキャンする（Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10）

Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10 をお使いの場合、Web サービスプロトコルにより、ネットワーク上のブラザー製品を使ってスキャンすることができます。Web サービス経由でドライバーをインストールする必要があります。

- Web サービスを使用してスキャン用のドライバーをインストールする（Windows 7、Windows 8.1、および Windows 10）
- 本製品から Web サービスを使ってスキャンする（Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10）
- Web サービスのスキャンプロファイルを編集する

Web サービスを使用してスキャン用のドライバーをインストールする（Windows 7、Windows 8.1、および Windows 10）

- 本製品に適切なソフトウェアおよびドライバーがインストールされていることを確認します。
- ホストパソコンと本製品が同一のサブネット上に存在すること、またはこれら 2 つの機器間のデータ通信ができるようにルーターが正しく設定されていることを確認します。
- この設定を行う前に、本製品で IP アドレスを設定する必要があります。

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 10

     > **Windows システム ツール** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスの追加**をクリックします。
   - Windows 8.1

     マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、 **設定** > **PC 設定の変更** > **PC とデバイス** > **デバイス** > **デバイスを追加する**をクリックします。

     本製品の Web サービス名が表示されます。
   - Windows 7

     (スタート) > **コントロール パネル** > **ネットワークとインターネット** > **ネットワークのコンピューターとデバイスの表示**をクリックします。

     本製品の Web サービス名がプリンターのアイコンと一緒に表示されます。

     インストールする製品を右クリックします。

- 本製品の Web サービス名は、本製品のモデル名と MAC アドレス（イーサネットアドレス）です（例：Brother XXX-XXXX（XXX-XXXX はお使いのモデル名）[XXXXXXXXXXXX]（MAC アドレス/イーサネットアドレス））。
- Windows 8.1/Windows 10

  製品名の上でマウスを動かすと、製品情報が表示されます。

2. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 8.1/Windows 10

     インストール先の製品を選択し、画面の指示に従います。
   - Windows 7

     表示されたメニューで**インストール**をクリックします。

ドライバーをアンインストールするには、**アンインストール**または ⊖ （**デバイスの削除**）をクリックします。

関連情報

- Web サービスを使ってスキャンする（Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10）

本製品から Web サービスを使ってスキャンする（Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10）

Web サービスでドライバーをインストールしていると、本製品の操作パネルに Web サービスの設定項目が表示されます。

- メモリー不足のエラーメッセージが表示された場合は、**用紙サイズ**設定で小さいサイズを選択するか、**解像度 (DPI)**設定で低い解像度を選択します。

1. 原稿をセットします。
2. ［スキャン］> ［Web サービス］を押します。
3. ▲または▼を押して、使用するスキャンの種類を選択し、押します。
4. ▲または▼を押して、データ送信先のパソコンを表示し、パソコン名を選択します。
5. ［スタート］を押します。
   本製品はスキャンを開始します。

関連情報

- Web サービスを使ってスキャンする（Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10）

Web サービスのスキャンプロファイルを編集する

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 10

     > **Windows システム ツール** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
   - Windows 8.1

     マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックし、**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
   - Windows 7

     (スタート) > **デバイスとプリンター**をクリックします。
2. 本製品のアイコンを右クリックし、**スキャン プロファイル...**を選択します。**スキャン プロファイル**ダイアログボックスが表示されます。
3. 目的のスキャンプロファイルを選択します。
4. **スキャナー**一覧で選択されたモデル名が、Web サービスのスキャンに対応している製品であることを確認し、**既定に設定**ボタンをクリックします。
5. **編集** をクリックします。

   既定のプロファイルの編集ダイアログボックスが表示されます。
6. **スキャナーの種類**、**用紙サイズ**、**色の形式**、**ファイルの種類**、**解像度 (DPI)**、**明るさ**および**コントラスト**設定を選択します。
7. **プロファイルの保存**ボタンをクリックします。

   Web サービスを使ってスキャンする場合のプロトコルとして適用されます。

スキャンアプリケーションを選択するよう表示された場合は、一覧から WindowsFAX とスキャンを選択します。

関連情報

- Web サービスを使ってスキャンする（Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10）

Brother iPrint&Scan を使用してスキャン設定を変更する

Brother iPrint＆Scan を使用すると、本製品のスキャンボタンの設定を変更できます。

1. Brother iPrint&Scan を起動します。
   - Windows

     （**Brother iPrint&Scan**）を起動します。
   - Mac

     Finder メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

   Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。
2. 本製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧から本製品のモデル名を選択します。**OK** をクリックします。
3. **本体からのスキャン設定**ボタンをクリックし、画面の指示に従って、原稿のサイズ、カラー、解像度などのスキャン設定を変更します。

関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

関連トピック：

- Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする（Windows/Mac）

Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする（Windows/Mac）

1. Brother iPrint&Scan を起動します。
   - Windows

     （**Brother iPrint&Scan**）を起動します。
   - Mac

     Finder メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

   Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。
2. 本製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧から本製品のモデル名を選択します。**OK** をクリックします。
3. **スキャン**アイコンをクリックし、画面の指示に従って原稿をスキャンします。

関連情報

- スキャン

お使いのパソコンからスキャンする (Windows)

お使いのパソコンを使用して、写真や文書を本製品でスキャンします。弊社から提供されているソフトウェアやお使いのスキャンアプリケーションを使用します。

- Nuance™ PaperPort™ 14SE またはその他の Windows アプリケーションを使用してスキャンする
- Windows FAX とスキャンを使ってスキャンする

Nuance™ PaperPort™ 14SE またはその他の Windows アプリケーションを使用してスキャンする

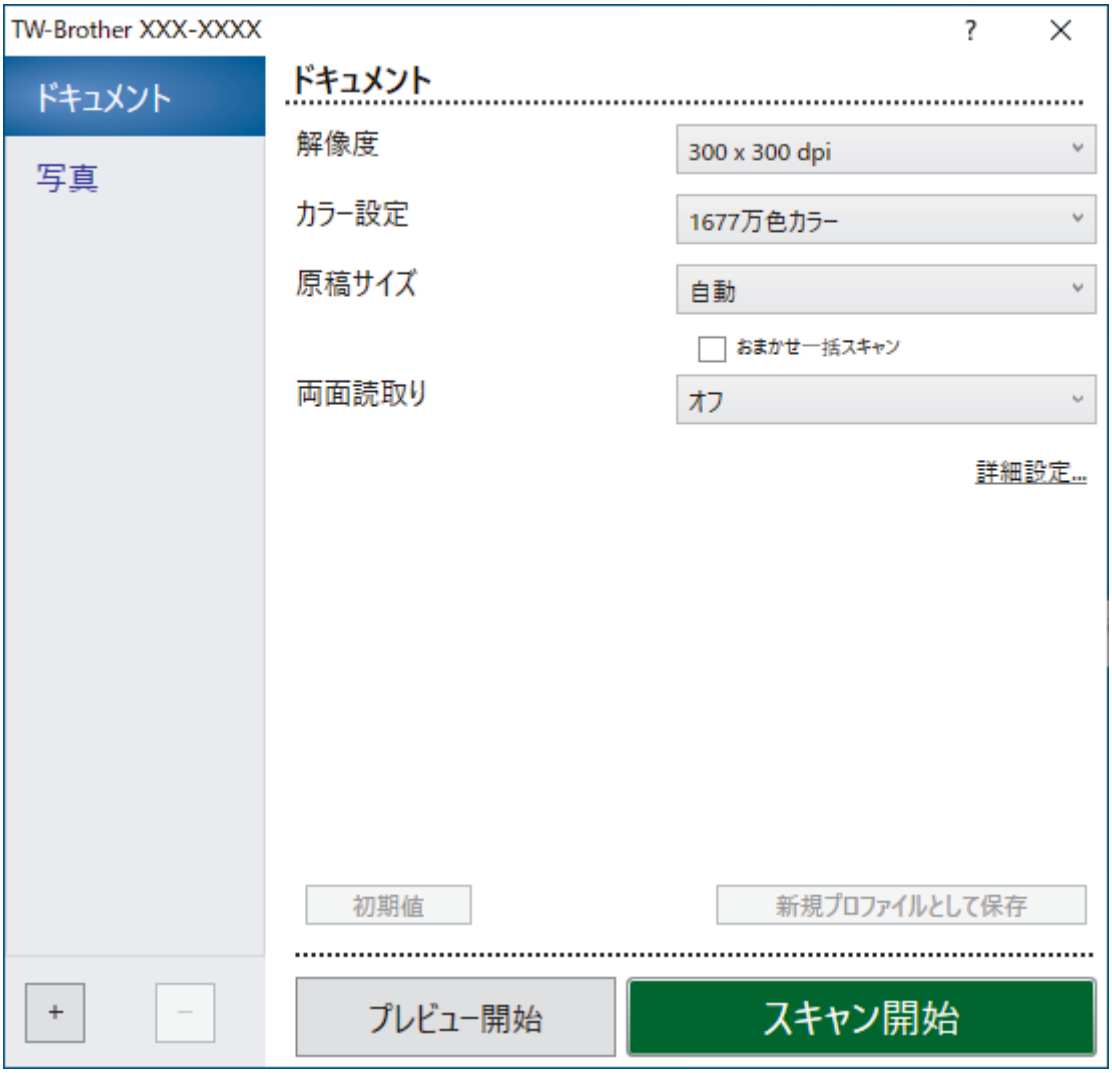
Nuance™ PaperPort™ 14SE アプリケーションをスキャンに使用することができます。

- Nuance™ PaperPort™ 14SE アプリケーションをダウンロードするには、（**Brother Utilities**）をクリックし、左ナビゲーションバーで**もっと活用する**を選択して、**PaperPort** をクリックします。
- Nuance™ PaperPort™ 14SE は、Windows 7、Windows 8.1、 Windows 10 および Windows 11 をサポートしています。
- アプリケーションの使い方については、各アプリケーションの**ヘルプ**メニューをクリックして、**ヘルプ**リボンで**使い方ガイド**をクリックして確認してください。

これらの手順は、PaperPort™ 14SE を使用してスキャンする場合の指示です。その他の Windows アプリケーションの場合も、手順は同様です。PaperPort™ 14SE は、TWAIN ドライバーと WIA ドライバーをサポートしています。TWAIN ドライバー（推奨）は、本手順で使用されています。

- お使いのモデルによっては、Nuance™ PaperPort™ 14SE が含まれていない場合があります。含まれていない場合、スキャンに対応している他のアプリケーションソフトウェアを使用できます。

1. 原稿をセットします。
2. PaperPort™ 14SE を起動します。
   以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 10
     > **Nuance PaperPort 14** > **PaperPort** をクリックします。
   - Windows 8.1
     （**PaperPort**）をクリックします。
   - Windows 7
     お使いのパソコンで、**(スタート)** > **すべてのプログラム** > **Nuance PaperPort 14** > **PaperPort** をクリックします。
3. **デスクトップ**メニューをクリックして、**デスクトップ**リボンで**スキャン設定**をクリックします。
   画面の左側に、**スキャンまたは写真の取り込み**パネルが表示されます。
4. **選択**をクリックします。
5. 利用可能なスキャナー一覧から、**TWAIN: TW-Brother XXX-XXXX** または **TWAIN: TW-Brother XXX-XXXX LAN** を選択します（XXX-XXXX は本製品のモデル名）。
6. **スキャンまたは写真の取り込み**パネルで**スキャナ ダイアログ ボックスの表示**チェックボックスを選択します。
7. **スキャン**をクリックします。
   スキャナーセットアップダイアログボックスが表示されます。



8. 必要に応じて、スキャナーセットアップダイアログボックスで設定値を調整します。
9. **原稿サイズ**ドロップダウンリストから原稿サイズを選択します。

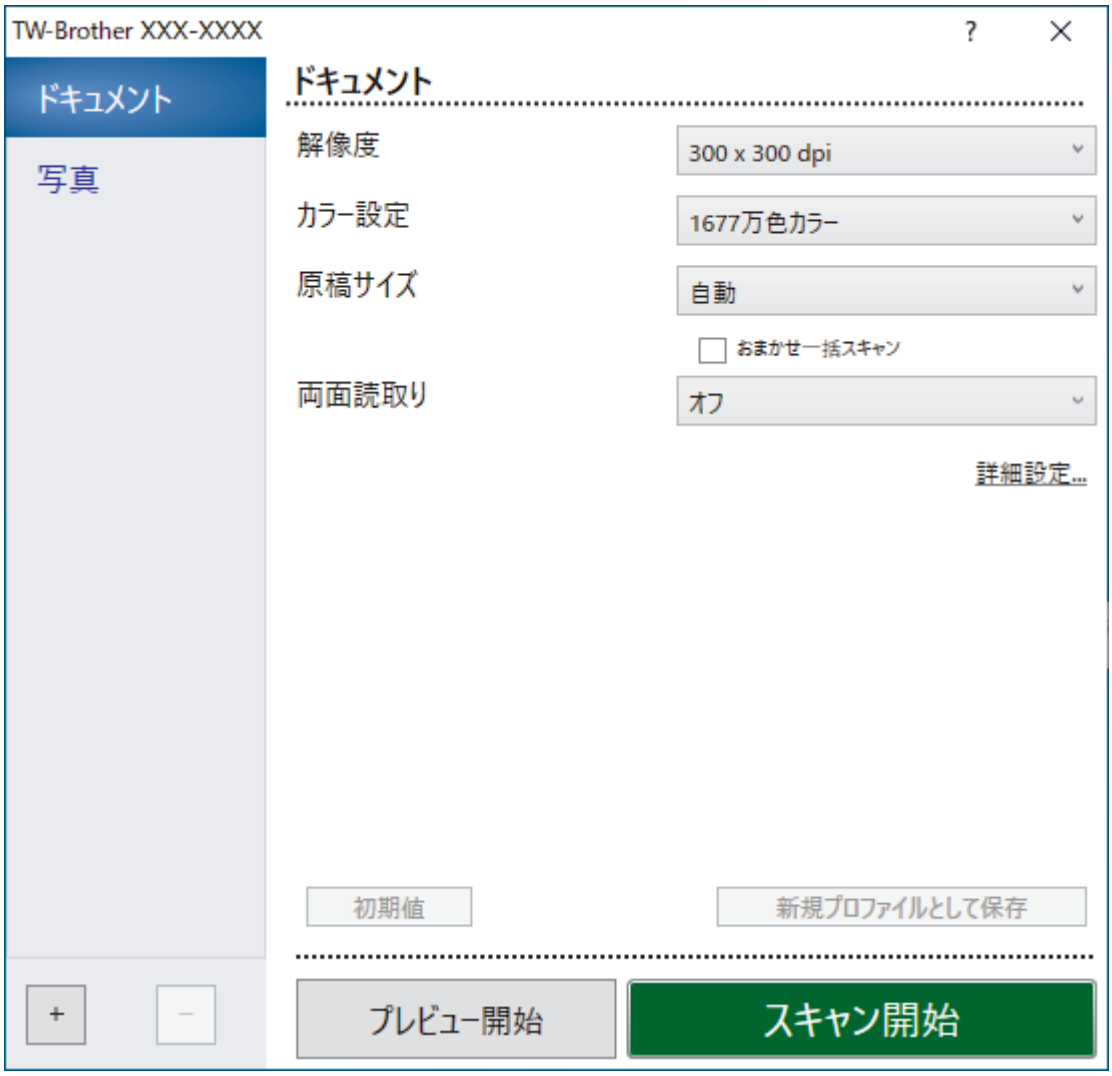
原稿の両面をスキャンするには（MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）：
自動両面スキャンは、ADF(自動原稿送り装置)を使用する場合にのみ利用可能です。
プレビュー機能を使用して画像をプレビューすることはできません。

10. 画像をプレビューして、スキャンする前に不要な部分を切り取りたい場合は、**プレビュー開始**をクリックします。
11. **スキャン開始**をクリックします。
    本製品はスキャンを開始します。

関連情報

- お使いのパソコンからスキャンする (Windows)
  - TWAIN ドライバーの設定 (Windows)

TWAIN ドライバーの設定 (Windows)



設定項目名および設定可能な値は、ご使用の製品によって異なります。

1. **簡単設定**

   スキャンする原稿の種類にあわせて**写真**または**ドキュメント**を選択します。

スキャン（画像種類）		解像度	カラー設定
写真	写真のスキャンに使用します。	300 x 300 dpi	**1677 万色カラー**
ドキュメント	テキスト原稿をスキャンする時に使用します。	300 x 300 dpi	**1677 万色カラー**

2. **解像度**

   解像度ドロップダウンリストからスキャン解像度を選択します。解像度を上げると、スキャンしたデータの画質は向上しますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。

3. **カラー設定**

   さまざまな色濃度の中から選択します。

   - **モノクロ**

     文字原稿または線画に使用します。

- **グレー（誤差拡散）**

  写真やグラフィックに使用します。（誤差拡散は、グレーの点を使用せずに、疑似的にグレー画像を作成する手法です。見た目を自然なグレーに見せるために、黒い点を一定の規則で配置しています。）

- **256 階調グレー**

  写真やグラフィックに使用します。このモードでは、最大で 256 段階の色調のグレーを使用して、より正確に細部を再現します。

- **1677 万色カラー**

  最も正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリーが必要とされ、転送時間が最も長くかかります。

4. **原稿サイズ**

   あらかじめ設定されたスキャンサイズから、使用する原稿と同じサイズを選択します。

   ユーザー定義サイズを選択すると、**ユーザー定義サイズ設定**ダイアログボックスが表示され、原稿サイズを指定できます。

5. **おまかせ一括スキャン**

   原稿台ガラスにセットされた複数の原稿を一括でスキャンします。複数の原稿を一度にスキャンし、複数のファイルまたは複数ページを含んだ 1 つのファイルが作成されます。

6. **（MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）両面読取り**

   原稿の両面をスキャンします。自動両面スキャン機能を使用する場合、ページをめくったときに向きが意図した通りになるよう、**両面読取り**ドロップダウンリストから**長辺をとじる**または**短辺をとじる**を選択する必要があります。

7. **詳細設定**

   スキャナーセットアップダイアログボックスの**詳細設定**リンクをクリックして、詳細設定を行います。

   - **原稿補正**
     - **傾き補正**

       原稿台ガラスからページがスキャンされた時に、原稿の傾きが自動的に修正されるよう本製品を設定します。

     - **原稿ふち調整**

       原稿の余白を調整します。

     - **画像回転**

       スキャンした画像を回転します。

     - **原稿ふち塗りつぶし**

       スキャンした画像の四辺の縁を、選択した色と範囲で塗りつぶします。

     - **白紙除去**

       スキャン結果から原稿の空白ページを取り除きます。

   - **画質調整**
     - **誤差拡散グレー濃淡調整**

       カラー設定ドロップダウンリストから**グレー（誤差拡散）**オプションを選択する場合は、拡散を調整します。

     - **カラートーン調整**

       カラーの明暗を調整します。

     - **背景スムージング**
       - **裏写り・地紋除去**

         裏写りや地紋を防止します。

       - **地色除去**

         原稿の背景にある地色を取り除き、スキャンしたデータを見やすくします。

     - **ドロップアウトカラー**

       スキャンした画像から取り除きたい色を選択します。

     - **エッジ強調**

       文字を鮮明にします。

- **ノイズ軽減**

  スキャン画像の品質を改善および向上させます。**ノイズ軽減**は、**1677 万色カラー**および **300 x 300 dpi**、**400 x 400 dpi**、または **600 x 600 dpi** スキャン解像度を選択した場合に利用可能です。

- **モノクロ画質調整**
  - **モノクロ化レベル調整**

    しきい値を調整してモノクロ画像を生成します。
  - **文字補正**

    とぎれた文字や不完全な文字を調整して読みやすくします。
  - **白黒反転**

    モノクロ画像の白黒を反転します。
- **搬送制御**
  - **レイアウト**

    レイアウトを選択します。
  - **継続スキャン**

    複数のページをスキャンするには、このオプションを選択します。1 ページ目がスキャンされた後に、スキャンを続けるか終了するかを選択します。

関連情報

- Nuance™ PaperPort™ 14SE またはその他の Windows アプリケーションを使用してスキャンする

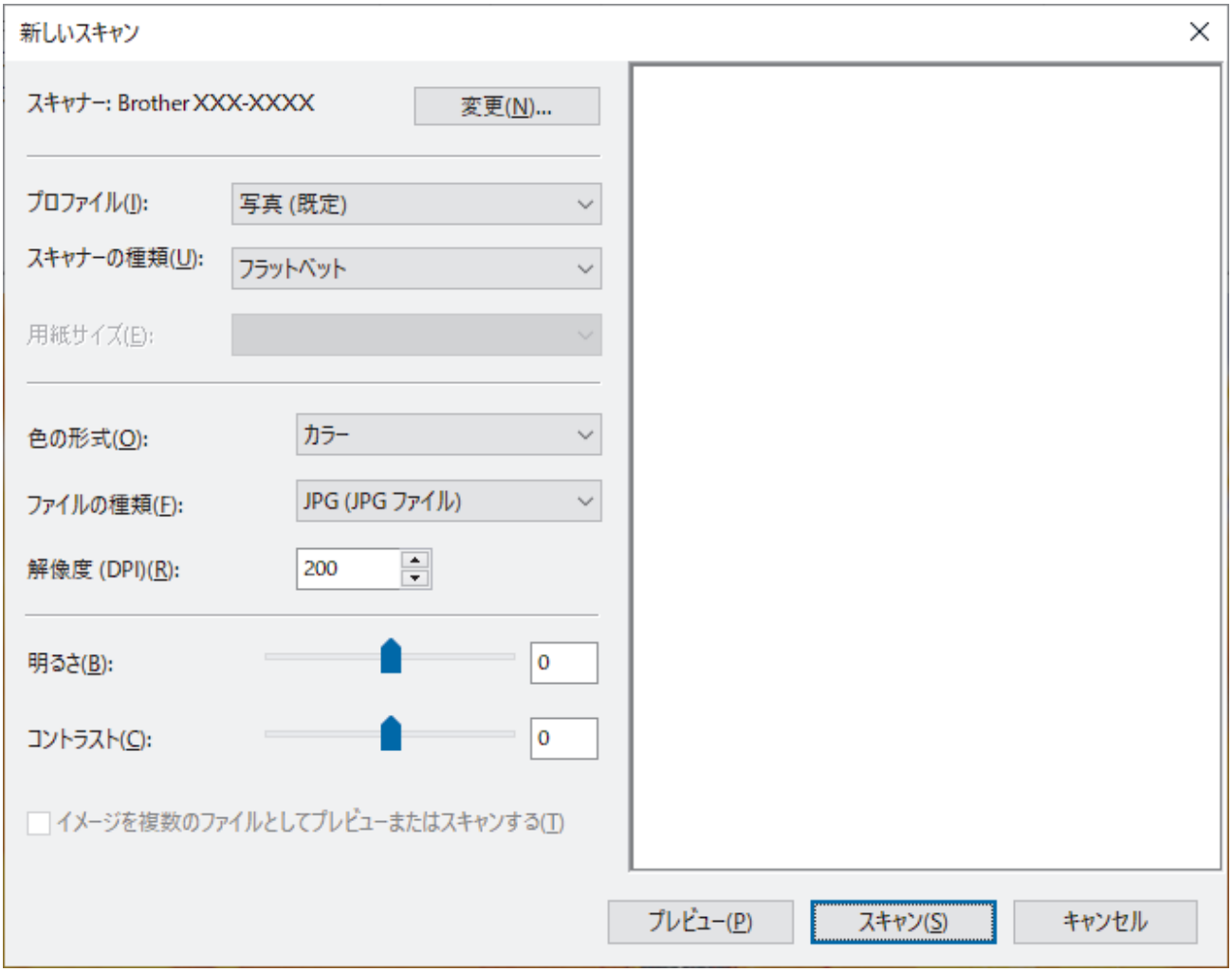
Windows FAX とスキャンを使ってスキャンする

Windows FAX とスキャンのアプリケーションは、スキャン時に使用できるもう 1 つのオプションです。

- Windows FAX とスキャンは、WIA スキャナードライバーを使用します。
- 原稿をスキャンした後にページの一部を切り取る場合は、原稿台ガラス（フラットベットとも呼ばれます）を使用してスキャンする必要があります。

1. 原稿をセットします。
2. Windows FAX とスキャンを起動します。
3. **ファイル** > **新規作成** > **スキャン**をクリックします。
4. 利用するスキャナーを選択します。
5. **OK** をクリックします。

   新しいスキャンダイアログボックスが表示されます。



6. 必要に応じて、ダイアログボックスで設定値を調整します。

   スキャナーの解像度は、最大 1200dpi に設定可能です。さらに高解像度でスキャンしたい場合は、**Brother Utilities** の **Scanner Utility** ソフトウェアを使用してください。

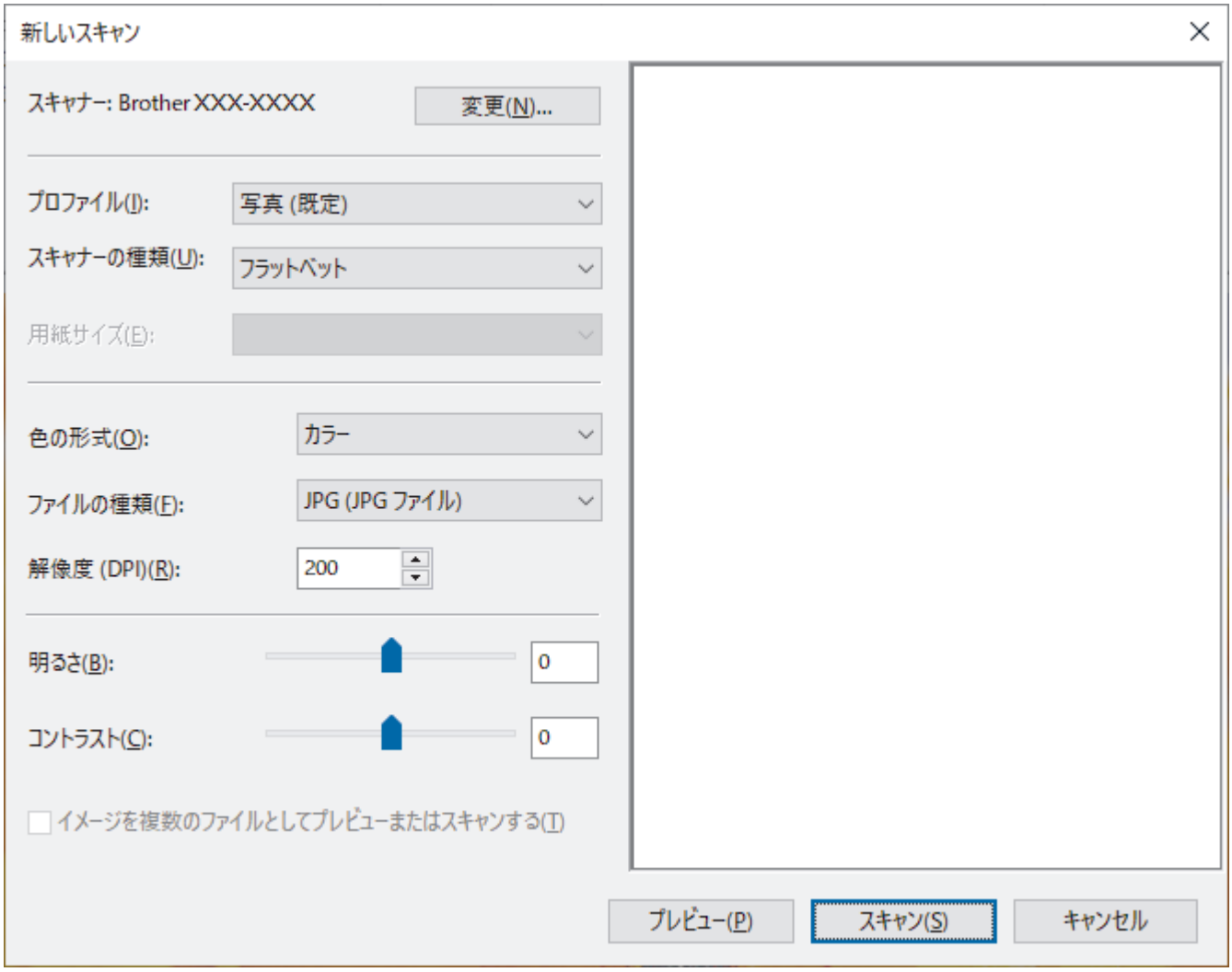
   本製品が両面スキャンに対応していて、原稿の両面をスキャンする場合は、**スキャナーの種類**として**フィーダー (両面スキャン)**を選択します。
7. **スキャン** をクリックします。

   原稿のスキャンが開始されます。

関連情報

- お使いのパソコンからスキャンする (Windows)
  - WIA ドライバー設定 (Windows)

WIA ドライバー設定 (Windows)



プロファイル

プロファイルの追加、**ドキュメント**、**最後に使用された設定**、**写真（既定）**から選択します。

スキャナーの種類

原稿のセット方法を**フラットベット**、**フィーダー（片面スキャン）**、**フィーダー（両面スキャン）**(MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)から選択します。

フィーダー（片面スキャン）、または**フィーダー（両面スキャン）**(MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)を選んだ場合は、用紙サイズを指定します。また、画像のプレビューやスキャンする範囲の調整はできなくなります。

用紙サイズ

スキャナーの種類で**フィーダー（片面スキャン）**または**フィーダー（両面スキャン）**(MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)を選択した場合に用紙サイズを指定します。

色の形式

色の形式ドロップダウンリストから、スキャンしたい色の形式を選択します。

ファイルの種類

ファイルの種類ドロップダウンリストから、ファイル形式を選択します。

解像度（DPI)

解像度（DPI)でスキャンの解像度を設定します。解像度が高くなればなるほど必要なメモリーと転送時間も増えますが、スキャン画像の品質は上がります。

明るさ

つまみを右または左にドラッグして**明るさ**レベルを設定し、画像を明るめ、または暗めに調整します。スキャンした画像が明るすぎる場合は、明るさレベルを下げてから再度原稿をスキャンしてください。画像が暗すぎる場合は、明るさレベルを上げてから再度原稿をスキャンしてください。数値を入力することで明るさレベルを設定することも可能です。

コントラスト

つまみを右または左にドラッグして**コントラスト**レベルの上げ下げをします。レベルを上げると画像中の明暗が強調され、レベルを下げるとグレー部分をより詳細に見られます。数値を入力することでコントラストレベルを設定することも可能です。

関連情報

- Windows FAX とスキャンを使ってスキャンする

お使いのパソコンからスキャンする (Mac)

- AirPrint を使用してスキャンを行う（macOS）

Web Based Management を使用してスキャン設定を行う

- Web Based Management を使用してスキャンファイル名称を設定する
- Web Based Management を使用してスキャンジョブの E メールレポートを設定する

Web Based Management を使用してスキャンファイル名称を設定する

Web Based Management を使用して、スキャンしたデータのファイル名を設定します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**スキャン** > **スキャン ファイル名称**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. ドロップダウンリストから **ファイル名項目順序** を選択します。
6. **ファイル名項目順序** 欄で日付を含めるオプションを選択した場合、 ドロップダウンリストから **日付** フォーマットを選択します。
7. ファイル名に時間情報を含めるには、**時間**欄で**オン**を選択します。
8. **カウンタ** 欄で、 **自動更新** または **読み取り毎にリセット**を選択します。

読み取り毎にリセットを選択すると、ファイル名の重複が起こることがあります。

9. ファイル名の先頭にユーザー定義の名称をつけたい場合は、各スキャン機能のユーザー定義欄にファイル名を入力します。

送信エラーを避けるために、「?」、「/」、「\」、「*」の文字は使用しないでください。

10. **OK** をクリックします。

関連情報

- Web Based Management を使用してスキャン設定を行う

Web Based Management を使用してスキャンジョブの E メールレポートを設定する

原稿をスキャンすると、本製品はスキャンジョブの E メールレポートを、登録されている E メールアドレスに自動的に送信します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**スキャン** > **スキャン通知レポート**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **管理者メールアドレス**欄で、E-mail アドレスを入力します。
6. 利用するスキャン機能に対して**オン**を選択し、スキャンジョブの E メールレポートが送信されるようにします。
7. **OK** をクリックします。

関連情報

- Web Based Management を使用してスキャン設定を行う

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

コピー

- コピーする
- コピー画像を拡大または縮小する
- ソートコピー
- レイアウトコピーをする（N in 1 コピーまたはポスターコピー）
- 両面コピーする
- ID カードをコピーする
- A3 コピーのショートカットを使う
- コピー設定

コピーする

1. 用紙トレイに正しいサイズの用紙がセットされているかを確認します。
2. 原稿をセットします。
3. [コピー]を押します。

   以下の画面が表示されます：

4. 必要に応じてコピー設定を変更します。

A4 サイズの普通紙以外をセットしている場合は、[設定変更]を押して、[用紙サイズ]および[用紙タイプ]設定を変更する必要があります。

オプション	詳細
×001（コピー枚数）	以下のいずれかの方法で部数を入力します： • 画面の[-]または[+]を押します。 • ×001を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK]を押します。 • ダイヤルパッドを使用して部数を入力します。
（[設定変更]）	[[設定変更]]を押すと、次のコピーのみ設定が変更されます。 設定の変更が終了したら、[OK]を押します。
[ID]	[[2in1 ID(縦並び)]]レイアウトで ID カードのコピーを作成するには、[[ID]]チェックボックスを選択します。
現在の設定表示	画面に表示された範囲を押すと、次のコピーのみコピー設定が変更されます。 • [原稿サイズ] • [拡大/縮小] • [用紙トレイ選択]
（[プレビュー]） (MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	本製品が印刷を開始する前に、コピー結果を画面でプレビューします。

- 新しいオプションの選択を完了したあと、［ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録］を押して設定を保存できます。
- （MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）本製品が印刷を開始する前にコピー結果をプレビューするには、を押してから［ﾓﾉｸﾛﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ］または［ｶﾗｰﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ］を押します。本製品は原稿をスキャンし、コピー結果の**最初のページ（片面）のみ**を画面に表示します。コピー結果に問題がない場合は、［スタート］を押して印刷し、処理を終了します。

5. ［ﾓﾉｸﾛ ｽﾀｰﾄ］または［ｶﾗｰ ｽﾀｰﾄ］を押します。

コピーを停止するには、を押します。

関連情報

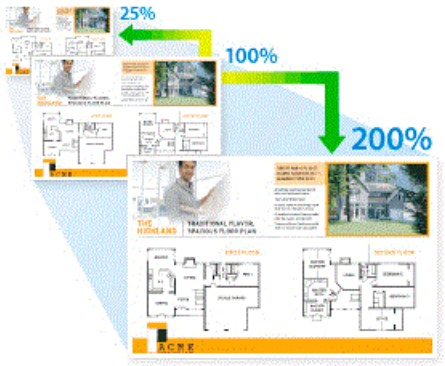
- コピー

関連トピック：

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする
- 原稿台ガラスに原稿をセットする
- コピー設定

コピー画像を拡大または縮小する

拡大率または縮小率を選択して、コピーデータの大きさを変更します。



1. 原稿をセットします。
2. [コピー]を押します。
3. 以下のいずれかの方法で部数を入力します：
   - 画面の[-]または[+]を押します。
   - ×001を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK]を押します。
   - ダイヤルパッドを使用して部数を入力します。
4. [設定変更] > [拡大/縮小]を押します。
5. ▲または▼を押して利用可能なオプションを表示し、変更したいオプションを押します。
6. 以下のいずれかを行ってください：
   - [拡大]または[縮小]を選択した場合、設定したい拡大率または縮小率を押します。
   - [カスタム(25-400%)]を選択した場合、（バックスペースキー）を押して、表示されている倍率を消すか、◀を押してカーソルを移動し、[25%]から[400%]の間で拡大率または縮小率を入力します。[OK]を押します。
   - [等倍 100%]または[用紙に合わせる]を選んだ場合は、次の手順に進みます。
7. 選択したオプションの一覧が表示されるので確認し、[OK]を押します。

（MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）本製品が印刷を開始する前にコピー結果をプレビューするには、を押してから[ﾓﾉｸﾛﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ]または[ｶﾗｰﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ]を押します。本製品は原稿をスキャンし、コピー結果の**最初のページ（片面）のみ**を画面に表示します。コピー結果に問題がない場合は、[スタート]を押して印刷し、処理を終了します。

8. 設定の変更が終了したら、[ﾓﾉｸﾛ ｽﾀｰﾄ]または[ｶﾗｰ ｽﾀｰﾄ]を押します。

[用紙に合わせる]オプションを選択した場合、セットした用紙のサイズに合わせて自動的にコピーサイズが設定されます。

- 原稿台ガラスに置いた原稿が傾いていると、[用紙に合わせる]オプションが適切に動作しません。原稿の読取面を下にして、原稿ガイドに合わせて原稿台ガラスの左上角に原稿を置きます。

関連情報

- コピー

ソートコピー

複数ページのコピーを部単位でまとめます。コピーされたページは、原稿の順番通りに排出されます：1、2、3など。

1. 原稿をセットします。
2. [コピー] を押します。
3. 以下のいずれかの方法で部数を入力します：
   - 画面の [-] または [+] を押します。
   - ×001 を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK] を押します。
   - ダイヤルパッドを使用して部数を入力します。
4. [設定変更] > [スタック/ソート] > [ソートコピー] を押します。
5. 選択した設定の一覧が表示されたら、内容を確認して、[OK] を押します。

（MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）本製品が印刷を開始する前にコピー結果をプレビューするには、を押してから [ﾓﾉｸﾛﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ] または [ｶﾗｰﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ] を押します。本製品は原稿をスキャンし、コピー結果の**最初のページ（片面）のみ**を画面に表示します。コピー結果に問題がない場合は、[スタート] を押して印刷し、処理を終了します。

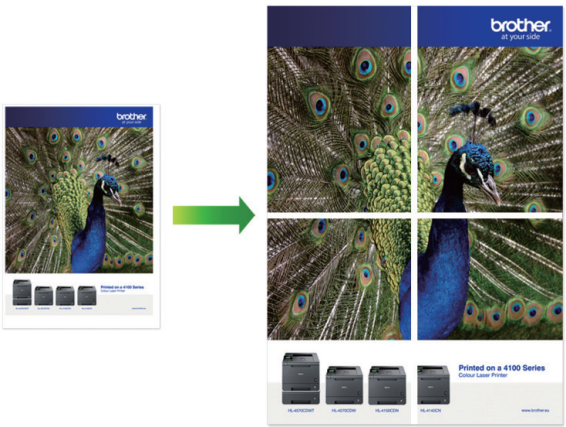
6. 設定の変更が終了したら、[ﾓﾉｸﾛ ｽﾀｰﾄ] または [ｶﾗｰ ｽﾀｰﾄ] を押します。ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットした場合、本製品は原稿をスキャンして、印刷を開始します。
7. 原稿台ガラスを使用している場合は、原稿の各ページで以下の手順を繰り返します：
   - 次のページを原稿台ガラスに置き、[次のページ開始] を押してページを読み取ります。
   - すべてのページの読み取りが終わったら、[全てのページ完了] を押します。

関連情報

- コピー

レイアウトコピーをする（N in 1 コピーまたはポスターコピー）

N in 1 コピー機能は、2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に並べてコピーすることで、用紙を節約します。ポスターコピー機能は、原稿をいくつかに分割し、各部分を拡大して 1 枚のポスターに組み立てられるようにコピーします。ポスターコピーをする場合は、原稿台ガラスを使用してください。

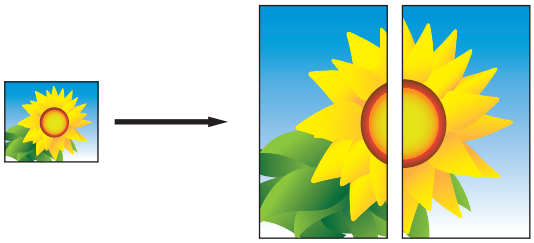
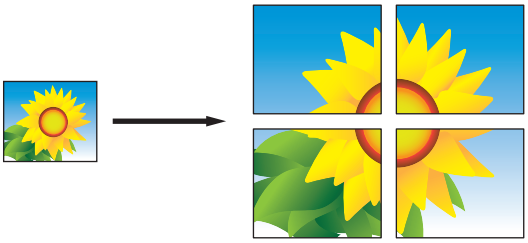
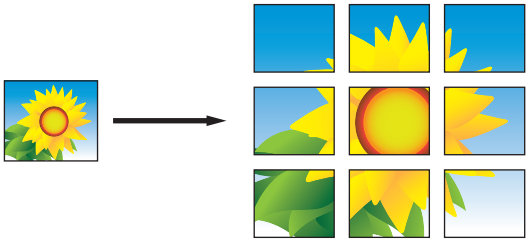


- 用紙サイズが A4 サイズ、B4（JIS）サイズ、A3 サイズに設定されているか確認してください。
- ポスターコピーは一度に複数部の指定ができません。

2 枚分割コピーでは、1 枚の A3 サイズの用紙を A4 サイズの用紙 2 枚にコピーします。
2 枚分割コピーは一度に複数部の指定ができません。

1. 原稿をセットします。
2. [コピー] を押します。
3. 以下のいずれかの方法で部数を入力します：
   - 画面の [-] または [+] を押します。
   - ×001 を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK] を押します。
   - ダイヤルパッドを使用して部数を入力します。
4. [設定変更] > [レイアウト コピー] を押します。
5. ▲ または ▼ を押してオプションを表示させ、設定したいオプションを押します。

オプション	詳細
[オフ (1in1)]	-

オプション	詳細
[2in1(縦長)]	
[2in1(横長)]	
[2in1 ID(縦並び)] (原稿台ガラスを使用する場合)	
[2in1 ID(横並び)] (原稿台ガラスを使用する場合)	
[4in1(縦長)]	
[4in1(横長)]	
[2 枚に分割] (原稿台ガラスを使用する場合)	
[ポスター(2x1)] (原稿台ガラスを使用する場合)	
[ポスター(2x2)] (原稿台ガラスを使用する場合)	
[ポスター(3x3)] (原稿台ガラスを使用する場合)	

6. 選択した設定の一覧が表示されたら、内容を確認して、[OK]を押します。

（MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）本製品が印刷を開始する前にコピー結果をプレビューするには、 を押してから［ﾓﾉｸﾛﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ］または［ｶﾗｰﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ］を押します。本製品は原稿をスキャンし、コピー結果の**最初のページ（片面）のみ**を画面に表示します。コピー結果に問題がない場合は、［スタート］を押して印刷し、処理を終了します。

7. 設定の変更が終了したら、［ﾓﾉｸﾛ ｽﾀｰﾄ］または［ｶﾗｰ ｽﾀｰﾄ］を押します。ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットした場合、もしくはポスターコピーまたは 2 枚分割コピーをする場合、原稿がスキャンされ、コピーが開始されます。

8. 原稿台ガラスを使用している場合は、原稿の各ページで以下の手順を繰り返します：
   - 次のページを原稿台ガラスに置き、［次のページ開始］を押してページを読み取ります。
   - すべてのページの読み取りが終わったら、［全てのページ完了］を押します。

関連情報

- コピー

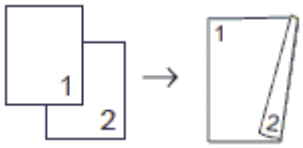
両面コピーする

両面にコピーをすることで、用紙の使用量を減らします。

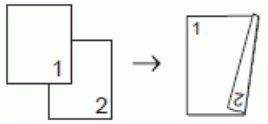
- 両面コピーをする前に、以下の設定から両面コピーのレイアウトを選択する必要があります。
- 元の原稿のレイアウトに合わせて、どの両面コピー設定を選択すべきか決定します。
- (MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)
  ADF（自動原稿送り装置）を使って、A3 サイズまでの両面原稿を自動でコピーできます。
- (MFC-J7100CDW)
  手動で両面原稿から両面コピーする場合は、原稿台ガラスを使用してください。
- A3、B4（JIS）、A4、B5（JIS）、A5 サイズの普通紙のみ使用できます。

縦向き

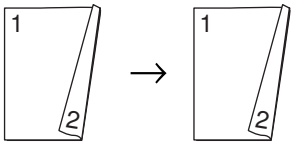
片面から両面（長辺とじ）



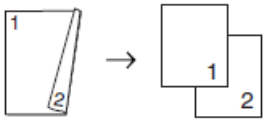
片面から両面（短辺とじ）



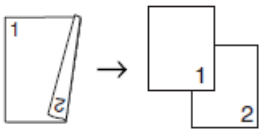
両面から両面



両面から片面（長辺とじ）

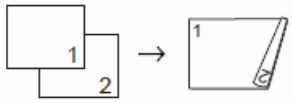


両面から片面（短辺とじ）

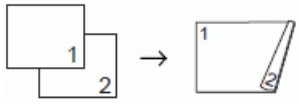


横向き

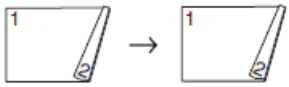
片面から両面（長辺とじ）



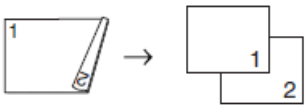
片面から両面（短辺とじ）



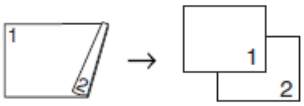
両面から両面



両面から片面（長辺とじ）



両面から片面（短辺とじ）



1. 原稿をセットします。
2. [コピー] を押します。
3. 以下のいずれかの方法で部数を入力します：
   - 画面の [-] または [+] を押します。
   - ×001 を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK] を押します。
   - ダイヤルパッドを使用して部数を入力します。
4. 複数部にコピーをまとめるには、[設定変更] > [スタック/ソート] > [ソートコピー] を押します。
5. ▲ または ▼ を押して [両面コピー] を表示させ、それを押します。
6. 以下のいずれかを行ってください：
   - 片面原稿から両面コピーをする場合は、以下の操作を行います：
     a. レイアウトを変更する場合には、[とじ方向] を押してから、[長辺とじ] または [短辺とじ] を押します。
     b. [片面⇒両面] を押します。
   - (MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)
     両面原稿から両面コピーをする場合は、[両面⇒両面] を押します。

自動両面コピー機能を使用する場合は、原稿を ADF(自動原稿送り装置)にセットします。

   - (MFC-J7100CDW)
     両面原稿から両面コピーをする場合は、[両面⇒両面] を押します。

手動で両面原稿から両面コピーをする場合は、原稿台ガラスを使用します。

   - (MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)
     両面原稿を片面コピーする場合は、以下の操作を行います：
     a. レイアウトを変更する場合には、[とじ方向] を押してから、[長辺とじ] または [短辺とじ] を押します。
     b. ▲ または ▼ を押して [両面⇒片面] を表示させ、それを押します。

自動両面コピー機能を使用する場合は、原稿を ADF(自動原稿送り装置)にセットします。

7. 画面で設定を確認してから、[OK] を押します。

(MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW) 本製品が印刷を開始する前にコピー結果をプレビューするには、 を押してから [ﾓﾉｸﾛﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ] または [ｶﾗｰﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ] を押します。本製品は原稿をスキャンし、コピー結果の**最初のページ（片面）のみ**を画面に表示します。コピー結果に問題がない場合は、[スタート] を押して印刷し、処理を終了します。

8. [ﾓﾉｸﾛ ｽﾀｰﾄ] または [ｶﾗｰ ｽﾀｰﾄ] を押します。ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットした場合、本製品は原稿をスキャンし、印刷を開始します。
9. 原稿台ガラスを使用している場合は、原稿の各ページで以下の手順を繰り返します：

- 次のページを原稿台ガラスに置き、［次のページ開始］を押してページを読み取ります。
- すべてのページの読み取りが終わったら、［全てのページ完了］を押します。

二度目に排紙されるまで、出力紙に触らないでください。本製品は片面を印刷した後、一度排紙してから、もう一方の片面を印刷するために出力紙を引き込みます。

印刷した用紙が汚れたり、用紙詰まりが起きる場合は、［インク］＞［印刷設定オプション］＞［用紙汚れの低減］を押して、設定を変更してください。

関連情報

- コピー

関連トピック：

- 印刷設定オプションを変更して印刷結果を改善する

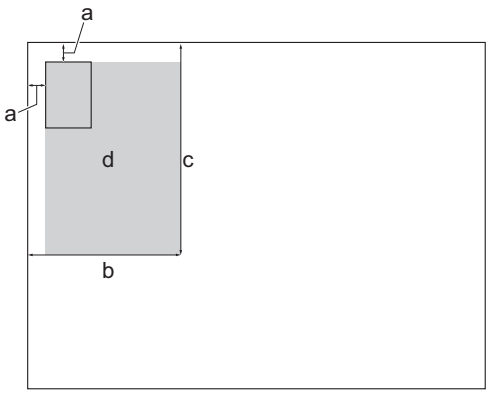
ID カードをコピーする

[2in1(ID カード)]機能を使うと、身分証明書のようなカードの両面を、原寸のまま 1 ページにコピーすることができます。

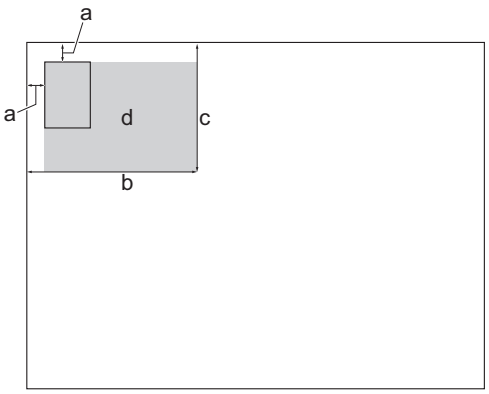
- 用紙サイズが A4 サイズに設定されているか確認してください。
- 法律で認められる範囲内で ID カードコピーを行ってください。詳しい説明は「安全にお使いいただくために」をご覧ください。

1. ID カードを、読み取る面を下にして、原稿台ガラスの左上角の近くに置きます。

2 in 1 ID（縦並び）



2 in 1 ID（横並び）



a. 3mm 以上（上、左）

b. 145mm

c. 2 in 1 ID（縦並び）：207mm

   2 in 1 ID（横並び）：102mm

d. 読み取り可能範囲

2. [コピー]を押します。
3. 以下のいずれかの方法で部数を入力します：
   - 画面の[-]または[+]を押します。
   - ×001を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK]を押します。
   - ダイヤルパッドを使用して部数を入力します。
4. [設定変更] > [レイアウト コピー] > [2in1 ID(縦並び)]または[2in1 ID(横並び)]を押します。

[ID]を押して[2in1 ID(縦並び)]設定を行うこともできます。

5. 選択した設定の一覧が表示されるので確認します。設定の変更が終了したら、[OK]を押します。

（MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）本製品が印刷を開始する前にコピー結果をプレビューするには、 を押してから［ﾓﾉｸﾛﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ］または［ｶﾗｰﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ］を押します。本製品は原稿をスキャンし、コピー結果の**最初のページ（片面）のみ**を画面に表示します。コピー結果に問題がない場合は、［スタート］を押して印刷し、処理を終了します。

6. ［ﾓﾉｸﾛ ｽﾀｰﾄ］または［ｶﾗｰ ｽﾀｰﾄ］を押します。

   本製品で ID カードの片面のスキャンを開始します。

7. 片面のスキャンが終わったら、ID カードを裏返し、［次のページ開始］を押してもう一方の片面もスキャンします。

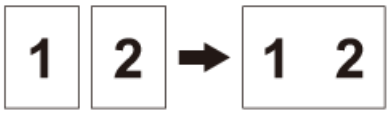
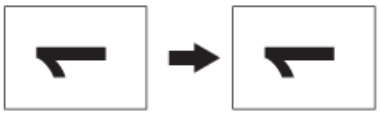
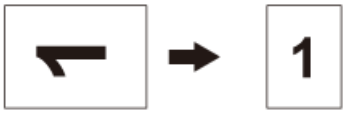
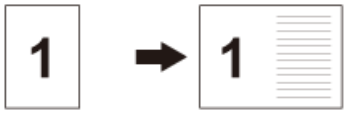
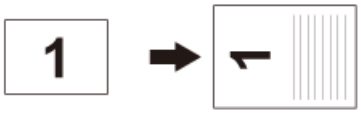
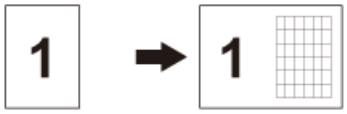
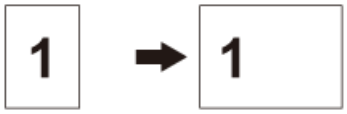
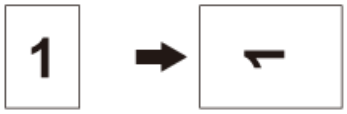
関連情報

- コピー

A3 コピーのショートカットを使う

A3 サイズの用紙に、ノート形式のフォーマットと一緒にコピーすることができます。2 in 1、拡大および縮小コピーをすることもできます。

1. 原稿をセットします。
2. ◀または▶を押して[便利な A3 コピー]を表示させ、それを押します。
3. 情報が画面に表示されたら、確認し、[OK]を押します。
4. ◀または▶を押してオプションを表示させ、設定したいオプションを押します。

オプション	説明
[A3 2in1]	
[A3 等倍]	
[A4⇒A3 拡大]	
[A3⇒A4 縮小]	
[A4 + ノート(横)]	
[A4 + ノート(縦)]	
[A4 + 方眼]	
[A4 + メモ]	
[A4 センター]	

5. 以下のいずれかの方法で部数を入力します：
   - 画面の[-]または[+]を押します。
   - ×001を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK]を押します。
   - ダイヤルパッドを使用して部数を入力します。

6. 設定を変更するには、[設定変更]を押します。
7. 設定の変更が終了したら、[OK]を押します。
8. [ﾓﾉｸﾛ ｽﾀｰﾄ]または[ｶﾗｰ ｽﾀｰﾄ]を押します。
9. [A3 2in1]オプションを選び、原稿台ガラスを使用している場合は、原稿の各ページで以下の手順を繰り返します：
   - 次のページを原稿台ガラスに置き、[次のページ開始]を押してページを読み取ります。
   - すべてのページの読み取りが終わったら、[全てのページ完了]を押します。

関連情報

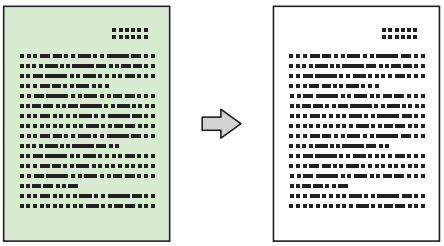
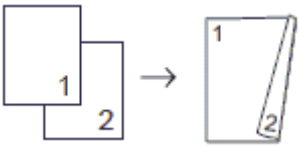
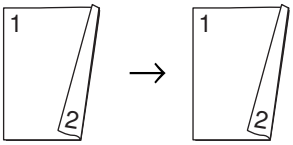
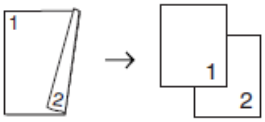
- コピー

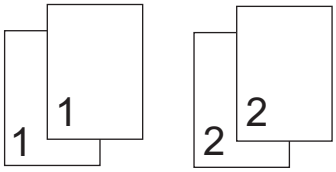
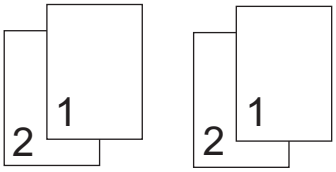
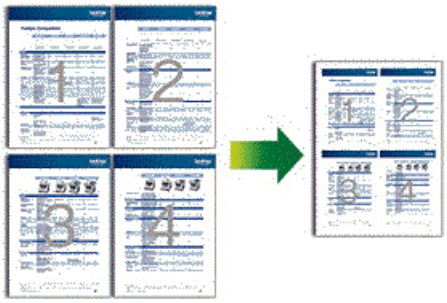
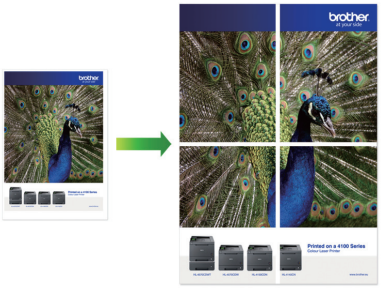
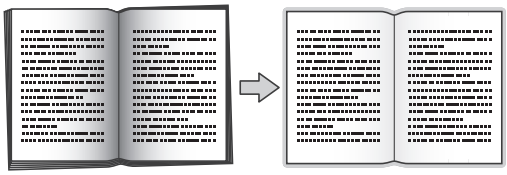
関連トピック：

- タッチパネル画面の概要

コピー設定

コピー設定を変更するには、[設定変更] を押します。

オプション	詳細	
[コピー画質]	原稿の種類に応じて、コピー画質を選択します。	
[原稿サイズ]	原稿サイズを選択します。	
[用紙トレイ選択]	原稿に最適な用紙タイプと用紙サイズがセットされたトレイを選択します。	
[用紙タイプ]	用紙の種類を選択します。 特別な用紙にコピーする場合は、最良の印刷品質を得るため、使用している用紙タイプを設定します。	
[用紙サイズ]	用紙サイズを選択します。 A4 サイズ以外の用紙にコピーする場合は、用紙サイズ設定を変更する必要があります。	
[拡大/縮小]	[等倍 100%]	-
	[用紙に合わせる]	セットした用紙サイズに合うように、コピーサイズを調整します。
	[拡大]	次のコピーで使用する拡大率を選択します。
	[縮小]	次のコピーで使用する縮小率を選択します。
	[カスタム (25-400%)]	拡大率または縮小率を入力します。
[コピー濃度]	濃度を高くして、文字を濃くします。 濃度を低くして、文字を薄くします。	
[地色除去コピー]	原稿の地色を除去してコピーします。白色がよりはっきりします。インクを節約し、コピーを読みやすくします。 	
[両面コピー]	両面コピーを選択します。 **片面→両面**  **両面→両面**  **両面→片面** (MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW) 	

オプション	詳細
[スタック/ソート]	スタックまたはソートコピーを選択します。
	スタック  **ソート** 
[レイアウト コピー]	N in 1、2 in 1 ID、2 枚分割、またはポスターコピーをします。
	4 in 1  **ポスター** 
[傾き補正]	コピーの傾きを自動的に補正するように本製品を設定します。
[便利なコピー設定]	[ブックコピー] 原稿台ガラスを使ってコピーするときにできる、陰や傾きを補正します。 
	[透かしコピー] 文字を透かして文書に追加します。
[プレビュー] (MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	本製品が印刷を開始する前に、コピー結果を画面でプレビューします。
[設定を保持する]	頻繁に使用するコピー設定を初期値設定として保存します。
[設定をリセットする]	変更したコピー設定をお買い上げ時の設定にリセットします。

[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録] を押して、現在の設定を保存できます。

関連情報

- コピー

関連トピック：

- コピーする

ファクス

- ファクスを送信する
- ファクスを受信する
- 電話帳
- 電話サービスと色々な接続方法
- 送受信テストとファクスレポート
- PC-FAX

ファクスを送信する

- お使いのブラザー製品からファクスを送る
- ADF(自動原稿送り装置)を使って両面ファクスを送信する
- 手動でファクスを送信する
- 複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信）
- リアルタイム送信する
- 時間を指定してファクスを送信する（タイマー送信）
- IP ファクスを送信する（データコネクト設定）
- ファクス自動再ダイヤル設定を変更する
- ファクス送信をキャンセルする
- 送信待ちファクスを確認、キャンセルする
- ファクスオプション

お使いのブラザー製品からファクスを送る

1. ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。
2. [ファクス] を押します。

[みるだけ受信] が [オン (画面で確認)] に設定されている場合は、[ファクス] > [ファクス送信] を押します。

以下の画面が表示されます：

3. 以下のいずれかの方法でファクス番号を入力します：
   - ダイヤルパッド（手動でファクス番号を入力します。）
     ダイヤルパッドを使って、番号のすべての数字を押します。
   - 履歴（履歴から番号を選択します。）
     [履歴] を押します。
     [再ダイヤル]、[発信履歴]、または [着信履歴] を押します。
     [発信履歴] または [着信履歴] を選択した場合は、番号を選択し、[送信先に設定] を押します。
   - [電話帳]（電話帳から番号を選択します。）
     [電話帳] を押します。
     番号を選択して、[送信先に設定] を押します。
4. 必要に応じてファクス設定を変更します。

オプション	詳細
[設定変更]	次のファクスのみ、ファクス設定を変更するには、[設定変更] を押します。 完了したら、[OK] を押します。
現在の設定表示	次のファクスのみ、これらの設定を変更するには、以下のアイコンを押します。 • [原稿サイズ] • [ファクス画質] • [原稿濃度]

5. [スタート] を押します。
   - ADF(自動原稿送り装置)を使用している場合、本製品はスキャンを開始して原稿を送信します。
   - 原稿台ガラスを使用し、[カラー設定] の [モノクロ] を選択している場合、本製品は最初のページのスキャンを開始します。
     次の手順に進みます。
   - 原稿台ガラスを使用し、[カラー設定] の [カラー] を選択している場合、カラーファクスを送信したいかどうか、画面に確認メッセージが表示されます。

[はい(カラー送信)]を押して確定します。本製品はダイヤルを開始し、原稿を送信します。

6. 画面に[次の原稿はありますか?]と表示された場合は、以下のいずれかを行ってください：
   - ページの読み取りが完了した場合は、[いいえ]を押します。本製品が原稿の送信を開始します。
   - 他のページをスキャンするには、[はい]を押します。次のページを原稿台ガラスに置き、[OK]を押します。本製品がページの読み取りを開始します。

   追加するページごとにこの手順を繰り返します。

関連情報

- ファクスを送信する

関連トピック：

- ファクスオプション

ADF(自動原稿送り装置)を使って両面ファクスを送信する

関連モデル: MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

両面ファクスを送信する前に、読み取り形式を選択する必要があります。原稿のレイアウトに応じて、長辺とじまたは短辺とじを選択してください。

1. ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。
2. [ファクス] を押します。

[みるだけ受信] が [オン (画面で確認)] に設定されている場合は、[ファクス] > [ファクス送信] を押します。

3. [設定変更] > [両面ファクス] を押します。
4. 以下のいずれかを行ってください：
   - 長辺を綴じた原稿の場合は、[両面スキャン:長辺とじ原稿] を押します。
   - 短辺を綴じた原稿の場合は、[両面スキャン:短辺とじ原稿] を押します。
5. [OK] を押します。
6. ファクス番号を入力します。
7. [スタート] を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

手動でファクスを送信する

手動送信を使用すると、ダイヤルトーン（ツーという音）、呼出音、またファクス受信音（ピーヒョロヒョロという音）を確認してファクスを送信することができます。

1. 原稿をセットします。
2. [ファクス] を押します。

[みるだけ受信] が [オン (画面で確認)] に設定されている場合は、[ファクス] > [ファクス送信] を押します。

3. [ｵﾝﾌｯｸ] を押して、ダイヤルトーンを聞きます。
4. ファクス番号を入力します。
5. ファクス受信音が聞こえたら、[スタート] を押します。
   - 原稿台ガラスを使用している場合は、[送信] を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信）

同じ原稿を複数のファクス番号に同時に送信する場合は、同報送信機能を使用します。

- この機能はモノクロファクスのみ対応しています。
- 電話帳の番号を同報送信で使用するには、事前に電話帳を製品のメモリーに登録する必要があります。
- グループダイヤルを同報送信で使用する場合も、事前にグループダイヤルを製品のメモリーに登録する必要があります。グループに電話帳の番号をたくさん登録すると、簡単にダイヤルすることができます。

同じ同報送信には、グループ、電話帳の番号、直接入力した番号（最大 50 件）を含めることができます。
電話帳にグループダイヤルを使用していない場合、最大 250 件の異なる番号にファクスを同報送信することができます。

1. 原稿をセットします。
2. [ファクス] を押します。

[みるだけ受信] が [オン (画面で確認)] に設定されている場合は、[ファクス] > [ファクス送信] を押します。

3. [設定変更] > [同報送信] を押します。
4. [番号追加] を押します。
   以下の方法で、同報送信に番号を追加できます。
   - [番号追加] を押し、ダイヤルパッドを使ってファクス番号を入力します。[OK] を押します。

   E メールアドレスを使用して同報送信する場合、を押して E メールアドレスを入力し、[OK] を押します。

   - [電話帳から選択] を押します。▲または▼を押して、同報送信に追加する番号を表示します。追加する番号のチェックボックスを選択します。
     完了したら、[OK] を押します。
   - [検索して選択] を押します。名前の最初の文字を押し、[OK] を押します。名前を押したあと、追加する番号を押します。

   追加するファクス番号ごとにこの手順を繰り返します。
5. 完了したら、[OK] を押します。
6. [スタート] を押します。
7. 以下のいずれかを行ってください：
   - ADF(自動原稿送り装置)を使用している場合、本製品はスキャンを開始して原稿を送信します。
   - 原稿台ガラスを使用している場合、本製品は最初のページのスキャンを開始します。
     画面に [次の原稿はありますか?] と表示された場合は、以下のいずれかを行ってください：
     - ページの読み取りが完了した場合は、[いいえ] を押します。 本製品が原稿の送信を開始します。
     - 他のページをスキャンするには、[はい] を押します。次のページを原稿台ガラスに置き、[OK] を押します。 本製品がページの読み取りを開始します。

     追加するページごとにこの手順を繰り返します。

関連情報

- ファクスを送信する
  - 同報送信をキャンセルする

関連トピック：

- 同報送信のグループダイヤルを設定する
- 本製品にテキストを入力する

同報送信をキャンセルする

同報送信中に、現在のあて先のみか、全ての送信先かを選んで送信をキャンセルすることができます。

1. を押してホーム画面に戻ります。
2. を押します。
3. 以下のいずれかを行ってください：
   - すべての同報送信をキャンセルするには、［全ての同報送信］を押します。［はい］を押して確認するか、［いいえ］を押してキャンセルせずに操作をやめます。
   - ダイヤルする現在の番号をキャンセルするには、画面上の名前または番号を押します。［はい］を押して確認するか、［いいえ］を押してキャンセルせずに操作をやめます。
   - キャンセルせずに終了する場合、を押します。

関連情報

- 複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信）

リアルタイム送信する

本製品は、ファクス送信する時、送信前に原稿を製品のメモリーに記憶します。電話回線につながり次第、本製品はダイヤルとファクス送信を始めます。すぐに重要な原稿を送りたい場合には、製品のメモリーを使わずに、原稿を読み取りながら送信する［リアルタイム送信］の機能を有効にします。

- カラーファクスを送信している場合、または製品のメモリーがいっぱいで ADF(自動原稿送り装置)からモノクロファクスを送信している場合、［リアルタイム送信］が［オフ］に設定されていても原稿はリアルタイムで送信されます。
- リアルタイム送信では、原稿台ガラスを使用しているときは自動再ダイヤル機能は機能しません。

1. 原稿をセットします。
2. ［ファクス］を押します。

［みるだけ受信］が［オン（画面で確認）］に設定されている場合は、［ファクス］>［ファクス送信］を押します。

3. ［設定変更］>［リアルタイム送信］を押します。
4. ［オン］を押します。
5. ［OK］を押します。
6. ファクス番号を入力します。
7. ［スタート］を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

時間を指定してファクスを送信する（タイマー送信）

24 時間以内に送信するファクスを、50 件まで製品のメモリーに保存することができます。

この機能はモノクロファクスのみ対応しています。

1. 原稿をセットします。
2. [ファクス] を押します。

[みるだけ受信] が [オン (画面で確認)] に設定されている場合は、[ファクス] > [ファクス送信] を押します。

3. [設定変更] > [タイマー送信] を押します。
4. [タイマー送信] を押します。
5. [オン] を押します。
6. [指定時刻] を押します。
7. 画面を使ってファクスを送信する時間を入力します。[OK] を押します。

メモリーに記憶できるページ数は、データ量とデータ種類によって異なります。

8. [OK] を押します。
9. ファクス番号を入力します。
10. [スタート] を押します。
    - 原稿台ガラスを使用している場合は、次の手順に進みます。
11. 画面に [次の原稿はありますか?] と表示された場合は、以下のいずれかを行ってください：
    - ページの読み取りが完了した場合は、[いいえ] を押します。
    - 他のページをスキャンするには、[はい] を押します。次のページを原稿台ガラスに置き、[OK] を押します。本製品がページの読み取りを開始します。

    追加するページごとにこの手順を繰り返します。

関連情報

- ファクスを送信する

IP ファクスを送信する（データコネクト設定）

データコネクトとは、NTT のフレッツ 光ネクストのご契約をされている場合に利用できるサービスです。次世代ネットワーク（NGN）で IP ファクスを使用する場合に設定します。（モノクロファクスのみ）

- データコネクトとは、お使いの市外局番（「03」など）から始まる電話番号を利用して、セキュリティ性が高く安定した帯域確保型データ通信を実現する NTT のフレッツ 光ネクストのサービスです。送信先の機器が次世代ネットワーク（NGN）に接続していれば、データコネクトで IP ファクスを使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。
- 「データコネクト」「フレッツ 光ネクスト」は、NTT 東日本/NTT 西日本のサービスです。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ファクス］>［データコネクト設定］>［IP ファクス］を押します。
2. 送信動作を選びます。
   - ［専用］
     ファクス送信が IP ファクスのみとなります。ただし、手動送信の場合は、通常のファクス送信になります。
   - ［優先］
     相手先が IP ファクスに対応しているかを自動的に確認し、対応していない場合には通常のファクス送信を行います。
   - ［オフ］
     通常のファクス送信のみとなります。
3. ［送信速度］を押します。
4. ▲または▼を押して、光ネクストのご契約内容に合わせて通信速度を選びます。
   - ［自動］
     本製品が回線にアクセスして判断します。
   - ［標準］
     64kbps に設定します。
   - ［高速］
     512kbps に設定します。
   - ［最高速］
     1000kbps に設定します。
5. を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

ファクス自動再ダイヤル設定を変更する

ファクスを自動送信中に回線が混み合っている場合、ファクス自動再ダイヤル設定が［オン］にされていれば、3 回まで 5 分間隔で再ダイヤルします。

お買い上げ時の設定は［オン］です。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［初期設定］>［ファクス自動再ダイヤル］を押します。
2. ［オン］または［オフ］を押します。
3. を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

ファクス送信をキャンセルする

1. を押してホーム画面に戻ります。
2. を押して、進行中のファクスをキャンセルします。
3. ダイヤル中や送信中にを押すと、［停止しますか?］と画面に表示されます。［はい］を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

関連トピック：

- 電話とファクスの問題

送信待ちファクスを確認、キャンセルする

製品のメモリーに保存された送信待ちファクスを確認、またはキャンセルするには、手順に従って操作してください。メモリーにファクスジョブがない場合には、画面に［通信待ちはありません］と表示されます。 ファクスが送信される前であれば、ファクスジョブをキャンセルすることができます。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ファクス］>［通信待ち一覧］を押します。
2. 確認したいファクスジョブやキャンセルしたいファクスジョブに対して下記の操作を行います。
   a. ▲または▼を押して、送信待ちのジョブをスクロールします。キャンセルしたいジョブがある場合は、そのジョブを押してください。
   b. ［停止］を押します。
   c. ［はい］を押して確認するか、［いいえ］を押してキャンセルせずに操作をやめます。
3. 完了したら、を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

関連トピック：

- 電話とファクスの問題

ファクスオプション

ファクスの送信設定を変更するには、[設定変更] を押します。

オプション	詳細
[ファクス画質]	ファクス送信するときの画質を設定します。 ファクス画質を変更することで、ファクスの画質が改善されます。
[原稿濃度]	原稿濃度を設定します。 原稿が明る過ぎたり、暗過ぎたりする場合は、原稿濃度を変更することで、ファクスの画質が改善される場合があります。
[両面ファクス] (MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)	両面読み取りの形式を設定します。
[原稿サイズ]	送信ファクスの原稿サイズを設定します。
[長尺原稿送信]	ADF(自動原稿送り装置)を使って長い原稿をスキャンします。
[同報送信] (モノクロのみ)	1 回の操作で複数の相手先に同じ原稿を送ります。
[みてから送信] (モノクロのみ)	ファクス送信する前に、画面でファクスの内容を確認できます。
[カラー設定]	原稿をモノクロまたはカラーで送信するかどうかの設定をします。 • カラーファクスの場合はメモリーに保存されず、すぐに送信されます。 • 複数枚のカラーファクスを送信する場合は、ADF(自動原稿送り装置)を使用してください。 • [みてから送信] が [オン] に設定されている場合、カラーファクスは送信できません。
[タイマー送信] (モノクロのみ)	指定した時刻にファクスを送信します。
[とりまとめ送信] (モノクロのみ)	送信時刻と相手先の番号が同じものを、1 回のファクスでまとめて送るように設定し、通信時間を節約します。
[リアルタイム送信]	製品のメモリーからデータが読み取られるのを待たずに、すぐにファクスを送信します。
[海外送信モード]	海外へのファクス送信がうまくいかない場合、オンに設定します。
[履歴]	履歴から番号を選択します。
[電話帳]	電話帳から番号を選択します。
[設定を保持する]	現在の設定を初期値として保存します。
[設定をリセットする]	設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録] を押して、現在の設定を保存できます。
設定を直接スタート機能にするかどうかを尋ねられます。画面の指示に従います。

関連情報

- ファクスを送信する

関連トピック：

- お使いのブラザー製品からファクスを送る

ファクスを受信する

- 受信モードの設定
- 親切受信を設定する
- みるだけ受信
- サイズを超えた受信ファクスのサイズを縮小する
- ファクス受信スタンプの設定
- メモリー受信オプション
- リモコン機能
- リモートコードを使う

受信モードの設定

- 受信モードの概要
- 正しい受信モードを選択する
- 本製品が着信応答するまでの着信音の回数を設定する（呼出ベル回数）
- 再呼出ベル回数を設定する

受信モードの概要

一部の受信モードは自動的に応答します（[FAX=ファクス専用]と[F/T=自動切換え]）。これらのモードを使用する前に、呼出ベル回数を変更してください。

ファクス専用

[FAX=ファクス専用]モードでは、すべての着信をファクスとして自動的に応答します。

F/T=自動切換え

[F/T=自動切換え]モードにすると、着信がファクスか音声通話かを判別し、以下のいずれかの方法でお知らせします。

- ファクスの場合は自動的に受信します。
- 音声通話の場合は、再呼出ベルで電話に出るようお知らせします。再呼出ベルは、本製品で作られた擬似呼出音です。

TEL=電話

[TEL=電話]モードはすべての自動応答機能をオフにします。

[TEL=電話]モードでファクスを受信するには、外付け電話の受話器を取ります。ファクス受信音（「ポーポー」という音）が聞こえたら、を押してから、[ファクス送受信] > [受信]を押して、ファクスを受信します。親切受信機能を使い、製品と同じ回線にある外付け電話の受話器を取ることでファクスを受信することもできます。

留守=外付け留守電

[留守=外付け留守電]モードでは、外付け留守番電話機が着信を管理します。

着信は下記のように判別されます。

- ファクスの場合は自動的に受信します。
- 音声通話の場合は、外付け留守番電話機にメッセージを録音します。

関連情報

- 受信モードの設定

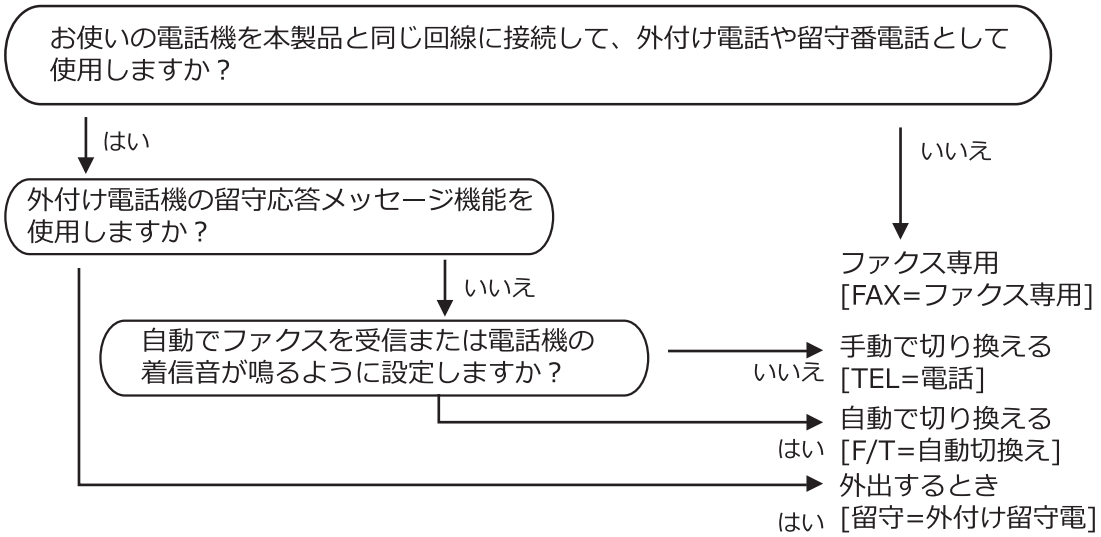
関連トピック：

- 本製品が着信応答するまでの着信音の回数を設定する（呼出ベル回数）
- 再呼出ベル回数を設定する
- 親切受信を設定する

正しい受信モードを選択する

お使いの回線で使用している外部機器および電話サービスに合わせて、受信モードを選択する必要があります。

お買い上げ時の設定では、送られてくるファクスは自動的に全て受信するようになっています。下記を参考に、正しいモードを選択してください。



本製品にはガイドに沿って電話とファクスの受け方を設定できる「かんたんファクス設定」機能があります。[メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [かんたんファクス設定]を押して、画面の指示に従って設定を進めると、接続環境に応じて、最適な受信モードに設定されます。

[かんたんファクス設定]を使って設定を行った場合は、以下の受信モードの設定操作は不要です。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [受信モード]を押します。
2. ▲または▼を押して、[FAX=ファクス専用]、[F/T=自動切換え]、[留守=外付け留守電]または[TEL=電話]を表示させ、使用したいオプションを押します。
3. を押します。

関連情報

- 受信モードの設定

関連トピック：

- 電話とファクスの問題
- リモコンコード

本製品が着信応答するまでの着信音の回数を設定する（呼出ベル回数）

本製品に着信があると、通常の着信音が鳴ります。着信音の回数は、呼出ベル回数オプションで設定します。

- 呼出ベル回数設定で、[FAX=ファクス専用]モードと[F/T=自動切換え]モードのときに自動受信するまでの着信音の回数を設定します。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [呼出ベル回数]を押します。
2. 本製品が着信応答するまでの着信音の回数を押します。

[0]を選択した場合、着信音は鳴らず、自動受信します。

3. を押します。

関連情報

- 受信モードの設定

関連トピック：

- 受信モードの概要
- 親切受信を設定する
- 電話とファクスの問題

再呼出ベル回数を設定する

受信モードが[F/T=自動切換え]に設定されていると、着信がファクスの場合に、本製品は自動的にファクスを受信します。しかし、着信が音声通話の場合は、本製品は再呼出ベル回数オプションで設定した回数を鳴らします。再呼出ベルが聞こえた場合、音声通話の着信が入っているということが分かります。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [再呼出ベル回数]を押します。
2. 音声通話を知らせる再呼出ベルをどれくらい鳴らすかを押します。
3. を押します。

再呼出ベルが鳴っている間に発信者が電話を切った場合でも、製品は設定されている回数だけ鳴らします。

関連情報

- 受信モードの設定

関連トピック：

- 受信モードの概要

親切受信を設定する

本製品と接続している電話機で電話に出たときにファクスであれば、受話器を持ったまま約 7 秒待つと自動的にファクスを受信できます。本製品を手動で操作する必要がないため、離れた場所で電話に出たときなどに便利です。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [親切受信] を押します。
2. [オン]（または [オフ]）を押します。
3. を押します。

関連情報

- ファクスを受信する

関連トピック：

- 受信モードの概要
- 本製品が着信応答するまでの着信音の回数を設定する（呼出ベル回数）
- 電話とファクスの問題

みるだけ受信

「みるだけ受信」は受信したファクスの内容を画面で確認できる機能です。

- みるだけ受信をオンにする
- 画面で新着ファクスを見る

みるだけ受信をオンにする

- この機能はモノクロファクスのみ対応しています。
- みるだけ受信がオンのとき、ファクス転送、PC-FAX 受信、ファクスクラウド転送のバックアップコピーは、本体でも印刷するように設定していても印刷されません。
- ファクス受信スタンプがオンに設定されている場合、印刷されたファクスには受信日時が印字されますが、みるだけ受信画面には表示されません。

1. [メニュー] を押して、 [みるだけ受信] を押します。
2. [オン (画面で確認)] （または [オフ (受信したら印刷)] ）を押します。
   今後受信するファクスは印刷されないというメッセージが画面に表示されます。
3. [はい] を押します。
4. を押します。

みるだけ受信をオフに変更した時に、まだメモリー内にファクスが保存されている場合は、以下のうちいずれかを行います：

- 保存されているファクスを印刷したくない場合は、 [全て消去] を押します。
  [はい] を押して確認します。
  ファクスは消去されます。
- 保存されているファクスを全て印刷するには、 [全て印刷してから消去] を押します。
- みるだけ受信をオフにしない場合は、 [キャンセル] を押します。

関連情報

- みるだけ受信

画面で新着ファクスを見る

ファクスを受信すると、画面にメッセージが表示されます。

- この機能はモノクロファクスのみ対応しています。
- 既読ファクスを再度見るには、[ファクス] と [受信ファクス] を押します。

1. 新着ファクスを見るには を押します。

2. ファクス一覧には新旧のファクスが含まれます。新着ファクスには、緑の印がつきます。
見たいファクスを押します。

リスト内の全てのファクスを印刷または消去したい場合は [印刷/消去] を押します。
以下のいずれかを行ってください：
- まだ見ていないファクスを全て印刷するには [全て印刷 (新着ファクス)] を押します。
- 既に見たファクスを全て印刷するには [全て印刷 (既読ファクス)] を押します。
- まだ見ていないファクスを全て消去するには [全て消去 (新着ファクス)] を押します。
- 既に見たファクスを全て消去するには [全て消去 (既読ファクス)] を押します。

3. 表中のボタンを押して、以下の操作を行います：

ボタン	結果
	ファクスを拡大します。

ボタン	結果
	ファクスを縮小します。
	縦にスクロールします。
	横にスクロールします。
	ファクスを時計回りに回転させます。
	ファクスを消去します。 ［はい］を押して確認します。
	前のページに戻ります。
	次のページに進みます。
	ファクスの一覧に戻ります。
［スタート］	ファクスを印刷します。 ファクスが 1 ページの場合は、印刷を開始します。本製品のメモリーからファクスを削除するかどうかを確認するメッセージが画面に表示されます。ファクスを削除するには、［はい］を押します。ファクスを本製品のメモリーに残すには、［いいえ］を押します。 ファクスが複数ページの場合は、以下のいずれかを行います。 • すべてのページを印刷するには、［全てのページをプリント］を押します。本製品のメモリーからファクスを削除するかどうかを確認するメッセージが画面に表示されます。ファクスを削除するには、［はい］を押します。ファクスを本製品のメモリーに残すには、［いいえ］を押します。 • 表示されているページのみを印刷するには、［表示ページのみプリント］を押します。 • 表示されているページから最後のページまですべてを印刷するには、［表示ページ以降プリント］を押します。

- ファクスデータが大きいと、表示されるまでに時間がかかります。
- 画面にファクスの現在のページ番号と合計ページ数が表示されます。

4. を押します。

関連情報

- みるだけ受信

サイズを超えた受信ファクスのサイズを縮小する

[自動縮小] 機能が [オン] の場合、本製品は受信した大きいサイズのファクスを用紙サイズに合わせて縮小します。ファクスの用紙サイズと用紙サイズ設定から、製品が縮小率を計算します。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [自動縮小] を押します。
2. [オン]（または [オフ]）を押します。
3. を押します。

関連情報

- ファクスを受信する

関連トピック：

- 用紙設定
- 用紙の取り扱いと印刷の問題

ファクス受信スタンプの設定

ファクスを印刷するときに、受信した日時を各ページの一番上に印刷するように設定します。製品に現在の日付と時刻を設定していることを確認してください。

この機能はモノクロファクスのみ対応しています。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [受信スタンプ] を押します。
2. [オン]（または [オフ]）を押します。
3. を押します。

関連情報

- ファクスを受信する

メモリー受信オプション

本製品から離れているときは、メモリー受信を使って受信ファクスを管理することができます。メモリー受信オプションは一度につき 1 つのみ使用可能です。

メモリー受信は下記のオプションに設定できます：

- ファクス転送
- メモリー保持のみ
- PC-FAX 受信
- ファクスクラウド転送
  受信ファクスはオンラインサービスに転送されます。
- オフ

この機能はモノクロファクスのみ対応しています。

- 受信ファクスを別のファクス機に転送する
- 本製品のメモリーに受信ファクスを保存する
- PC-FAX 受信を使用して受信したファクスをパソコンに転送する（Windows のみ）
- メモリー受信オプションを変更する
- メモリー受信をオフにする
- 本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する
- ファクスクラウド転送、またはファクス E メール転送をオンにする

受信ファクスを別のファクス機に転送する

ファクス転送機能を使って、受信するファクスを自動的に別のファクス機に転送します。

この機能はモノクロファクスのみ対応しています。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [メモリ受信] を押します。
2. ▲または▼を押して [ファクス転送] を表示させ、それを押します。
3. ダイヤルパッドを使用して、転送先のファクス番号（最大 20 桁）を入力します。
   [OK] を押します。

   ファクスをメール転送するには、を押して E メールアドレスを入力し、[OK] を押します。

4. [本体でも印刷する] または [本体では印刷しない] を押します。

   - [本体でも印刷する] を選択した場合、本製品でも受信ファクスが印刷されるため、バックアップとしてコピーを保管することができます。
   - みるだけ受信がオンに設定されているときは、受信ファクスのバックアップ印刷はされません。
   - カラーファクスを受信した場合、本製品はカラーファクスを印刷しますが、設定した転送番号へは転送しません。

5. を押します。

関連情報

- メモリー受信オプション

本製品のメモリーに受信ファクスを保存する

メモリ保持機能を使用して、本製品のメモリーに受信ファクスを保存します。ファクス機から離れた場所にいる場合、リモコンコードを使用して、保存されているファクスメッセージをファクス機から取り出します。 お使いの製品は、保存されているファクスをバックアップ印刷します。

- この機能はモノクロファクスのみ対応しています。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [メモリ受信] を押します。
2. ▲または▼を押して [メモリ保持のみ] を表示させ、それを押します。
3. を押します。

関連情報

- メモリー受信オプション

関連トピック：

- リモコン機能を使ってファクス転送する
- 本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する
- リモコンコード

PC-FAX 受信を使用して受信したファクスをパソコンに転送する（Windows のみ）

PC-FAX 受信機能をオンにすると、本製品のメモリーに受信ファクスが自動的に保存され、お使いのパソコンに送信されます。パソコンを使用して、これらのファクスを表示または保存します。

- この機能はモノクロファクスのみ対応しています。カラーファクスを受信した場合、本製品はカラーファクスを印刷しますが、ファクスをパソコンには送信しません。
- PC-FAX 受信の設定を行う前に、お使いのパソコンに Brother のソフトウェアとドライバーをインストールする必要があります。パソコンが接続されており、電源が入っていることを確認してください。お使いのパソコンで PC-FAX 受信ソフトウェアが動作している必要があります。

お使いのパソコンの電源が切れている場合でも、本製品はファクスを受信しメモリーに保存しています。パソコンを起動し PC-FAX 受信ソフトウェアが動作すると、本製品は自動的にファクスをパソコンに転送します。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [PC ファクス受信] を押します。
2. [オン] を押します。
   画面に [パソコンの「PC-FAX 受信」を起動してください] というメッセージが表示されます。
3. [OK] を押します。
4. [<USB>] を押すか、ネットワークに接続している場合はファクスを受信する転送先のパソコンの名前を押します。[OK] を押します。
5. [本体でも印刷する] または [本体では印刷しない] を押します。

みるだけ受信がオンに設定されているときは、受信ファクスのバックアップ印刷はされません。

6. を押します。

転送先のパソコンを変更するにはこれらの手順を繰り返します。

関連情報

- メモリー受信オプション

関連トピック：

- ファクスや通信管理レポートの転送
- お使いのパソコンにファクスを転送する
- PC-FAX 受信を使用してファクスを受信する（Windows）

メモリー受信オプションを変更する

メモリー受信オプションを変更する際に、お使いの製品のメモリー内に受信したファクスがある場合、画面に次のいずれかの質問が表示されます：

- **受信したファクスが印刷済みの場合、画面に [ファクスを消去しますか?] と表示されます。**
  - [はい] を押すと、設定変更前にメモリー内のファクスを消去します。
  - [いいえ] を押すと、メモリー内のファクスは消去されず、設定も変更されません。
- **印刷されていないファクスがメモリー内に存在する場合、画面に [全てのファクスをプリントしますか?] と表示されます。**
  - [はい] を押すと、設定変更前にメモリー内のファクスが印刷されます。
  - [いいえ] を押すと、メモリー内のファクスは印刷されず、設定も変更されません。
- 受信したファクスがメモリー内に残っている状態で別のオプション（[ファクス転送]、[ファクス クラウド転送]、または [メモリ保持のみ]）から [PC ファクス受信] に変更した場合は、[<USB>] またはパソコンの名前（ネットワーク接続の場合）を押し、[OK] を押します。本体でも印刷するように設定するか尋ねられます。

  以下の画面が表示されます：

  [ファクスを PC に転送しますか?]
  - [はい] を押すと、設定変更前にメモリー内のファクスがパソコンに送信されます。
  - [いいえ] を押すと、メモリー内のファクスは消去されず、設定も変更されません。

関連情報

- メモリー受信オプション

関連トピック：

- メモリー受信をオフにする

メモリー受信をオフにする

本製品が受信ファクスを保存または転送しないように設定する場合は、メモリー受信をオフにします。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [メモリ受信] を押します。
2. [オフ] を押します。

製品のメモリーに受信したファクスが保存されている場合、画面に [全てのファクスをプリントしますか?] または [ファクスを消去しますか?] と表示されます。

3. を押します。

関連情報

- メモリー受信オプション

関連トピック：

- メモリー受信オプションを変更する
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 電話とファクスの問題

本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する

- この機能はモノクロファクスのみ対応しています。
- ファクスを印刷したあと、製品のメモリーから消去されます。

[メモリ保持のみ] を選択した場合、メモリー内のすべてのファクスを印刷できます。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [ファクス出力] を押します。

画面の [受信ファクス] を押してメモリー内のファクスを印刷することもできます。

2. [はい] を押します。

関連情報

- メモリー受信オプション

関連トピック：

- 本製品のメモリーに受信ファクスを保存する
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 電話とファクスの問題

リモコン機能

リモコン機能を使うと、電話回線のトーン信号から本製品を呼び出すことができ、暗証番号とリモコンコードを使ってファクスを取り出すことができます。

- 暗証番号を設定する
- 暗証番号を使用する
- リモコンコード
- リモコン機能を使ってファクス転送する
- ファクス転送先の番号を変更する

暗証番号を設定する

離れた場所からでも本製品へのアクセスと制御を行えるよう、暗証番号を設定します。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [暗証番号]を押します。
2. ダイヤルパッドの[0]から[9]、[*]または[#]を使用して 3 桁のコードを入力します（あらかじめ設定されている「*」は変更できません）。

   [OK]を押します。

   - 暗証番号を消去するには、を長押しして未設定の状態（- - - *）に戻し、[OK]を押します。

3. を押します。

関連情報

- リモコン機能

関連トピック：

- 暗証番号を使用する

暗証番号を使用する

1. 本ブラザー製品から離れている場合は、トーン信号の出せる電話機またはファクス機からお使いのファクス番号にダイヤルします。
2. 本製品が応答したら、すぐに 3 桁の暗証番号と*を入力します。
3. 本製品がファクスを受信している場合は、信号音が鳴ります。
   - 「ポー」という音：1 件以上のファクスを受信しました。
   - 音がしない：ファクスを受信しませんでした。
4. ピピッと 2 回鳴った場合は、リモコンコードを入力します。
   - リモコンコードを入力するまでに 30 秒以上経った場合は、通信が切れます。
   - 無効なリモコンコードが入力された場合は、ピピピッと 3 回鳴ります。
5. 完了したら、9 を押してから 0 を押してリモコンアクセスを停止させます。
6. 電話を切ります。

関連情報

- リモコン機能

関連トピック：

- 暗証番号を設定する

リモコンコード

外出先など、本製品から離れているときにファクス操作をするには、下表のリモコンコードを使用します。本製品に電話をし、暗証番号（3 桁の番号と*）を入力します。ピピッと 2 回鳴ったら、リモコンコード（1 列目）に続けて、オプションコード（2 列目）を入力してください。

リモコンコード	オプションコード	操作の詳細
95	**ファクス転送、またはメモリー保持のみ設定を変更する**	
	1　オフ	すべてのファクスメッセージを受信、または消去した後に、オフを選択できます。
	2　ファクス転送	正しく受け付けられた場合は、ピーッという音が長く 1 回鳴ります。正しく受け付けられなかった場合は、設定が不十分なため変更されず、ピピピッと 3 回鳴ります（例えば、ファクス転送先番号が未登録の場合）。 4 を押すことで、ファクス転送先番号を登録できます。 番号を登録後、ファクス転送することができます。
	4　ファクス転送先番号	
	6　メモリー保持のみ	
96	**ファクスを取り出す**	
	2　全てのファクスを取り出す	メモリーに保存されたファクスを受信するために、離れた場所にあるファクス機のファクス番号を入力します。
	3　メモリーからファクスを消去する	ピーッという音が長く 1 回鳴ったら、メモリーからファクスが消去されたことを示します。
97	**受信状態を確認する**	
	1　ファクス	お使いの本製品がファクスを受信したかどうかを確認します。ファクスを受信している場合、ビーッという音が長く 1 回鳴ります。ファクスを受信していない場合、ピピピッと 3 回鳴ります。
98	**受信モードを変更する**	
	1　留守=外付け留守電	ピーッという音が長く 1 回鳴ったら、変更が受け付けられたことを示します。
	2　F/T=自動切換え	
	3 FAX=ファクス専用	
90	**終了する**	リモコンアクセスを終了するには、**9 0** を押します。ピーッという音が長く 1 回鳴ったら、電話を切ります。

関連情報

- リモコン機能

関連トピック：

- ファクス転送先の番号を変更する
- 本製品のメモリーに受信ファクスを保存する
- リモコン機能を使ってファクス転送する

リモコン機能を使ってファクス転送する

トーン信号の出せる電話機またはファクス機から本製品を呼び出して、受信ファクスを別のファクス機に転送します。

- この機能を使うには、メモリー保持のみ又はみるだけ受信の設定をオンにしてください。

1. ファクス番号をダイヤルします。
2. 本製品が応答したら、暗証番号（3 桁の番号と*）を入力します。「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージがあります。
3. ピピッと 2 回聞こえたら、962 を押します。
4. 長いピーッという音が鳴るのを待ってから、ダイヤルパッドを使って、ファクス転送先のファクス番号(20 桁まで)を入力して、最後に##を入力します。
5. 1 回長くピーッという音が聞こえたら、電話を切ります。受信ファクスは、入力したファクス番号に転送されます。別のファクス機でファクスメッセージが印刷されます。

関連情報

- リモコン機能

関連トピック：

- 本製品のメモリーに受信ファクスを保存する
- リモコンコード

ファクス転送先の番号を変更する

1. ファクス番号をダイヤルします。
2. 本製品が応答したら、暗証番号（3 桁の番号と*）を入力します。「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージがあります。
3. ピピッと 2 回聞こえたら、954 を押します。
4. 長いピーッという音を待ってから、ダイヤルパッドを使用して、新しいファクス転送先のファクス番号(20 桁まで)を入力して、最後に##を入力します。
5. 完了したら、90 を押してリモコンアクセスを停止します。
6. 1 回長くピーッという音が聞こえたら、電話を切ります。

関連情報

- リモコン機能

関連トピック：

- リモコンコード

リモートコードを使う

リモートコードを使うと、本製品と接続している外付け電話機から本製品を操作して、ファクスを受信することができます。これをリモート受信といいます。

着信音が鳴ったら外付け電話機の受話器を取り、「**#51**」（リモート起動番号）を入力します。画面に［受信中］と表示されたら、外付け電話機の受話器を戻します。リモート受信が始まります。

ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定されている環境でリモート受信を行う場合は、外付け電話機のトーンボタンを押して、トーン信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力してください。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ファクス］>［受信設定］>［リモート受信］を押します。
2. ［リモート受信］を押します。
3. ［オン］（または［オフ］）を押します。
4. を押します。

関連情報

- ファクスを受信する
  - リモートコードを変更する

リモートコードを変更する

あらかじめ設定されたリモート起動番号は「#51」です。リモート起動番号を変更するときは、1 桁目は「#」のままで、下 2 桁の数字部分を変更してください。

3 桁すべてを数字に変更すると、本製品と接続している外付け電話から特定の相手に電話がかけられなくなります。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [リモート受信] を押します。
2. [起動番号] を押します。新しいコードを入力し、[OK] を押します。
3. を押します。

関連情報

- リモートコードを使う

電話帳

- ファクス/電話番号を登録する
- 同報送信のグループダイヤルを設定する

ファクス/電話番号を登録する

- 電話帳に登録する
- 発信履歴から電話帳に番号を登録する
- ナンバーディスプレイの着信履歴から電話帳に番号を登録する
- 電話帳の名前や番号を変更、または削除する

電話帳に登録する

1. [ファクス] > [電話帳] を押します。
2. 以下の手順を行います：
   a. [登録/編集] > [電話帳登録] > [名前] を押します。
   b. 画面を使用して名前（最大 10 文字）を入力します。 [OK] を押します。
   c. [宛先 1] を押します。
   d. 画面を使用して、1 番目のファクスまたは電話番号（最大 20 桁）を入力します。 [OK] を押します。

   - 名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。登録したい読みがなになっていない場合は、[ヨミガナ]を押して、再入力してください。
   - 番号の間にポーズを入れるには [ポーズ] を押します。 [ポーズ] は、必要なだけポーズの長さを増やすことができます。
   - ファクスまたは電話番号を入力するときは、必ず市外局番を含めてください。ファクスまたは電話番号に市外局番が登録されていないと、ナンバーディスプレイの着信履歴が正しく表示されない場合があります。
   - インターネットファクスまたはスキャン to E メール送信機能を使うために E メールアドレスを登録するには、 を押して E メールアドレスを入力し、 [OK] を押します。

   e. 2 番目のファクスまたは電話番号を登録するには、 [宛先 2] を押します。画面を使用して、2 番目のファクスまたは電話番号（最大 20 桁）を入力します。 [OK] を押します。
   f. [OK] を押して確認します。

   別の相手先の番号を電話帳に登録する場合は、これらの手順を繰り返します。
3. を押します。

関連情報

- ファクス/電話番号を登録する

関連トピック：

- 同報送信のグループダイヤルを設定する

発信履歴から電話帳に番号を登録する

発信履歴から番号をコピーして、電話帳に登録できます。

1. [ファクス] > [履歴] > [発信履歴] を押します。
2. ▲または▼を押して登録したい番号を表示させ、それを押します。
3. [設定] > [電話帳に登録] > [名前] を押します。

発信履歴から番号を削除するには、[設定] > [消去] を押します。[はい] を押して確認します。

4. 画面を使用して名前（最大 10 文字）を入力します。[OK] を押します。

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。登録したい読みがなになっていない場合は、[ヨミガナ] を押して、再入力してください。

5. 2 番目のファクスまたは電話番号を登録するには、[宛先 2] を押します。画面を使用して、2 番目のファクスまたは電話番号（最大 20 桁）を入力します。[OK] を押します。
6. [OK] を押して、登録するファクスまたは電話番号を確認します。
7. を押します。

関連情報

- ファクス/電話番号を登録する

関連トピック：

- 本製品にテキストを入力する

ナンバーディスプレイの着信履歴から電話帳に番号を登録する

電話会社（ここでは NTT の場合）によるナンバーディスプレイサービスを利用している場合は、着信履歴から番号をコピーして、電話帳に登録できます。

1. [ファクス] > [履歴] > [着信履歴] を押します。
2. ▲または▼を押して登録したい名前または番号を表示させ、それを押します。
3. [設定] > [電話帳に登録] > [名前] を押します。

着信履歴から番号を削除するには、[設定] > [消去] を押します。[はい] を押して確認します。

4. 画面を使用して名前（最大 10 文字）を入力します。[OK] を押します。

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。登録したい読みがなになっていない場合は、[ヨミガナ] を押して、再入力してください。

5. 2 番目のファクスまたは電話番号を登録するには、[宛先 2] を押します。画面を使用して、2 番目のファクスまたは電話番号（最大 20 桁）を入力します。[OK] を押します。
6. [OK] を押して、登録するファクスまたは電話番号を確認します。
7. を押します。

関連情報

- ファクス/電話番号を登録する

関連トピック：

- 本製品にテキストを入力する

電話帳の名前や番号を変更、または削除する

1. [ファクス] > [電話帳] > [登録/編集] を押します。
2. 以下のいずれかを行ってください：
   - [変更] を押して、名前、ファクス番号、または電話番号を編集します。

     ▲または▼を押して変更したい番号を表示させ、それを押します。
     - 名前を変更するには、[名前] を押します。画面を使用して新しい名前（最大 10 文字）を入力します。[OK] を押します。
     - 読みがなを変更するには、[ヨミガナ] を押します。画面を使用して新しい読みがなを入力します。[OK] を押します。
     - 1 番目のファクスまたは電話番号を変更するには、[宛先 1] を押します。画面を使用して、新しいファクスまたは電話番号（最大 20 桁）を入力します。[OK] を押します。
     - 2 番目のファクスまたは電話番号を変更するには、[宛先 2] を押します。画面を使用して、新しいファクスまたは電話番号（最大 20 桁）を入力します。[OK] を押します。

     [OK] を押して操作を終了します。

文字を変更するには、◀または▶を押して対象の文字にカーソルを合わせて反転表示し、を押します。新しい文字を入力します。

   - 番号を削除するには、▲または▼を押して [消去] を表示させ、それを押します。
     - 削除するファクスまたは電話番号を押して、チェックマークが表示されたら [OK] を押します。
3. を押します。

関連情報

- ファクス/電話番号を登録する

同報送信のグループダイヤルを設定する

グループを作成して送信先として電話帳に登録することで、同じファクスメッセージを複数のファクス番号に送信したり、同報送信したりできます。

まず電話帳にファクス番号を登録する必要があります。次に、その番号をグループダイヤルに登録します。各グループダイヤルは 1 件として電話帳に追加されます。グループダイヤルは 6 つまで登録できます。または 1 つの大きなグループダイヤルを作って 198 件の番号を登録することができます。

1. ［ファクス］> ［電話帳］を押します。
2. 以下の手順を行います：
   a. ［登録/編集］> ［グループ登録］> ［名前］を押します。
   b. 画面を使用してグループ名（最大 10 文字）を入力します。［OK］を押します。

   名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。登録したい読みがなになっていない場合は、［ヨミガナ］を押して、再入力してください。

   c. ［追加/消去］を押します。
   d. グループに追加する電話帳の番号を押して、チェックマークを表示させます。［OK］を押します。
   e. 表示された選択済みの名前と番号の一覧を確認し、［OK］を押してグループに登録します。

   同報送信用に別のグループダイヤルも登録するには、これらの手順を繰り返します。
3. を押します。

関連情報

- 電話帳
  - 同報送信のグループダイヤルの名前を変更する
  - 同報送信のグループダイヤルを削除する
  - 同報送信のグループダイヤルのメンバーを追加または削除する

関連トピック：

- 複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信）
- 電話帳に登録する

同報送信のグループダイヤルの名前を変更する

1. ［ファクス］>［電話帳］>［登録/編集］>［変更］を押します。
2. ▲または▼を押して変更したいグループを表示させ、それを押します。
3. ［名前］を押します。
4. 画面を使用して新しいグループ名（最大 10 文字）を入力します。［OK］を押します。

文字を変更するには、◀または▶を押して修正したい文字にカーソルを合わせて反転表示し、を押します。
新しい文字を入力します。

5. ［OK］を押します。
6. を押します。

関連情報

- 同報送信のグループダイヤルを設定する

関連トピック：

- 本製品にテキストを入力する

同報送信のグループダイヤルを削除する

1. [ファクス] > [電話帳] > [登録/編集] > [消去] を押します。
2. ▲または▼を押して削除したいグループを表示させ、それを押します。
3. [OK] を押します。
4. を押します。

関連情報

- 同報送信のグループダイヤルを設定する

同報送信のグループダイヤルのメンバーを追加または削除する

1. [ファクス] > [電話帳] > [登録/編集] > [変更] を押します。
2. ▲または▼を押して変更したいグループを表示させ、それを押します。
3. ▲または▼を押して [追加/消去] を表示させ、それを押します。
4. ▲または▼を押して、追加または削除する番号を表示します。
5. 変更したい番号に対して、以下の操作を行います。
   - グループに番号を追加するには、対象番号のチェックボックスを押してチェックマークを付けます。
   - グループから番号を削除するには、対象番号のチェックボックスを押してチェックマークを外します。
6. [OK] を押します。
7. [OK] を押します。
8. を押します。

関連情報

- 同報送信のグループダイヤルを設定する

電話サービスと色々な接続方法

- ナンバーディスプレイを利用する
- 電話/ファクス回線の色々な接続

ナンバーディスプレイを利用する

電話会社の有料サービスを契約している必要があります。事前に必ずご確認ください。（NTT の場合の有料サービス名：ナンバーディスプレイサービス）

電話会社の有料サービスを契約していて、本製品でファクスを使用する場合や、本製品に外付け電話を接続して利用する場合に、ファクス受信や電話着信の相手の番号を本製品に表示します。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ファクス］>［ナンバーディスプレイ］を押します。
2. 以下のいずれかのオプションを選択します：
   - ［ あり（本製品に表示）］

     本製品の画面に番号を表示します。本製品に外付け電話を接続している場合は、その電話機のナンバーディスプレイ機能をオフにしてください。
   - ［ あり（外付け電話に表示）］

     本製品と接続している外付け電話に番号を表示します。外付け電話のナンバーディスプレイ機能をオンにしてください。
   - ［ なし］

     本機能を使用しないときや、有料サービスの契約をしていないときに選んでください。
3. を押します。

- ISDN 回線を利用しているときは、ナンバーディスプレイ対応のターミナルアダプターの設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続する場合は、構内交換機（PBX）がナンバーディスプレイに対応している必要があります。
- IP 電話による発信や着信は、契約しているプロバイダーや、接続している機器により、ナンバーディスプレイの動作が異なります。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティ装置などが接続されている場合、この機能が正しく動作しないことがあります。

関連情報

- 電話サービスと色々な接続方法

関連トピック：

- 電話とファクスの問題

電話/ファクス回線の色々な接続

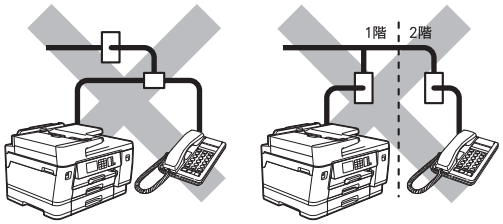
本製品をファクスとして使用したり、本製品に外付け電話を接続してファクスや電話を使用したりする場合の色々な接続を説明します。

重要

ブランチ接続（並列接続）はしないでください。ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります：

- ファクス送受信中に、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーが起こる場合があります。
- 着信時に、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できない場合があります。
- コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる可能性があります。
- 本製品で保留にした場合、並列に接続された電話機では本製品の保留状態を解除できません。
- 並列に接続された電話機から本製品への転送はできません。
- ナンバーディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
- パソコンを接続すると、本製品が正常に動作しない場合があります。

ブランチ接続（並列接続）の例



関連情報

- 電話サービスと色々な接続方法
  - ひかり電話を接続する
  - ADSL 環境で使用する
  - ISDN 環境で使用する
  - デジタルテレビを接続する
  - 構内交換機（PBX）・ビジネスホンに接続する

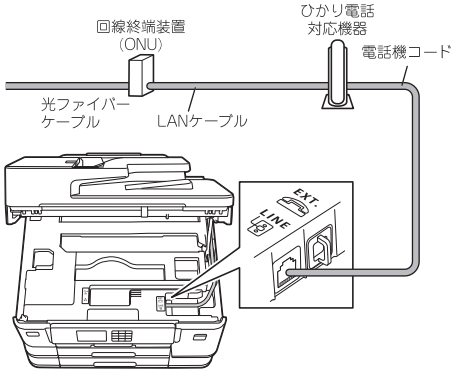
ひかり電話を接続する

本製品とひかり電話の接続について説明します。

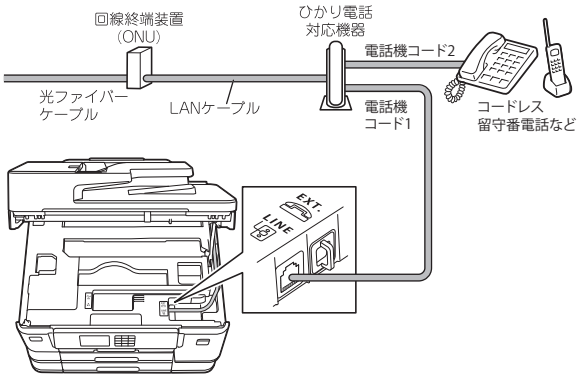
ひかり電話についてのご質問はご利用の電話会社にお問い合わせください。

ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動で設定できない場合があります。手動で回線種別を [プッシュ回線] に設定してください。「関連情報」をご覧ください。

- ひかり電話の接続例



- ひかり電話を接続し、複数番号を使用する例



関連情報

- 電話/ファクス回線の色々な接続

関連トピック：

- プッシュ回線またはダイヤル回線を設定する

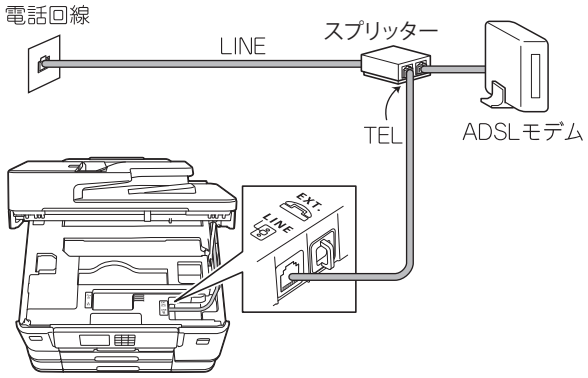
ADSL 環境で使用する

本製品を ADSL 環境で使用する場合は、本製品を ADSL スプリッターの TEL 端子または PHONE 端子に接続してください。スプリッターに接続した状態で、ファクスが送受信できることを確認してください。

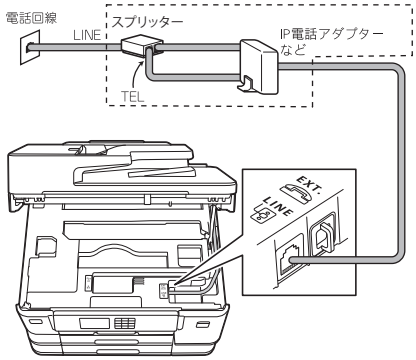
詳しい設定については、スプリッターや ADSL モデムの取扱説明書をご覧ください。

- お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッター機能が内蔵されている場合があります。
- ADSL モデムにスプリッター機能が内蔵されていない場合、本製品と ADSL モデムは必ず「スプリッター」で分岐してください。「スプリッター」より前（電話回線側）で分岐すると、ブランチ接続（並列接続）となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。
- IP 電話を使用する場合は、回線種別を自動で設定できない場合があります。手動で回線種別を設定してください。「関連情報」をご覧ください。

- ADSL 環境での接続例



- IP 電話などの IP 網を使用して接続した例



関連情報

- 電話/ファクス回線の色々な接続

関連トピック：

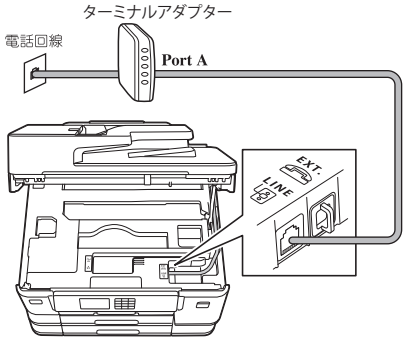
- プッシュ回線またはダイヤル回線を設定する

ISDN 環境で使用する

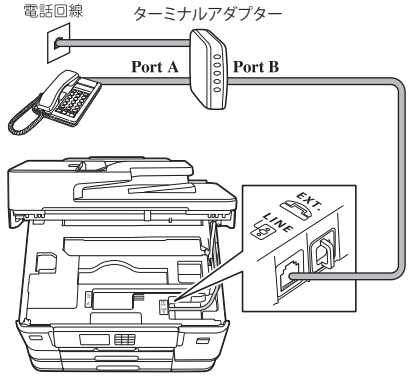
本製品を ISDN 環境で使用する場合は、本製品をターミナルアダプターのアナログポートに接続してください。詳しい設定については、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

ISDN 環境で使用する場合は、手動で回線種別を [プッシュ回線] に設定してください。「関連情報」をご覧ください。

- 電話番号が 1 つの例（電話とファクスの同時使用はできません）



- 電話番号が 2 つの例（電話とファクスを同時に使用できます）



関連情報

- 電話/ファクス回線の色々な接続

関連トピック：

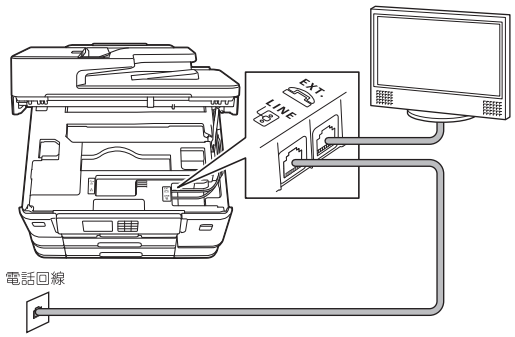
- プッシュ回線またはダイヤル回線を設定する

デジタルテレビを接続する

本製品と CS チューナーやデジタルテレビを接続するときは、外付け電話接続端子に接続してください。

CS チューナーについてのご質問はご購入された販売店にお問い合わせください。

- デジタルテレビの接続例



関連情報

- 電話/ファクス回線の色々な接続

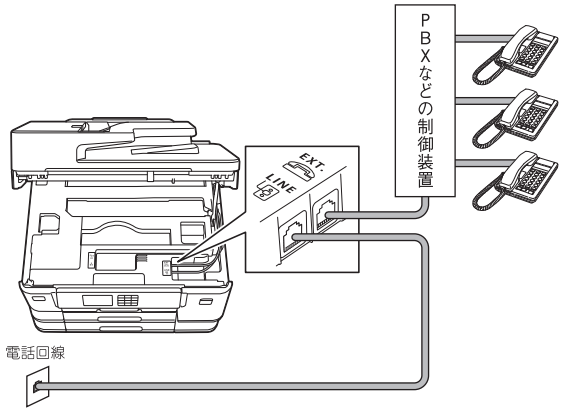
構内交換機（PBX）・ビジネスホンに接続する

本製品を構内交換機（PBX）などに接続する場合は、次のいずれかの方法で接続してください。

構内交換機（PBX）、ビジネスホンに接続している場合は、回線種別を自動で設定できない場合があります。手動で回線種別を設定してください。「関連情報」をご覧ください。

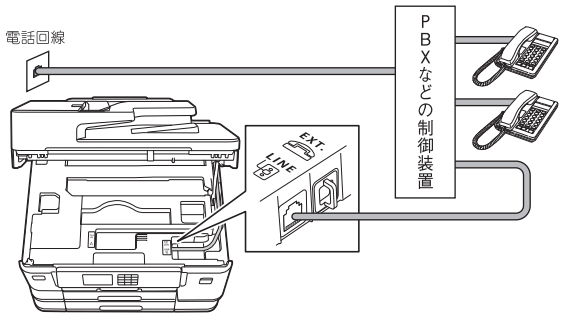
- 本製品の外付け電話としてビジネスホンを接続する場合

  本製品の外付け電話接続端子に構内交換機（PBX）などの制御装置を接続します。



- 本製品を構内交換機（PBX）の内線電話として使用する場合

  構内交換機またはビジネスホンの内線に本製品を接続する場合、構内交換機またはビジネスホンの主装置の設定をアナログ 2 芯用に変更する必要があります。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。



関連情報

- 電話/ファクス回線の色々な接続

関連トピック：

- プッシュ回線またはダイヤル回線を設定する

送受信テストとファクスレポート

- ファクス送受信テストをする
- 送信結果レポートの形式を設定する
- 通信管理レポートの間隔を設定する
- レポートを印刷する

ファクス送受信テストをする

ファクスを送受信できるかを、弊社専用回線でテストできます。

下記テスト用ファクス番号にファクスを送信してください。折り返し弊社より、自動でファクスをお送りします。

テスト用ファクス番号: 052-824-4773

発信者番号を非通知で送信すると、自動返信されません。ファクス番号の前に「186」を付けてダイヤルしてください。

関連情報

- 送受信テストとファクスレポート

送信結果レポートの形式を設定する

送信結果レポートでファクス送信したことを確認できます。送信結果レポートには、送信相手の名前やファクス番号、送信日時、通信時間、送信したページ数、送信が成功したかどうかが一覧で印刷されます。

送信結果レポートには複数の設定があります：

オプション	説明
[送信毎に印刷]	ファクスを送信するたびにレポートを印刷します。
[送信毎に印刷 (+画像)]	ファクスを送信するたびにレポートを印刷します。 送信したファクスの最初のページの一部が、レポートに表示されます。
[エラー時のみ]	送信エラーによりファクスが送信できなかった場合にレポートを印刷します。
[エラー時のみ (+画像)]	送信エラーによりファクスが送信できなかった場合にレポートを印刷します。 送信したファクスの最初のページの一部が、レポートに表示されます。
[印刷しない]	レポートは印刷されません。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [レポート設定] > [送信結果レポート] を押します。
2. セットしたいオプションを押します。

   [送信毎に印刷 (+画像)] または [エラー時のみ (+画像)] を選択し、リアルタイム送信が [オン] に設定されている場合、送信結果レポートに画像は表示されません。カラーファクスを送信した場合、レポートに画像は表示されません。
3. を押します。

   送信が成功した場合、送信結果レポートの [結果] の横に [OK] が表示されます。送信が成功しなかった場合、[結果] の横に [エラー] が表示されます。

関連情報

- 送受信テストとファクスレポート

通信管理レポートの間隔を設定する

通信管理レポートの印刷間隔を設定できます。（50 件ごと、6 時間ごと、12 時間ごと、24 時間ごと、2 日ごと、7 日ごと）

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [レポート設定] > [通信管理レポート] を押します。
2. [通信管理レポート] を押します。
3. ▲または▼を押して間隔を選択します。
   - 6 時間、12 時間、24 時間、2 日、または 7 日

     製品は設定された間隔ごとにレポートを印刷すると、メモリーから通信記録を消去します。印刷指定時刻より前に件数が 200 を超えると、自動的に通信管理レポートが印刷され、メモリーから全ての通信記録が消去されます。印刷指定時刻より前に通信管理レポートが必要な場合は、メモリーから通信記録を削除することなく印刷することができます。
   - 50 件ごと

     ファクスが 50 件に達すると、自動的にレポートが印刷されます。
4. 6 時間、12 時間、24 時間、2 日、または 7 日を選択した場合、[印刷時刻指定] を押してから画面を使って時刻を入力します。[OK] を押します。
5. [7 日ごと] を選択した場合、[曜日指定] を押します。▲または▼を押して [月曜日ごと]、[火曜日ごと]、[水曜日ごと]、[木曜日ごと]、[金曜日ごと]、[土曜日ごと]、または [日曜日ごと] を表示し、レポートを印刷する曜日を押します。
6. を押します。

関連情報

- 送受信テストとファクスレポート

PC-FAX

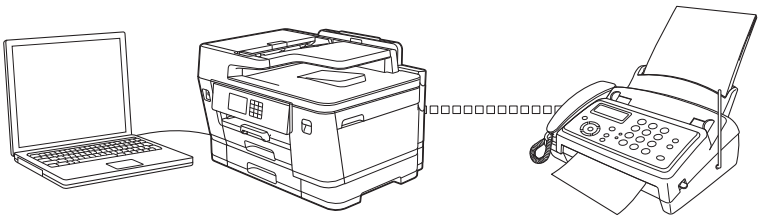
- Windows 用 PC-FAX
- Mac 用 PC-FAX

Windows 用 PC-FAX

- PC-FAX の概要（Windows）
- PC-FAX を使ってファクスを送信する(Windows)
- パソコンでファクスを受信する（Windows）

PC-FAX の概要（Windows）

本製品の PC-FAX ソフトウェアを使用して、印刷せずにパソコンから直接ファクス（モノクロのみ）を送信します。 この機能により、用紙の消費を抑えたり、時間を節約したりすることができます。



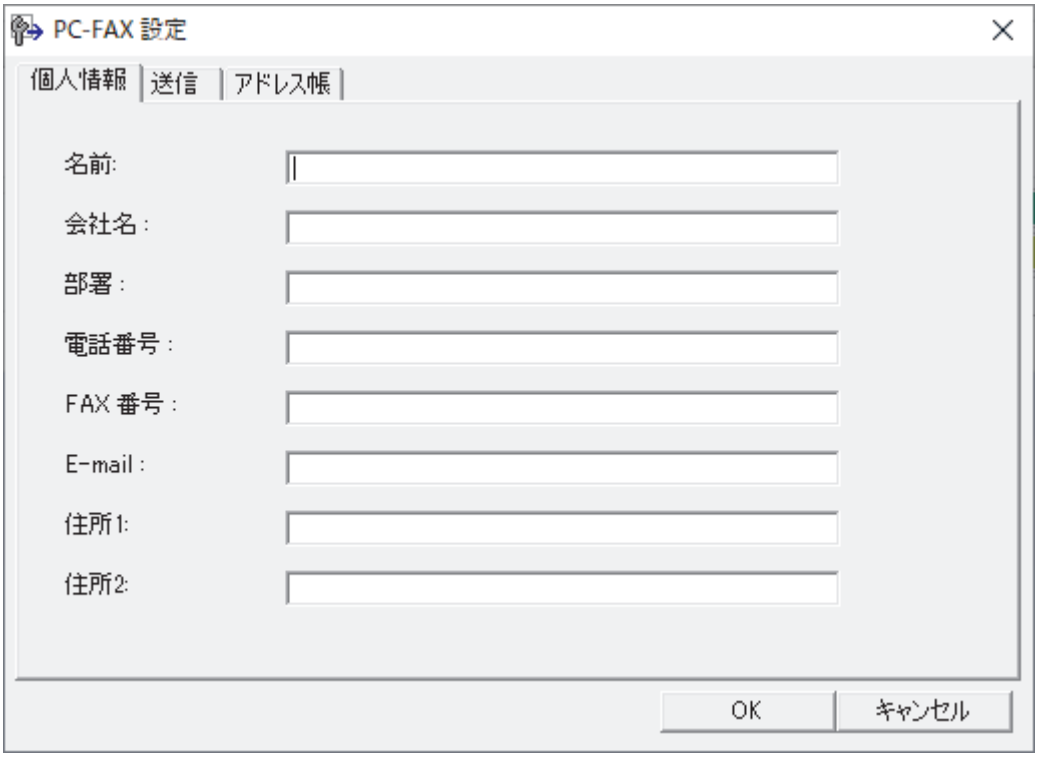
- PC-FAX の設定を行う（Windows）
- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

PC-FAX の設定を行う（Windows）

PC-FAX を使用してファクスを送信する前に、**PC-FAX 設定**ダイアログボックスの各タブにある送信設定をカスタマイズします。

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信設定**をクリックします。

   PC-FAX 設定ダイアログボックスが表示されます。



3. 以下のいずれかを行ってください：
   - **個人情報**タブをクリックし、各欄にユーザー情報を入力します。

   各 Microsoft アカウントでは、ファクスのヘッダーや送付書に、カスタマイズした**個人情報**画面をそれぞれ設定することができます。

   - **送信**タブをクリックし、必要に応じて**外線番号**欄に外線発信番号を入力します。**ヘッダー情報追加**チェックボックスを選択し、ヘッダー情報を含めます。
   - **アドレス帳**タブをクリックし、**使用するアドレス帳**のドロップダウンリストから、PC-FAX に使いたいアドレス帳を選択します。
4. **OK** をクリックします。

関連情報

- PC-FAX の概要（Windows）

PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

PC-FAX アドレス帳で、メンバーやグループを追加、編集、または削除などのカスタマイズを行います。

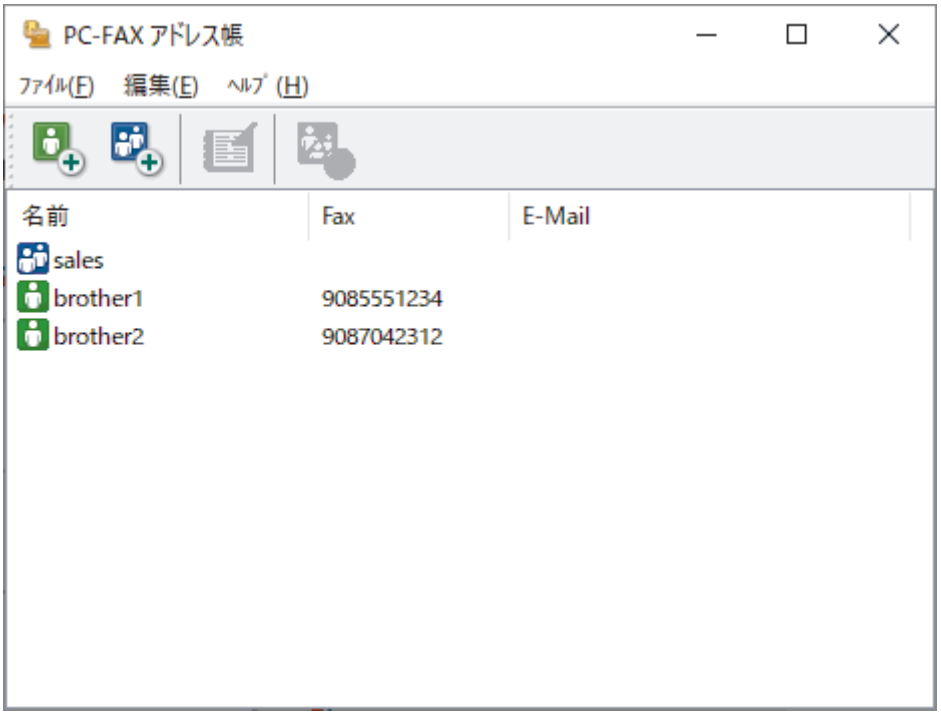
- PC-FAX のアドレス帳にメンバーを追加する（Windows）
- PC-FAX のアドレス帳にグループを作成する（Windows）
- PC-FAX のアドレス帳のメンバーまたはグループ情報を編集する（Windows）
- PC-FAX のアドレス帳のメンバーまたはグループを削除する（Windows）
- PC-FAX のアドレス帳をエクスポートする（Windows）
- PC-FAX のアドレス帳に情報をインポートする（Windows）

PC-FAX のアドレス帳にメンバーを追加する（Windows）

Brother PC-FAX ソフトウェアを使用してファクスを送信する場合は、新規のメンバーおよびそのメンバーのファクス情報を PC-FAX アドレス帳に追加します。

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



3. をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳 メンバー設定ダイアログボックスが表示されます。
4. 対応する入力欄にメンバーの情報を入力します。**名前**のみ必須です。

電話番号およびファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバーディスプレイの名前や着信履歴が正しく表示されない場合があります。

5. **決定** をクリックします。

関連情報

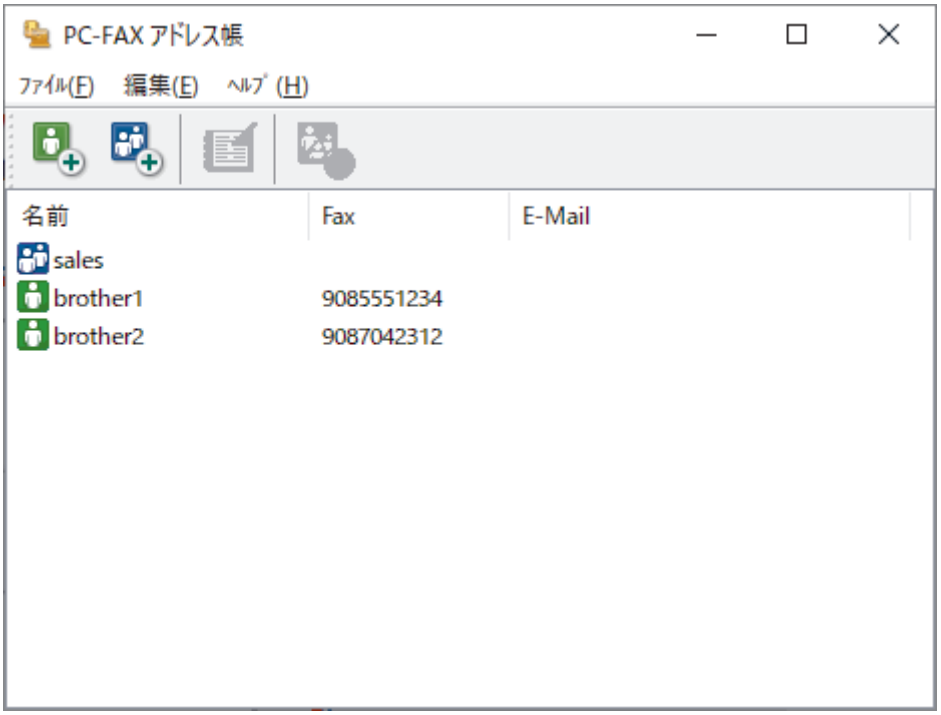
- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

PC-FAX のアドレス帳にグループを作成する（Windows）

同じ PC-FAX を一度に複数の受信者に同報送信するためのグループを作成します。

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



3. をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳 グループ設定ダイアログボックスが表示されます。
4. 新しいグループの名前を**グループ名**欄に入力します。
5. **選択可能メンバー**欄で、グループに含める名前をそれぞれ選択し、**追加 >>**をクリックします。

   グループに追加されたメンバーが**選択済みメンバー**に表示されます。
6. 完了後、**決定**をクリックします。

各グループには、最大 50 名のメンバーを含めることができます。

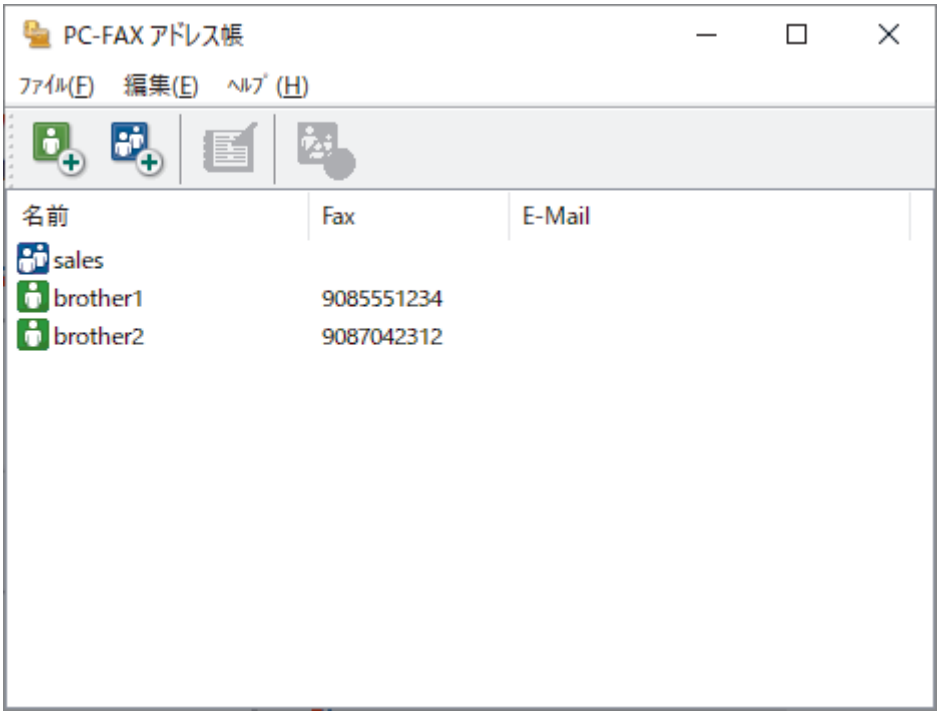
関連情報

- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

PC-FAX のアドレス帳のメンバーまたはグループ情報を編集する（Windows）

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



3. 編集したいメンバーまたはグループを選択します。
4. （**詳細情報**）をクリックします。
5. メンバーまたはグループ情報を変更します。
6. **決定** をクリックします。

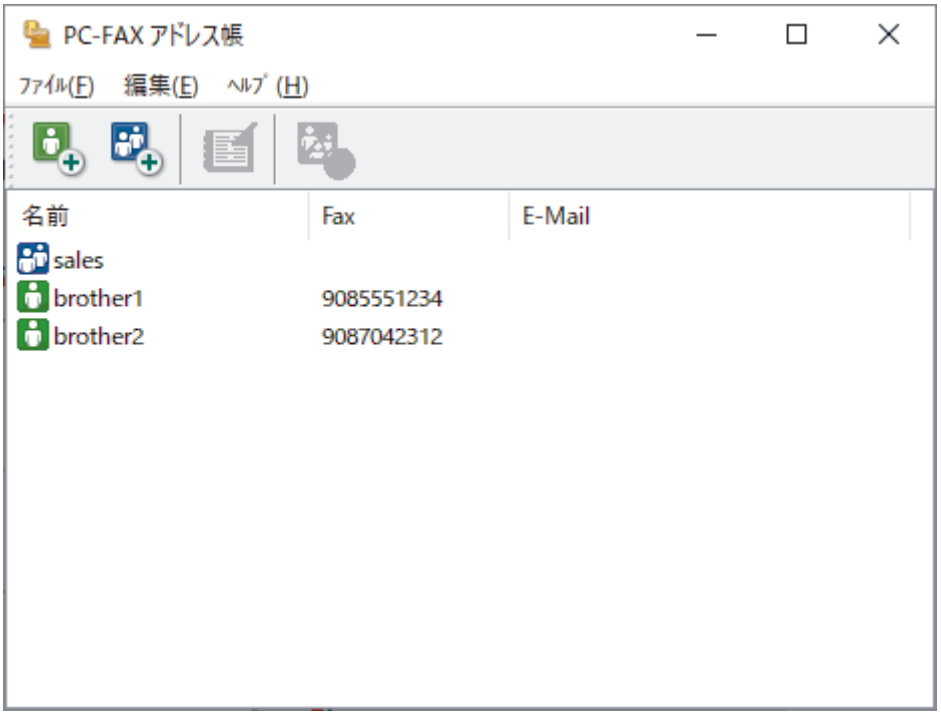
関連情報

- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

PC-FAX のアドレス帳のメンバーまたはグループを削除する（Windows）

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



3. 削除したいメンバーまたはグループを選択します。
4. （**削除**）をクリックします。
5. 確認ダイアログボックスが表示されたら、**OK** をクリックします。

関連情報

- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

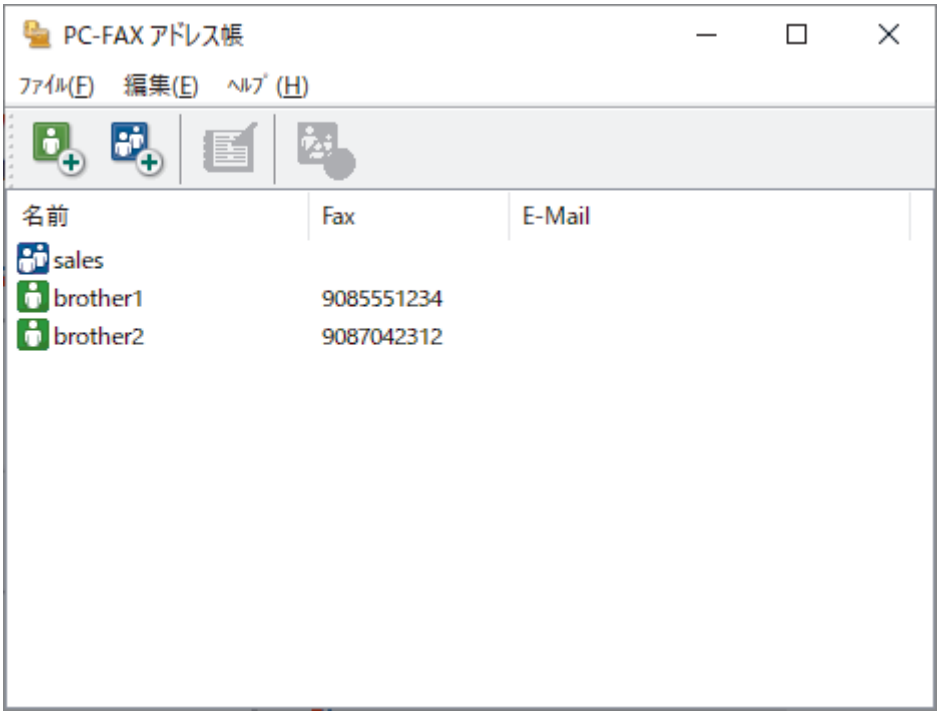
PC-FAX のアドレス帳をエクスポートする（Windows）

アドレス帳を ASCII テキストファイル（*.csv）または vCard（電子名刺）としてエクスポートし、パソコンに保存できます。

- **PC-FAX アドレス帳**のデータをエクスポートする場合、グループ設定はエクスポートできません。

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



3. **ファイル** > **エクスポート**をクリックします。
4. 以下のいずれかを選択します。
   - **テキストファイル**

     項目選択ダイアログボックスが表示されます。次の手順に進みます。
   - **vCard**

     このオプションを選択する前に、アドレス帳からエクスポートするメンバーを選択する必要があります。

     vCard の保存先フォルダーを開き、**ファイル名**欄にファイル名を入力して、**保存**をクリックします。
5. **選択可能項目**欄で、エクスポートするデータを選択し、**追加 >>**をクリックします。

   表示する順に項目を選択して追加します。
6. ASCII ファイルにエクスポートする場合は、**区切り文字**セクションで**タブ**または**コンマ**オプションを選択して、データフィールドを区切ります。
7. **決定** をクリックします。
8. データの保存先のパソコンのフォルダーを開き、ファイル名を入力して、**保存**をクリックします。

関連情報

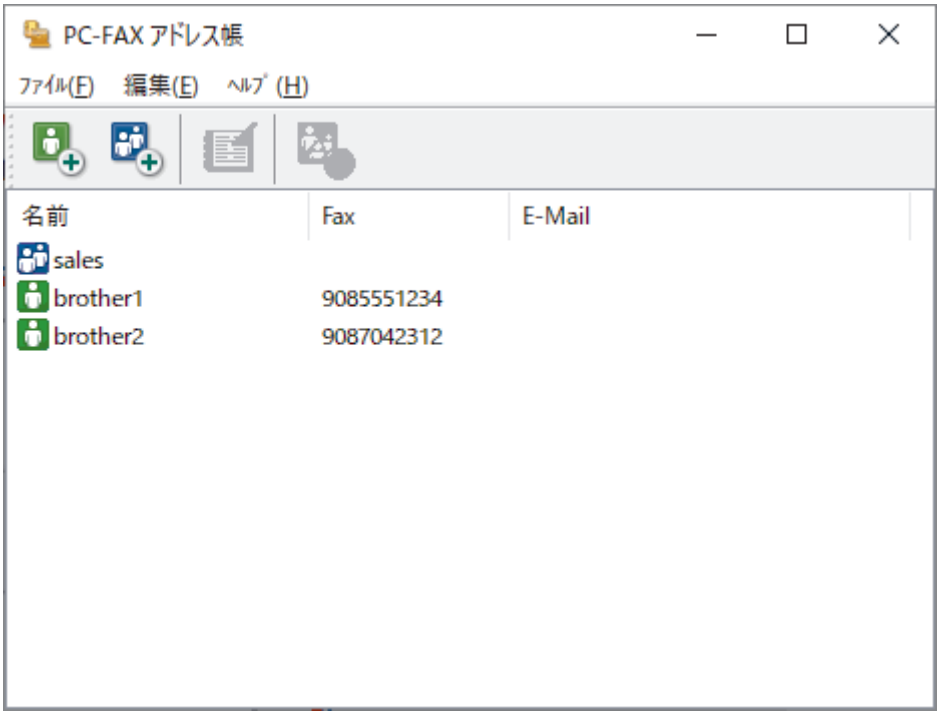
- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

PC-FAX のアドレス帳に情報をインポートする（Windows）

ASCII テキストファイル（*.csv）または vCard（電子名刺）をアドレス帳にインポートできます。

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



3. **ファイル** > **インポート**をクリックします。
4. 以下のいずれかを選択します。
   - **テキストファイル**

     項目選択ダイアログボックスが表示されます。手順 5 に進みます。
   - **vCard**

     手順 8 に進みます。
5. **選択可能項目**欄で、インポートするデータを選択し、**追加 >>**をクリックします。

選択可能項目リストから、インポートテキストファイルに表示されている順に項目を選択して追加する必要があります。

6. ASCII ファイルをインポートする場合は、**区切り文字**セクションで**タブ**または**コンマ**オプションを選択して、データフィールドを区切ります。
7. **決定** をクリックします。
8. データのインポート先のフォルダーを参照し、ファイル名を入力して、**開く**をクリックします。

関連情報

- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

PC-FAX を使ってファクスを送信する(Windows)

PC-FAX はモノクロのファクスにのみ対応しています。元のデータがカラーで、かつ受信側のファクス機がカラー対応のファクスであったとしても、モノクロのファクスが送信されます。

1. パソコン上のアプリケーションでファイルを作成します。
2. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
3. プリンターとして **Brother PC-FAX** を選択し、印刷操作を完了させます。
   Brother PC-FAX のダイアログボックスが表示されます。

4. 以下のいずれかの方法でファクス番号を入力します。
   - ダイヤルパッドの数字をクリックして番号を入力し、**送信先追加**をクリックします。

ダイヤル制限機能のチェックボックスを選択した場合は、確認用ダイアログボックスが表示され、キーボードを使ってファクス番号を再入力することが求められます。この機能により、送信先の間違いを防ぐことができます。

   - **アドレス帳**ボタンをクリックし、アドレス帳からメンバーまたはグループを設定します。

間違った場合は、**全削除**をクリックすれば入力した項目をすべて削除できます。

5. 送付書を含める場合は、**送付書使用**のチェックボックスにチェックを入れます。をクリックして送付書の作成や編集をすることもできます。
6. **送信**をクリックしてファクスを送信します。

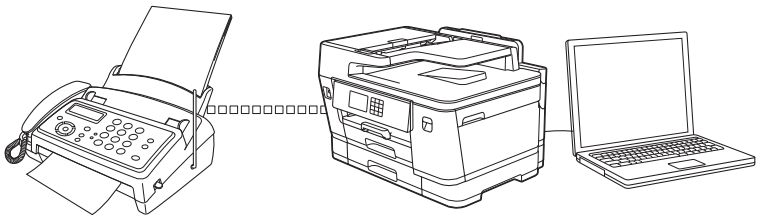
- ファクス送信を中止するときは、**キャンセル**をクリックします。
- 再ダイヤルするときは、**再ダイヤル**をクリックして送信したい番号を表示し、**送信**をクリックします。

関連情報

- Windows 用 PC-FAX

パソコンでファクスを受信する（Windows）

本製品の PC-FAX ソフトウェアを使って、パソコンでファクスを受信し、確認して、必要な場合には印刷することができます。



- PC-FAX 受信を使用してファクスを受信する（Windows）

PC-FAX 受信を使用してファクスを受信する（Windows）

PC-FAX 受信ソフトウェアにより、パソコンで受信したファクスの閲覧や保存ができます。本製品のソフトウェアとプリンタードライバーをインストールする際に、PC-FAX 受信ソフトウェアもインストールされます。

- PC-FAX 受信機能は、モノクロのファクスにのみ対応しています。カラーファクスを受信すると、そのファクスはパソコンに送信されず、本製品でカラーファクスが印刷されます。

パソコンの電源を切っていても、本製品は継続してファクスを受信し、メモリーに保存します。保存されたファクスの数が本製品の画面に表示されます。アプリを起動すると、本製品が受信したファクスをまとめてパソコンに転送します。ファクスがパソコンに送信される前、もしくはパソコンの電源を切る前に、ファクスを印刷したい場合は、バックアップ印刷オプションを有効にします。バックアップ印刷は、本製品から設定できます。

関連情報

- パソコンでファクスを受信する（Windows）
  - パソコンで本製品の PC-FAX 受信を起動する
  - 受信した PC-FAX メッセージを表示する（Windows）

関連トピック：

- PC-FAX 受信を使用して受信したファクスをパソコンに転送する（Windows のみ）

パソコンで本製品の PC-FAX 受信を起動する

パソコン起動時に起動するのチェックボックスを選択しておくと、パソコンを起動したときに、ソフトウェアが同時に起動し、ファクスを転送します。

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 受信を起動**をクリックします。
3. メッセージを確認し、**Yes** をクリックします。

   PC ファクス受信画面が表示されます。（**PC ファクス受信**）アイコンがパソコンのタスクトレイに表示されます。

関連情報

- PC-FAX 受信を使用してファクスを受信する（Windows）
  - PC-FAX 受信を設定する（Windows）
  - PC-FAX 受信に本製品を追加する（Windows）

PC-FAX 受信を設定する（Windows）

1. お使いのパソコンで、タスクトレイの (**PC ファクス受信**) アイコンをダブルクリックします。

   PC ファクス受信画面が表示されます。
2. **設定** をクリックします。
3. 必要に応じて次のオプションを設定します。

   起動

   Windows の起動時に、PC-FAX 受信が自動的に起動されるよう設定します。

   保存

   受信した PC-FAX の保存先や保存形式を選択します。

   アップロード先

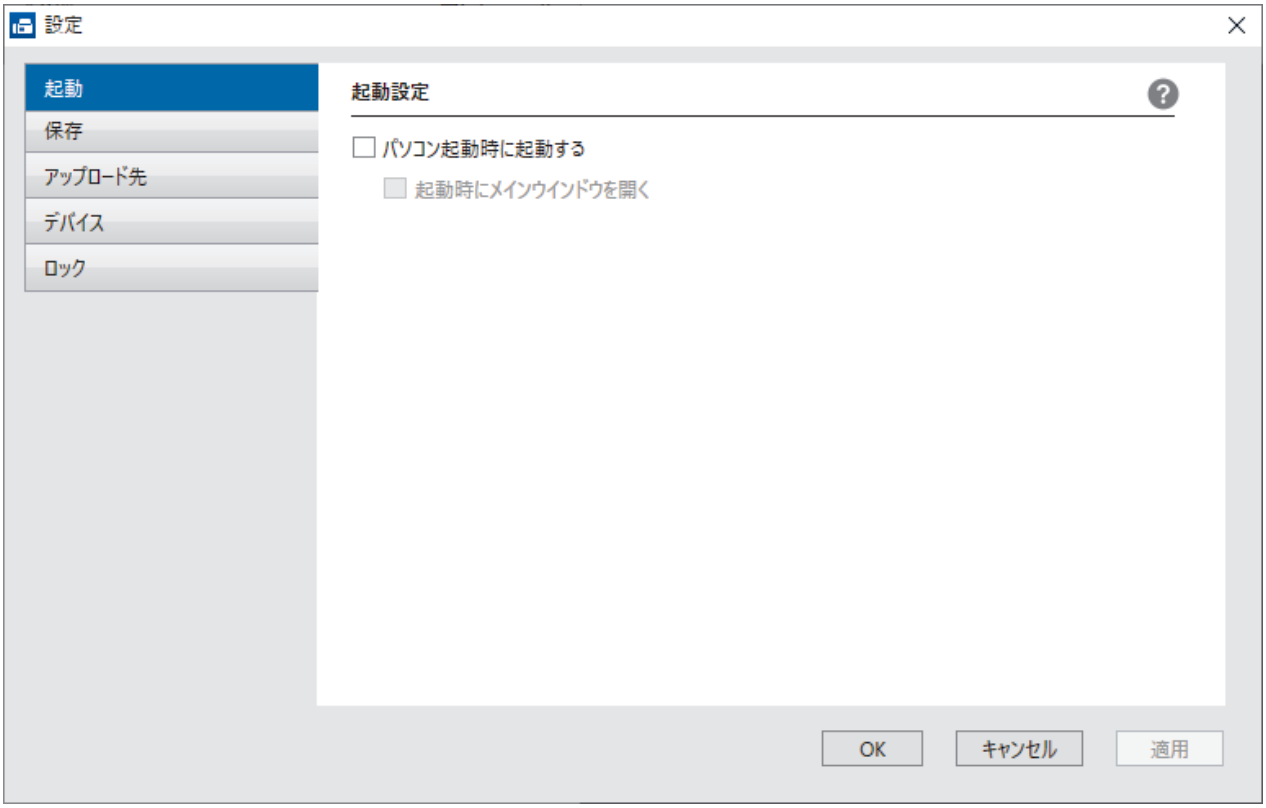
   サーバーへのパスを設定し、アップロードの自動または手動を選択します。（管理者のみ利用可能）

   デバイス

   PC-FAX を受信したいブラザー製品を設定します。

   ロック （管理者のみ利用可能）

   管理者権限の無いユーザーに対して、設定を制限することができます。



4. **OK** をクリックします。

関連情報

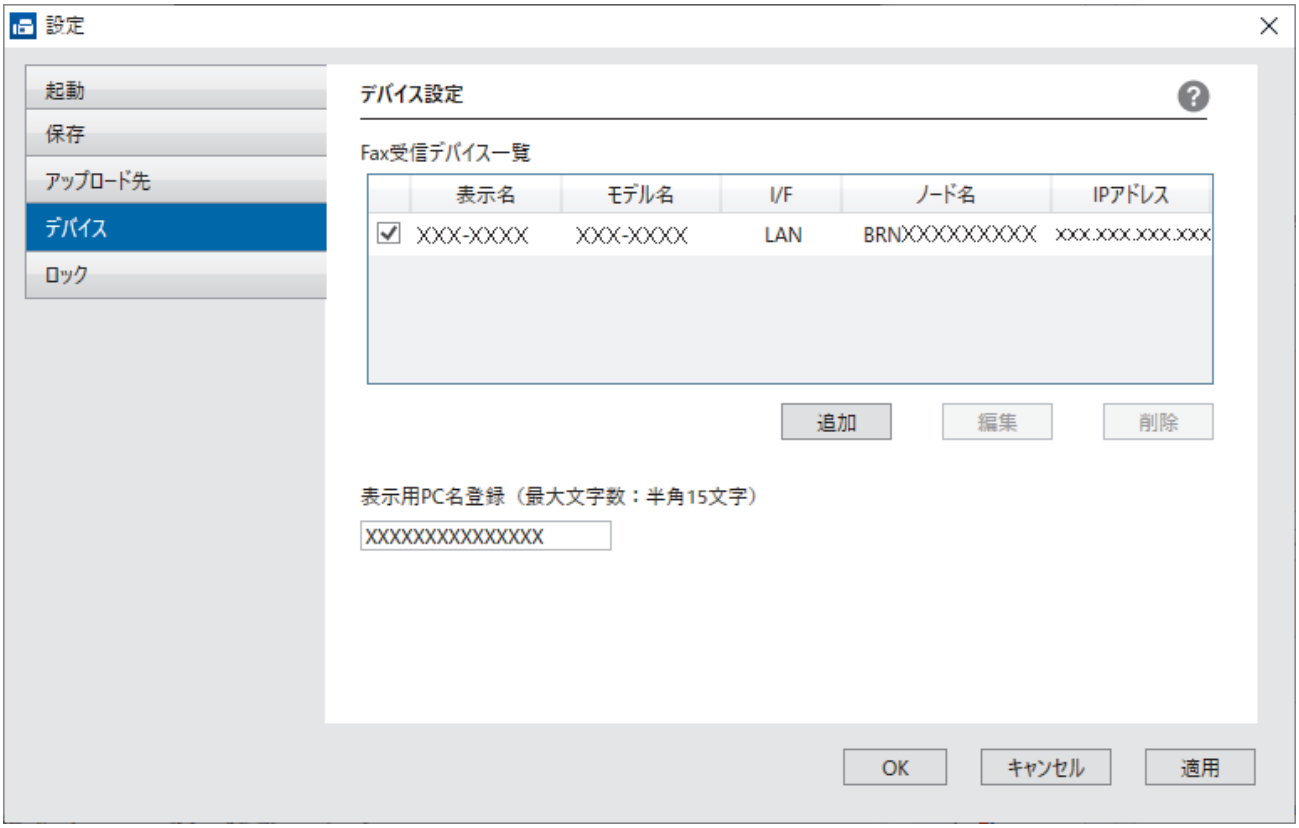
- パソコンで本製品の PC-FAX 受信を起動する

PC-FAX 受信に本製品を追加する（Windows）

- ネットワークユーザー向けの指示に従って本製品をインストールした場合、本製品はお使いのネットワーク上ですでに設定されています。

1. お使いのパソコンで、タスクトレイの (**PC ファクス受信**) アイコンをダブルクリックします。

   PC ファクス受信画面が表示されます。
2. **設定** をクリックします。
3. **デバイス** > **追加**をクリックします。



4. 適切な接続方法を選択します。

   自動検索結果から選択してデバイスを追加

   接続済みの製品の一覧が表示されます。使用する製品を選択します。**OK** をクリックします。

   IP アドレスを入力してデバイスを追加

   IP アドレス欄に本製品の IP アドレスを入力し、**OK** をクリックします。
5. 本製品の画面に表示されるパソコン名を変更するには、**表示用 PC 名登録（最大文字数：半角 15 文字）**欄に新しい名前を入力します。
6. **OK** をクリックします。

関連情報

- パソコンで本製品の PC-FAX 受信を起動する

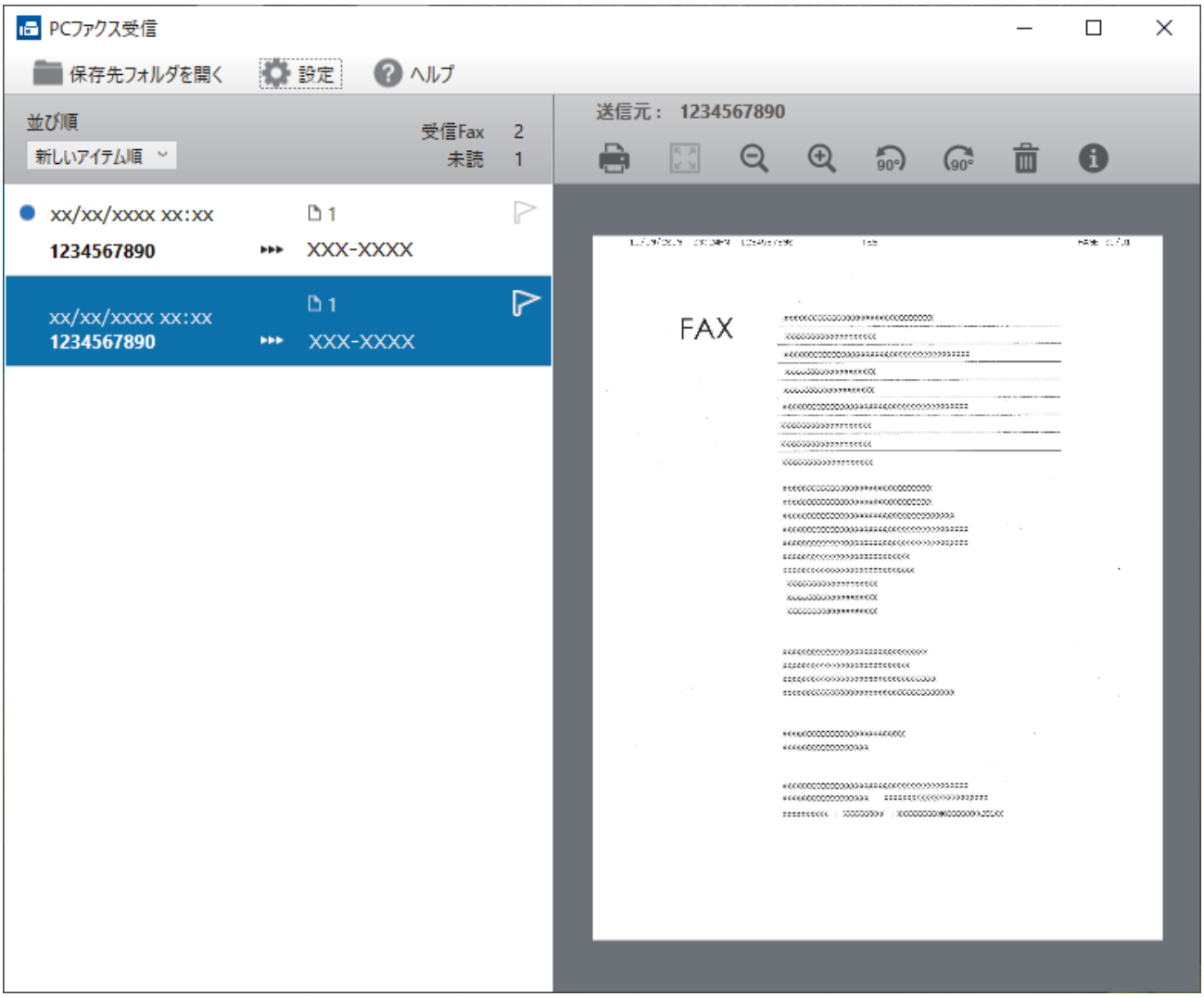
受信した PC-FAX メッセージを表示する（Windows）

受信ステータス

アイコン	表示されるステータス
	待機モード 未読メッセージなし
	メッセージを受信中
	メッセージを受信済み 未読メッセージあり

1. お使いのパソコンで、タスクトレイの (**PC ファクス受信**) アイコンをダブルクリックします。

   PC ファクス受信画面が表示されます。



2. リストをクリックすると、ファクスが表示されます。
3. 完了したら、画面を閉じます。

ウィンドウを閉じた後も、PC-FAX 受信は起動しているので、パソコンのタスクトレイに (**PC ファクス受信**) アイコンが表示されたままになります。PC-FAX 受信を閉じるには、パソコンのタスクトレイのアイコンをクリックし、**閉じる**をクリックします。

関連情報

- PC-FAX 受信を使用してファクスを受信する（Windows）

Mac 用 PC-FAX

- AirPrint を使用してファクス送信を行う（macOS）

ネットワーク

- 対応している基本ネットワーク機能について
- ネットワークを設定する
- 無線ネットワーク設定
- ネットワーク機能

対応している基本ネットワーク機能について

本製品は、使用される OS に合わせて、さまざまな機能をサポートしています。この表で、各 OS でサポートされるネットワーク機能と接続を確認してください。

オペレーティングシステム	Windows	Windows Server	macOS
印刷	○	○	○
スキャン	○	-	○
PC ファクス送信	○	-	○
PC ファクス受信	○	-	-
Web Based Management [1]	○	○	○
ステータスモニター	○	-	-
オートマチックドライバーインストーラー	○	○	-

1 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。本製品への不正なアクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。

本製品の有線・無線 LAN インターフェイスは、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダー等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。

本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を経由し接続してください。

関連情報

- ネットワーク

関連トピック：

- Web Based Management へのログインパスワードを設定または変更する

ネットワークを設定する

- 操作パネルを使用してネットワークを設定する
- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

操作パネルを使用してネットワークを設定する

本製品のネットワークの設定をするには、操作パネルの［ネットワーク］メニューの項目を使用します。

- 操作パネルを使用して設定できるネットワーク設定については「関連情報」をご覧ください：設定一覧
- Web Based Management などのユーティリティを使用して、本製品のネットワークの設定や変更を行うこともできます。

1. ［メニュー］ > ［ネットワーク］を押します。
2. ▲または▼を押してネットワークオプションを表示し、それを押します。このステップを繰り返して設定したいメニューにアクセスし、画面の指示に従ってください。

関連情報

- ネットワークを設定する

関連トピック：

- 設定一覧（2.7 型（67.5mm） / 3.5 型（87.6mm）タッチパネルモデル）

無線ネットワーク設定

- 無線ネットワークを使用する
- Wi-Fi Direct®を使用する
- 無線 LAN を有効/無効にする
- 無線 LAN レポートを印刷する

無線ネットワークを使用する

- 無線ネットワークに本製品を設定する前に
- パソコンからセットアップウィザードを使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- 携帯端末からセットアップウィザードを使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- 本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線ネットワークを設定する
- Wi-Fi Protected Setup™ （WPS）のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- Wi-Fi Protected Setup™ （WPS）の PIN 方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する
- エンタープライズ無線ネットワーク用に本製品を設定する

無線ネットワークに本製品を設定する前に

無線 LAN ネットワークを設定する前に、以下の点を確認してください。

- エンタープライズ無線ネットワークを使用している場合、ユーザー ID とパスワードを知っておく必要があります。
- 常に文書を快適に印刷するために、本製品を無線 LAN アクセスポイント/ルーターの近くに設置し、無線通信に支障のないようにしてください。本製品と無線 LAN アクセスポイントまたはルーターとの間に大きな障害物や壁があったり、他の電子機器からの電磁干渉があると、印刷する文書のデータ転送速度に影響を与える可能性があります。

  無線 LAN 接続は必ずしもすべてのタイプの文書やアプリケーションに最適な接続方法とは限りません。複雑で文字数の多い文書や写真などの大きいサイズのデータを印刷する場合は、データ転送速度のより速い有線 LAN 接続（サポート対象モデルのみ）、または最速で処理可能な USB 接続で印刷することをお勧めします。
- 本製品は有線 LAN と無線 LAN のいずれのネットワークでも使用できますが（サポート対象モデルのみ）、両方のネットワークを同時に使用することはできません。ただし、無線 LAN 接続と Wi-Fi Direct 接続、または有線 LAN 接続（サポート対象モデルのみ）と Wi-Fi Direct 接続は同時に使用できます。
- 電波の届く範囲であれば、自由に無線 LAN 接続が可能になります。ただし、セキュリティ設定を正しく行わないと、悪意のある第三者によって電波が傍受され、次のような結果を招く可能性があります。
  - 個人情報または機密情報の盗用
  - 特定の個人になりすました者への不適切な情報送信
  - 傍受され、改ざんされた通信内容の拡散

無線 LAN ルーター/アクセスポイントのネットワーク名（SSID）とネットワークキー（パスワード）を確認してください。この情報が見つからない場合は、無線 LAN ルーター/アクセスポイントの製造元、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。弊社がこの情報を提供することはできません。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

パソコンからセットアップウィザードを使用して本製品に無線ネットワークを設定する

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows

     support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページからインストーラーをダウンロードします。
   - Mac
     a. support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページからインストーラーをダウンロードします。
     b. インストーラーを開始し、**Start Here Mac** アイコンをダブルクリックします。
2. 画面の指示に従います。
3. **無線 LAN (Wi-Fi)**を選択してから**次の項目へ**をクリックします。
4. 画面の指示に従います。

無線 LAN のセットアップが完了しました。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

携帯端末からセットアップウィザードを使用して本製品に無線ネットワークを設定する

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Android™端末

     Google Play™から Brother Mobile Connect をダウンロードしてインストールします。
   - iPhone、iPad、iPod touch を含む iOS または iPadOS 対応のすべての機器

     App Store から、Brother Mobile Connect をダウンロードしてインストールします。
2. Brother Mobile Connect を起動し、画面の指示に従って携帯端末を本製品に接続します。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線ネットワークを設定する

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在接続しているパソコンの無線ネットワーク設定を確認して記録します。

ネットワーク名（SSID）

ネットワークキー（パスワード）

例：

ネットワーク名（SSID）
HELLO

ネットワークキー（パスワード）
12345

- ご使用の無線 LAN アクセスポイント/ルーターが複数の WEP キーに対応している場合でも、本製品で使用できるのは 1 番目の WEP キーのみです。
- セットアップできないなど、ブラザーコールセンターにお問い合わせいただく場合は、あらかじめ SSID（ネットワーク名）とネットワークキー（パスワード）を調べ、お手元にご用意ください。弊社がこの情報を提供することはできません。
- SSID（ネットワーク名）およびネットワークキーがわからない場合、無線ネットワークのセットアップを行うことはできません。

  SSID(ネットワーク名）およびネットワークキーの見つけ方

  - お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの取扱説明書を調べてください。
  - 初期 SSID は、製造メーカー名またはモデル名の可能性があります。
  - セキュリティ情報がわからない場合は、ルーターの製造業者、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

2. [メニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN(Wi-Fi)] > [ネットワーク選択(SSID)]を押します。
3. [無線 LAN をオンにしますか?]が表示されたら、[はい]を押します。

   無線 LAN 接続セットアップウィザードが起動します。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
4. ネットワークの検索が行われた後、利用可能な SSID の一覧が表示されます。SSID のリストが表示されたら、▲または▼を押して、使用したい SSID を選択します。[OK]を押します。
5. 以下のいずれかを行ってください：
   - ネットワークキーを必要とする認証および暗号化方式を使用している場合は、最初の手順で書き留めたネットワークキーを入力し、[OK]を押して設定を適用します。
   - 使用している認証方式がオープンシステムで、暗号化モードが「なし」の場合、次の手順に進みます。
6. 製品は、選択された無線機器に接続しようとします。

無線機器が正常に接続されると、画面に[接続しました]と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

Wi-Fi Protected Setup™（WPS）のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する

お使いの無線 LAN アクセスポイント／ルーターが、WPS（プッシュボタン設定）をサポートしている場合、本製品の操作パネルメニューから WPS を使用して無線ネットワークを設定することができます。

1. [メニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN(Wi-Fi)] > [WPS(プッシュボタン)]を押します。
2. [無線 LAN をオンにしますか?]が表示されたら、[はい]を押します。
   無線 LAN 接続セットアップウィザードが起動します。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
3. 画面に WPS を起動するよう指示が表示されたら、無線 LAN アクセスポイント/ルータの WPS ボタンを押します。本製品の[OK]を押します。本製品が自動的にお使いの無線ネットワークへの接続を試みます。

無線機器が正常に接続されると、画面に[接続しました]と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

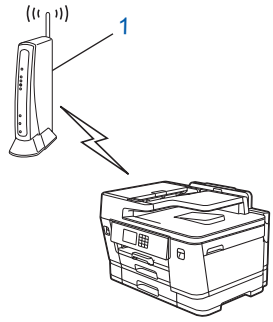
Wi-Fi Protected Setup™ （WPS）の PIN 方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する

お使いの無線 LAN のアクセスポイント/ルーターが、WPS をサポートしている場合、暗証番号（PIN：Personal Identification Number）方式を使用して無線ネットワークを設定できます。

PIN 方式は、 Wi-Fi Alliance®により開発された接続方式の一つです。本製品で作成された PIN コードを、レジストラー（無線 LAN を管理する機器）に送信することで、無線ネットワークとセキュリティの設定を行うことができます。WPS モードへのアクセス方法の詳細については、お使いの無線 LAN アクセスポイント／ルーターの説明書を参照してください。

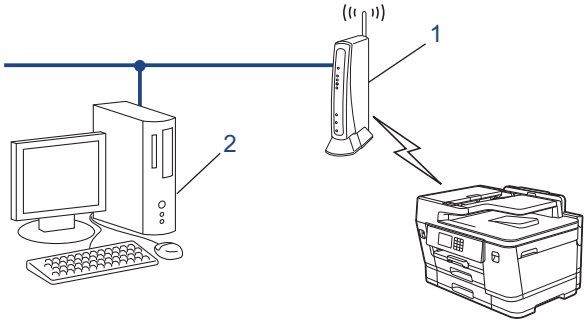
使用例 A

無線 LAN アクセスポイント/ルーター（1）がレジストラー（登録管理機器）を兼用する場合の接続。



使用例 B

パソコンなどの別の機器（2）がレジストラー（登録管理機器）として使用される場合の接続。



1. [メニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN(Wi-Fi)] > [WPS(PIN コード)]を押します。
2. [無線 LAN をオンにしますか?]が表示されたら、[はい]を押します。
   無線 LAN 接続セットアップウィザードが起動します。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
3. 本製品の画面に 8 桁の PIN が表示され、製品は無線 LAN アクセスポイント/ルーターの検索を開始します。
4. ネットワークに接続したパソコンを使って、レジストラーとして使用している機器の IP アドレスをブラウザーのアドレスバーに入力します。（例：http://192.168.1.2）
5. WPS の設定ページを表示して PIN を入力したあと、画面の指示に従います。

- レジストラー（登録管理機器）は通常、無線 LAN アクセスポイント/ルーターです。
- 設定画面は、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの種類によって異なる場合があります。詳細については、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの取扱説明書をご覧ください。

無線機器が正常に接続されると、画面に[接続しました]と表示されます。

Windows 7、Windows 8.1、または Windows 10 パソコンをレジストラーとして使用している場合、以下の手順をすべて行ってください。

6. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 10

> **Windows システム ツール** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスの追加**をクリックします。

- Windows 8.1

  マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、 **設定** > **コントロール パネル** > **ハードウェアとサウンド** > **デバイスとプリンター** > **デバイスの追加**をクリックします。

- Windows 7

  (スタート) > **デバイスとプリンター** > **デバイスの追加**をクリックします。

- Windows 7、Windows 8.1、または Windows 10 パソコンをレジストラーとして使用する場合、使用するパソコンをネットワークに事前に登録する必要があります。詳細については、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの取扱説明書をご覧ください。
- Windows 7、Windows 8.1、または Windows 10 を レジストラーとして使用する場合は、画面の指示に従って無線設定を行ったあと、プリンタードライバーをインストールできます。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

7. 本製品を選択し、**次へ**をクリックします。
8. 製品の画面に表示された PIN を入力し、**次へ**をクリックします。
9. （Windows 7）ネットワークを選択して、**次へ**をクリックします。
10. **閉じる** をクリックします。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在の無線 LAN の設定を調べて書き留めてください。

ネットワーク名（SSID）

認証方式	暗号化方式	ネットワークキー（パスワード）
オープンシステム	なし	-
	WEP	
共有キー	WEP	
WPA/WPA2-PSK/WPA3-SAE	TKIP（WPA/WPA2-PSK の場合）	
	AES	
WPA3-SAE	AES	

例：

ネットワーク名（SSID）
HELLO

認証方式	暗号化方式	ネットワークキー（パスワード）
WPA2-PSK	AES	12345678

お使いのルーターが WEP 暗号化方式を使用している場合、最初の WEP キーとして使用されているキーを入力します。本製品では、1 番目の WEP キーのみ使用できます。

2. [メニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN(Wi-Fi)] > [ネットワーク選択(SSID)]を押します。
3. [無線 LAN をオンにしますか?]が表示されたら、[はい]を押します。
   無線 LAN 接続セットアップウィザードが起動します。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
4. ネットワークの検索が行われた後、利用可能な SSID の一覧が表示されます。▲または▼を押して[<New SSID>]を表示させ、それを押します。
5. [OK]を押します。
6. SSID 名を入力し、[OK]を押します。

文字入力に関する詳しい説明は、「関連情報」をご覧ください。

7. ▲または▼を押して、認証方式を選択して押します。
8. 以下のいずれかを行ってください：
   - [オープンシステム認証]オプションを選択した場合、[なし]または[WEP]を押します。
     暗号化方式に [WEP] オプションを選択した場合、WEP キーを入力し、[OK]を押します。
   - [共有キー認証] オプションを選択した場合、WEP キーを入力し、[OK]を押します。
   - [WPA/WPA2-PSK/WPA3-SAE]オプションを選択した場合、[TKIP+AES]または[AES]を押します。
     WPA キーを入力し、[OK]を押します。
   - [WPA3-SAE]オプションを選択した場合は、[AES]を押します。
     WPA キーを入力し、[OK]を押します。

- 文字入力に関する詳しい説明は、「関連情報」をご覧ください。
- 本製品では、1 番目の WEP キーのみ使用できます。

9. 製品は、選択された無線機器に接続しようとします。

無線機器が正常に接続されると、画面に [接続しました] と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

関連トピック：

- 本製品のネットワークに問題がある場合
- 本製品にテキストを入力する

エンタープライズ無線ネットワーク用に本製品を設定する

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在の無線ネットワーク設定を確認して記録します。

ネットワーク名（SSID）

認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
EAP-FAST/NONE	AES		
	TKIP		
EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
EAP-FAST/GTC	AES		
	TKIP		
PEAP/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
PEAP/GTC	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/CHAP	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/MS-CHAP	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/PAP	AES		
	TKIP		
EAP-TLS	AES		-
	TKIP		-

例：

ネットワーク名（SSID）
HELLO

認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES	Brother	12345678

- EAP-TLS 認証を使用して本製品を設定する場合、設定の開始前に、CA により発行されたクライアント証明書を必ずインストールしてください。クライアント証明書については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。複数の証明書をインストールした場合、使用する証明書の名前を書き留めておくことをお勧めします。
- サーバー証明書の共通名を使用して本製品を確認する場合、設定の開始前に、使用する共通名を書き留めておくことをお勧めします。サーバー証明書の共通名については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

2. [メニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN(Wi-Fi)] > [ネットワーク選択(SSID)]を押します。
3. [無線 LAN をオンにしますか?]が表示されたら、[はい]を押します。
   無線 LAN 接続セットアップウィザードが起動します。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
4. ネットワークの検索が行われた後、利用可能な SSID の一覧が表示されます。▲または▼を押して[<New SSID>]を表示させ、それを押します。
5. [OK]を押します。
6. SSID 名を入力し、[OK]を押します。

文字入力に関する詳しい説明は、「関連情報」をご覧ください。

7. ▲または▼を押して、認証方式を選択して押します。
8. 以下のいずれかを行ってください：
   - [EAP-FAST]、[PEAP]または[EAP-TTLS]を選択した場合、内部認証方式を[NONE]、[CHAP]、[MS-CHAP]、[MS-CHAPv2]、[GTC]または[PAP]から選択します。

使用する認証方式によって、選択する内部認証方式は異なります。

暗号化タイプを[TKIP+AES]または[AES]から選択します。

検証方式を[検証しない]、[CA 証明書]、または[CA 証明書+サーバー ID]から選択します。

- [CA 証明書+サーバー ID]を選択した場合、サーバー ID、ユーザー ID、パスワード（必要に応じて）を入力し、その都度[OK]を押します。
- その他を選択した場合は、ユーザー ID とパスワードを入力し、その都度[OK]を押します。

本製品に CA 証明書をインポートしていない場合、[検証しない]と表示されます。

- [EAP-TLS]オプションを選択した場合、暗号化タイプを[TKIP+AES]または[AES]から選択します。
  使用可能なクライアント証明書のリストが本製品に表示されます。表示されたリストから証明書を選択します。
  検証方式を[検証しない]、[CA 証明書]、または[CA 証明書+サーバー ID]から選択します。
  - [CA 証明書+サーバー ID]を選択した場合、サーバー ID、ユーザー ID を入力し、その都度[OK]を押します。
  - その他を選択した場合は、ユーザー ID を入力し、[OK]を押します。
9. 製品は、選択された無線機器に接続しようとします。

無線機器が正常に接続されると、画面に[接続しました]と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

関連トピック：

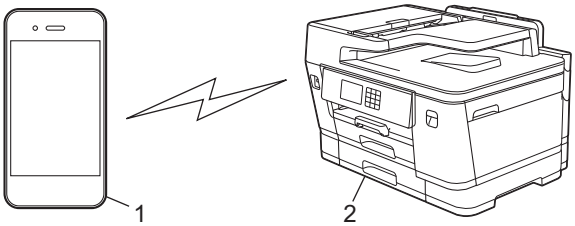
- 本製品にテキストを入力する

Wi-Fi Direct®を使用する

- Wi-Fi Direct の概要
- プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する
- Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する
- 本製品のネットワークに問題がある場合

Wi-Fi Direct の概要

Wi-Fi Direct は、Wi-Fi Alliance®により開発された無線設定方法の一つです。無線 LAN ルーター/アクセスポイントを使用せずに、携帯端末を本製品に安全に接続できます。



1. 携帯端末
2. 本製品

- Wi-Fi Direct は、有線または無線のネットワーク接続と同時に使用できます。
- Wi-Fi Direct をサポートしている機器は、グループオーナーになります。Wi-Fi Direct ネットワークを設定する場合、グループオーナーはアクセスポイントとして機能します。

関連情報

- Wi-Fi Direct®を使用する

関連トピック：

- プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する
- Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する

プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する

本製品が携帯端末からの Wi-Fi Direct 要求を受信すると、[Wi-Fi Direct の接続リクエストがきています 通信を開始するには[OK]を押してください]というメッセージが画面に表示されます。[OK]を押して接続します。

1. [メニュー] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct]を押します。
2. お使いの携帯端末が Wi-Fi Direct に対応していない場合は、[グループ オーナー] > [オン]を押します。
3. [プッシュボタン接続]を押します。
4. [相手側デバイスの Wi-Fi Direct 設定を有効にして[OK]を押してください]と表示されたら、携帯端末の Wi-Fi Direct 機能を有効にします（詳細は、携帯端末の取扱説明書を参照してください）。本製品の[OK]を押します。
5. 以下のいずれかを行ってください：
   - 携帯端末に Wi-Fi Direct が有効になっている製品のリストが表示される場合は、本製品を選択します。
   - 本製品に Wi-Fi Direct が有効になっている携帯端末のリストが表示される場合は、お使いの携帯端末を選択します。利用可能な機器を再検索するには、[再検索]を押します。

携帯端末が正常に接続されると、本製品に[接続しました]と表示されます。

関連情報

- Wi-Fi Direct®を使用する

関連トピック：

- Wi-Fi Direct の概要
- Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する

Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する

本製品の操作パネルから Wi-Fi Direct を設定します。

1. [メニュー] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct] > [手動接続] を押します。
2. 本製品に SSID（ネットワーク名）とパスワード（ネットワークキー）が表示されます。ご使用の携帯端末の無線ネットワーク設定画面で、SSID を選択して、パスワードを入力します。

携帯端末が正常に接続されると、本製品に [接続しました] と表示されます。

関連情報

- Wi-Fi Direct®を使用する

関連トピック：

- Wi-Fi Direct の概要
- プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する

無線 LAN を有効/無効にする

1. [メニュー] > [ネットワーク] > [有線/無線切替え] を押します。
2. 以下のいずれかを行ってください：
   - Wi-Fi を有効にするには、[無線 LAN (Wi-Fi)] を選択します。
   - Wi-Fi を無効にするには、[有線 LAN] を選択します。
3. を押します。

関連情報

- 無線ネットワーク設定

無線 LAN レポートを印刷する

無線 LAN レポートには、本製品の無線の状態が表示されます。無線接続に失敗した場合は、印刷されたレポートのエラーコードを確認してください。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [レポート印刷] > [無線 LAN レポート] > [はい] を押します。

   製品は無線 LAN レポートを印刷します。

無線 LAN レポートが印刷されない場合、製品のエラーの有無を確認します。目視できるエラーがない場合、1 分間待ったあと、もう一度レポートを印刷してみてください。

関連情報

- 無線ネットワーク設定
  - 無線 LAN レポートのエラーコードについて

関連トピック：

- Web Based Management を使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する
- 本製品のネットワークに問題がある場合

無線 LAN レポートのエラーコードについて

無線 LAN レポート機能により接続の失敗が示された場合、印刷したレポートでエラーコードを確認し、表を参照してエラーコードに対応する指示に従います。

エラーコード	問題と推奨される解決方法
TS-01	無線 LAN（Wi-Fi）設定が有効になっていません。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • 本製品の無線 LAN 設定を ON にしてください。 • 本製品に LAN ケーブルがつながっている場合は抜いてください。
TS-02	接続する無線 LAN ルーター／アクセスポイントが見つかりません。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • ルーター／アクセスポイントの電源が入っていることを確認してください。 • セットアップ時は、本製品を障害のない場所へ移動させたり、ルーター／アクセスポイントに近づけてみてください。 • MAC アドレスフィルタリングなどの接続制限機能をご利用の場合は、本製品の MAC アドレスを制限がかからないようにルーター／アクセスポイントの設定をご確認ください。本製品の MAC アドレスは、ネットワーク設定リストの印刷結果で確認できます。 • 手動で SSID を入力している場合には、セキュリティ情報（SSID／認証方式／暗号化方式）が間違っている可能性があります。セキュリティ情報（SSID／認証方式／暗号化方式）を再度確認し、入力をやりなおしてください。 • ルーター／アクセスポイントの電源を入れなおしてください。お使いの無線 LAN アクセスポイントの情報や設定変更のやり方がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイント・ルーターのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
TS-03	無線 LAN エンタープライズのセキュリティ情報が間違っています。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • 以下の情報を確認してください。 - 本製品で選択したネットワーク名（SSID)。 - 本製品で選択したセキュリティ情報（認証方式／暗号化方式／ユーザー ID など） ネットワーク名（SSID)やセキュリティ情報が分からない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
TS-04	無線アクセスポイント／ルーターで使用されている認証方式と暗号化方式を、本製品はサポートしていません。 インフラストラクチャモードの場合（最も一般的） 無線 LAN ルーター／アクセスポイントの認証方式や暗号化方式を変更します。本製品は、以下の方式をサポートしています。 • WPA-パーソナル： TKIP / AES • WPA2-パーソナル： TKIP / AES • WPA3-パーソナル： AES • OPEN： WEP / なし（認証なし） • 共有キー： WEP 解決しない場合は、選択した SSID または入力したネットワーク設定が間違っている可能性があります。ネットワーク設定を再度確認してください。

エラーコード	問題と推奨される解決方法
TS-05	ネットワーク名（SSID）やネットワークキー（パスワード）が間違っています。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • ネットワーク名（SSID）やネットワークキー（パスワード）を確認してください。 • ネットワークキーには、大文字と小文字を正しく入力してください。 • ネットワーク名（SSID）やセキュリティ情報が見つからない場合、無線 LAN（Wi-Fi）ルーター／アクセスポイントの取扱説明書を確認するか、ルーター／アクセスポイントのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 • ルーター／アクセスポイントの WEP が複数ある場合は、最初の WEP キーで接続してください。
TS-06	セキュリティ情報（SSID／認証方式／暗号化方式／ネットワークキー）が間違っています。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • ネットワークキー（パスワード）を確認してください。ネットワークキーには、大文字と小文字を正しく入力してください。 • 選択した認証方式を確認してください。認証方式や暗号化方式は、無線 LAN ルーター／アクセスポイントが対応しているものを選択してください。 • ネットワークキー、認証方式、暗号化方式を確認してください。ルーター／アクセスポイントと本製品の電源を入れなおしてください。 • 無線 LAN アクセスポイントの設定で SSID を隠している（SSID ステルス）場合、SSID は検出されません。SSID ステルスをオフにしてください。 お使いの無線 LAN アクセスポイントの情報や設定変更のやり方がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイント・ルーターのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
TS-07	WPS（Wi-Fi Protected Setup）設定中の無線 LAN ルーター／アクセスポイントが見つかりませんでした。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • ルーター／アクセスポイントに WPS ロゴが表示されているか確認し、WPS に対応している事を確認してください。詳しい事は、ルーター／アクセスポイントの説明書で確認してください。 • WPS で接続する場合は、本製品とルーター／アクセスポイントの両方の操作が必要です。詳しい事は、本製品のユーザーズガイドで確認してください。 • これらの情報がわからない場合は、ルーター／アクセスポイントのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
TS-08	WPS（Wi-Fi Protected Setup）設定中の無線 LAN ルーター／アクセスポイントが、2 個以上検出されています。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • 本製品と接続する 1 つのルーター／アクセスポイントだけが WPS を有効にしていることを確認してください。 • 他のルーター／アクセスポイントからの影響を避けるため、数分後にもう一度試してください。

無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの無線セキュリティ情報（SSID／認証方式／暗号化方式／ネットワークキー）の確認方法：

1. お買い上げ時のセキュリティ設定が、無線 LAN アクセスポイント／ルーターに貼られているラベルに記載されている場合があります。または、無線 LAN アクセスポイント／ルーターのメーカー名もしくは型番号が、お買い上げ時のセキュリティ設定として使用されている場合があります。
2. セキュリティ設定の表示場所については、お使いの無線 LAN アクセスポイントまたはルーターに同梱の説明書をご覧ください。

- 無線 LAN アクセスポイントまたはルーターが SSID をブロードキャストするように設定されていない場合、SSID は自動的には検出されません。SSID 名を手動で入力する必要があります。
- ネットワークキーは、パスワード、セキュリティキー、または暗号化キーとして記載されることもあります。

無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの SSID および無線セキュリティ設定、または設定の変更方法が分からない場合、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターに同梱の説明書をご覧になるか、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターのメーカーもしくは、ご契約のインターネットプロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

関連情報

- 無線 LAN レポートを印刷する

関連トピック：

- 本製品のネットワークに問題がある場合

ネットワーク機能

- ネットワーク設定リストを印刷する
- インターネットを使用したファクス（I-Fax）
- Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時刻を同期する
- ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする

ネットワーク設定リストを印刷する

ネットワーク設定リストには、ネットワークプリントサーバーの設定値を含む、ネットワーク設定が一覧表示されます。

- ノード名：ノード名は、ネットワーク設定リストに表示されます。お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は「BRNxxxxxxxxxxxx」、無線 LAN の場合は「BRWxxxxxxxxxxxx」です。（「xxxxxxxxxxxx」は、本製品の MAC アドレス／イーサネットアドレスを示します。）
- ネットワーク設定リストに表示される IP アドレスが 0.0.0.0 の場合、1 分間待ってから、もう一度印刷してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、ノード名、および MAC アドレスなどの、本製品の設定をレポートで確認できます。以下は一例です：
  - IP アドレス：192.168.0.5
  - サブネットマスク：255.255.255.0
  - ノード名：BRN000ca0000499
  - MAC アドレス：00-0c-a0-00-04-99

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［レポート印刷］>［ネットワーク設定リスト］>［はい］を押します。

   製品は、現在のネットワーク設定リストを印刷します。

関連情報

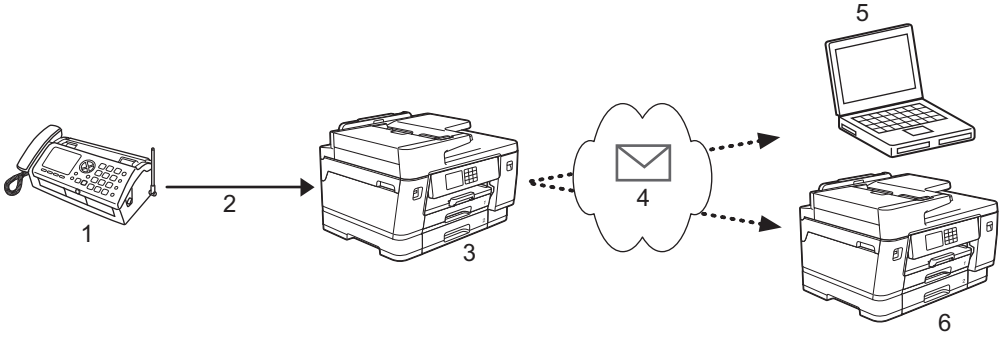
- ネットワーク機能

関連トピック：

- 本製品のネットワーク設定を確認する
- ネットワーク診断修復ツールを使用する （Windows）
- Web Based Management を使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 本製品のネットワークに問題がある場合

インターネットを使用したファクス（I-Fax）

本製品のインターネットファクスでは、インターネットを使用して、ファクス原稿の送受信を行えます。原稿は、添付の TIFF ファイルとして E メールで送信されます。TIFF ファイルの生成と表示を行うアプリケーションがインストールされているパソコンで、原稿を送受信できます。どの TIFF ビューアーアプリケーションにも対応しています。本製品を経由して送信される原稿は、自動的に TIFF 形式に変換されます。本製品へのメッセージの送受信を行う場合は、多目的インターネットメール拡張（MIME：Multipurpose Internet Mail Extensions）がお使いのパソコンの E メールアプリケーションでサポートされている必要があります。



1. ファクス（送信機）
2. 電話回線
3. 本製品（受信機/送信機）
4. インターネット
5. パソコンが転送メールを受信する
6. ファクス機が転送ファクスを受信する

- I-Fax では、レターまたは A4 サイズ、およびモノクロの原稿の送受信のみをサポートしています。
- 原稿がレジャーまたは A3 サイズの場合は、送信時にレターまたは A4 サイズに自動的に縮小されます。

関連情報

- ネットワーク機能
  - インターネットファクス（I-Fax）に関する重要事項
  - E メールまたは I-Fax 用に本製品を設定する
  - インターネットファクス（I-FAX)を送信する
  - サーバーに手動でポーリングする
  - I-FAX オプション

関連トピック：

- 受信 E-mail とファクスメッセージを転送する

インターネットファクス（I-Fax）に関する重要事項

LAN 経由の I-Fax 通信は E-mail 経由の通信とほぼ同様ですが、一般的な電話回線を使用したファクス通信とは異なります。I-Fax を使用する場合の重要事項を以下に記載します。

- 受信者の場所、LAN の構造、および回線（インターネットなど）の混雑具合などの要因により、エラーメールの送信に通常より時間がかかることがあります。
- 機密文書を送信する場合は、インターネットではなく（セキュリティレベルが低いため）、一般的な電話回線の使用を推奨します。
- 受信者が MIME 互換のメールシステムを使用していない場合、I-Fax を使用して文書を送信することはできません。できるだけ事前に確認し、サーバーがエラー応答を送信しないようにしてください。
- 文書のサイズが大きすぎるために I-Fax 経由で送信できない場合があります。
- 受信インターネットメールの、文字のフォントまたはサイズを変更することはできません。

関連情報

- インターネットを使用したファクス（I-Fax）

E メールまたは I-Fax 用に本製品を設定する

I-Fax を使用する前に、本製品がネットワークおよびメールサーバーと通信できるように設定します。これらの設定は、本製品の操作パネルまたは Web Based Management から行うことができます。Web Based Management を使用してオプション項目を設定することをお勧めします。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **POP3/IMAP4/SMTP クライアント**フィールドで**詳細設定**をクリックし、必要に応じて設定を行います。

ご不明な点は、システム管理者にお問い合わせください。

6. 完了後、**OK** をクリックします。

   E メール送信／受信設定のテストダイアログボックスが表示されます。
7. ダイアログボックスに表示される指示に従って、現在の設定値をテストします。

関連情報

- インターネットを使用したファクス（I-Fax）
  - E メールまたは I-Fax の初期設定
  - I-Fax を自動的に受信する
  - 受信した I-FAX をパソコンに表示させるには

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする
- I-FAX オプション

E メールまたは I-Fax の初期設定

I-Fax を送信する前に、必要に応じて、Web Based Management を使用して送受信オプションを設定します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ファクス** > **インターネットファクス送信設定**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. 必要に応じて設定を行います。

6. 完了後、**OK** をクリックします。

関連情報

- E メールまたは I-Fax 用に本製品を設定する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

- 受信 E-mail とファクスメッセージを転送する

I-Fax を自動的に受信する

I-Fax を自動的に受信するには、必要に応じて、Web Based Management を使用して受信オプションを設定します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ファクス** > **インターネットファクス受信設定**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. 必要に応じて設定を行います。

E メールの受信方法は 2 通りあります：

- 通常間隔での POP3/IMAP4 受信
- 手動開始の POP3/IMAP4 受信

POP3/IMAP4 受信を使用している場合、本製品はお使いの E メールサーバーにポーリングしてデータを受信します。ポーリングは設定した間隔で発生させたり（例えば、10 分間隔で E メールサーバーにポーリングするよう製品を設定できます）、サーバーに対して手動で実行したりできます。

6. 完了後、**OK** をクリックします。

- 本製品が E メールデータの受信を開始すると、画面に [受信中] と表示されます。E メールは自動的に印刷されます。
- データを受信したときに用紙切れの場合、受信データは本製品のメモリーに保持されます。このデータは、用紙をセットすると自動的に印刷されます。
- 受信メールがプレーンテキスト形式ではない場合、または添付ファイルが TIFF 形式ではない場合は、「**添付ファイルのフォーマットは使用できません**」というエラーメッセージが印刷されます。
- 受信メールのサイズが大きすぎる場合は、「**ﾌｧｲﾙｻｲｽﾞ が大きすぎます**」というエラーメッセージが印刷されます。
- **エラーメール削除/既読**が**オン**の場合（初期値）、エラーメールが E メールサーバーから自動的に削除されるか（POP3）、読み取られます（IMAP4）。

関連情報

- E メールまたは I-Fax 用に本製品を設定する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする
- 受信した I-FAX をパソコンに表示させるには
- 受信 E-mail とファクスメッセージを転送する

受信した I-FAX をパソコンに表示させるには

パソコンが I-Fax 文書を受信すると、文書は E メールメッセージに添付され、「件名：」の行に、E メールサーバーが I-Fax を受信したことが通知されます。本製品が E メールサーバーにポーリングするのを待つか、E メールサーバーに手動でポーリングして、データを受信することができます。

関連情報

- E メールまたは I-Fax 用に本製品を設定する

関連トピック：

- I-Fax を自動的に受信する

インターネットファクス（I-FAX)を送信する

I-Fax の送信は、通常のファクスの送信と同様です。受信者の情報が、お使いの E メールアドレス帳に保存されていることを確認し、I-Fax で送信する原稿を本製品にセットします。

原稿の送信先のパソコンで Windows®が実行されていない場合は、パソコンの所有者に、TIFF ファイルを表示できるソフトウェアをインストールしてもらいます。

1. 原稿をセットします。
2. 以下のいずれかを行ってください：
   - ［みるだけ受信］が［オフ（受信したら印刷）］に設定されている場合は、［ファクス］を押します。
   - ［みるだけ受信］が［オン（画面で確認）］に設定されている場合は、［ファクス］を押したあと、［ファクス送信］を押します。
3. ファクス送信設定を変更するには、［設定変更］を押します。
4. ▲または▼を押して、ファクス設定値をスクロールします。変更対象の設定が表示されたら、それを押して変更後の値を選択します。設定の変更が終了したら、［OK］を押します。
5. 以下のいずれかを行ってください：
   - を押し、E-mail アドレスを入力します。
   - ［電話帳］を押し、受信者の E メールアドレスを選択して、［送信先に設定］を押します。
6. ［スタート］を押します。

   本製品はスキャンを開始します。原稿はスキャンされると、SMTP サーバー経由で受信者に送信されます。スキャン中にを押すと、送信操作をキャンセルすることができます。送信が終了すると、製品は待機モードに入ります。

関連情報

- インターネットを使用したファクス（I-Fax）

サーバーに手動でポーリングする

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [E メール/IFAX] > [手動受信] > [はい] を押します。
2. 画面に [受信中] と表示され、本製品は E メールサーバーから送られたデータを印刷します。

関連情報

- インターネットを使用したファクス（I-Fax）

関連トピック：

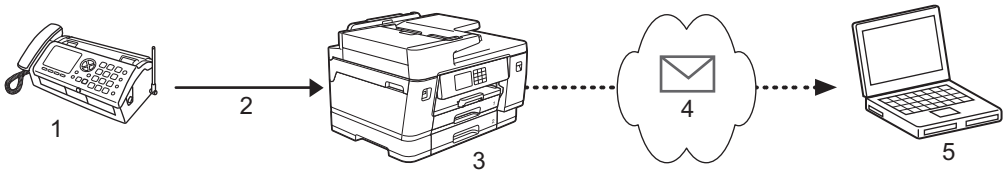
- 受信 E-mail とファクスメッセージを転送する

I-FAX オプション

- 受信 E-mail とファクスメッセージを転送する
- 本製品でリレー同報送信を設定する
- インターネットファクス（I-Fax）検証メール
- E メールまたは I-Fax 用に本製品を設定する

受信 E-mail とファクスメッセージを転送する

本製品の I-Fax を使用して、E メールや一般的なファクスメッセージを、別のパソコン、ファクス機、または別の I-Fax 製品に転送します。Web Based Management を使用して転送機能を有効にします。



1. ファクス（送信機）
2. 電話回線
3. 本製品（受信機/送信機）
4. インターネット
5. 転送された E メールをパソコンが受信

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ファクス** > **応用機能**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **ファクス転送/クラウド**欄で**ファクス転送**を選択します。
6. **ファクス転送先番号**で **E メール アドレス**オプションを選択し、送信先の E メールアドレスを入力します。
7. 完了後、**OK** をクリックします。

関連情報

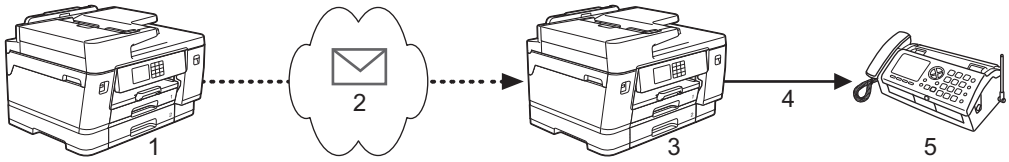
- I-FAX オプション

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする
- サーバーに手動でポーリングする
- インターネットを使用したファクス（I-Fax）
- E メールまたは I-Fax の初期設定
- I-Fax を自動的に受信する

本製品でリレー同報送信を設定する

リレー同報送信では、本製品がインターネットを介してメッセージを受信し、従来の電話回線を使用して別のファクス機にメッセージを中継します。遠隔地や海外に文書をファクスする必要がある場合、「リレー同報送信」機能を使用すると、通信費を節約できます。



1. インターネット対応ファクス機
2. インターネット
3. 本製品
4. 電話回線
5. ファクス機

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ファクス** > **リレー配信機能**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. 必要に応じて設定を行います。

- **リレー許可**

  リレー許可 を **オン** に設定します。
- **許可ドメイン**

  ファクス機に原稿を同報送信する製品に、本製品のドメイン名を設定します。本製品をリレー同報送信機器として使用する場合は、信頼できるドメイン名（「@」記号より後ろの部分）を本製品上で指定する必要があります。信頼できるドメインは慎重に選択してください。最大 5 個までドメイン名を登録できます。
- **リレー配信レポート**

  本製品がリレー同報送信を完了した後の、レポート印刷の有無を指定します。

6. 完了後、**OK** をクリックします。

関連情報

- I-FAX オプション
  - 本製品から同報送信をリレーする
  - お使いのパソコンから同報送信をリレーする

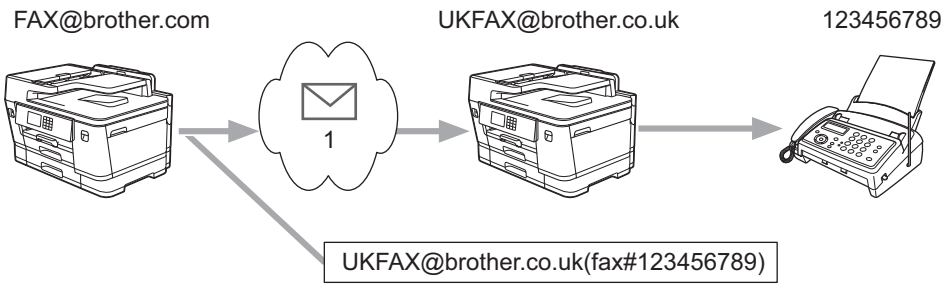
関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

本製品から同報送信をリレーする

リレー同報送信機能を使用して、本製品からファクス機に E メールを送信します。

Web Based Management で **POP3/IMAP4/SMTP クライアント**および **SMTP サーバー**チェックボックスがオンになっていることを確認します。**POP3/IMAP4/SMTP クライアント**および **SMTP サーバー**チェックボックスがオンになっていない場合は、**POP3/IMAP4/SMTP クライアント**および **SMTP サーバー**チェックボックスを選択します。**OK** をクリックして、本製品を再起動します。

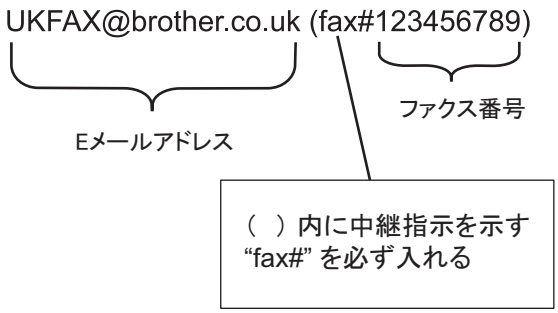


1. インターネット

この例では、本製品の E メールアドレスは FAX@brother.com であり、原稿を本製品から、E メールアドレスが UKFAX@brother.co.uk の、イギリスの一般的なファクス機に送信します。また、送信には従来の電話回線が使用されます。

1. 原稿をセットします。
2. 以下のいずれかを行ってください：
   - ［みるだけ受信］が［オフ（受信したら印刷）］に設定されている場合は、［ファクス］を押します。
   - ［みるだけ受信］が［オン（画面で確認）］に設定されている場合は、［ファクス］を押したあと、［ファクス送信］を押します。
3. ［設定変更］>［同報送信］>［番号追加］を押します。
4. 以下の方法で、同報送信に E-mail アドレスを追加できます。
   - ［番号追加］、と押し、E-mail アドレスを入力したあと、［OK］を押します。
   - ［電話帳から選択］を押します。同報送信に追加する E-mail アドレスのチェックボックスを選択します。追加対象すべての E-mail アドレスを確認し、［OK］を押します。
   - ［検索して選択］を押します。名前を入力し、［OK］を押します。検索結果が表示されます。名前を押してから、同報送信に追加する E-mail アドレスを押します。

   E-mail アドレスと電話番号の入力方法の例を以下に示します。



   すべてのファクス番号を入力し、［OK］を押します。
5. ［スタート］を押します。

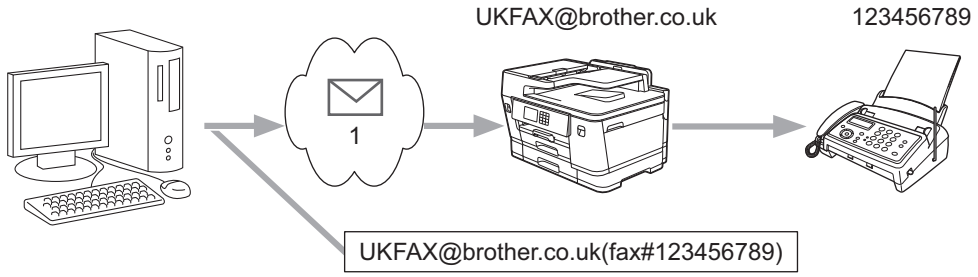
関連情報

- 本製品でリレー同報送信を設定する

お使いのパソコンから同報送信をリレーする

リレー同報送信機能を使用して、パソコンからファクス機に E メールを送信します。

- 複数のファクス番号へ E メール送信できない E メールアプリケーションもあります。お使いの E メールアプリケーションが複数のファクス番号をサポートしていない場合、一度にリレーできるファクス機は 1 つのみです。



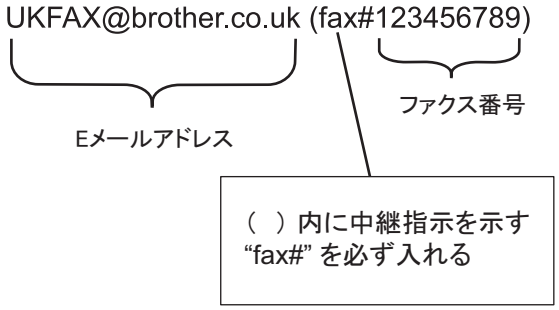
1. インターネット

- Web Based Management で **POP3/IMAP4/SMTP クライアント**および **SMTP サーバー**チェックボックスがオンになっていることを確認します。**POP3/IMAP4/SMTP クライアント**および **SMTP サーバー**チェックボックスがオンになっていない場合は、**POP3/IMAP4/SMTP クライアント**および **SMTP サーバー**チェックボックスを選択します。**OK** をクリックして、本製品を再起動します。

E メールを従来のファクス機に送信する場合、ファクス番号を入力する方法は、使用しているメールアプリケーションによって異なります。

1. お使いの E メールアプリケーションで、新しいメールメッセージを作成し、リレー機の E メールアドレスおよび最初のファクス機のファクス番号を、「TO」ボックスに入力します。

   E メールアドレスとファクス番号の入力方法の例を以下に示します。



Microsoft Outlook の場合、アドレス情報は、以下に示すようにアドレス帳に入力します。

名前：fax#123456789

電子メールアドレス：UKFAX@brother.co.uk

2. リレー機の E メールアドレスおよび、2 台目のファクス機のファクス番号を、「TO」ボックスに入力します。
3. E メールを送信します。

関連情報

- 本製品でリレー同報送信を設定する

インターネットファクス（I-Fax）検証メール

- 送信検証メールでは、I-Fax または E メールを受信して処理した受信ステーションからの通知を要求できます。
- 受信検証メールでは、I-Fax または E メールを正常に受信して処理した後、初期設定のレポートを送信ステーションに送信できます。

この機能を使用するには、本製品の操作パネルの、［メール　受信設定］で［受信確認］を、［メール　送信設定］で［受信確認要求］を設定します。

関連情報

- I-FAX オプション
  - TX 確認メールの送信通知を有効にする
  - TX 確認メールの受信通知を有効にする
  - I-Fax のエラーメール

TX 確認メールの送信通知を有効にする

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [E メール/IFAX] > [メール 送信設定] > [受信確認要求] を押します。
2. [オン] に切り替えると、情報の追加フィールドが画像データと共に送信されます。このフィールドを MDN (Message Disposition Notification)と呼びます。

通知レポートを送信するには、受信側が MDN フィールドをサポートしている必要があります。サポートしていない場合、要求は無視されます。

3. を押します。

関連情報

- インターネットファクス（I-Fax）検証メール

TX 確認メールの受信通知を有効にする

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [E メール/IFAX] > [メール 受信設定] > [受信確認] を押します。
2. 3 つの設定オプションの中から 1 つを押します。

オプション	詳細
受信通知 [オン]	受信通知が [オン] の場合、定型メッセージが送信者に返信され、メッセージの受信と処理が正常に行なわれたことが通知されます。 これらの定型メッセージは、送信者が要求した操作によって異なります。 例： [SUCCESS: Received From <Mail Address>]
受信通知 [MDN]	受信通知が [MDN] の場合、発信局が要求確認を [MDN] フィールドに送信していると、受信と処理が正常に行なわれたことを示すレポートが送信者に返信されます。
受信通知 [オフ]	受信通知が [オフ] の場合、すべての形式の受信通知が無効になり、要求の種類に関わらず、送信者には何も返信されません。

- TX 確認メールを送信するには、送信者が以下の設定を行っている必要があります。
  - [メール 送信設定] の [受信確認要求] を [オン] に切り替えます。
  - [メール 受信設定] の [ヘッダー印刷] を [全て] または [ヘッダー のみ] に切り替えます。
- TX 確認メールを受信するには、受信者が以下の設定を行っている必要があります。
  - [メール 受信設定] の [受信確認] を [オン] に切り替えます。

3. を押します。

関連情報

- インターネットファクス（I-Fax）検証メール

I-Fax のエラーメール

インターネットファクス（I-FAX）送信時に配信エラーが発生すると、メールサーバーはファクスを送信した本製品にエラーメッセージを送り、エラーメッセージが印刷されます。

I-Fax 受信時にエラーが発生すると、「本製品に送信中のメッセージは TIFF 形式ではありませんでした」などのエラーメッセージが印刷されます。

本製品でエラーメールの受信と印刷を行うには、［メール 受信設定］で、［ヘッダー印刷］を、［全て］または［ヘッダー のみ］に切り替えます。

関連情報

- インターネットファクス（I-Fax）検証メール

Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時刻を同期する

簡易ネットワークタイムプロトコル（SNTP：Simple Network Time Protocol）は、本製品が認証に使用する時間と、SNTP タイムサーバーとの時刻を同期させます。（この時刻は、本製品の操作パネルに表示される時間とは異なります。）SNTP タイムサーバーを使用して、本製品の時刻と協定世界時（UTC: Coordinated Universal Time）を、自動または手動で同期させることができます。

- Web Based Management で日時を設定する
- Web Based Management で SNTP プロトコルを設定する

Web Based Management で日時を設定する

本製品で使用する時刻と SNTP タイムサーバーが同期するように、日時を設定します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定** > **時計設定**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **タイムゾーン** 設定を確認します。
6. **SNTP サーバーと同期する**チェックボックスを選択します。
7. **OK** をクリックします。

日付と時刻は手動で設定することもできます。

関連情報

- Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時刻を同期する

関連トピック：

- スキャン to ネットワークプロファイルを設定する
- Web Based Management にアクセスする

Web Based Management で SNTP プロトコルを設定する

SNTP プロトコルを設定して、本製品が認証に使用する時間と SNTP タイムサーバーが維持する時間を同期させます。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **SNTP** チェックボックスをオンにして、設定を有効にします。
6. **OK** をクリックします。
7. 本製品を再起動して、設定を有効にします。
8. SNTP チェックボックスの横にある**詳細設定**をクリックします。
9. 設定を確認します。

オプション	詳細
状態	SNTP プロトコルが有効か無効かを表示します。
同期状態	最新の同期状態を確認します。
SNTP サーバー設定の方法	**AUTO** または **STATIC** を選択します。 • **AUTO** ネットワーク上に DHCP サーバーがあれば、SNTP サーバーが自動的に DHCP サーバーからアドレスを取得します。 • **STATIC** 使用したいアドレスを入力します。
プライマリー SNTP サーバーアドレス **セカンダリー SNTP サーバーアドレス**	サーバーアドレスを 64 文字以内で入力します。 セカンダリー SNTP サーバーアドレスは、プライマリー SNTP サーバーアドレスの予備として使用されます。プライマリーサーバーが利用できない場合、本製品はセカンダリー SNTP サーバーと通信します。
プライマリー SNTP サーバーポート **セカンダリー SNTP サーバーポート**	ポート番号を入力します（1～65535）。 セカンダリー SNTP サーバーポートは、プライマリー SNTP サーバーポートの予備として使用されます。プライマリーポートが利用できない場合、本製品はセカンダリー SNTP ポートと通信します。
同期間隔	サーバーとの同期処理の間隔（1～168 時間）を入力します。

10. **OK** をクリックします。

関連情報

- Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時刻を同期する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする

本製品の操作パネルを使用して、ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットできます。パスワードや IP アドレスなど、すべての情報がリセットされます。

- すべての有線 LAN（サポート対象モデルのみ）および無線 LAN ネットワークの設定が、お買い上げ時の設定に戻ります。
- Web Based Management を使用して、プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットすることもできます。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [ネットワーク設定リセット] を押します。
2. リセットの確認メッセージが表示されます。[OK] を 2 秒間押します。
   本製品が再起動します。

関連情報

- ネットワーク機能

関連トピック：

- ファクスや通信管理レポートの転送

セキュリティ

- ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に
- デバイスセキュリティの証明書を設定する
- SSL/TLS を使用する
- SNMPv3 を使用する
- IPsec を使用する
- IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する
- Active Directory 認証を使用する
- LDAP 認証を使用する
- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する
- E メールを安全に送受信する

ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に

本製品には、最新のネットワークセキュリティの一部と、現在利用可能な暗号化プロトコルが使用されています。これらのネットワーク機能は、お使いの全体的なネットワークセキュリティプランの一部として、データを保護し、本製品への不正なアクセスを防ぐことができます。

FTP および TFTP プロトコルを無効にすることをお勧めします。これらのプロトコルを使用した本製品へのアクセスは安全ではありません。ただし、FTP を無効にした場合、スキャン to FTP 機能が無効になることにご注意ください。

関連情報

- セキュリティ

デバイスセキュリティの証明書を設定する

SSL/TLS を使用してネットワーク接続された本製品を安全に管理するには、証明書を設定する必要があります。証明書を設定するには、Web Based Management を使用する必要があります。

- サポートされているセキュリティ証明書機能
- 証明書の作成とインストールの手順
- 自己署名証明書を作成する
- CSR を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする
- 証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて
- CA 証明書のインポートとエクスポートについて
- 複数の証明書を管理する

サポートされているセキュリティ証明書機能

本製品は、複数のセキュリティ証明書の使用をサポートしています。これにより、安全な認証および本製品との通信が可能になります。本製品では、以下のセキュリティ証明書機能を使用できます。

- SSL/TLS 通信
- IEEE 802.1x 認証
- IPsec

本製品は、次をサポートしています。

- プリインストール証明書

  本製品には、自己署名証明書がプリインストールされています。この証明書により、別の証明書を作成またはインストールしなくても、SSL/TLS 通信を使用できます。

  プリインストールされた自己署名証明書により、一定レベルまでは通信が保護されます。セキュリティを強化するために、信頼できる組織から発行された証明書を使用することをお勧めします。

- 自己署名証明書

  本プリントサーバーは自己の証明書を発行します。この証明書を使用すると、別の証明書を作成したり、CA 発行の証明書をインストールしなくても、SSL/TLS 通信を簡単に使用できます。

- 認証局（CA）発行の証明書

  CA 発行の証明書をインストールする場合、2 とおりの方法があります。CA 発行の証明書がすでにある場合、または外部の信頼できる CA の証明書を使用する場合：

  - 本プリントサーバーからの証明書署名要求（CSR）を使用する場合。
  - 証明書とプライベートキーをインポートする場合。

- 認証局（CA）証明書

  CA を識別し、プライベートキーを所有する CA 証明書を使用するには、ネットワークのセキュリティ機能を設定する前に、CA が発行した CA 証明書をインポートする必要があります。

  - SSL/TLS 通信を使用する場合は、まずシステム管理者に連絡することをお勧めします。
  - プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットする場合、インストールされている証明書とプライベートキーは削除されます。プリントサーバーのリセット後にも同じ証明書とプライベートキーを保持する場合は、リセット前にこれらをエクスポートし、リセット後に再インストールします。

関連情報

- デバイスセキュリティの証明書を設定する

関連トピック：

- Web Based Management を使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する

証明書の作成とインストールの手順

セキュリティ証明書を使用する場合、自己署名証明書を使用するか、認証局（CA）発行の証明書を使用するかを選択できます。

オプション 1

自己署名証明書

1. Web Based Management を使用して自己署名証明書を作成します。
2. パソコンへ自己署名証明書をインストールします。

オプション 2

CA からの証明書

1. Web Based Management を使用して、証明書署名要求（CSR）を作成します。
2. Web Based Management を使用して、CA が発行した証明書を、本製品にインストールします。
3. パソコンへ証明書をインストールします。

関連情報

- デバイスセキュリティの証明書を設定する

自己署名証明書を作成する

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **証明書**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、 ≡から開始します。

5. **自己署名証明書の作成** をクリックします。
6. **コモンネーム**および**有効期限**を入力します。
   - **コモンネーム**の長さは 64 バイト未満です。SSL/TLS 通信を介して本製品にアクセスする場合に使用する、IP アドレス、ノード名、ドメイン名などの識別子を入力します。お買い上げ時の設定では、ノード名が表示されます。
   - IPPS または HTTPS プロトコルを使用し、自己署名証明書に使用された**コモンネーム**とは異なる名前が URL に入力された場合は、警告が表示されます。
7. **公開鍵アルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **RSA(2048bit)**です。
8. **メッセージダイジェストアルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **SHA256** です。
9. **OK** をクリックします。

関連情報

- デバイスセキュリティの証明書を設定する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

CSR を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする

外部の信頼された CA からの証明書がすでに存在する場合、その証明書とプライベートキーを本製品に保存し、インポートやエクスポートを行うことによってそれらを管理することができます。外部の信頼された CA からの証明書が存在しない場合、証明書署名要求（CSR）を作成し、CA に送信して認証を受けたあと、返却された証明書を本製品にインストールします。

- 証明書署名要求（CSR：Certificate Signing Request）を作成する
- 証明書を本製品にインストールする

証明書署名要求（CSR：Certificate Signing Request）を作成する

証明書署名要求（CSR）は、証明書に含まれる資格情報を認証するために、認証局（CA）に送信される要求です。

CSR を作成する前に、CA からのルート証明書をお使いのパソコンにインストールしておくことを推奨します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **証明書**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、 ☰から開始します。

5. **CSR の作成** をクリックします。
6. **コモンネーム**（必須）を入力して、ご使用の**組織**に関するその他の情報（任意）を追加します。

   - CA がお客様の身元を確認し、外部に向けて証明するために、お客様の会社の情報が必要です。
   - **コモンネーム**の長さは 64 バイト未満である必要があります。SSL/TLS 通信を介して本製品にアクセスする場合に使用する、IP アドレス、ノード名、ドメイン名などの識別子を入力します。お買い上げ時の設定では、ノード名が表示されます。**コモンネーム**は必須です。
   - 証明書に使用された共通名とは異なる名前が URL に入力された場合は、警告が表示されます。
   - **組織**、**部署**、**市**、および**県/州**の長さは 64 バイト未満の必要があります。
   - **国**は、2 文字の ISO 3166 国コードです。
   - X.509v3 証明書拡張を設定する場合、**拡張領域設定**チェックボックスを選択後、**自動 (本機の IPv4 アドレスを登録します。)**または**手動**を選択します。

7. **公開鍵アルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **RSA(2048bit)**です。
8. **メッセージダイジェストアルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **SHA256** です。
9. **OK** をクリックします。

   CSR が画面に表示されます。表示された CSR をファイルとして保存するか、認証局から提供されたオンラインの CSR フォームにコピー・ペーストします。

10. **保存** をクリックします。

- CSR をお客様の CA に送信する方法については、お客様の CA の方針に従ってください。
- Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016/2019 の Enterprise root CA を使用している場合、クライアント証明書の安全な作成のために、証明書用ウェブサーバーテンプレートを使用することを推奨します。EAP-TLS 認証を行う IEEE 802.1x 環境のためのクライアント証明書を作成する場合、証明書用ユーザーテンプレートを使用することを推奨します。

関連情報

- CSR を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

証明書を本製品にインストールする

証明書を CA から受信した後、以下の手順でプリントサーバーにインストールします。

本製品には、本製品の CSR と一緒に発行された証明書のみをインストールできます。他の CSR を作成する場合は、CSR 作成前に、この証明書がインストールされていることを確認してください。この証明書を必ず先にインストールしてから、他の CSR を作成してください。この証明書が先にインストールされなかった場合、作成した CSR は無効になります。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **証明書**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、 ≡から開始します。

5. **証明書のインストール** をクリックします。
6. CA に発行された証明書を含むファイルを表示して、**OK** をクリックします。

   証明書が作成され、本製品のメモリーに正常に保存されます。

SSL/TLS 通信を使用する場合は、お使いのパソコンに、CA から取得したルート証明書を必ずインストールしてください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。

関連情報

- CSR を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて

証明書とプライベートキーを本製品に保存して、インポートまたはエクスポートすることにより、これらを管理します。

- 証明書とプライベートキーをインポートする
- 証明書とプライベートキーをエクスポートする

証明書とプライベートキーをインポートする

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **証明書**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **証明書と秘密鍵のインポート** をクリックします。
6. インポートするファイルを表示します。
7. ファイルが暗号化されている場合はパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

証明書とプライベートキーが本製品にインポートされます。

関連情報

- 証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

証明書とプライベートキーをエクスポートする

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **証明書**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **証明書一覧**と共に表示される**エクスポート**をクリックします。
6. ファイルを暗号化する場合は、パスワードを入力します。

   パスワードを空白のままにすると、出力内容は暗号化されません。
7. 確認のためにパスワードを再入力し、**OK** をクリックします。
8. **保存** をクリックします。

証明書とプライベートキーがお使いのパソコンにエクスポートされます。

ご使用のパソコンに証明書をインポートすることもできます。

関連情報

- 証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

CA 証明書のインポートとエクスポートについて

本製品では、CA 証明書のインポートやエクスポート、または保存ができます。

- CA 証明書をインポートする
- CA 証明書をエクスポートする

CA 証明書をインポートする

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **CA 証明書**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **CA 証明書のインポート** をクリックします。
6. インポートするファイルを表示します。
7. **OK** をクリックします。

関連情報

- CA 証明書のインポートとエクスポートについて

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

CA 証明書をエクスポートする

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **CA 証明書**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. エクスポートする証明書を選択し、**エクスポート**をクリックします。
6. **OK** をクリックします。
7. **保存**の横の ▼ をクリックし、ファイルの保存先を指定します。

関連情報

- CA 証明書のインポートとエクスポートについて

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

複数の証明書を管理する

複数の証明書の機能により、Web Based Management を使用して、本製品にインストールされている証明書を管理することができます。Web Based Management で、**証明書**または **CA 証明書**画面に移動して、証明書の内容の表示、また証明書の削除やエクスポートを行えます。

	本製品に保存できる証明書の最大数
自己署名証明書または、CA 発行の証明書	5
CA 証明書	6

保存する証明書は最大数よりも少ない数にし、証明書の期限切れに備えて 1 個分の空きを確保しておくことをお勧めします。証明書の期限が切れた場合、新しい証明書を確保した場所にインポートして、期限切れの証明書を削除します。こうすることで、設定エラーを回避できます。

- HTTPS/IPPS または IEEE 802.1x を使用する場合、使用する証明書を選択する必要があります。
- SMTP/POP3/IMAP4 通信に SSL を使用する場合（特定モデルにのみ対応）、証明書を選択する必要はありません。必要な証明書は自動的に選択されます。

関連情報

- デバイスセキュリティの証明書を設定する

SSL/TLS を使用する

- SSL/TLS について
- SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理
- SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する
- SSL/TLS を使用して安全な E-mai 送受信を行う

SSL/TLS について

セキュアソケットレイヤー（SSL）またはトランスポート層セキュリティ（TLS）は、LAN または WAN 経由で送信されるデータを保護する効果的な方式です。ネットワーク経由の印刷ジョブなどのデータを暗号化して送信するため、第三者から内容を読み取られることがありません。

SSL/TLS は、有線と無線のネットワークのいずれにも設定可能であり、WPA キーやファイアウォールなど他のセキュリティ形式でも機能します。

関連情報

- SSL/TLS を使用する
  - SSL/TLS の略史
  - SSL/TLS を使用するメリット

SSL/TLS の略史

SSL/TLS は当初、ウェブ上のトラフィック情報、特にウェブブラウザーとサーバー間で送信されるデータの安全性を確保するために作られました。Internet Explorer を使用してインターネットバンキングを利用する際、ウェブブラウザー上に https://や小さな鍵アイコンが表示されている場合は、SSL が使用されています。SSL はやがて、オンラインセキュリティに対する共通の解決策として、Telnet、プリンター、FTP など他のアプリケーションともあわせて使用されるようになりました。この当初の設計意図が、今日でも多くのオンライン小売業者や銀行によって採り入れられ、クレジットカード番号や顧客情報など極秘データの安全性を確保しています。

SSL/TLS では非常に高度なレベルの暗号化が用いられ、世界中の銀行から信頼されています。

関連情報

- SSL/TLS について

SSL/TLS を使用するメリット

SSL/TLS を使用する主なメリットは、製品へ送信されたデータの読み込みを非認証のユーザーに対して制限することで、IP ネットワークを介した印刷の安全性を保証することです。SSL の主なメリットは、機密データを安全に印刷するために使用できることです。例えば、大企業の人事部門が定期的に給与明細を印刷しているとします。これら給与明細のデータが暗号化されていない場合、他のネットワークユーザーから読み取られる可能性があります。しかし、SSL/TLS を使用すると、これらのデータを読み取ろうとしても、実際の給与明細ではなく、複雑なコードのページが表示されるだけです。

関連情報

- SSL/TLS について

SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理

- SSL/TLS の証明書および使用可能なプロトコルを設定する
- SSL/TLS を使用して Web Based Management にアクセスする
- 管理者権限を持つ Windows ユーザー用の自己署名証明書をインストールする
- デバイスセキュリティの証明書を設定する

SSL/TLS の証明書および使用可能なプロトコルを設定する

SSL/TLS 通信を使用するには、Web Based Management を使用して本製品に証明書を設定します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **HTTP サーバー設定** をクリックします。
6. **証明書の選択**ドロップダウンリストから、設定対象の証明書を選択します。
7. **OK** をクリックします。
8. **Yes** をクリックしてプリントサーバーを再起動します。

関連情報

- SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理

関連トピック：

- SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する
- Web Based Management にアクセスする

SSL/TLS を使用して Web Based Management にアクセスする

お使いのネットワーク製品を安全に管理するには、セキュリティプロトコルを使用している管理ユーティリティを使用する必要があります。

- HTTPS プロトコルを使用するには、本製品で HTTPS が有効になっている必要があります。お買い上げ時の設定では、HTTPS プロトコルは有効です。
- Web Based Management の画面で HTTPS プロトコルの設定を変更できます。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
4. 以上で HTTPS を使用して製品へアクセスする準備が整いました。

関連情報

- SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

管理者権限を持つ Windows ユーザー用の自己署名証明書をインストールする

以下は、Microsoft Internet Explorer を使用する場合の手順です。その他のウェブブラウザーを使用する場合、そのブラウザーの説明書を参照して証明書をインストールしてください。

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 10、Windows Server 2016、および Windows Server 2019

     > **Windows アクセサリ**をクリックします。
   - Windows 8.1

     タスクバーの（**Internet Explorer**）アイコンを右クリックします。
   - Windows Server 2012 および Windows Server 2012 R2

     （**Internet Explorer**）をクリックし、タスクバーに表示された（**Internet Explorer**）アイコンを右クリックします。
   - Windows 7 および Windows Server 2008

     (スタート) > **すべてのプログラム**をクリックします。
2. **Internet Explorer** を右クリックしてから **管理者として実行**をクリックします。

   その他 オプションが表示されたら、 **その他**をクリックします。

   ユーザー アカウント制御画面が表示されたら、**はい**をクリックします。
3. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス/」を入力して、本製品にアクセスします（「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレス、または証明書に割り当てたノード名を入力します）。
4. **詳細情報** をクリックします。
5. **Web ページに移動 (非推奨)** をクリックします。
6. **証明書のエラー**をクリックして、 **証明書の表示**をクリックします。

7. **証明書のインストール...** をクリックします。
8. **証明書のインポート ウィザード**が表示されたら、 **次へ**をクリックします。
9. **証明書をすべて次のストアに配置する** を選択してから **参照...** をクリックします。
10. **信頼されたルート証明機関** を選択してから **OK** をクリックします。

11. **次へ** をクリックします。
12. **完了** をクリックします。
13. フィンガープリント（拇印）が正しければ、**はい**をクリックします。
14. **OK** をクリックします。

関連情報

- SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理

SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する

- SSL/TLS を使用して文書を印刷する
- SSL/TLS の証明書および使用可能なプロトコルを設定する
- デバイスセキュリティの証明書を設定する

SSL/TLS を使用して文書を印刷する

IPP プロトコルを使用して文書を安全に印刷するには、IPPS プロトコルを使用します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **IPP** チェックボックスが選択されていることを確認します。

   IPP チェックボックスが選択されていない場合、**IPP** チェックボックスを選択して、**OK** をクリックします。

   製品を再起動して、設定を有効にします。

   本製品が再起動したら、本製品のウェブページに戻ってパスワードを入力し、ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

6. **HTTP サーバー設定** をクリックします。
7. **IPP** で **HTTPS (ポート 443)**チェックボックスを選択し、**OK** をクリックします。
8. 製品を再起動して、設定を有効にします。

IPPS を使用した通信では、プリントサーバーへの非認証のアクセスを防ぐことはできません。

関連情報

- SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

SNMPv3 を使用する

- SNMPv3 を使用した安全なネットワーク製品の管理

SNMPv3 を使用した安全なネットワーク製品の管理

簡易ネットワーク管理プロトコルバージョン 3（SNMPv3）は、ネットワーク機器を安全に管理するための、ユーザー認証とデータの暗号化に使用されます。ネットワーク製品を安全に管理するには、BRAdmin Professional 4 を使用するときに SNMPv3 プロトコルを使用することをお勧めします。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **SNMP** 設定が有効であることを確認して、**詳細設定**をクリックします。
6. SNMP の設定を行います。**SNMP 動作モード**には 3 つのオプションがあります。

オプション	詳細
SNMP v1/v2c read-write access	プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 1 および Ver. 2c を使用します。このモードで、すべてのブラザーアプリケーションが使用できます。ただし、ユーザーの認証は行われず、データは暗号化されないため、安全ではありません。
SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access	プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 3（読み書きアクセス）と、Ver. 1 および Ver. 2c（読み取り専用アクセス）を使用します。 **SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access** モードを使用する場合、Ver. 1 と Ver. 2c の読み取り専用が認証されるため、プリントサーバーにアクセスするブラザーアプリケーション（BRAdmin Light など）の一部が正常に機能しない場合があります。すべてのアプリケーションを使用する場合、**SNMP v1/v2c read-write access** モードを使用することを推奨します。
SNMPv3 read-write access	プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 3 を使用します。プリントサーバーを安全に管理するには、このモードを使用します。 **SNMPv3 read-write access** モードを使用する場合、以下に注意してください。 • プリントサーバーを管理するには BRAdmin Professional または Web Based Management のみが使用できます。 • BRAdmin Professional を除き、SNMPv1/v2c を使用するすべてのアプリケーションの使用が制限されます。SNMPv1/v2c アプリケーションの使用を許可するには、**SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access** または **SNMP v1/v2c read-write access** モードを使います。

7. **OK** をクリックします。

関連情報

- SNMPv3 を使用する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

IPsec を使用する

- IPsec について
- Web Based Management を使用して IPsec を設定する
- Web Based Management を使用して IPsec アドレステンプレートを設定する
- Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する

IPsec について

IPsec（Internet Protocol Security）は、任意のインターネットプロトコル機能を使用してデータの改ざんを防止し、IP パケットとして送信されるデータの信頼性を確保するセキュリティプロトコルです。IPsec は、パソコンからプリンターへ送信される印刷データなど、ネットワーク経由で転送されるデータを暗号化します。データはネットワーク層で暗号化されるため、高レベルのプロトコルを使用するアプリケーションには、ユーザーが認識していなくても、IPsec が使用されています。

IPsec では、以下の機能をサポートしています。

- IPsec 送信

  IPsec 設定条件に従い、ネットワークに接続されたパソコンは、IPsec に対応している指定機器との間でデータの送受信を行います。機器が IPsec を使用して通信を開始すると、インターネットキー交換（IKE : Internet Key Exchange）を使用してキーが交換されたあと、それらのキーを使用して暗号化されたデータが送信されます。

  また、IPsec には、トランスポートモードおよびトンネルモードの、2 種類の操作モードがあります。トランスポートモードは、主に機器間の通信に使用され、トンネルモードは仮想プライベートネットワーク（VPN : Virtual Private Network）などの環境で使用されます。

  IPsec 送信を行うには、次の条件が必要です。

  - IPsec を使用して通信できるパソコンが、ネットワークに接続されている。
  - 本製品が IPsec 通信用に設定されている。
  - 本製品に接続されているパソコンが、IPsec 接続用に設定されている。

- IPsec 設定

  IPsec を使用する接続に必要な設定。これらの設定は、Web Based Management を使用して行うことができます。

  IPsec を設定するには、該当ネットワークに接続されているパソコンのブラウザーを使用する必要があります。

関連情報

- IPsec を使用する

Web Based Management を使用して IPsec を設定する

IPsec の接続条件は、**アドレス**および **IPsec** の 2 種類の**テンプレート**で構成されます。最大 10 個の接続条件を設定できます。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **IPsec** をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. 設定を確認します。

オプション	詳細
状態	IPsec を有効または無効にします。
接続モード	IKE Phase 1 の**接続モード**を選択します。IKE はプロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための、暗号キーの交換に使用されます。 **メイン**モードでは、処理速度は遅くなりますが、安全性は高くなります。**アグレッシブ**モードでは、処理速度は**メイン**モードの場合より速くなりますが、安全性は低くなります。
IPsec 以外のトラフィックルール	IPsec 以外のパケットに対する対処方法を選択します。 Web サービスを使用するとき、**IPsec 以外のトラフィックルール**に対して**通過**を選択する必要があります。**遮断**を選択すると、Web サービスは使用できません。
Broadcast/Multicast Bypass	**有効**または**無効**を選択します。
Protocol Bypass	使用したいオプションのチェックボックスを選択します。
ルール	**有効**チェックボックスを選択して、テンプレートを有効にします。複数のチェックボックスを選択し、それらの設定が競合する場合は、番号が小さい方のチェックボックスの設定が優先されます。 対応するドロップダウンリストをクリックして、IPsec の接続条件に使用される**アドレステンプレート**を選択します。**アドレステンプレート**を追加するには、**テンプレートの追加**をクリックします。 対応するドロップダウンリストをクリックして、IPsec の接続条件に使用される **IPsec テンプレート**を選択します。**IPsec テンプレート**を追加するには、**テンプレートの追加**をクリックします。

6. **OK** をクリックします。

   新しい設定を登録するために本製品を再起動する必要がある場合は、再起動の確認画面が表示されます。

   ルールで有効化したテンプレートに空白の項目が含まれる場合、エラーメッセージが表示されます。選択した項目を確認し、もう一度 **OK** をクリックします。

関連情報

- IPsec を使用する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

- デバイスセキュリティの証明書を設定する

Web Based Management を使用して IPsec アドレステンプレートを設定する

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **IPsec アドレステンプレート**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、 ≡から開始します。

5. **削除**ボタンをクリックして**アドレステンプレート**を削除します。**アドレステンプレート**が使用中の場合は、削除できません。
6. 作成したい**アドレステンプレート**をクリックします。**IPsec アドレステンプレート**が表示されます。
7. 設定を確認します。

オプション	詳細
テンプレート名	作成するテンプレートの名前を入力します（最大 16 文字）。
ローカル IP アドレス	• **IP アドレス** IP アドレスを指定します。ドロップダウンリストから、**すべての IPv4 アドレス**、**すべての IPv6 アドレス**、**すべてのリンクローカル IPv6 アドレス**、または**カスタム**を選択します。 ドロップダウンリストから**カスタム**を選択した場合、テキストボックスに IP アドレス（IPv4 または IPv6）を入力します。 • **IP アドレス範囲** テキストボックスに IP アドレス範囲の開始アドレスと終了アドレスを入力します。開始および終了の IP アドレスが IPv4 または IPv6 に合わせて標準化されていない場合、または終了 IP アドレスが開始アドレスより小さい場合、エラーが発生します。 • **IP アドレス/プレフィックス** IP アドレスを CIDR 表記で指定します。 例：192.168.1.1/24 192.168.1.1 に対しプレフィックスを 24 ビットのサブネットマスク（255.255.255.0）で指定するため、192.168.1.xxx というアドレスが有効となります。
リモート IP アドレス	• **すべて** **すべて**を選択すると、すべての IP アドレスが有効になります。 • **IP アドレス** 指定した IP アドレス（IPv4 または IPv6）をテキストボックスに入力します。 • **IP アドレス範囲** IP アドレス範囲の開始および終了アドレスを入力します。開始および終了の IP アドレスが IPv4 または IPv6 に合わせて標準化されていない場合、または終了 IP アドレスが開始アドレスより小さい場合、エラーが発生します。 • **IP アドレス/プレフィックス**

オプション	詳細
	IP アドレスを CIDR 表記で指定します。 例：192.168.1.1/24 192.168.1.1 に対しプレフィックスを 24 ビットのサブネットマスク（255.255.255.0）で指定するため、192.168.1.xxx というアドレスが有効となります。

8. **OK** をクリックします。

使用中のテンプレートの設定を変更する場合は、本製品を再起動して設定を有効にします。

関連情報

- IPsec を使用する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **IPsec テンプレート**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **削除**ボタンをクリックして **IPsec テンプレート**を削除します。**IPsec テンプレート**が使用中の場合は、削除できません。
6. 作成したい **IPsec テンプレート**をクリックします。**IPsec テンプレート**画面が表示されます。設定欄は、選択する**テンプレートを使用する**および **IKE** によって異なります。
7. **テンプレート名**欄に、テンプレートの名前を入力します（最大 16 文字）。
8. **テンプレートを使用する**ドロップダウンリストで**カスタム**を選択した場合、**IKE** を選択してから、必要に応じて設定値を変更します。
9. **OK** をクリックします。

関連情報

- IPsec を使用する
  - IPsec テンプレートの IKEv1 の設定
  - IPsec テンプレートの IKEv2 設定
  - IPsec テンプレートの手動設定

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

IPsec テンプレートの IKEv1 の設定

オプション	詳細
テンプレート名	作成するテンプレートの名前を入力します（最大 16 文字）。
テンプレートを使用する	**カスタム**、**IKEv1 高セキュリティ**または **IKEv1 中セキュリティ**を選択します。設定項目は、選択したテンプレートにより異なります。
IKE	IKE は通信プロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための暗号キーの交換に使用されます。1 回限りの暗号化通信を実行するために、IPsec に必要な暗号化アルゴリズムが決定され、暗号化キーは共有されます。IKE の場合、暗号化キーは Diffie-Hellman キー交換方式を使用して交換され、IKE に制限された暗号化通信が実行されます。 **テンプレートを使用する**で**カスタム**を選択した場合、**IKEv1** を選択します。
認証タイプ	• **DH グループ** このキー交換方式により、保護されていないネットワーク上で、秘密キーを安全に交換することができます。Diffie-Hellman キー交換方式では、秘密キーではなく離散対数問題を利用して、乱数および秘密キーを使って生成された公開情報が送受信されます。 **グループ 1**、**グループ 2**、**グループ 5**、または**グループ 14** を選択します。 • **暗号化方式** **DES**、**3DES**、**AES-CBC 128**、または **AES-CBC 256** を選択します。 • **ハッシュ** **MD5**、**SHA1**、**SHA256**、**SHA384**、または **SHA512** を選択します。 • **SA ライフタイム** IKE SA のライフタイムを指定します。 時間（秒）とキロバイト数（KByte）を入力します。
動作セキュリティ	• **プロトコル** **ESP**、**AH**、または **AH+ESP** を選択します。 - ESP は、IPsec を使用して暗号化通信を行うためのプロトコルの 1 つです。ESP は、ペイロード（通信内容）を暗号化し、付加情報を追加します。IP パケットは、ヘッダーと、ヘッダーに続く暗号化されたペイロードで構成されます。IP パケットには、暗号化されたデータに加え、暗号化方式、暗号化キー、認証データなどに関する情報も含まれます。 - AH は、送信者を認証する IPsec プロトコルの一部であり、データの改ざんを防止します（完全性を保証します）。IP パケットでは、データはヘッダーの直後に挿入されます。また、送信者のなりすましやデータの改ざんを防止するために、パケットには、通信内容に含まれる等式を使用して計算されたハッシュ値や秘密キーなどが含まれます。ESP と異なり、通信内容は暗号化されず、データはプレーンテキストとして送受信されます。 • **暗号化方式** **DES**、**3DES**、**AES-CBC 128**、または **AES-CBC 256** を選択します。 • **ハッシュ** **なし**、**MD5**、**SHA1**、**SHA256**、**SHA384**、または **SHA512** を選択します。

オプション	詳細
	• **SA ライフタイム** IKE SA のライフタイムを指定します。 時間（秒）とキロバイト数（KByte）を入力します。 • **動作モード** **トランスポート**または**トンネル**を選択します。 • **リモートルーター IP アドレス** リモートルーターの IP アドレス（IPv4 または IPv6）を入力します。この情報は、**トンネル**モードが選択されている場合にのみ入力します。 SA（セキュリティアソシエーション）は、IPsec または IPv6 を使用する暗号化通信方式です。通信の開始前に安全な通信チャネルを確立するために、暗号化方式や暗号化キーなどの情報を交換、共有します。SA は、すでに確立された仮想的な暗号通信路（トンネル）を指す場合もあります。IPsec による通信で使用される SA では、暗号化方式を確立し、キーを交換して、IKE（インターネットキー交換）の標準手続に従って相互認証を行います。さらに、SA は定期的に更新されます。
PFS	PFS では、メッセージの暗号化に使用された以前のキーからキーは導出されません。また、親キーから導出されたキーでメッセージが暗号化されている場合でも、その親キーを使用して他のキーが導出されることはありません。そのため、キーの情報が洩れた場合でも、被害はそのキーを使用して暗号化されたメッセージだけに限られます。 **有効**または**無効**を選択します。
認証方式	認証方式を選択します。**事前共有キー**または**証明書**を選択します。
事前共有キー	通信を暗号化する際に、事前に別の通信路を使用して暗号化キーが交換および共有されます。 **認証方式**で**事前共有キー**を選択した場合は、**事前共有キー**（最大 32 文字）を入力します。 • **ローカル/ID タイプ/ID** 送信者の ID タイプを選択し、ID を入力します。 タイプとして、**IPv4 アドレス**、**IPv6 アドレス**、**FQDN**、**E-mail アドレス**、または**証明書**を選択します。 **証明書**を選択した場合は、**ID** 欄に証明書の共通名を入力します。 • **リモート/ID タイプ/ID** 受信者の ID タイプを選択し、その ID を入力します。 タイプとして、**IPv4 アドレス**、**IPv6 アドレス**、**FQDN**、**E-mail アドレス**、または**証明書**を選択します。 **証明書**を選択した場合は、**ID** 欄に証明書の共通名を入力します。
証明書	**認証方式**で**証明書**を選択した場合、証明書を選択します。 選択できる証明書は、Web Based Management のセキュリティ設定画面の**証明書**ページを使用して作成された証明書のみです。

関連情報

- Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する

IPsec テンプレートの IKEv2 設定

オプション	詳細
テンプレート名	作成するテンプレートの名前を入力します（最大 16 文字）。
テンプレートを使用する	**カスタム**、**IKEv2 高セキュリティ**または **IKEv2 中セキュリティ**を選択します。設定項目は、選択したテンプレートにより異なります。
IKE	IKE は通信プロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための暗号キーの交換に使用されます。1 回限りの暗号化通信を実行するために、IPsec に必要な暗号化アルゴリズムが決定され、暗号化キーは共有されます。IKE の場合、暗号化キーは Diffie-Hellman キー交換方式を使用して交換され、IKE に制限された暗号化通信が実行されます。 **テンプレートを使用する**で**カスタム**を選択した場合、**IKEv2** を選択します。
認証タイプ	• **DH グループ** このキー交換方式により、保護されていないネットワーク上で、秘密キーを安全に交換することができます。Diffie-Hellman キー交換方式では、秘密キーではなく離散対数問題を利用して、乱数および秘密キーを使って生成された公開情報が送受信されます。 **グループ 1**、**グループ 2**、**グループ 5**、または**グループ 14** を選択します。 • **暗号化方式** **DES**、**3DES**、**AES-CBC 128**、または **AES-CBC 256** を選択します。 • **ハッシュ** **MD5**、**SHA1**、**SHA256**、**SHA384**、または **SHA512** を選択します。 • **SA ライフタイム** IKE SA のライフタイムを指定します。 時間（秒）とキロバイト数（KByte）を入力します。
動作セキュリティ	• **プロトコル** **ESP** を選択します。 ESP は、IPsec を使用して暗号化通信を行うためのプロトコルの 1 つです。ESP は、ペイロード（通信内容）を暗号化し、付加情報を追加します。IP パケットは、ヘッダーと、ヘッダーに続く暗号化されたペイロードで構成されます。IP パケットには、暗号化されたデータに加え、暗号化方式、暗号化キー、認証データなどに関する情報も含まれます。 • **暗号化方式** **DES**、**3DES**、**AES-CBC 128**、または **AES-CBC 256** を選択します。 • **ハッシュ** **MD5**、**SHA1**、**SHA256**、**SHA384**、または **SHA512** を選択します。 • **SA ライフタイム** IKE SA のライフタイムを指定します。 時間（秒）とキロバイト数（KByte）を入力します。 • **動作モード** **トランスポート**または**トンネル**を選択します。

オプション	詳細
	• **リモートルーター IP アドレス** リモートルーターの IP アドレス（IPv4 または IPv6）を入力します。この情報は、**トンネル**モードが選択されている場合にのみ入力します。 SA（セキュリティアソシエーション）は、IPsec または IPv6 を使用する暗号化通信方式です。通信の開始前に安全な通信チャネルを確立するために、暗号化方式や暗号化キーなどの情報を交換、共有します。SA は、すでに確立された仮想的な暗号通信路（トンネル）を指す場合もあります。IPsec による通信で使用される SA では、暗号化方式を確立し、キーを交換して、IKE（インターネットキー交換）の標準手続に従って相互認証を行います。さらに、SA は定期的に更新されます。
PFS	PFS では、メッセージの暗号化に使用された以前のキーからキーは導出されません。また、親キーから導出されたキーでメッセージが暗号化されている場合でも、その親キーを使用して他のキーが導出されることはありません。そのため、キーの情報が洩れた場合でも、被害はそのキーを使用して暗号化されたメッセージだけに限られます。 **有効**または**無効**を選択します。
認証方式	認証方式を選択します。**事前共有キー**、**証明書**、**EAP - MD5**、または **EAP - MS-CHAPv2** を選択します。 EAP は、PPP を拡張した認証プロトコルです。EAP を使用した IEEE802.1x 認証では、セッションごとに異なるキーを使用してユーザー認証が行われます。 以下の設定は、**認証方式**で **EAP - MD5** または **EAP - MS-CHAPv2** が選択されている場合にのみ必要です。 • **モード** **サーバーモード**または**クライアントモード**を選択します。 • **証明書** 証明書を選択します。 • **ユーザー名** ユーザー名を入力します（最大 32 文字）。 • **パスワード** パスワードを入力します（最大 32 文字）。確認のため、パスワードは 2 回入力します。
事前共有キー	通信を暗号化する際に、事前に別の通信路を使用して暗号化キーが交換および共有されます。 **認証方式**で**事前共有キー**を選択した場合は、**事前共有キー**（最大 32 文字）を入力します。 • **ローカル/ID タイプ/ID** 送信者の ID タイプを選択し、ID を入力します。 タイプとして、**IPv4 アドレス**、**IPv6 アドレス**、**FQDN**、**E-mail アドレス**、または**証明書**を選択します。 **証明書**を選択した場合は、**ID** 欄に証明書の共通名を入力します。 • **リモート/ID タイプ/ID** 受信者の ID タイプを選択し、その ID を入力します。 タイプとして、**IPv4 アドレス**、**IPv6 アドレス**、**FQDN**、**E-mail アドレス**、または**証明書**を選択します。 **証明書**を選択した場合は、**ID** 欄に証明書の共通名を入力します。
証明書	**認証方式**で**証明書**を選択した場合、証明書を選択します。

オプション	詳細
	選択できる証明書は、Web Based Management のセキュリティ設定画面の**証明書**ページを使用して作成された証明書のみです。

関連情報

- Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する

IPsec テンプレートの手動設定

オプション	詳細
テンプレート名	作成するテンプレートの名前を入力します（最大 16 文字）。
テンプレートを使用する	**カスタム**を選択します。
IKE	IKE は通信プロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための暗号キーの交換に使用されます。1 回限りの暗号化通信を実行するために、IPsec に必要な暗号化アルゴリズムが決定され、暗号化キーは共有されます。IKE の場合、暗号化キーは Diffie-Hellman キー交換方式を使用して交換され、IKE に制限された暗号化通信が実行されます。 **手動**を選択します。
認証キー（ESP, AH）	**In/Out** 値を入力します。 こうした設定は、**テンプレートを使用する**に**カスタム**が選択され、**IKE** に**手動**が選択され、**動作セキュリティ**セクションの**ハッシュ**に**なし**以外の設定が選択されているときに必要です。 設定可能な文字数は、**動作セキュリティ**セクションで**ハッシュ**に選択した設定によって異なります。 指定した認証キーの長さが、選択したハッシュアルゴリズムの長さと一致していない場合、エラーとなります。 • **MD5**：128 ビット（16 バイト） • **SHA1**：160 ビット（20 バイト） • **SHA256**：256 ビット（32 バイト） • **SHA384**：384 ビット（48 バイト） • **SHA512**：512 ビット（64 バイト） キーをアスキーコードで指定する場合は、文字を二重引用符（"）で囲みます。
コードキー（ESP）	**In/Out** 値を入力します。 こうした設定は、**テンプレートを使用する**で**カスタム**が選択され、**IKE** で**手動**が選択され、**動作セキュリティ**の**プロトコル**で **ESP** が選択されているときに必要です。 設定可能な文字数は、**動作セキュリティ**セクションで**暗号化方式**に選択した設定によって異なります。 指定したコードキーの長さが、選択した暗号化アルゴリズムの長さと一致していない場合、エラーとなります。 • **DES**：64 ビット（8 バイト） • **3DES**：192 ビット（24 バイト） • **AES-CBC 128**：128 ビット（16 バイト） • **AES-CBC 256**：256 ビット（32 バイト） キーをアスキーコードで指定する場合は、文字を二重引用符（"）で囲みます。
SPI	セキュリティ情報を識別するためのパラメーターです。複数の種類の IPsec 通信に対応するために、通常、ホストには複数の SA（Security Association）が用意されています。したがって、IPsec パケットを受信したときに、該当する SA を識別する必要があります。SPI パラメーター（SA を識別する）は、AH（認証ヘッダー）と ESP（Encapsulated Security Payload、暗号ペイロード）ヘッダーに含まれます。 こうした設定は、**テンプレートを使用する**に**カスタム**が選択され、**IKE** に**手動**が選択されているときに必要です。 **In/Out** 値を入力します。（3～10 文字）

オプション	詳細
動作セキュリティ	• **プロトコル** **ESP** または **AH** を選択します。 - ESP は、IPsec を使用して暗号化通信を行うためのプロトコルの 1 つです。ESP は、ペイロード（通信内容）を暗号化し、付加情報を追加します。IP パケットは、ヘッダーと、ヘッダーに続く暗号化されたペイロードで構成されます。IP パケットには、暗号化されたデータに加え、暗号化方式、暗号化キー、認証データなどに関する情報も含まれます。 - AH は IPsec プロトコルの一部であり、送信元の認証やデータの改ざん防止（完全性の保証）を実現します。IP パケットでは、データはヘッダーの直後に挿入されます。また、送信者のなりすましやデータの改ざんを防止するために、パケットには、通信内容に含まれる等式を使用して計算されたハッシュ値や秘密キーなどが含まれます。ESP と異なり、通信内容は暗号化されず、データはプレーンテキストとして送受信されます。 • **暗号化方式** **DES**、**3DES**、**AES-CBC 128**、または **AES-CBC 256** を選択します。 • **ハッシュ** **なし**、**MD5**、**SHA1**、**SHA256**、**SHA384**、または **SHA512** を選択します。**プロトコル**で **ESP** が選択されている場合にのみ、**なし**を選択できます。 • **SA ライフタイム** IKE SA のライフタイムを指定します。 時間（秒）とキロバイト数（KByte）を入力します。 • **動作モード** **トランスポート**または**トンネル**を選択します。 • **リモートルーター IP アドレス** リモートルーターの IP アドレス（IPv4 または IPv6）を入力します。この情報は、**トンネル**モードが選択されている場合にのみ入力します。 SA（セキュリティアソシエーション）は、IPsec または IPv6 を使用する暗号化通信方式です。通信の開始前に安全な通信チャネルを確立するために、暗号化方式や暗号化キーなどの情報を交換、共有します。SA は、すでに確立された仮想的な暗号通信路（トンネル）を指す場合もあります。IPsec による通信で使用される SA では、暗号化方式を確立し、キーを交換して、IKE（インターネットキー交換）の標準手続に従って相互認証を行います。さらに、SA は定期的に更新されます。

関連情報

- Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する

IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する

- IEEE 802.1x 認証について
- Web Based Management を使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する
- IEEE 802.1x 認証方式

IEEE 802.1x 認証について

IEEE 802.1x は、有線および無線 LAN の IEEE 標準であり、非認証のネットワーク機器からのアクセスを制限します。本ブラザー製品（サプリカント）は、アクセスポイントまたはハブを通して、RADIUS サーバー（認証サーバー）に認証要求を送信します。要求が RADIUS サーバーに確認されると、本製品はネットワークにアクセスすることができます。

関連情報

- IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する

Web Based Management を使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する

- EAP-TLS 認証を使用して本製品を設定する場合、設定の開始前に、CA により発行されたクライアント証明書を必ずインストールしてください。クライアント証明書については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。複数の証明書をインストールした場合、使用する証明書の名前を書き留めておくことをお勧めします。
- サーバー証明書を検証する前に、該当のサーバー証明書に署名した CA 発行の、CA 証明書をインポートする必要があります。ネットワーク管理者または契約しているインターネットサービスプロバイダー（ISP）にお問い合わせください。

操作パネルから無線セットアップウィザードを使用して IEEE 802.1x 認証を設定することもできます（無線 LAN）。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。
5. 以下のいずれかを行ってください：
   - 有線 LAN の場合

     有線 > **有線 802.1x 認証**をクリックします。
   - 無線 LAN の場合

     無線 > **無線 (エンタープライズ)**をクリックします。
6. IEEE 802.1x 認証を設定します。

- 有線 LAN の IEEE 802.1x 認証を有効にするには、**有線 802.1x 認証**ページの**有線 802.1x** で**有効**を選択します。
- **EAP-TLS** 認証を使用している場合、検証のためにインストールされているクライアント証明書を（証明書の名前付きで表示）、**クライアント証明書**ドロップダウンリストから選択する必要があります。
- **EAP-FAST**、**PEAP**、**EAP-TTLS**、または **EAP-TLS** 認証を選択する場合は、**サーバー証明書の検証**ドロップダウンリストから検証方式を選択します。該当のサーバー証明書に署名した CA が発行し、あらかじめ製品にインポートされた CA 証明書を使用して、サーバー証明書を検証します。

サーバー証明書の検証ドロップダウンリストから、以下の検証方式のいずれかを選択します。

オプション	詳細
検証しない	このサーバー証明書は常に信頼できます。検証は実施されません。
CA 証明書	該当のサーバー証明書に署名した CA により発行された CA 証明書を使用して、サーバー証明書の CA 信頼性を確認する検証方法。
CA 証明書+サーバー ID	サーバー証明書の CA 信頼性に加え、サーバー証明書の共通名 [1] を確認する検証方法。

7. 設定が終了したら、**OK** をクリックします。

   有線 LAN の場合：設定後、IEEE 802.1x がサポートされたネットワークに、使用製品を接続します。数分後、ネットワーク設定リストを印刷して、**<Wired IEEE 802.1x>**の状態を確認します。

オプション	詳細
Success	有線の IEEE 802.1x 機能は有効で、認証は成功しました。
Failed	有線の IEEE 802.1x 機能は有効ですが、認証は失敗しました。
Off	有線の IEEE 802.1x 機能は利用不可です。

関連情報

- IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する

関連トピック：

- ネットワーク設定リストを印刷する
- 無線 LAN レポートを印刷する
- Web Based Management にアクセスする
- デバイスセキュリティの証明書を設定する
- サポートされているセキュリティ証明書機能

1 共通名の検証では、サーバー証明書の共通名と、**サーバー ID** に設定された文字列を比較します。この方式を使用する前に、サーバー証明書の共通名についてシステム管理者に問い合わせて、**サーバー ID** を設定してください。

IEEE 802.1x 認証方式

EAP-FAST

EAP-FAST（Extensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secured Tunneling）は、Cisco Systems 社が開発したプロトコルで、認証のためのユーザー ID とパスワード、および対称キーアルゴリズムを使用してトンネル認証プロセスを実現します。

本製品は、以下の内部認証方式をサポートしています。

- EAP-FAST/NONE
- EAP-FAST/MS-CHAPv2
- EAP-FAST/GTC

EAP-MD5 （有線 LAN）

拡張可能認証プロトコルメッセージダイジェストアルゴリズム 5（EAP-MD5：Extensible Authentication Protocol-Message Digest Algorithm 5）はユーザー ID とパスワードを使用して、チャレンジ／レスポンス認証を行います。

PEAP

保護された拡張可能認証プロトコル（PEAP：Protected Extensible Authentication Protocol）は、Cisco Systems 社、Microsoft 社、および RSA セキュリティ社が開発した EAP 方式です。PEAP はユーザー ID とパスワードを送信するために、クライアントと認証サーバー間に、暗号化した Secure Sockets Layer（SSL）/Transport Layer Security（TLS）トンネルを作成します。PEAP により、サーバーとクライアント間の相互認証が行えます。

本製品は、以下の内部認証をサポートしています。

- PEAP/MS-CHAPv2
- PEAP/GTC

EAP-TTLS

拡張可能認証プロトコルトンネル方式トランスポートレイヤーセキュリティ（EAP-TTLS：Extensible Authentication Protocol-Tunneled Transport Layer Security）は、ファンク・ソフトウェア社と Certicom 社によって開発されました。EAP-TTLS は、クライアントと認証サーバー間に、ユーザー ID およびパスワードを送信するための、PEAP 同様の暗号化 SSL トンネルを作成します。EAP-TTLS により、サーバーとクライアント間の相互認証が行えます。

本製品は、以下の内部認証をサポートしています。

- EAP-TTLS/CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAPv2
- EAP-TTLS/PAP

EAP-TLS

拡張可能認証プロトコルトランスポートレイヤーセキュリティ（EAP-TLS：Extensible Authentication Protocol-Transport Layer Security）では、クライアントと認証サーバーのいずれにも、デジタル証明書認証が必要です。

関連情報

- IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する

Active Directory 認証を使用する

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

- Active Directory 認証について
- Web Based Management を使用して Active Directory 認証を設定する
- 本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する（Active Directory 認証）

Active Directory 認証について

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

Active Directory 認証により、本製品の使用が制限されます。Active Directory 認証が有効の場合、本製品の操作パネルはロックされます。本製品の設定を変更するには、ユーザー ID とパスワードを入力する必要があります。

Active Directory 認証では、以下の機能が利用可能です。

- 受信ファクスデータを保存する
- スキャンしたデータを E-mail サーバーに送信する場合、ユーザー ID に基づいて Active Directory サーバーから E-mail アドレスが取得されます。この機能を使用するには、**メールアドレス取得**設定で**オン**を選択し、**LDAP + kerberos** 認証方式を選択します。本製品がスキャンデータを E-mail サーバーに送信する際に、ご使用の E-mail アドレスが送信者として設定されます。または、スキャンデータをご使用の E-mail アドレスに送信する場合には、受信者として設定されます。

Active Directory 認証が有効の場合、本製品にはすべての受信ファクスデータが保存されます。ログイン後、製品は保存されたファクスデータを印刷します。

Active Directory 認証の設定は、Web Based Management を使用して変更できます。

関連情報

- Active Directory 認証を使用する

Web Based Management を使用して Active Directory 認証を設定する

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

Active Directory 認証は、Kerberos 認証および NTLMv2 認証をサポートしています。認証のための SNTP プロトコル（ネットワークタイムサーバー）と DNS サーバー構成を設定する必要があります。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定** > **制限機能**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **Active Directory 認証**を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. **Active Directory 認証**メニューを選択します。
8. 次の設定を行います。

オプション	詳細
ファクス受信データ蓄積	このオプションを選択して、受信ファクスデータを保存します。製品へのログオン後、すべての受信ファクスデータを印刷できます。
ユーザー ID を記憶	このオプションを選択して、ユーザー ID を保存します。
Active Directory サーバアドレス	Active Directory サーバーの IP アドレスまたはサーバー名（例：ad.example.com）を入力します。
Active Directory ドメイン名	Active Directory のドメイン名を入力します。
プロトコルと認証方式	プロトコルと認証方式を選択します。
LDAP ポート	ポート番号を入力して LDAP 経由で Active Directory サーバーに接続します。（**LDAP + kerberos** 認証方式の場合のみ可能）
LDAP 検索場所	LDAP 検索ルートを入力します。（**LDAP + kerberos** 認証方式の場合のみ可能）
メールアドレス取得	このオプションを使用して、Active Directory サーバーからログオンユーザーの E メールアドレスを取得します。（**LDAP + kerberos** 認証方式の場合のみ可能）
ユーザーのホームディレクトリ取得	このオプションを選択して、スキャン to ネットワークファイルの送信先のホームディレクトリーを取得します。（**LDAP + kerberos** 認証方式の場合のみ可能）

9. **OK** をクリックします。

関連情報

- Active Directory 認証を使用する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する（Active Directory 認証）

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

Active Directory 認証が有効の場合、本製品の操作パネルにユーザー ID とパスワードが入力されるまで、操作パネルはロックされた状態となります。

1. 操作パネルを使用して、製品の画面にユーザー ID とパスワードを入力します。
2. [OK] を押します。
3. 認証が成功すると、製品の操作パネルのロックが解除されます。

関連情報

- Active Directory 認証を使用する

LDAP 認証を使用する

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

- LDAP 認証について
- Web Based Management を使用して LDAP 認証を設定する
- 本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する（LDAP 認証）

LDAP 認証について

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

LDAP 認証により、本製品の使用が制限されます。LDAP 認証が有効の場合、本製品の操作パネルはロックされます。本製品の設定を変更するには、ユーザー ID とパスワードを入力する必要があります。

LDAP 認証では以下の機能が提供されます。

- 受信ファクスデータを保存する
- スキャンしたデータを E-mail サーバーに送信する場合、ユーザー ID に基づいて LDAP サーバーから E-mail アドレスが取得されます。この機能を使用するには、**メールアドレス取得**設定で**オン**を選択します。本製品がスキャンデータを E-mail サーバーに送信する際に、ご使用の E-mail アドレスが送信者として設定されます。または、スキャンデータをご使用の E-mail アドレスに送信する場合には、受信者として設定されます。

LDAP 認証が有効の場合、本製品にはすべての受信ファクスデータが保存されます。ログイン後、製品は保存されたファクスデータを印刷します。

LDAP 認証設定は、Web Based Management を使用して変更できます。

関連情報

- LDAP 認証を使用する

Web Based Management を使用して LDAP 認証を設定する

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定** > **制限機能**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **LDAP 認証**を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. **LDAP 認証**メニューをクリックします。
8. 次の設定を行います。

オプション	詳細
ファクス受信データ蓄積	このオプションを選択して、受信ファクスデータを保存します。製品へのログオン後、すべての受信ファクスデータを印刷できます。
ユーザー ID を記憶	このオプションを選択して、ユーザー ID を保存します。
LDAP アドレス	LDAP サーバーの IP アドレスまたはサーバー名（例：ldap.example.com）を入力します。
LDAP ポート	LDAP サーバーのポート番号を入力します。
LDAP 検索場所	LDAP 検索のルートディレクトリを入力します。
名前属性名 (検索する属性)	検索キーとする属性を入力します。
メールアドレス取得	このオプションを使用して、LDAP サーバーからログオンユーザーの E メールアドレスを取得します。
ユーザーのホームディレクトリ取得	このオプションを選択して、スキャン to ネットワークファイルの送信先のホームディレクトリーを取得します。

9. **OK** をクリックします。

関連情報

- LDAP 認証を使用する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する（LDAP 認証）

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

LDAP 認証が有効の場合、本製品の操作パネルにユーザー ID とパスワードが入力されるまで、操作パネルはロックされた状態となります。

1. 操作パネルを使用して、製品の画面にユーザー ID とパスワードを入力します。
2. [OK] を押します。
3. 認証が成功すると、製品の操作パネルのロックが解除されます。

関連情報

- LDAP 認証を使用する

セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

セキュリティ機能ロック 3.0 は、本製品で利用できる機能を制限し、安全性を高めます。

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する前に
- Web Based Management を使用してセキュリティ機能ロック 3.0 を設定する
- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用してスキャンする
- セキュリティ機能ロック 3.0 のパブリックモードを設定する
- セキュリティ機能ロック 3.0 その他の機能について
- 本製品の操作パネルを使用して新しい IC カードを登録する
- 外付け IC カードリーダーを登録する

セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する前に

セキュリティ機能ロックを使用してパスワードを設定し、特定のユーザーページへのアクセスを設定して、以下の機能の一部または全部へのアクセスを許可します。

Web Based Management を使用して、以下のセキュリティ機能ロック 3.0 設定値の設定や変更を行うことができます。

- **印刷**

  印刷には、AirPrint、Brother iPrint&Scan、および Brother Mobile Connect を経由するプリントジョブの送信が含まれます。

  ユーザーのログイン名を事前に登録すると、ユーザーはパスワードの入力なしで印刷機能を使用できます。
- **コピー**
- **スキャン**

  スキャンには、Brother iPrint&Scan および Brother Mobile Connect を経由するスキャンジョブの送信が含まれます。
- **ファックス**（サポート対象モデルのみ）
  - **送信**
  - **受信**
- **メディア**
  - **プリント**
  - **スキャン**
- **クラウド接続**（サポート対象モデルのみ）
  - **アップロード**
  - **ダウンロード**
- **お役立ちツール**（サポート対象モデルのみ）
- **枚数制限（*）**
- **カラープリント**
- **ページカウンター**
- **カード ID**（サポート対象モデルのみ）

関連情報

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

Web Based Management を使用してセキュリティ機能ロック 3.0 を設定する

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定** > **制限管理**または**制限機能**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **セキュリティ機能ロック**を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. **機能制限**メニューをクリックします。
8. **ユーザーリスト/機能制限** 欄にグループ名またはユーザー名を入力します。
9. **印刷**およびその他の列で、チェックボックスを選択して一覧表示されている機能を許可するか、チェックボックスの選択を解除してこれらの機能を制限します。
10. 最大ページ数を設定するには、**枚数制限**列の**オン**チェックボックスを選択し、**最大ページ数**欄で最大数を入力します。
11. **OK** をクリックします。
12. **ユーザーリスト**メニューをクリックします。
13. **ユーザーリスト**欄で、ユーザー名を入力します。
14. **パスワード**欄に、パスワードを入力します。

モデルによって設定できる文字数は異なります。

15. **メールアドレス**欄で、ユーザーの E メールアドレスを入力します（特定のモデルのみ対応）。
16. ユーザーのカード ID を登録するには、**カード ID** 欄でカード番号を入力します（特定のモデルのみ対応）。
17. ユーザーごとにドロップダウンリストから**ユーザーリスト/機能制限**を選択します。
18. **OK** をクリックします。

セキュリティ機能ロックメニューでユーザーリストのロックアウト設定を変更することもできます。

関連情報

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

セキュリティ機能ロック 3.0 を使用してスキャンする

スキャン制限を設定する（管理者向け）

セキュリティ機能ロック 3.0 を使用すると、管理者はスキャンを許可するユーザーを制限できます。パブリックユーザー設定でスキャン機能がオフに設定されている場合、**スキャン**チェックボックスが選択されているユーザーだけがスキャンを実行できます。

スキャン機能を使用する（制限されたユーザー向け）

- 本製品の操作パネルを使用してスキャンする場合：

  制限されたユーザーは、操作パネルでパスワードを入力してスキャンモードにアクセスする必要があります。
- パソコンからスキャンする場合：

  制限されたユーザーは、各自のパソコンからスキャンする前に、操作パネルでパスワードを入力する必要があります。操作パネルでパスワードが入力されなかった場合、ユーザーのパソコンにエラーメッセージが表示されます。

本製品が IC カード認証に対応している場合、制限されたユーザーは、登録済みの IC カードを本製品の操作パネルの NFC タッチ部分にタッチすることで、スキャンモードにアクセスすることもできます。

関連情報

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

セキュリティ機能ロック 3.0 のパブリックモードを設定する

セキュリティ機能ロック画面を使用してパブリックモードを設定します。これにより、パブリックユーザーに利用可能な機能が制限されます。パブリックユーザーは、パブリックモード設定により利用可能となった機能に、パスワードの入力なしでアクセスできます。

パブリックモードの対象は、Brother iPrint&Scan および Brother Mobile Connect を介して送信される印刷ジョブなどです。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定** > **制限管理**または**制限機能**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、 ≡から開始します。

5. **セキュリティ機能ロック**を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. **機能制限**メニューをクリックします。
8. **一般モード**行で、チェックボックスを選択して一覧表示されている機能を許可するか、チェックボックスの選択を解除してこれらの機能を制限します。
9. **OK** をクリックします。

関連情報

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

セキュリティ機能ロック 3.0 その他の機能について

セキュリティ機能ロック画面で以下の機能を設定します。

カウンターリセット

ページカウンター列で**カウンターリセット**をクリックして、ページカウンターをリセットします。

CSV ファイルへ出力

CSV ファイルへ出力をクリックして、**ユーザーリスト/機能制限**情報を含む現在および前回のページカウンターを、CSV ファイルとしてエクスポートします。

カード ID（サポート対象モデルのみ）

ユーザーリストメニューをクリックして、**カード ID** 欄にユーザーのカード ID を入力します。IC カードを認証に使用できます。

前回ログ

カウンターをリセットした後でページ数を確認したい場合は、**前回ログ**をクリックします。

カウンター自動リセット

カウンター自動リセットをクリックして、ページカウンターのリセット間隔を設定します。毎日、毎週、毎月のいずれかを選択します。

関連情報

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

本製品の操作パネルを使用して新しい IC カードを登録する

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

1. 登録済みの IC カード（集積回路カード）を、本製品の操作パネルの NFC（近距離無線通信）タッチ部分にタッチします。
2. 画面の左上に表示されている XXXX を押します。
3. ［カード情報を登録する］を押します。
4. 新しい IC カードを NFC タッチ部分にタッチします。
   新しい IC カードの番号が本製品に登録されます。
5. ［OK］を押します。

関連情報

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

外付け IC カードリーダーを登録する

外付け IC（集積回路）カードリーダーを接続する場合は、Web Based Management でカードリーダーを登録してください。本製品は外付け IC カードリーダーに対応する HID クラスのドライバーをサポートしています。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

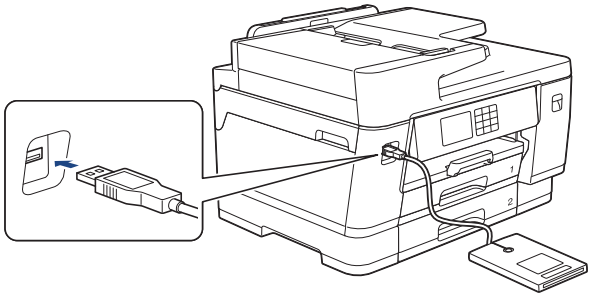
   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定** > **外付けカードリーダー**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. 必要な情報を入力し、**OK** をクリックします。
6. 本製品を再起動して、設定を有効にします。
7. カードリーダーを本製品に接続します。



8. カード認証を使用するときに、カードをカードリーダーにタッチします。

関連情報

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

E メールを安全に送受信する

- Web Based Management を使用して E メール送信または受信の設定を行う
- ユーザー認証を使用して E メールを送信する
- SSL/TLS を使用して安全な E-mai 送受信を行う

Web Based Management を使用して E メール送信または受信の設定を行う

Web Based Management を使用して、安全なユーザー認証付き E メール送信の設定、または SSL/TLS を使用した E メール送信の設定を行うことを推奨します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. **POP3/IMAP4/SMTP クライアント**欄で、**詳細設定**をクリックして、**POP3/IMAP4/SMTP クライアント**の状態が**有効**であることを確認します。
6. **POP3/IMAP4/SMTP クライアント**の設定を行います。
   - テストメールを送信して、E-mail の設定値が正しいことを確認します。
   - POP3/IMAP4/SMTP サーバーの設定値が不明の場合は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー(ISP)にお問い合わせください。
7. 完了後、**OK** をクリックします。

   E メール送信／受信設定のテストダイアログボックスが表示されます。
8. ダイアログボックスに表示される指示に従って、現在の設定値をテストします。

関連情報

- E メールを安全に送受信する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする
- SSL/TLS を使用して安全な E-mai 送受信を行う

ユーザー認証を使用して E メールを送信する

本製品は、ユーザー認証が必要な E-mail サーバーを経由して E-mail を送信するための SMTP-AUTH 方式をサポートしています。この方式により、非認証のユーザーによる E-mail サーバーへのアクセスが防止されます。

E メール通知、インターネットファクス（I-Fax）には、SMTP-AUTH 方式を使用できます。

Web Based Management を使用して SMTP 認証を設定することをお勧めします。

E-mail サーバー設定

本製品の SMTP 認証方式を、お使いの E-mail サーバーが使用する方式と一致するように設定する必要があります。お使いの E-mail サーバーの設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー(ISP)にお問い合わせください。

SMTP サーバー認証を有効にするには、Web Based Management の **POP3/IMAP4/SMTP クライアント**画面の**送信メールサーバー認証方式**で、**SMTP-AUTH** を選択する必要があります。

関連情報

- E メールを安全に送受信する

SSL/TLS を使用して安全な E-mai 送受信を行う

本製品では SSL/TLS 通信方式をサポートしています。SSL/TLS 通信を使用している E-mail サーバーを使用するには、次の設定が必要です。

Web Based Management を使用して SSL/TLS を設定することを推奨します。

サーバー証明書を検証する

SSL/TLS で、 **SSL** または **TLS** を選択している場合、 **サーバー証明書を検証** チェックボックスが自動的に選択されます。

- サーバー証明書を検証する前に、該当のサーバー証明書に署名した CA 発行の、CA 証明書をインポートする必要があります。CA 証明書のインポートの必要性について確認するには、ネットワーク管理者または契約しているインターネットサービスプロバイダー（ISP）にお問い合わせください。
- サーバー証明書を検証する必要がない場合は、**サーバー証明書を検証**チェックボックスの選択を解除してください。

ポート番号

SSL または **TLS** を選択すると、**ポート**値がプロトコルと一致するように変更されます。手動でポート番号を変更するには、**SSL/TLS** 設定を選択した後、ポート番号を入力します。

本製品の通信方式を、お使いの E-mail サーバーで使用されている方式に合わせて設定する必要があります。お使いの E-mail サーバーの設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー（ISP）にお問い合わせください。

ほとんどの場合、安全なウェブメールサービスには次の設定が必要です。

SMTP	**ポート**	25
	送信メールサーバー認証方式	**SMTP-AUTH**
	SSL/TLS	**TLS**
POP3	**ポート**	995
	SSL/TLS	**SSL**
IMAP4	**ポート**	993
	SSL/TLS	**SSL**

関連情報

- E メールを安全に送受信する

関連トピック：

- デバイスセキュリティの証明書を設定する
- Web Based Management を使用して E メール送信または受信の設定を行う

管理者

- ネットワーク機能
- セキュリティ機能
- ブラザー管理ツール

ネットワーク機能

- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する
- ネットワーク設定リストを印刷する
- Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時刻を同期する

セキュリティ機能

本製品には、最新のネットワークセキュリティの一部と暗号化プロトコルが使用されています。これらのネットワーク機能を全体的なネットワークセキュリティプランに統合することで、データを保護し、本製品への不正なアクセスを防ぐことができます。

- ネットワークセキュリティ
- ユーザー認証

ネットワークセキュリティ

- 不要なプロトコルを無効にする
- デバイスセキュリティの証明書を設定する
- SSL/TLS を使用する
- SNMPv3 を使用する
- IPsec を使用する
- IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する

不要なプロトコルを無効にする

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. 不要なプロトコルのチェックボックスをオフにして無効にします。
6. **OK** をクリックします。
7. 本製品を再起動して、設定を有効にします。

関連情報

- ネットワークセキュリティ

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

ユーザー認証

- Active Directory 認証を使用する
- LDAP 認証を使用する
- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

ブラザー管理ツール

ブラザーの管理ツールのいずれかを使用して、本製品のネットワーク設定を構成します。

support.brother.co.jp で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページに移動し、ツールをダウンロードします。

関連情報

- 管理者

モバイル/クラウド接続

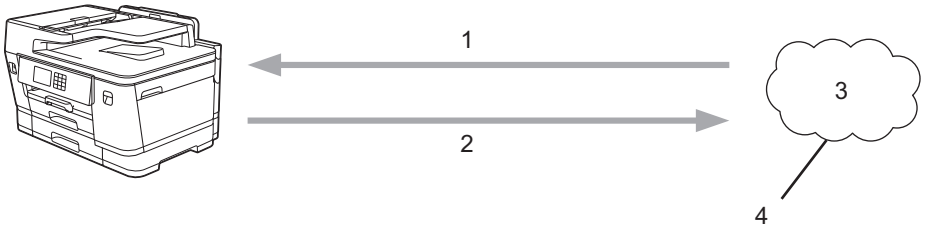
- クラウド接続機能
- AirPrint
- Mopria®プリントサービス
- Brother Mobile Connect
- 近距離無線通信（NFC）による印刷

クラウド接続機能

- クラウド接続機能の概要
- クラウド接続機能を使用してアクセスできるオンラインサービス
- クラウド接続機能の設定
- 写真や原稿をスキャンしてアップロードする
- 外部メモリーに保存されている写真や文書をアップロードする
- 写真や文書をダウンロードして印刷する
- クラウド接続機能を使用して文書をダウンロードし、外部メモリーに保存する
- ファクスクラウド／E メール転送

クラウド接続機能の概要

ウェブサイトに画像やファイルをアップロードしたり、閲覧したりできるサービスがあります。本製品では、画像をスキャンしてこのようなサービスにアップロードしたり、アップロードされている画像をダウンロードして印刷することができます。



1. 印刷
2. スキャン
3. 写真、画像、文書、その他のファイル
4. ウェブサービス

クラウド接続機能を使用するには、有線接続または無線接続で、本製品がインターネットにアクセスできるネットワーク環境が必要です。

プロキシサーバーを使用するネットワーク環境の場合は、お使いのブラザー製品でプロキシサーバーの設定をする必要があります。お使いのネットワークの設定が不明な場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

プロキシサーバーとは、直接インターネットに接続していない複数のパソコンとインターネットとの間を仲介するコンピューターのことです。

クラウド接続機能を使用するには、画面の（クラウド）または（お役立ちツール）を押します。

関連情報

- クラウド接続機能
  - 本製品の操作パネルを使用してプロキシサーバーの設定を行う
  - Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する

本製品の操作パネルを使用してプロキシサーバーの設定を行う

ネットワークでプロキシサーバーを使用している場合、次のプロキシサーバーの情報を、お使いのブラザー製品で設定する必要があります。

- プロキシサーバーのアドレス
- ポート番号
- ユーザー名
- パスワード

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Web 接続設定] > [プロキシ設定] > [プロキシ経由接続] を押します。
2. [オン] を押します。
3. 設定したいオプションを押して、プロキシサーバーの情報を入力します。

   [OK] を押します。
4. を押します。

関連情報

- クラウド接続機能の概要

Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する

ネットワークでプロキシサーバーを使用している場合、次のプロキシサーバーの情報を、Web Based Management 上で設定する必要があります。

- プロキシサーバーのアドレス
- ポート番号
- ユーザー名
- パスワード

Windows の場合は Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Edge、Mac の場合は Safari 13、Android（4.x 以降）の場合は Google Chrome™、iOS（10.x 以降）の場合は Google Chrome™/Safari が推奨されます。どのウェブブラウザーの場合も、JavaScript および Cookies を有効にして使用してください。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **プロキシ**チェックボックスが選択されていることを確認して、**OK** をクリックします。
6. **プロキシ**欄で、**詳細設定**をクリックします。
7. プロキシサーバーの情報を入力します。
8. **OK** をクリックします。

関連情報

- クラウド接続機能の概要

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

クラウド接続機能を使用してアクセスできるオンラインサービス

クラウド接続機能を使用すると、ご使用のブラザー製品から以下のオンラインサービスにアクセスできます。一部のウェブサービスでは、ビジネス版を提供しています。

クラウド接続機能を使用するには、利用するサービスのアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、パソコンで利用したいサービスのウェブサイトにアクセスし、アカウントを作成してください。

ブラザープリンターオリジナルコンテンツを利用する場合は、アカウントを作成する必要はありません。

Google Drive™

オンラインの文書保管、編集、共有、およびファイルの同期サービスです。

URL：drive.google.com

Evernote®

オンラインのファイル保管および管理サービスです。

URL：www.evernote.com

Dropbox

オンラインのファイル保管、共有、および同期サービスです。

URL：www.dropbox.com

OneDrive

オンラインのファイル保管、共有、および管理サービスです。

URL：https://onedrive.live.com

Box

オンラインの文書編集および共有サービスです。

URL：www.box.com

OneNote

オンラインの文書編集および共有サービスです。

URL：www.onenote.com

ブラザープリンターオリジナルコンテンツ

ブラザープリンターオリジナルコンテンツは、ブラザーが運営する情報発信サイトです。グリーティングカードやペーパークラフトの素材を無料でダウンロードすることができます。

https://online.brother.co.jp/ot/

これらのサービスについて、詳しくは各サービスのウェブサイトを参照してください。

次の表は、クラウド接続機能で使用できるファイルの種類について説明しています。

アクセス可能なウェブサービス	Google Drive™ Evernote® Dropbox OneDrive Box	OneNote	ブラザープリンターオリジナルコンテンツ
画像をダウンロードして印刷またはメディアへ保存	JPEG PDF DOCX XLSX PPTX	JPEG PDF DOCX XLSX PPTX	（印刷のみ）
スキャンした画像のアップロード	JPEG PDF	JPEG PDF	-

アクセス可能なウェブサービス	Google Drive™ Evernote® Dropbox OneDrive Box	OneNote	ブラザープリンターオリジナルコンテンツ
	DOCX XLSX PPTX TIFF	DOCX XLSX PPTX TIFF	
メディアに保存された画像のアップロード	JPG	-	-
オンラインサービスへのファクス転送	JPEG PDF TIFF	JPEG PDF TIFF	-

関連情報

- クラウド接続機能

クラウド接続機能の設定

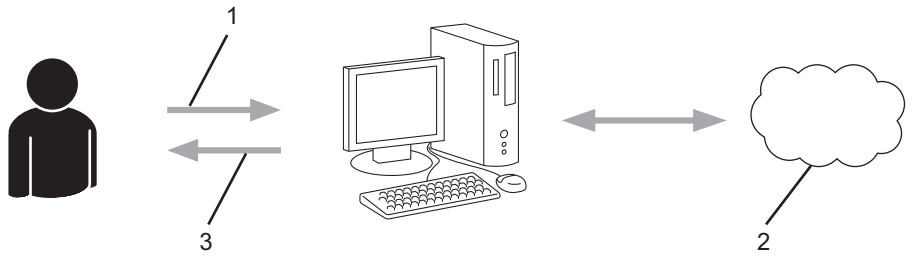
- クラウド接続機能設定の概要について
- クラウド接続機能を使用する前に各オンラインサービスのアカウントを作成する
- クラウド接続機能の利用申請を行う
- 本製品にクラウド接続機能を使用するためのアカウントを登録する

クラウド接続機能設定の概要について

下記の手順に従ってクラウド接続機能を設定します（ブラザープリンターオリジナルコンテンツを使用する場合は、この手順は不要です）：

手順 1：利用するサービスのアカウントを作成する。

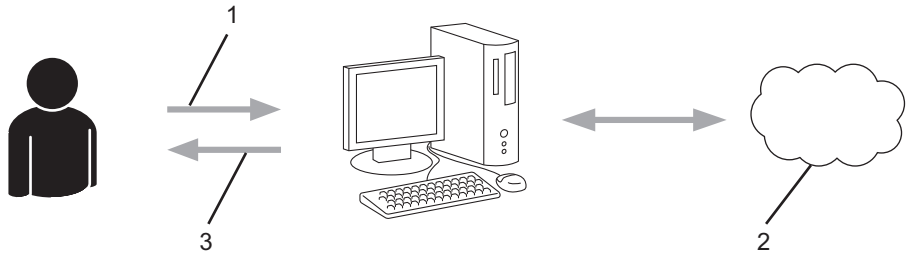
パソコンを使用してサービスのウェブサイトにアクセスし、アカウントを作成します。（既にアカウントをお持ちの場合は、追加のアカウントを作成する必要はありません。）



1. ユーザー登録
2. Web サービス
3. アカウント取得

手順 2：クラウド接続機能の利用申請を行う

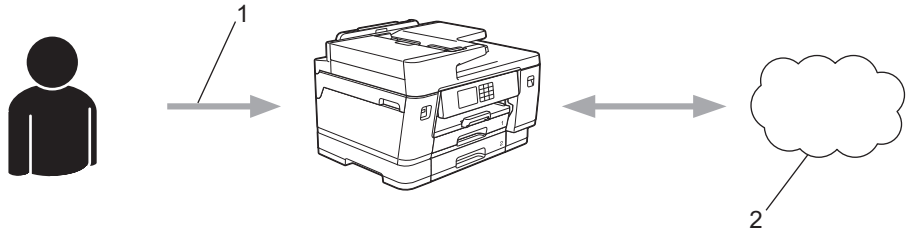
パソコンを使用してクラウド接続機能にアクセスし、仮登録 ID を取得します。



1. アカウント情報の入力
2. クラウド接続機能申請ページ
3. 仮登録 ID の取得

手順 3：利用対象のサービスにアクセスできるよう、本製品にアカウント情報を登録します。

本製品でサービスを利用できるように仮登録 ID を入力します。本製品で表示したいアカウント名を指定し、必要に応じて PIN コードを入力します。



1. 仮登録 ID の入力
2. Web サービス

お使いのブラザー製品で Web サービスを利用できます。

関連情報

- クラウド接続機能の設定

クラウド接続機能を使用する前に各オンラインサービスのアカウントを作成する

クラウド接続機能を使用してオンラインサービスにアクセスするには、利用するサービスのアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、パソコンで利用したいサービスのウェブサイトにアクセスし、アカウントを作成してください。アカウントを作成したら、クラウド接続機能を使用する前に、パソコンで一度アカウントにログオンして使用してみます。一度もログオンしていない場合、ブラザークラウド接続機能を使ってサービスにアクセスできないことがあります。

すでにアカウントをお持ちの場合は、追加でアカウントを作成する必要はありません。

利用するオンラインサービスでアカウントを作成したら、クラウド接続機能へのアクセスを申請します。

関連情報

- クラウド接続機能の設定

クラウド接続機能の利用申請を行う

クラウド接続機能を使用してオンラインサービスが利用できるように、ソフトウェアがインストールされているパソコンを使用して、クラウド接続ページにアクセスし、クラウド接続機能の利用申請を行います。

1. クラウド接続機能のウェブページにアクセスします：

オプション	詳細
Windows	（**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。 左ナビゲーションバーの**もっと活用する**をクリックして、**Brother Web Connect** をクリックします。 ウェブサイトに直接アクセスすることもできます。 お使いのウェブブラウザーのアドレスバーに、bwc.brother.com と入力します。
Mac	お使いのウェブブラウザーのアドレスバーに、bwc.brother.com と入力します。

ブラザークラウド接続機能のページが起動します。

2. 利用するサービスを選択します。
3. 画面の指示に従って、利用申請を行います。
   申請が終了すると、仮登録 ID が表示されます。

4. 仮登録 ID をメモしておきます。この ID は、お使いのブラザー製品にアカウントを登録する際に必要となります。仮登録 ID は、24 時間有効です。
5. ウェブブラウザーを閉じます。

次に、お使いのブラザー製品にアカウントを登録します。

関連情報

- クラウド接続機能の設定

本製品にクラウド接続機能を使用するためのアカウントを登録する

クラウド接続機能を使用するために、お使いのブラザー製品にアカウント情報を入力し設定します。

- 利用するサービスのウェブサイトにアクセスし、アカウントを作成してください。
- アカウントを登録する前に、本製品の操作パネルで日時が正しく設定されていることを確認します。

1. ◀または▶を押して［クラウド］を表示します。
   ［クラウド］を押します。

   - 本製品の画面に、インターネット接続に関する情報が表示された場合は、情報を確認し、［OK］を押します。
   - クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、［OK］を押します。

2. ▲または▼を押して、登録対象のサービスを表示します。
   対象のサービス名を押します。
3. クラウド接続機能に関する情報が表示された場合、［OK］を押します。
4. ［アカウントの登録／削除］>［アカウント登録］を押します。
5. クラウド接続機能の利用申請を行ったときに取得した仮登録 ID の入力を求められます。
   ［OK］を押します。
6. 画面を使用して仮登録 ID を入力し、［OK］を押します。

   入力した情報が申請時に取得した仮登録 ID と一致しない場合、または仮登録 ID の有効期限が切れている場合は、画面にエラーメッセージが表示されます。正しい仮登録 ID を入力するか、または再度申請を行って新しい仮登録 ID を取得します。

7. 画面に表示するアカウント名の入力を求められます。
   ［OK］を押します。
8. 画面を使用して名前を入力し、［OK］を押します。
9. 以下のいずれかを行ってください：
   - アカウントの PIN コードを設定するには、［はい］を押します。（PIN コードは、アカウントへの不正アクセスを防ぎます。）4 桁の数字を入力し、［OK］を押します。
   - PIN コードを設定しない場合は、［いいえ］を押します。

   入力したアカウント情報が表示されたら、正しく入力されていることを確認します。

10. ［はい］を押して入力した情報を登録します。
11. ［OK］を押します。
    アカウントの登録が完了し、本製品がサービスにアクセスできるようになりました。
12. を押します。

関連情報

- クラウド接続機能の設定

写真や原稿をスキャンしてアップロードする

スキャンした写真やドキュメントを、パソコンを使用せずに、直接 Web サービスにアップロードします。

- JPEG ファイルまたは検索可能な PDF のスキャンまたはアップロードには、モノクロスキャンは対応していません。
- Microsoft Office ファイルのスキャンまたはアップロードには、モノクロおよびグレースキャンは対応していません。
- JPEG ファイルとしてスキャンしアップロードした場合は、各ページが別のファイルとしてアップロードされます。
- アップロードされたファイルは、**From_BrotherDevice** というアルバムに保存されます。

アップロードできるファイルサイズや数などの制限については、各サービスのウェブサイトを参照してください。

セキュリティ機能ロック（特定のモデルのみ可能）によりクラウド接続の利用が制限されている場合、スキャンしたデータのアップロードはできません。

1. 原稿をセットします。
2. ◀ または ▶ を押して [クラウド] を表示します。

   [クラウド] を押します。

   - [スキャン] > [クラウド] を押すこともできます。
   - 本製品の画面に、インターネット接続に関する情報が表示された場合は、情報を確認し、[OK] を押します。
   - クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、[OK] を押します。

3. ▲ または ▼ を押して、アップロード先のアカウントを保持するサービスを表示します。

   対象のサービス名を押します。
4. ▲ または ▼ を押してアカウント名を表示し、それを押します。
5. PIN 入力画面が表示された場合は、4 桁の PIN を入力して、[OK] を押します。
6. ▲ または ▼ を押して [スキャンしてアップロード] を表示します。

   [スキャンしてアップロード] を押します。

   [スキャン] > [クラウド] を押した場合、このオプションは表示されません。

7. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

関連情報

- クラウド接続機能

外部メモリーに保存されている写真や文書をアップロードする

本製品に接続されたメディア（USB フラッシュメモリーなど）に保存されている文書を Web サービスに直接アップロードできます。

- アップロードされたファイルは、**From_BrotherDevice** というアルバムに保存されます。

アップロードできるファイルサイズや数などの制限については、各サービスのウェブサイトを参照してください。

セキュリティ機能ロック（特定モデルのみ対応）により制限されたユーザーの場合、メディアに保存されている文書をアップロードすることはできません。

重要

画面にメッセージが表示されている間は、USB フラッシュメモリーを取り外さないでください。USB フラッシュメモリー、または USB フラッシュメモリーに保存されているデータが壊れる恐れがあります。

1. USB フラッシュメモリーを本製品に差し込みます。
   画面の表示が自動的に変わります。
2. ▲または▼を押して［クラウド］を表示させ、それを押します。

- 本製品の画面に、インターネット接続に関する情報が表示された場合は、情報を確認し、［OK］を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、［OK］を押します。

3. ▲または▼を押して、アップロード先のアカウントを保持するサービスを表示します。
   対象のサービス名を押します。
4. ▲または▼を押してアカウント名を表示し、それを押します。
5. PIN 入力画面が表示された場合は、4 桁の PIN を入力して、［OK］を押します。
6. ▲または▼を押して［メディアからアップロード］を表示します。
   ［メディアからアップロード］を押します。
7. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

関連情報

- クラウド接続機能

写真や文書をダウンロードして印刷する

Web サービスにアップロードされている写真や文書を、本製品に直接ダウンロードして印刷することができます。他のユーザーがアップロードした共有の写真や文書は、閲覧権限を持っていれば本製品にダウンロードして印刷することができます。

他のユーザーの文書をダウンロードするには、対応するアルバムまたは文書を表示するアクセス権限が必要です。

セキュリティ機能ロック（特定のモデルのみ可能）によりクラウド接続機能をご利用できないユーザーの場合は、データをダウンロードできません。

セキュリティ機能ロックで印刷枚数を制限している場合、Web サービス上の文書の印刷も制限対象になります。

関連情報

- クラウド接続機能
  - Web サービスを使用してダウンロードや印刷を行う
  - ブラザープリンターオリジナルコンテンツ

Web サービスを使用してダウンロードや印刷を行う

ブラザープリンターオリジナルコンテンツについては、「関連情報」をご覧ください。

1. ◀または▶を押して［クラウド］を表示します。

   ［クラウド］を押します。

   - 本製品の画面に、インターネット接続に関する情報が表示された場合は、情報を確認し、［OK］を押します。
   - クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、［OK］を押します。

2. ▲または▼を押して、ダウンロードして印刷したい文書を保持するサービスを表示します。

   対象のサービス名を押します。

3. ▲または▼を押してお使いのアカウント名を表示し、それを押します。PIN 入力画面が表示された場合は、4 桁の PIN を入力して、［OK］を押します。
4. ▲または▼を押して［ダウンロードして印刷］を表示します。

   ［ダウンロードして印刷］を押します。

5. ▲または▼を押して使用するアルバムを表示し、表示されたアルバムを押します。

   - 本書では、画像を集めたものをアルバムとしています。お使いのウェブサービスによって名称は異なります。Evernote®をご利用の場合は、ノートブックを選択し、次にノートを選択します。
   - アルバムに文書を保存する必要のないサービスもあります。アルバムに保存されていない文書の場合は、［未分類のファイルを表示］を選択し、文書を選択します。

6. 印刷するファイル名を押します。画面に表示される文書を確認し、［OK］を押します。さらに印刷する文書を選択します（最大 10 個の文書が選択可能です）。
7. 完了したら、［OK］を押します。
8. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

関連情報

- 写真や文書をダウンロードして印刷する

関連トピック：

- ブラザープリンターオリジナルコンテンツ

ブラザープリンターオリジナルコンテンツ

1. ◀または▶を押して、[お役立ちツール]を表示させます。

   [お役立ちツール]を押します。

   - 本製品の画面に、インターネット接続に関する情報が表示された場合は、情報を確認し、[OK]を押します。
   - クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、[OK]を押します。

2. ▲または▼を押して[オリジナルコンテンツ]を表示させます。

   [オリジナルコンテンツ]を押します。

3. ブラザープリンターオリジナルコンテンツの利用規約に関する情報が表示された場合は、内容を確認して[OK]を押します。
4. カテゴリーのリストから、印刷したい画像が含まれるカテゴリーを選びます。
5. もう一度カテゴリーを選びます。
6. 画像のサムネイルを押します。
7. 画面上で画像を確認して[OK]を押します。

   1 ページの画像は最大 10 個まで、複数ページの画像は 1 個のみ選択できます。

8. すべての画像を選択したら、[OK]を押します。
9. お勧め印刷設定に関する情報が表示されている場合は、[OK]を押します。今後この情報を表示するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。[はい]または[いいえ]を押します。

   ブラザープリンターオリジナルコンテンツの画像を印刷する場合、カテゴリや画像に応じたお勧めの印刷設定が初期設定値として表示されます。

10. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

関連情報

- 写真や文書をダウンロードして印刷する

関連トピック：

- Web サービスを使用してダウンロードや印刷を行う

クラウド接続機能を使用して文書をダウンロードし、外部メモリーに保存する

JPEG、PDF、および Microsoft Office ファイルをサービスからダウンロードし、本製品に接続されたメディアに直接保存できます。他のユーザーが共有用に自身のアカウントにアップロードした文書も、それらの文書の表示権限があれば、本製品にダウンロードできます。

- USB フラッシュメモリーに十分な空き領域があることを確認します。
- 他のユーザーの文書をダウンロードするには、対応するアルバムまたは文書を表示するアクセス権限が必要です。
- ダウンロードしたファイルは、現在の日付に基づいて名前が変更されます。たとえば、7 月 1 日に最初に保存された画像の名前は 07010001.jpg になります。また、地域設定によって、ファイル名の日付形式が決まることに注意してください。
- 画像は、お使いのメディアのルート階層（直下）に自動で作成された「BROTHER」フォルダーに保存されます。

重要

画面にメッセージが表示されている間は、USB フラッシュメモリーを取り外さないでください。USB フラッシュメモリー、または USB フラッシュメモリーに保存されているデータが壊れる恐れがあります。

1. USB フラッシュメモリーを本製品に差し込みます。

   画面の表示が自動的に変わります。
2. ▲または▼を押して［クラウド］を表示させ、それを押します。

   - 本製品の画面に、インターネット接続に関する情報が表示された場合は、情報を確認し、［OK］を押します。
   - クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、［OK］を押します。
3. ▲または▼を押して、ダウンロードする文書を保持するサービスを表示します。

   対象のサービス名を押します。
4. ▲または▼を押してアカウント名を表示し、それを押します。PIN 入力画面が表示された場合は、4 桁の PIN を入力して、［OK］を押します。
5. ▲または▼を押して［メディアにダウンロード］を表示します。

   ［メディアにダウンロード］を押します。
6. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

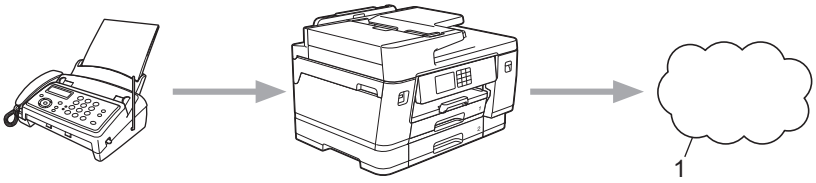
   - 本書では、画像を集めたものをアルバムとしています。お使いのウェブサービスによって名称は異なります。Evernote®をご利用の場合は、ノートブックを選択し、次にノートを選択します。
   - アルバムに文書を保存する必要のないサービスもあります。アルバムに保存されていない文書の場合は、［未分類のファイルを表示］を選択し、文書を選択します。

関連情報

- クラウド接続機能

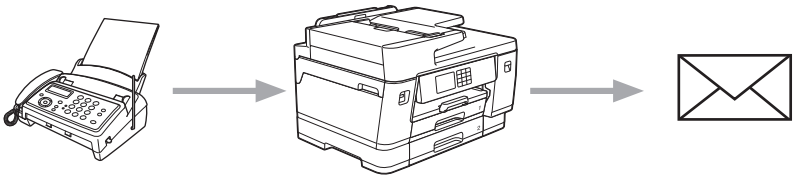
ファクスクラウド／E メール転送

- 受信したファクスをウェブサービスへ転送します。



1. ウェブサービス

- 受信したファクスを指定した E メールへ添付ファイルとして転送します。



関連情報

- クラウド接続機能
  - ファクスクラウド転送、またはファクス E メール転送をオンにする
  - ファクスクラウド転送、またはファクス E メール転送をオフにする

ファクスクラウド転送、またはファクス E メール転送をオンにする

ファクスクラウド転送機能をオンにして、受信したファクスをウェブサービスへ転送したり、E メールへ添付ファイルとして転送します。

- 転送できるのは、モノクロファクスのみです。
- この機能をオンにすると、下記の機能は使用できません：
  - メモリ受信（[ファクス転送]、[メモリ保持のみ]）
  - [PC ファクス受信]

1. ◀または▶を押して[お役立ちツール]を表示します。
   [お役立ちツール]を押します。

- 本製品の画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合は、情報を読み[OK]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、[OK]を押します。

2. ▲または▼を押して[ファクス クラウド転送]を表示します。
   [ファクス クラウド転送]を押します。

[ファクス クラウド転送]に関する情報が表示された場合は、情報を読み[OK]を押します。

3. [オン]を押します。
4. [クラウドサービスへ転送]または[メールで転送]を押します。
   - [クラウドサービスへ転送]を選択した場合は、ファクスを転送したいウェブサービスを選択して、自分のアカウント名を指定します。
   - [メールで転送]を選択した場合は、ファクスを添付ファイルとして転送したい E メールアドレスを入力します。
5. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

関連情報

- ファクスクラウド／E メール転送

関連トピック：

- メモリー受信オプション

ファクスクラウド転送、またはファクス E メール転送をオフにする

受信したファクスをウェブサービスまたは E メールに転送したくない場合は、ファクスクラウド転送機能をオフにします。

受信したファクスが本製品のメモリーに残っている場合は、ファクス転送をオフにすることはできません。

1. ◀または▶を押して［お役立ちツール］を表示します。
   ［お役立ちツール］を押します。

- 本製品の画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合は、情報を読み［OK］を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、［OK］を押します。

2. ▲または▼を押して［ファクス クラウド転送］を表示します。
   ［ファクス クラウド転送］を押します。

［ファクス クラウド転送］に関する情報が表示された場合は、情報を読み［OK］を押します。

3. ［オフ］を押します。
4. ［OK］を押します。

関連情報

- ファクスクラウド／E メール転送

AirPrint

- AirPrint の概要
- AirPrint を使用する前に（macOS）
- AirPrint を使用して印刷する
- AirPrint を使用してスキャンを行う（macOS）
- AirPrint を使用してファクス送信を行う（macOS）

AirPrint の概要

AirPrint は、ドライバーをインストールすることなく、お使いの iPad、iPhone、iPod touch、および Mac パソコンから写真、E メール、ウェブページおよび文書をワイヤレスで印刷することを可能にする、Apple 社の OS 用の印刷ソリューションです。

AirPrint ではさらに、原稿を印刷せずに、お使いの Mac パソコンから直接ファクスを送信したり、お使いの Mac パソコンに原稿をスキャンしたりすることができます。

詳細については、Apple のウェブサイトを参照してください。

Works with Apple バッジを使用するということは、その機能が、バッジで特定された技術で動作するように設計され、Apple のパフォーマンス基準を満たすように開発者に認定されていることを意味します。

関連情報

- AirPrint

AirPrint を使用する前に（macOS）

macOS を使用して印刷を行う前に、本製品を Mac パソコンのプリンター一覧に追加してください。

1. アップルメニューから**システム環境設定**を選択します。
2. **プリンタとスキャナ** をクリックします。
3. 画面左側のプリンターリストの下にある[+]アイコンをクリックします。
   追加画面が表示されます。
4. 本製品を選択して、**ドライバ**のポップアップメニューから **AirPrint** を選択します。
5. **追加** をクリックします。

関連情報

- AirPrint

AirPrint を使用して印刷する

- iPad、iPhone、または iPod touch から印刷する
- AirPrint を使用して印刷を行う（macOS）

iPad、iPhone、または iPod touch から印刷する

印刷手順はアプリケーションによって異なる場合があります。以下の例では Safari を使用します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
   用紙トレイに正しい用紙がセットされていることを確認し、本製品の用紙トレイの用紙設定を変更します。
2. 印刷するページを Safari で開きます。
3. または をタップします。
4. **プリント**をタップします。
5. 本製品が選択されていることを確認します。
6. 別の製品が選択されている場合や、プリンターが選択されていない場合は、**プリンタ**をタップします。
   利用可能な製品の一覧が表示されます。
7. 一覧で本製品の名前をタップします。
8. 印刷枚数、両面印刷（本製品が対応している場合）など、必要なオプションを選択します。
9. **プリント**をタップします。

関連情報

- AirPrint を使用して印刷する

AirPrint を使用して印刷を行う（macOS）

印刷の手順は、アプリケーションによって異なります。ここでは、Safari で閲覧しているウェブページの印刷手順を例にして説明します。印刷する前に、Mac のプリンターリストに本製品が追加されていることを確認してください。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
   用紙トレイに正しい用紙がセットされていることを確認し、本製品の用紙トレイの用紙設定を変更します。
2. お使いの Mac で、印刷するページを Safari で開きます。
3. **ファイル**メニューをクリックし、**プリント**を選択します。
4. 本製品が選択されていることを確認します。別の製品が選択されている場合や、プリンターが選択されていない場合は、**プリンタ**ポップアップメニューをクリックして、本製品を選択します。
5. 印刷枚数、両面印刷（本製品が対応している場合）などを必要に応じて設定します。
6. **プリント** をクリックします。

関連情報

- AirPrint を使用して印刷する

関連トピック：

- AirPrint を使用する前に（macOS）

AirPrint を使用してスキャンを行う（macOS）

スキャンする前に、Mac のスキャナーリストに本製品が追加されていることを確認してください。

1. 原稿をセットします。
2. アップルメニューから**システム環境設定**を選択します。
3. **プリンタとスキャナ** をクリックします。
4. スキャナーリストから本製品を選択します。
5. **スキャン**タブをクリックし、**スキャナを開く...**ボタンをクリックします。
   スキャナー画面が表示されます。
6. ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットした場合は、**書類フィーダを使用**チェックボックスを選択し、ポップアップメニューからスキャンサイズを選択します。
7. 保存先設定ポップアップメニューで、 保存先フォルダーまたはアプリケーションを選択します。
8. 必要に応じて、**詳細情報を表示**をクリックし、スキャン設定を変更します。
   原稿台ガラスからスキャンした場合は、スキャンしたい部分にマウスポインタをドラッグして、画像をトリミングすることができます。
9. **スキャン** をクリックします。

関連情報

- AirPrint

関連トピック：

- AirPrint を使用する前に（macOS）

AirPrint を使用してファクス送信を行う（macOS）

本製品がお使いの Mac のプリンターリストに表示されていることを確認してください。以下の手順は、テキストエディットを例にして説明しています。

- AirPrint はモノクロのファクス原稿のみに対応しています。
- 本製品はセキュリティ機能ロックに対応しています。ユーザーのファクス送信が制限されている場合、AirPrint を介してファクスを送信することはできません。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. Mac で、ファクスとして送信したいファイルを開きます。
3. **ファイル**をクリックして、**プリント**を選択します。
4. **プリンタ**のポップアップメニューをクリックし、**Brother XXX-XXXX - Fax**（XXX-XXXX はお使いのモデル名）を選択します。
5. 宛先などのファクス情報を入力します。
6. **ファクス** をクリックします。

関連情報

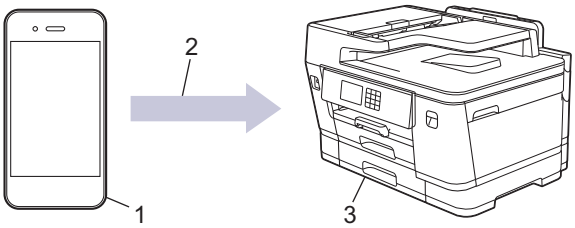
- AirPrint

関連トピック：

- AirPrint を使用する前に（macOS）

Mopria®プリントサービス

Mopria®プリントサービスは、Mopria® Alliance が開発した、Android™携帯端末用の印刷機能です。このサービスを使うことによって、追加の設定をしなくても製品と同じネットワークに接続し、印刷することができます。



1. Android™携帯端末
2. Wi-Fi®接続
3. 本製品

Google Play™ ストアから Mopria®プリントサービスをダウンロードして、お使いの Android™機器にインストールする必要があります。このサービスを使用する前に、機器の電源を入れておく必要があります。

関連情報

- モバイル/クラウド接続

Brother Mobile Connect

Brother Mobile Connect を使用して、携帯端末から印刷とスキャンを行います。

- Android™端末の場合

  Brother Mobile Connect を使用すると、お使いの Android™端末から直接本製品の機能を使用できます。

  Google Play™から Brother Mobile Connect をダウンロードしてインストールします。
- iPhone、iPad、iPod touch を含む iOS または iPadOS 対応のすべての機器の場合

  Brother Mobile Connect を使用すると、お使いの iOS または iPadOS 機器から直接本製品の機能を使用できます。

  App Store から、Brother Mobile Connect をダウンロードしてインストールします。

関連情報

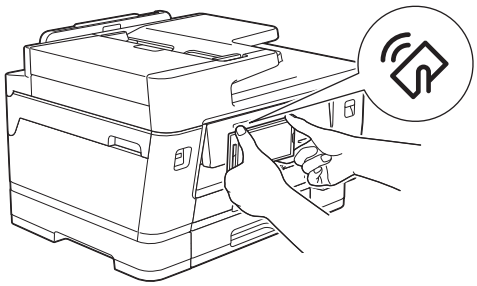
- モバイル/クラウド接続

近距離無線通信（NFC）による印刷

関連モデル: MFC-J7300CDW

近距離無線通信（NFC）では、近距離に位置する 2 台の機器間の、簡易的な処理、データ交換、および無線接続が可能になります。

お使いの Android™ 機器が NFC 対応の場合、本製品の操作パネル上の NFC タッチ部分にかざして、データ（写真、PDF ファイル、およびテキストファイル）を機器から印刷することができます。



この機能を使用するには、お使いの Android™機器に Brother Mobile Connect をダウンロードしてインストールする必要があります。

関連情報

- モバイル/クラウド接続

関連トピック：

- 操作パネルの概要

トラブルシューティング

本製品に問題があると思われる場合は、まず、以下の各項目を確認し、問題を特定してから、トラブルシューティングのヒントに従ってください。

ほとんどの問題はご自身で解決できます。さらに情報が必要な場合は、support.brother.co.jp にアクセスして最新の FAQ とトラブルシューティングのヒントをご覧ください。

1. support.brother.co.jp にアクセスします。
2. **よくあるご質問 (Q&A)**をクリックしてお使いの製品を選択します。

まず、以下の点を確認してください。

- 本製品の電源コードが正しく接続され、本製品の電源がオンになっている。
- 本製品の保護部材がすべて取り外されている。
- インクカートリッジが正しく取り付けられている。
- 本体カバーと紙詰まり解除カバーが完全に閉まっている。
- 用紙トレイに用紙が正しくセットされている。
- 本製品とパソコンにインターフェイスケーブルがしっかりと接続されている。または、本製品とパソコンの両方で無線接続が設定されている。
- （ネットワーク接続モデルの場合）無線 LAN アクセスポイント、ルーター、またはハブの電源が入っており、リンクランプが点滅している。
- 本製品の画面にメッセージが表示されている。

各項目を確認しても問題が解決しない場合は、問題を特定し、「関連情報」をご覧ください。

関連情報

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 原稿が詰まったときは
- 用紙が詰まったときは
- 本製品に問題がある場合は
- 本製品の情報を確認する
- 本製品を初期状態に戻す
- 本製品を廃却するときは

関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- 電話とファクスの問題
- その他の問題
- ネットワークの問題
- AirPrint の問題

エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

高度な機能を備えたオフィス製品によく見られるように、エラーが発生したり、消耗品の交換が必要なことがあります。その場合、本製品はエラーや必要な定期メンテナンスを特定し、適切なメッセージを表示します。最も一般的なエラーとメンテナンスのメッセージを表に記載します。

ほとんどのエラーの解決、およびお手入れは、ご自身で行うことができます。さらに情報が必要な場合は、support.brother.co.jp にアクセスし、**よくあるご質問 (Q&A)**ページを参照してください。

- (MFC-J7300CDW)

  画面にエラーが表示され、お使いの Android™機器が NFC 機能をサポートしている場合、操作パネルの NFC タッチ部分にお使いの機器をタッチして、最新の FAQ を参照してください。（お使いの携帯端末の通信料金が適用されます。）

  お使いのブラザー製品と Android™ 機器、両方の NFC 機能が、オンに設定されていることを確認してください。
- 関連情報は、ページの最下部に表示されます。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[USB 機器の応答なし] [USB 機器を抜いてください]	接続している USB 機器が応答しません。	USB 差し込み口から該当機器を外します。
[ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ の型番が違います]	インクカートリッジの型番がお使いの製品に対応していません。	カートリッジの型番がお使いの製品に対応しているかどうかを確認してください。
[ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ を交換できます]	インクの残量が少なくなっています。相手側のファクス機の送信機能でカラーをモノクロに変換できる場合、カラーファクスはモノクロファクスとして本製品で印刷されます。	新しいインクカートリッジを用意してください。画面に [インク交換] と表示されるまで印刷を続行できます。 「関連情報」をご覧ください：インクカートリッジを交換する • **インクが少なくなっていたり、交換が必要な場合でも、引き続きスキャンできます。**
[インク交換]	1 色または複数のインクカートリッジがなくなりました。本製品はすべての印刷操作を停止します。メモリーに空き容量がある場合、モノクロのファクスはメモリーに保存されます。相手側のファクス機の送信機能でカラーをモノクロに変換できる場合、カラーファクスはモノクロファクスとしてメモリーに保存されます。	インクカートリッジを交換してください。 「関連情報」をご覧ください：インクカートリッジを交換する • **インクが少なくなっていたり、交換が必要な場合でも、引き続きスキャンできます。**
[インク量を検知できません]	ブラザー純正インクを使用していない場合、本製品がインク残量を検出しない場合があります。	ブラザー純正インクカートリッジを使用してください。エラーが解決しない場合は、ブラザーコールセンターにお問い合わせください。
[インクを検知できません]	新しいインクカートリッジの取り付けが素早いために、本製品に検出されませんでした。	新しいインクカートリッジを取り外し、所定の位置に固定されるまで、もう一度ゆっくりとしっかり取り付けてください。 「関連情報」をご覧ください：インクカートリッジを交換する
	インクカートリッジが正しく取り付けられていません。	
	ブラザー純正インクを使用していない場合、本製品がインクカートリッジを検出しないことがあります。	ブラザー純正インクカートリッジを使用してください。エラーが解決しない場合は、ブラザーコールセンターにお問い合わせください。
	違うモデルのインクカートリッジが取り付けられました。	インクカートリッジの型番を確認し、適切なインクカートリッジを取り付けます。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[インクをセット]	インクカートリッジが正しく取り付けられていません。	インクカートリッジを取り外し、しっかり装着されるまでもう一度ゆっくり取り付けてください。 「関連情報」をご覧ください：インクカートリッジを交換する
[カバーが開いています]	本体カバーが閉じた状態で固定されていません。	本体カバーを持ち上げ、もう一度閉めます。
		電話機コードとインターフェイスケーブル（使用時）が、ケーブル用の溝に沿って本製品の背面まで正しく配線されていることを確認します。
	インクカートリッジのカバーが閉じた状態で固定されていません。	インクカートリッジのカバーが所定の位置に固定されるまでしっかりと閉めます。
[紙詰まりを繰り返しています]	ペーパークリップなどの異物や破れた用紙の紙片が製品内部に詰まっています。	製品内部の異物や紙片を取り除いてください。 「関連情報」をご覧ください：紙片を取り除く
[ｶｰﾄﾘｯｼﾞ の色が違います]	インクカートリッジの取り付け位置が間違っています。	間違った位置に挿入したインクカートリッジの色を確認し、正しい位置にセットし直してください。
[給紙の失敗を繰返しています]	用紙がないか、用紙トレイに用紙が正しくセットされていません。	次のいずれかを行ってください。 • トレイに用紙を補充し、画面の指示に従ってください。 • 用紙を入れ直し、画面の指示に従ってください。 「関連情報」をご覧ください：用紙のセット
	用紙の給紙ローラーの表面に紙粉がたまっています。	給紙ローラーを掃除してください。 付属品 別紙「給紙ローラーのクリーニングキット」をご覧ください。
[ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ できません XX] [初期化できません XX] [印刷できません XX]	製品に機械的な異常があります。 **-または** ペーパークリップなどの異物や破れた用紙の紙片が製品内部に詰まっています。	本体カバーを開き、異物や紙片を製品の内部から取り除きます。エラーメッセージが消えない場合は、本製品の電源を切り、数分後に再度電源を入れます。 別の紙詰まり解消操作もお試しいただけます。 「関連情報」をご覧ください：紙片を取り除く (印刷が機能せず、受信したファクスを印刷できない場合は、ファクスを別のファクス機またはパソコンに転送してください。) 「関連情報」をご覧ください： ファクスや通信管理レポートの転送
[室温が高すぎます]	室温が高すぎます。	室内を冷却したあと、本製品が室温になるまでお待ちください。本製品の温度が下がってから、もう一度試してください。
[室温が低すぎます]	室温が低すぎます。	室温を上げたあと、本製品が室温になるまでお待ちください。本製品が温まってから、もう一度試してください。
[使用不能な USB 機器です] [USB 機器を抜いてください]	サポートされていない USB 機器または USB フラッシュメモリーが、USB 差し込み口に接続されています。	USB 差し込み口から該当機器を外します。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[使用不能な USB 機器です] [前面にケーブル接続された機器はご利用できませんとり外してオン/オフボタンでリセットしてください]	故障した機器が、USB 差し込み口に接続されています。	USB 差し込み口から該当機器を外します。製品の電源をオフにしてから、再度オンにします。
[使用不能な USB ハブです]	ハブまたはハブが内蔵された USB フラッシュメモリーが、USB 差し込み口に接続されています。	ハブが内蔵された USB フラッシュメモリーも含め、ハブはサポートされていません。USB 差し込み口から該当機器を外します。
[スキャンできません XX]	製品に機械的な異常があります。	本製品の電源を切り、数分後に再度電源を入れてください。 (印刷が機能せず、受信したファクスを印刷できない場合は、ファクスを別のファクス機またはパソコンに転送してください。) 「関連情報」をご覧ください：ファクスや通信管理レポートの転送
[接続エラー]	他の機器が同時に、Wi-Fi Direct ネットワークに接続しようとしています。	Wi-Fi Direct への接続を試みている機器がないことを確認してから、Wi-Fi Direct の設定をもう一度行います。
[接続できません他のデバイスと接続中です]	本製品がグループオーナーのときに、携帯端末の最大数がすでに Wi-Fi Direct ネットワークに接続されています。	本製品と他の携帯端末との接続が切れてから、Wi-Fi Direct をもう一度設定してください。接続状態は、ネットワーク設定リストを印刷して確認することができます。 「関連情報」をご覧ください：ネットワーク設定リストを印刷する
[接続に失敗しました]	Wi-Fi Direct ネットワークの設定中は、本製品とお使いの携帯端末が通信できません。	• 携帯端末を本製品に近づけます。 • 本製品と携帯端末を、障害物のない場所に移動します。 • WPS の PIN 方式を使用している場合、PIN コードは必ず正確に入力してください。
[切断されました]	送信相手または送信相手のファクス機により、通信が停止されました。	もう一度ファクス送信または受信してください。
[送信エラー] [原稿サイズ設定が違います]	原稿サイズ設定が、ファクス原稿のサイズと一致していません。	正しい原稿サイズを選択し、もう一度 [スタート] を押します。
[タッチパネルエラー]	電源オン時の初期化が終了する前に、タッチパネルが押されました。	本製品の電源コードをつなぐ際には、タッチパネルの上に物が触れたり、乗ったりしていないか確認してください。
	タッチパネルの下部とフレームとの間に、異物がはさまっている可能性があります。	タッチパネルの下部とフレームとの間に厚紙などを差し込み、前後にスライドさせて異物を押し出してください。
[通信エラー]	電話回線の状態が悪いため、通信エラーが発生しました。	ファクスを再送信するか、本製品を他の電話回線に接続します。問題が解決しない場合は、電話会社に問い合わせて、お使いの電話回線を調べてもらいます。
[詰まっています/長すぎます]	原稿が挿入されていないか、原稿が正しく送られずに詰まっているか、ADF（自動原稿送り装置）からスキャンされた原稿が長すぎました。	詰まっている原稿を取り除き、を押します。ADF（自動原稿送り装置）に原稿を正しくセットします。 「関連情報」をご覧ください：*ADF*（自動原稿送り装置）に原稿をセットする 「関連情報」をご覧ください：原稿が詰まったときは

エラーメッセージ	原因	対処方法
[デバイスが見つかりません]	Wi-Fi Direct ネットワークの設定時に、本製品がお使いの携帯端末を認識できません。	• 本製品とお使いの携帯端末が、Wi-Fi Direct モードであることを確認します。 • 携帯端末を本製品に近づけます。 • 本製品と携帯端末を、障害物のない場所に移動します。 • Wi-Fi Direct を手動で設定する場合、パスワードが正しく入力されたことを確認します。 • IP アドレスを取得する方法について、お使いの携帯端末に設定ページがある場合、携帯端末の IP アドレスが DHCP を通して設定されたことを確認します。
[データが残っています]	印刷データが製品のメモリーに残っています。	を押します。印刷ジョブがキャンセルされ、メモリーから削除されます。もう一度印刷してください。
[トレイ設定が違います]	本製品の用紙サイズ設定とトレイ選択設定が、トレイで使用している用紙サイズと一致していません。	画面の指示に従ってもう一度印刷します。 画面の指示に従って、トレイの用紙サイズを設定します。
[トレイの設定] [トレイ 1 の設定] [トレイ 2 の設定] [トレイ 3 の設定] [多目的トレイの設定]	このメッセージは、用紙タイプと用紙サイズを確認する設定が有効になっている場合に表示されます。	この確認メッセージを表示しないようにするには、設定をオフに変更します。 「関連情報」をご覧ください： トレイ確認の設定を変更する
[廃インク吸収パッド満杯]	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達しました。 ※廃インク吸収パッドとは、ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品です。	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、本製品内部でのインク漏れを防ぐためにヘッドクリーニングができなくなります。廃インク吸収パッドを交換するまで印刷はできません。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お買い求めいただいた販売店またはブラザーコールセンターにご連絡ください。
[話し中/応答がありません]	ダイヤルした番号は、応答がないか、通話中です。	番号を確認し、かけ直します。
[ファイルがありません]	メディアドライブの USB フラッシュメモリーに、.JPG ファイルが含まれていません。	適切な USB フラッシュメモリーを、もう一度差し込み口に差し込みます。
[ﾌｧｸｽﾒﾓﾘ少なくなりました]	ファクスのメモリーが一杯です。	次のいずれかを行ってください。 • メモリーからデータを消去します。メモリーの容量を増やすには、メモリー受信をオフにしてください。 「関連情報」をご覧ください：メモリー受信をオフにする • メモリー内のファクスを印刷します。 「関連情報」をご覧ください：本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する
[まもなく廃インク満杯]	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に近づいています。 ※廃インク吸収パッドとは、ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品です。	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、交換するまで印刷ができなくなります。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お早めにお買い求めいただいた販売店またはブラザーコールセンターにご連絡ください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[まもなく用紙切れ トレイ 1] [まもなく用紙切れ トレイ 2] [まもなく用紙切れ トレイ 3]	用紙トレイが間もなく用紙切れになります。	画面に示された用紙トレイに用紙を補充します。
[メディア容量がいっぱいです]	使用している USB フラッシュメモリーに空き容量が少ないため、原稿を読み取れません。	USB フラッシュメモリーから使用していないファイルを削除して空き容量を確保し、再度試してください。
[メモリがいっぱいです]	製品のメモリーが一杯です。	**ファクスの送信またはコピー操作が進行中の場合：** • または [取り消し] を押し、他の進行中の操作が終了するのを待ってから、再実行してください。 • [読み取り分コピー] を押して、これまでに読み取った分のページをコピーします。 • メモリー内に保存されているデータを消去します。メモリーの容量を増やすには、メモリー受信をオフにします。 「関連情報」をご覧ください：メモリー受信をオフにする • メモリー内に保存されているファクスを印刷します。 「関連情報」をご覧ください：本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する
[モノクロ印刷のみ可能です]	1 色または複数のカラーインクカートリッジがなくなりました。 印刷枚数によって異なりますが、モノクロモードで約 1 ヶ月間、本製品を使用できます。 画面にこのメッセージが表示されている間、各操作は以下のように動作します。 • 印刷 プリンタードライバーで、用紙の種類が**普通紙**に設定されていて、**モノクロ**が選択されている場合は、本製品をモノクロプリンターとしてご使用いただけます。 • コピー 用紙の種類が [普通紙] に設定されている場合、モノクロでコピーを取ることができます。 • ファクスの送受信 用紙の種類が [普通紙] に設定されている場合、本製品は受信したファクスをモノクロで印刷することができます。	インクカートリッジを交換してください。 「関連情報」をご覧ください：インクカートリッジを交換する 「原因」欄には、このエラーが表示された後に本製品を使用するための方法を載せていますが、以下の場合は、新しいインクカートリッジに交換されるまで本製品を使用いただけません 。 • 本製品の電源を抜くか、インクカートリッジを取り外した場合。
[用紙サイズ が不一致です]	用紙サイズの設定が、トレイにセットされている用紙のサイズと一致しません。 **-または** 用紙のセット方向が正しくありません。 **-または** トレイの用紙ガイドが、使用している用紙サイズの表示に合わせて調整されていません。	1. 本製品の画面で選択した用紙サイズが、トレイにセットされている用紙のサイズと一致していることを確認してください。 「関連情報」をご覧ください：用紙サイズと用紙タイプを変更する 2. 用紙を正しい向きにセットし、用紙ガイドを使用する用紙サイズの表示に合わせて調整してください。 「関連情報」をご覧ください：用紙のセット

エラーメッセージ	原因	対処方法
		3. 用紙のサイズとセット方向を確認したあと、画面の指示に従ってください。
		パソコンから印刷している場合は、プリンタードライバーまたは印刷に使用するアプリケーションで選択した用紙サイズが、トレイにセットされている用紙サイズと一致していることを確認してください。 「関連情報」をご覧ください：印刷設定（*Windows*）
[用紙詰まり[前/後ろ]] [用紙詰まり[前]] [用紙詰まり[後ろ]] [用紙詰まり[多目的トレイ]] [用紙詰まり[前/多目的トレイ]] [用紙詰まり[トレイ 2]] [用紙詰まり[トレイ 3]] [繰返し用紙詰まり[XX]]	製品に紙詰まりが発生しています。	詰まっている紙を破れないように取り除いてください。 「関連情報」をご覧ください：用紙が詰まったときは
		用紙詰まりが繰り返し発生する場合は、別の紙詰まり解消方法を試してください。 「関連情報」をご覧ください：紙片を取り除く
	用紙ガイドが正しい用紙サイズに調整されていません。	用紙ガイドが正しい用紙サイズに調整されていることを確認してください。
	本製品の排紙トレイが正しくセットされていません。	排紙トレイが本製品に完全に差し込まれていることを確認してください。 「関連情報」をご覧ください：製品の前面の用紙詰まり
	用紙の給紙ローラーの表面に紙粉がたまっています。	給紙ローラーを掃除してください。 付属品 別紙「給紙ローラーのクリーニングキット」をご覧ください。
[用紙トレイが抜けています] [用紙トレイ 1 が抜けています] [用紙トレイ 2 が抜けています] [用紙トレイ 3 が抜けています]	用紙トレイが完全に差し込まれていません。	用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けます。
	用紙や異物があると、用紙トレイを正しく取り付けられません。	製品から用紙トレイを引き抜き、詰まっている用紙や異物を取り除きます。詰まっている用紙が見つからない、または取り除けない場合は、「関連情報」をご覧ください：用紙が詰まったときは
[用紙を送れません]	用紙がないか、用紙トレイに用紙が正しくセットされていません。	次のいずれかを行ってください。 • トレイに用紙を補充し、画面の指示に従ってください。 • 用紙を入れ直し、画面の指示に従ってください。 「関連情報」をご覧ください：用紙のセット
	用紙が多目的トレイの中央にセットされていません。	用紙を取り除いて多目的トレイの中央にセットし直してから、画面の指示に従ってください。 「関連情報」をご覧ください：多目的トレイに用紙をセットする
	紙詰まり解除カバーが正しく閉じられていません。	紙詰まり解除カバーの両端が均等に閉じられていることを確認します。 「関連情報」をご覧ください：用紙が詰まったときは
	用紙の給紙ローラーの表面に紙粉がたまっています。	給紙ローラーを掃除してください。 付属品 別紙「給紙ローラーのクリーニングキット」をご覧ください。

関連情報

- トラブルシューティング
  - ファクスや通信管理レポートの転送
  - クラウド接続機能のエラーメッセージ

関連トピック：

- タッチパネル画面の概要
- ネットワーク設定リストを印刷する
- インクカートリッジを交換する
- 安心通信モードを設定する
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする
- 原稿が詰まったときは
- 用紙のセット
- 用紙が詰まったときは
- 紙片を取り除く
- 用紙トレイ#1 の給紙ローラーを清掃する
- 用紙トレイ#2 と用紙トレイ#3 の給紙ローラーを清掃する
- メモリー受信をオフにする
- 本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する
- 印刷設定（Windows）
- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- トレイ確認の設定を変更する
- 多目的トレイに用紙をセットする
- 製品の前面の用紙詰まり
- 用紙サイズと用紙タイプを変更する

ファクスや通信管理レポートの転送

画面に次のように表示されている場合：

- [ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ できません XX]
- [初期化できません XX]
- [印刷できません XX]
- [スキャンできません XX]

ファクスを別のファクス機またはパソコンに転送することをお勧めします。

「関連情報」をご覧ください：別のファクス機にファクスを転送する

「関連情報」をご覧ください：お使いのパソコンにファクスを転送する

ファクス通信管理レポートを転送して、転送する必要があるファクスがあるかどうかを確認することもできます。

「関連情報」をご覧ください：別のファクス機に通信管理レポートを転送する

関連情報

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
  - 別のファクス機にファクスを転送する
  - お使いのパソコンにファクスを転送する
  - 別のファクス機に通信管理レポートを転送する

関連トピック：

- PC-FAX 受信を使用して受信したファクスをパソコンに転送する（Windows のみ）
- ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする
- 本製品を初期状態に戻す
- リセット機能の概要
- 製品の前面の用紙詰まり
- 製品の背面の用紙詰まり

別のファクス機にファクスを転送する

発信元登録を設定していない場合、ファクス転送モードに入ることはできません。

1. を押して、エラーを一時的に消去します。
2. [メニュー] > [全てのメニュー] > [サービス] > [データ転送] > [ファクス転送] を押します。
3. 以下のいずれかを行ってください：
   - 画面に [受信データはありません] と表示された場合は、製品のメモリー内にはファクスは残っていません。

     [閉じる] を押し、 を押します。
   - ファクスの転送先であるファクス番号を入力します。
4. [スタート] を押します。

関連情報

- ファクスや通信管理レポートの転送

関連トピック：

- 発信元を登録する

お使いのパソコンにファクスを転送する

本製品のメモリーからパソコンにファクスを転送できます。

1. を押して、エラーを一時的に消去します。
2. Brother のソフトウェアとドライバーがお使いのパソコンにインストール済みであることを確認して、**PC ファクス受信**をオンにします。
3. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
4. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 受信を起動**をクリックします。
5. お使いのパソコンに表示される指示を確認します。

   製品のメモリーに保存されているファクスは自動的にお使いのパソコンに送信されます。

製品のメモリーのファクスがお使いのパソコンに送信されない場合：

製品で［PC ファクス受信］を設定したことを確認します。

PC-FAX 受信を設定したときに本製品のメモリーにファクスが保存されている場合、お使いのパソコンにファクスを転送するかどうかを確認するメッセージが画面に表示されます。

みるだけ受信がオフになっている場合、バックアップ印刷するかどうかを尋ねられます。

［はい］を押してメモリー内のすべてのファクスをお使いのパソコンに転送します。

関連情報

- ファクスや通信管理レポートの転送

関連トピック：

- PC-FAX 受信を使用して受信したファクスをパソコンに転送する（Windows のみ）

別のファクス機に通信管理レポートを転送する

発信元登録を設定していない場合、ファクス転送モードに入ることはできません。

1. を押して、エラーを一時的に消去します。
2. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［サービス］>［データ転送］>［レポート転送］を押します。
3. 通信管理レポートの転送先のファクス番号を入力します。
4. ［スタート］を押します。

関連情報

- ファクスや通信管理レポートの転送

関連トピック：

- 発信元を登録する

クラウド接続機能のエラーメッセージ

エラーが発生すると、本製品にエラーメッセージが表示されます。ここでは、代表的なエラーメッセージを記載しています。

ほとんどのエラーはご自身で解決できます。さらに情報が必要な場合は、support.brother.co.jp にアクセスし、**よくあるご質問 (Q&A)**ページを参照してください。

接続エラー

エラーメッセージ	原因	対処方法
[ネットワーク接続エラー 02]	本製品はネットワークに接続されていません。	• ネットワークの接続状況が良好であることを確認してください。 • 本製品の電源を入れた後すぐに [クラウド] または [お役立ちツール] を押した場合は、ネットワーク接続がまだ確立されていない可能性があります。少し待ってから再度実行してください。
[ネットワーク接続エラー 03]	• ネットワークやサーバーの設定が間違っています。 • ネットワークまたはサーバーに問題があります。	• ネットワークの設定が正しいことを確認するか、少し待ってから後で再試行してください。 • 本製品の電源を入れた後すぐに [クラウド] または [お役立ちツール] を押した場合は、ネットワーク接続がまだ確立されていない可能性があります。少し待ってから再度実行してください。
[ネットワーク接続エラー 07]	日付と時刻の設定が間違っています。	日付と時刻を正しく設定します。本製品の電源コードが抜かれた場合、日付と時刻の設定がお買い上げ時の設定にリセットされる場合があります。

認証エラー

エラーメッセージ	原因	対処方法
[認証エラー 01]	このアカウントにアクセスするために入力した PIN コードが正しくありません。PIN コードは、本製品へのアカウントの登録時に入力した 4 桁の番号です。	正しい PIN コードを入力してください。
[認証エラー 02]	入力した仮登録 ID が間違っています。	正しい仮登録 ID を入力してください。
	入力した仮登録 ID は期限が切れています。仮登録 ID は 24 時間有効です。	再度、クラウド接続機能の利用申請を行い、新たに仮登録 ID を取得したら、新しい仮登録 ID を使って本製品にアカウントを登録してください。
[認証エラー 03]	表示名として入力した名前がすでに別のユーザーに登録されています。	別の表示名を入力してください。

サーバーエラー

エラーメッセージ	原因	対処方法
[サーバーエラー 01]	本製品の認証情報（サービスへのアクセスに必要）が、期限切れまたは無効です。	再度、クラウド接続機能の利用申請を行い、新たに仮登録 ID を取得したら、新しい仮登録 ID を使って本製品にアカウントを登録してください。
[サーバーエラー 03]	アップロードしようとしているファイルに、次のような問題があります。 • ファイルの画素数、ファイルサイズなどがサービスの制限を超えている。 • ファイル形式が非対応。 • ファイルが破損している。	このファイルは使えません。 • サービスが対応しているファイルサイズ、形式の上限を確認してください。 • 別のファイル形式で保存してください。 • 可能であれば、新しく破損していないファイルを取得してください。
[サーバーエラー 13]	ウェブサービスに問題があり、現在利用できません。	少し待ってから再度実行してください。このメッセージが再び表示された場合は、ウェブサービスが利用可能かどうかを確認するためにパソコンからウェブサービスにアクセスしてみてください。

ショートカットエラー

エラーメッセージ	原因	対処方法
[ショートカットエラー 02]	ショートカットが登録された後にアカウントが削除されたため、ショートカットは使用できません。	ショートカットを削除し、再度アカウントとショートカットを登録してください。

関連情報

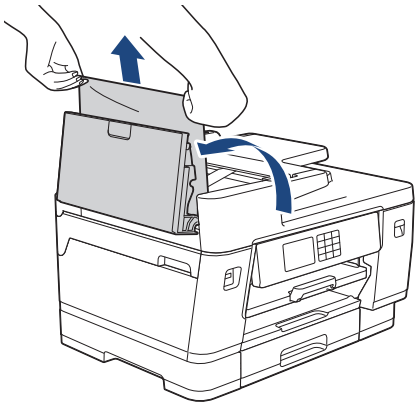
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

原稿が詰まったときは

- ADF(自動原稿送り装置)の上部の原稿詰まり
- ADF(自動原稿送り装置)の下部の原稿詰まり
- ADF(自動原稿送り装置)の内部の原稿詰まり
- ADF(自動原稿送り装置)に詰まった紙片を取り除く
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

ADF(自動原稿送り装置)の上部の原稿詰まり

1. ADF（自動原稿送り装置）から詰まっていない原稿をすべて取り除きます。
2. ADF カバーを開けます。
3. 詰まった原稿を上に引いて取り除きます。



4. ADF カバーを閉じます。
5. を押します。

重要

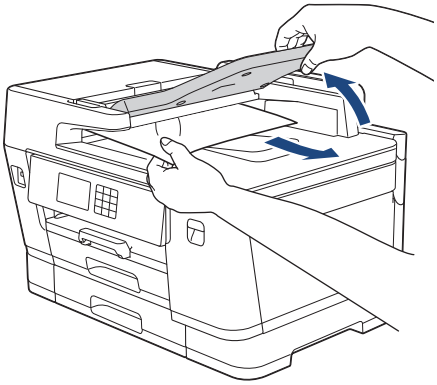
原稿詰まり防止のため、ADF カバーを閉じるときは、中央を押して、確実に閉じてください。

関連情報

- 原稿が詰まったときは

ADF(自動原稿送り装置)の下部の原稿詰まり

1. ADF（自動原稿送り装置）から詰まっていない原稿をすべて取り除きます。
2. ADF 原稿トレイを持ち上げ、詰まった原稿を取り除きます。



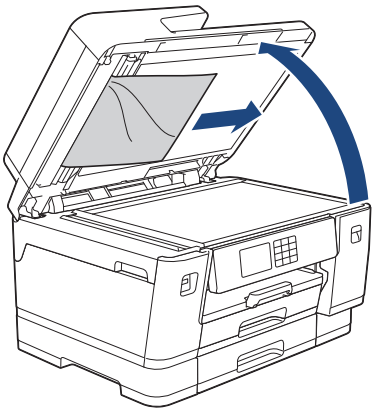
3. ❌を押します。

関連情報

- 原稿が詰まったときは

ADF(自動原稿送り装置)の内部の原稿詰まり

1. ADF（自動原稿送り装置）から詰まっていない原稿をすべて取り除きます。
2. 原稿台カバーを持ち上げます。
3. 詰まった原稿を右方向に引っ張り出します。



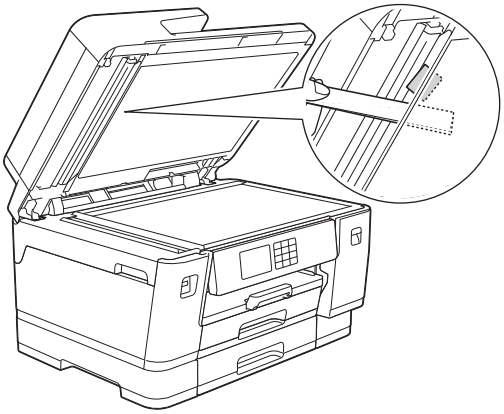
4. 原稿台カバーを閉じます。
5. を押します。

関連情報

- 原稿が詰まったときは

ADF(自動原稿送り装置)に詰まった紙片を取り除く

1. 原稿台カバーを持ち上げます。
2. ADF(自動原稿送り装置)に厚紙などの硬い紙を入れ、細かい紙片を押し出します。



3. 原稿台カバーを閉じます。
4. を押します。

関連情報

- 原稿が詰まったときは

用紙が詰まったときは

紙詰まりの位置を特定し、解消します。

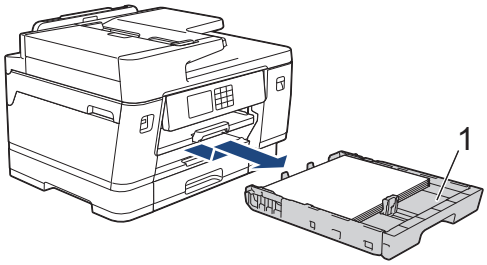
- 製品の前面の用紙詰まり
- 製品の背面の用紙詰まり
- 紙片を取り除く
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 用紙の取り扱いと印刷の問題

製品の前面の用紙詰まり

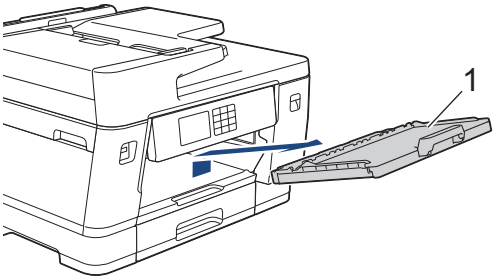
画面に以下の紙詰まりメッセージが表示された場合は、手順に従って取り除いてください。

- ［用紙詰まり［前/後ろ］］、［繰返し用紙詰まり［前/後ろ］］
- ［用紙詰まり［前］］、［繰返し用紙詰まり［前］］
- ［用紙詰まり［前/多目的トレイ］］、［繰返し用紙詰まり［前/多目的］］

1. 製品の電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 多目的トレイに用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。
3. 用紙トレイ#1（1）を、矢印のように本製品から完全に引き出します。

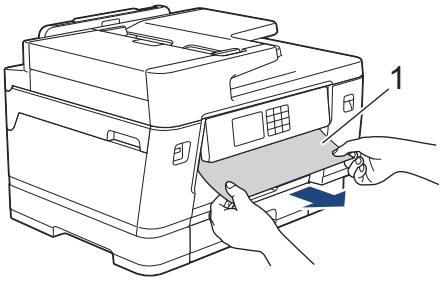


［繰返し用紙詰まり［前/後ろ］］など、画面に繰返し用紙詰まりのメッセージが表示された場合は、排紙トレイ（1）を持ち上げ、矢印のように本製品から引き出せる角度にして、完全に引き出します。



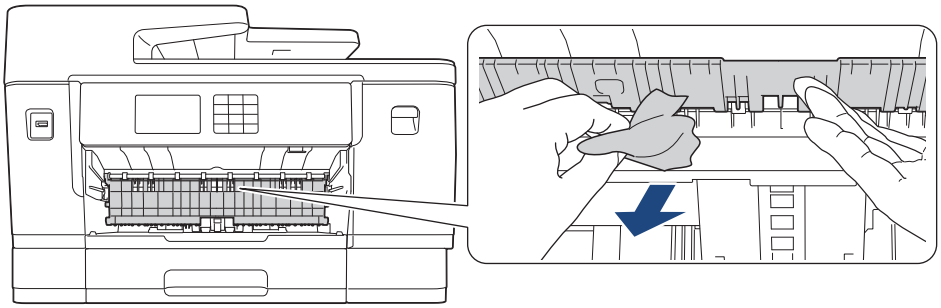
完了したら次の手順に進みます。

4. 詰まった紙（1）をゆっくりと引き抜きます。

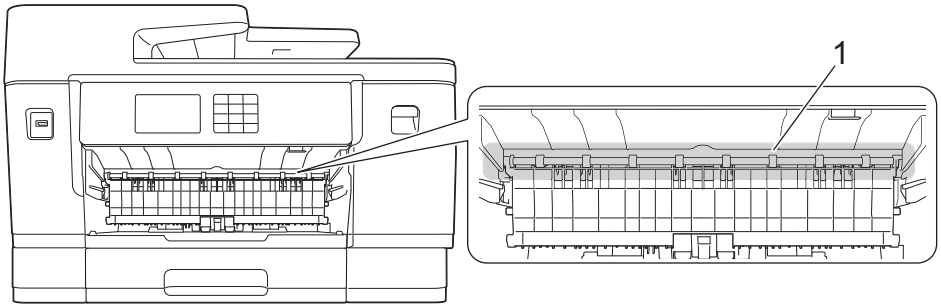


［繰返し用紙詰まり［前/後ろ］］など、画面に繰返し用紙詰まりのメッセージが表示された場合は、以下の操作を行います：

a. フラップを持ち上げて、詰まった紙を取り除きます。

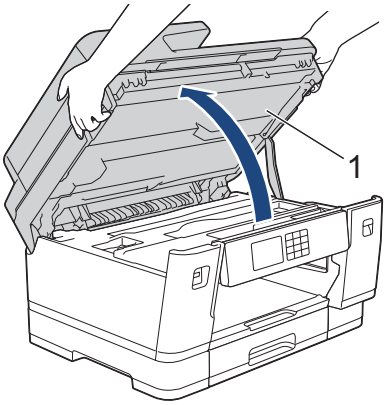


b. 内部（１）に紙片が残っていないかよく確認します。

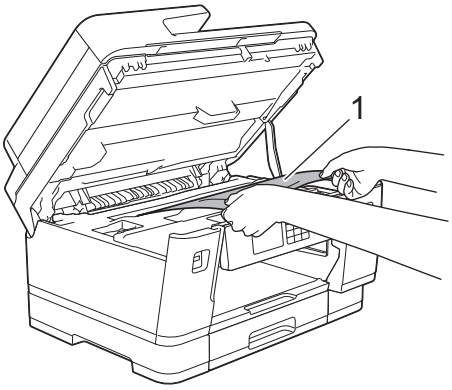


完了したら次の手順に進みます。

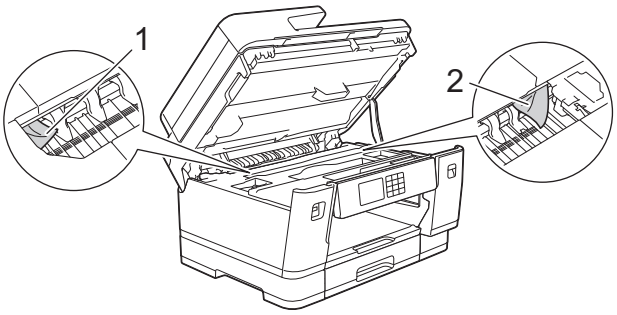
5. 本製品の左右側面にある指掛け部に指をかけて、両手で本体カバー（1）を保持される位置まで開きます。



6. 詰まった紙（1）を製品からゆっくりと抜き取ります。



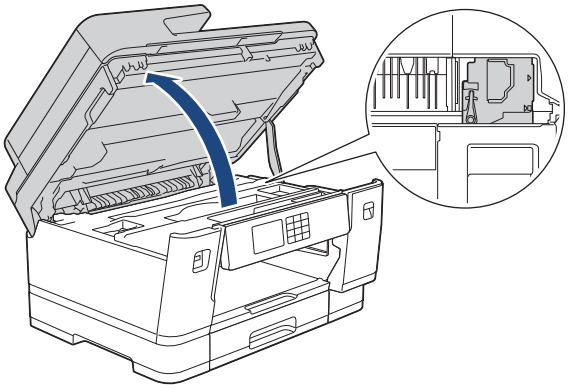
［繰返し用紙詰まり［前/後ろ］］など、画面に繰返し用紙詰まりのメッセージが表示された場合は、プリントヘッドを動かして、この部分に残っている紙を取り除いてください。製品の端（1）と（2）の部分に紙片が残っていないか確認してください。



完了したら次の手順に進みます。

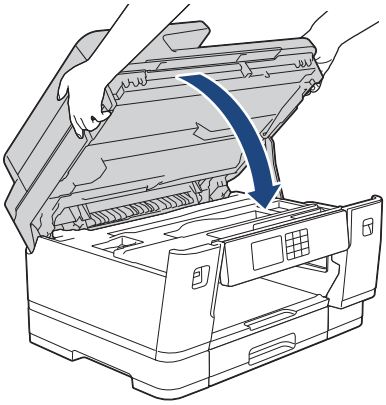
重要

- プリントヘッドがイラストのように右端にある場合は、プリントヘッドを動かすことはできません。本体カバーを閉じ、電源プラグをコンセントに差し込み直します。再度本体カバーを開け、プリントヘッドが中央に移動するまで❌を長押しします。 その後、電源プラグを抜いて、用紙を取り除きます。

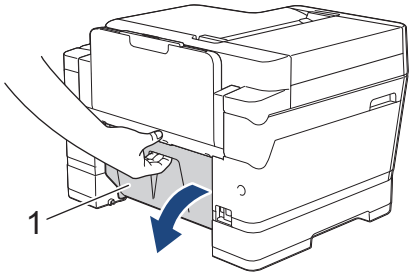


- プリントヘッドの下で紙が詰まった場合は、電源プラグを抜き、プリントヘッドを動かして紙を取り除きます。
- インクが皮膚や衣服に付着したときは、すぐに石けんや洗剤で洗い流してください。

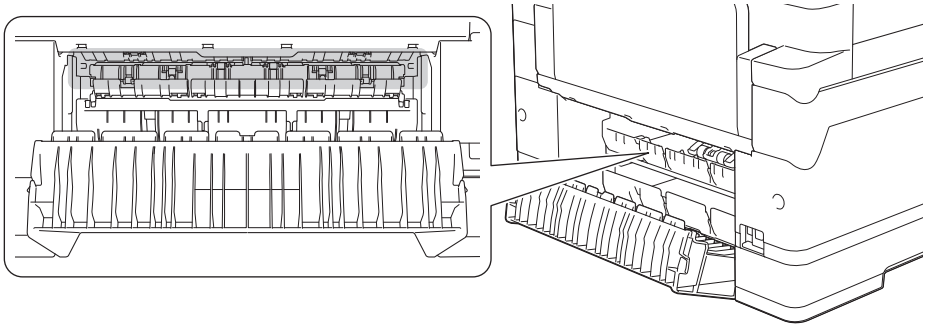
7. 本製品の左右側面にある指掛け部に指をかけて、本体カバーをゆっくりと閉じます。



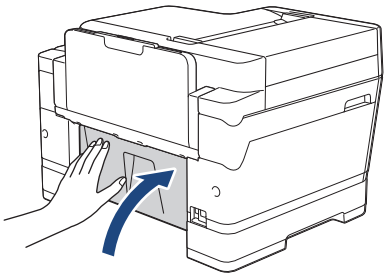
8. 画面に［用紙詰まり［前/後ろ］］または［繰返し用紙詰まり［前/後ろ］］が表示された場合は、以下の操作を行います。
   a. 製品の背面の紙詰まり解除カバー（1）を開きます。



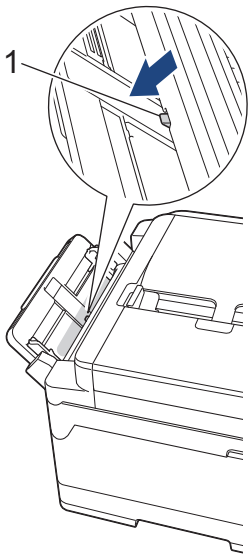
b. 内部をよく確認し、紙が詰まっている場合は、本製品からゆっくりと抜き取ります。



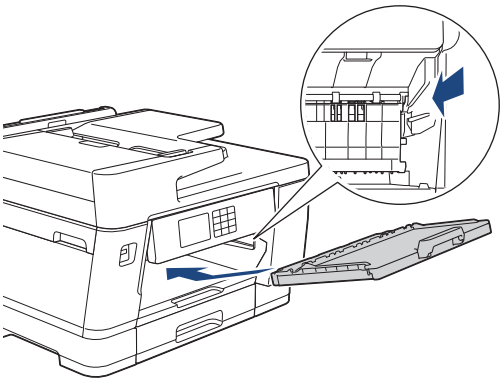
c. 紙詰まり解除カバーを閉じます。カバーが完全に閉じたか確認してください。



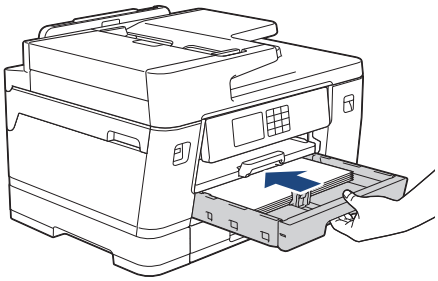
9. 画面に［用紙詰まり［前/多目的トレイ］］または［繰返し用紙詰まり［前/多目的］］が表示された場合は、多目的トレイの中に詰まった紙がないか、よく確認してください。解除レバー（1）を製品の後ろ方向に押し、詰まった紙を多目的トレイからゆっくりと抜き取ります。



10. ［繰返し用紙詰まり［前/後ろ］］など、画面に繰返し用紙詰まりメッセージが表示されて排紙トレイを取り外した場合は、しっかりと元に戻してください。排紙トレイがしっかりと溝にはまっていることを確認してください。



11. 用紙トレイ#1 をゆっくりと確実に本製品に戻します。



12. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

紙詰まりを繰り返す場合は、小さな紙片が製品に挟まっている可能性があります。「関連情報」をご覧ください：紙片を取り除く

関連情報

- 用紙が詰まったときは

関連トピック：

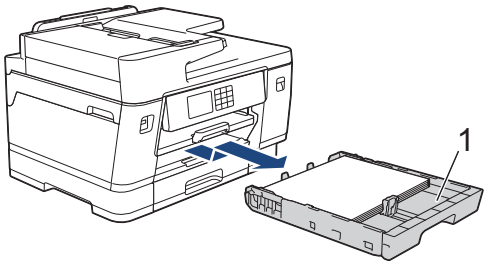
- ファクスや通信管理レポートの転送
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 紙片を取り除く

製品の背面の用紙詰まり

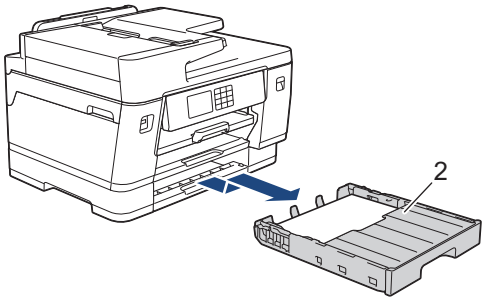
画面に以下の紙詰まりメッセージが表示された場合は、手順に従って取り除いてください。

- [用紙詰まり[後ろ]]、[繰返し用紙詰まり[後ろ]]
- [用紙詰まり[多目的トレイ]]、[繰返し用紙詰まり[多目的]]
- [用紙詰まり[トレイ 2]]、[繰返し用紙詰まり[トレイ 2]]
- [用紙詰まり[トレイ 3]]、[繰返し用紙詰まり[トレイ 3]]

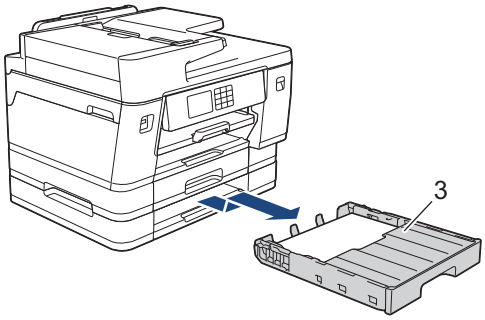
1. 製品の電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 多目的トレイに用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。
3. 用紙トレイ#1（1）を、矢印のように本製品から完全に引き出します。



（MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）画面に[用紙詰まり[トレイ 2]]または[繰返し用紙詰まり[トレイ 2]]が表示された場合は、用紙トレイ#2（2）も矢印のように本製品から完全に引き出します。

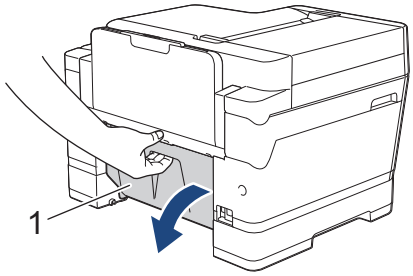


（MFC-J7600CDW）画面に[用紙詰まり[トレイ 3]]または[繰返し用紙詰まり[トレイ 3]]が表示された場合は、用紙トレイ#3（3）も矢印のように本製品から完全に引き出します。

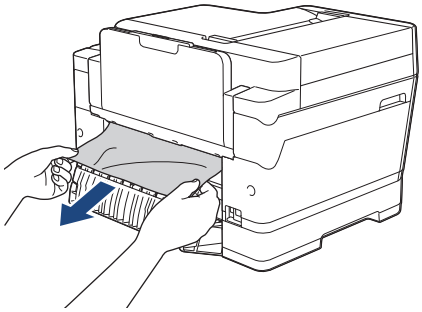


完了したら次の手順に進みます。

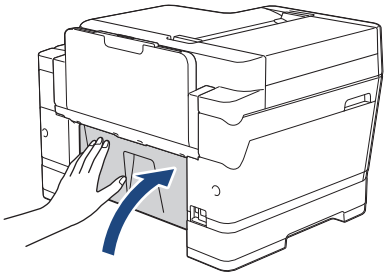
4. 画面に[用紙詰まり[後ろ]]、[繰返し用紙詰まり[後ろ]]、[用紙詰まり[トレイ 2]]、[繰返し用紙詰まり[トレイ 2]]、[用紙詰まり[トレイ 3]]または[繰返し用紙詰まり[トレイ 3]]が表示された場合は、以下の操作を行います：
   a. 製品の背面の紙詰まり解除カバー（1）を開きます。



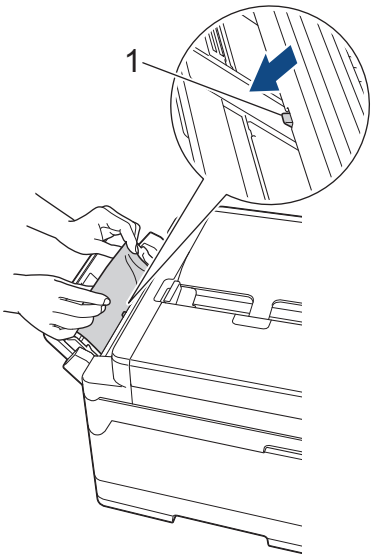
b. 詰まった紙を製品からゆっくりと抜き取ります。



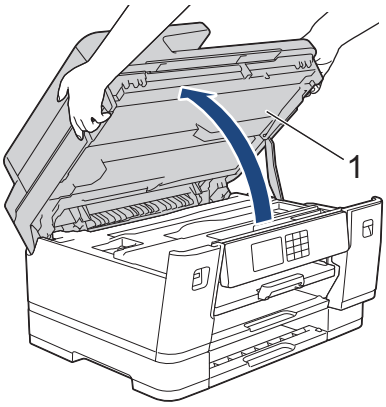
c. 紙詰まり解除カバーを閉じます。カバーが完全に閉じたか確認してください。



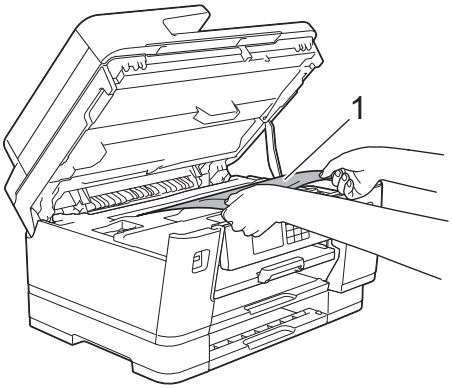
5. 画面に［用紙詰まり［多目的トレイ］］または［繰返し用紙詰まり［多目的］］が表示された場合は、解除レバー（1）を製品の後ろ方向に押し、詰まった紙を多目的トレイからゆっくりと抜き取ります。



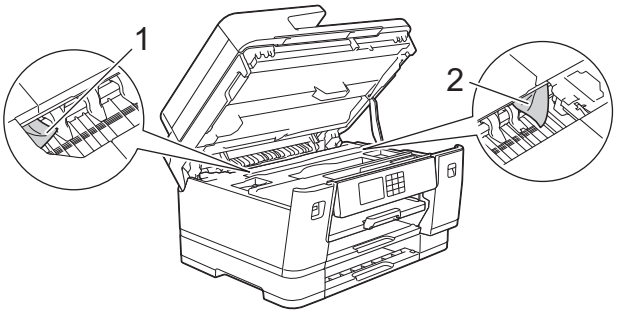
6. 本製品の左右側面にある指掛け部に指をかけて、両手で本体カバー（1）を保持される位置まで開きます。



7. 詰まった紙（1）を製品からゆっくりと抜き取ります。



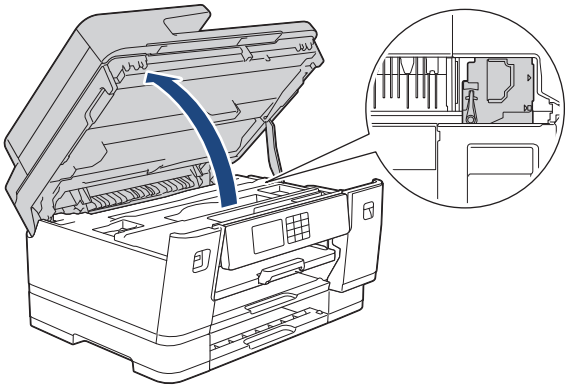
［繰返し用紙詰まり［後ろ］］など、画面に繰返し用紙詰まりのメッセージが表示された場合は、プリントヘッドを動かして、この部分に残っている紙を取り除いてください。製品の端（1）と（2）の部分に紙片が残っていないか確認してください。



完了したら次の手順に進みます。

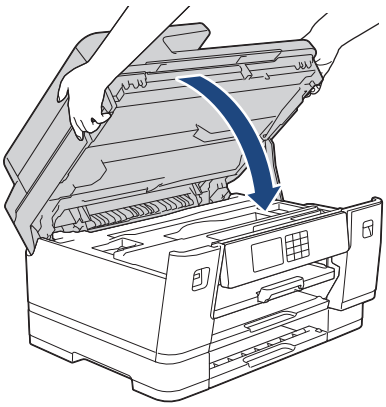
重要

- プリントヘッドがイラストのように右端にある場合は、プリントヘッドを動かすことはできません。本体カバーを閉じ、電源プラグをコンセントに差し込み直します。再度本体カバーを開け、プリントヘッドが中央に移動するまで❌を長押しします。 その後、電源プラグを抜いて、用紙を取り除きます。

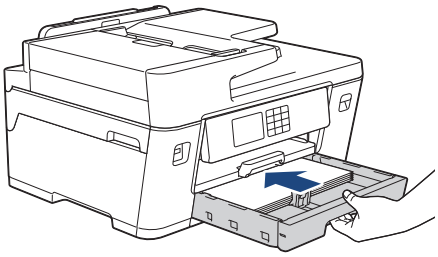


- プリントヘッドの下で紙が詰まった場合は、電源プラグを抜き、プリントヘッドを動かして紙を取り除きます。
- インクが皮膚や衣服に付着したときは、すぐに石けんや洗剤で洗い流してください。

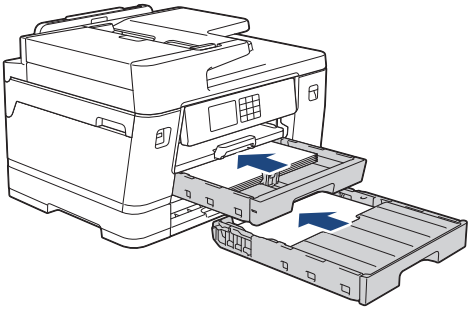
8. 本製品の左右側面にある指掛け部に指をかけて、本体カバーをゆっくりと閉じます。



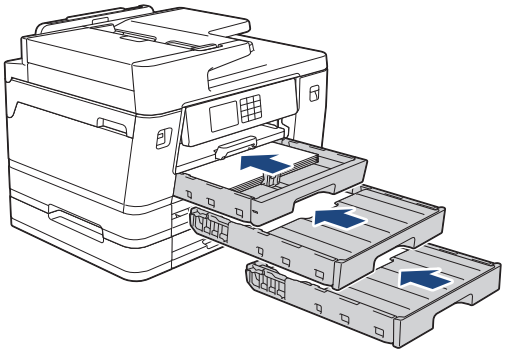
9. 用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けます。
   - MFC-J7100CDW



   - MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW



   - MFC-J7600CDW



10. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

紙詰まりを繰り返す場合は、小さな紙片が製品に挟まっている可能性があります。「関連情報」をご覧ください：紙片を取り除く

関連情報

- 用紙が詰まったときは

関連トピック：

- ファクスや通信管理レポートの転送
- 紙片を取り除く

紙片を取り除く

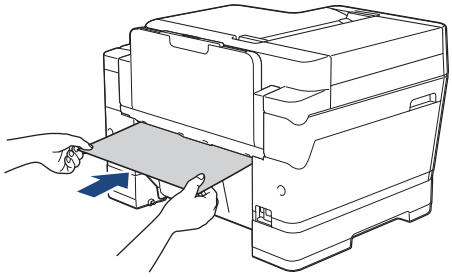
1. 紙詰まりが繰り返し（3 回以上）発生している場合は、画面に紙片を取り除くかどうか確認するメッセージが表示されます。

   ［はい］を押してホーム画面に戻ります。

2. ［メニュー］ > ［ﾒﾝﾃﾅﾝｽ］ > ［詰まった紙片の除去］を押します。

3. 画面の指示に従い、紙詰まりの場所を確認して取り除きます。

手順では、イラストのように紙詰まり解消シート（本製品に付属）を横向きにして開口部に通し、引き込まれるまで本製品に挿入します。（紙詰まり解消シートが無い場合は、光沢紙などの厚めの A4 またはレターサイズの紙を 1 枚使用します。）



関連情報

- 用紙が詰まったときは

関連トピック：

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- 製品の前面の用紙詰まり
- 製品の背面の用紙詰まり

本製品に問題がある場合は

技術的なサポートについては、ブラザーコールセンターへお問い合わせください。

本製品に問題があると思われる場合は、以下の項目を確認してください。ほとんどの問題はご自身で解決できます。

さらに情報が必要な場合は、support.brother.co.jp にアクセスし、**よくあるご質問 (Q&A)**ページに移動してください。

ブラザー純正以外の部品を使用すると、印刷品質、ハードウェア性能、および製品の信頼性に影響する場合があります。

- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- 電話とファクスの問題
- その他の問題
- ネットワークの問題
- AirPrint の問題

用紙の取り扱いと印刷の問題

以下の表をお読みになっても、問題が解決しない場合は、support.brother.co.jp の**よくあるご質問 (Q&A)**をご覧ください。

>> 印刷の問題
>> 印刷品質の問題
>> 用紙の取り扱いの問題
>> 受信したファクスの印刷

印刷の問題

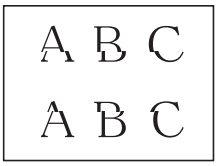
問題	対応
印刷されない。	（Windows） 適切にプリンタードライバーがインストールされ、選択されていることを確認します。
	本製品の画面にエラーメッセージが表示されているかどうか確認します。 「関連情報」をご覧ください： エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
	本製品がオンラインであることを確認します。 • Windows 10、Windows Server 2016、および Windows Server 2019 > **Windows システム ツール** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。**Brother XXX-XXXX Printer** を右クリックします（XXX-XXXX はお使いのモデル名）。**印刷ジョブの表示**をクリックします。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。メニューバーで**プリンター**をクリックし、**プリンターをオフラインで使用する**が選択されていないことを確認します。 • Windows 8.1 マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。**Brother XXX-XXXX Printer** を右クリックします（XXX-XXXX はお使いのモデル名）。**印刷ジョブの表示**をクリックします。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。メニューバーで**プリンタ**をクリックし、**プリンタをオフラインで使用する**が選択されていないことを確認します。 • Windows Server 2012 R2 **スタート**画面で**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。**Brother XXX-XXXX Printer** を右クリックします（XXX-XXXX はお使いのモデル名）。**印刷ジョブの表示**をクリックします。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。メニューバーで**プリンタ**をクリックし、**プリンタをオフラインで使用する**が選択されていないことを確認します。 • Windows Server 2012 マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。**Brother XXX-XXXX Printer** を右クリックします（XXX-XXXX はお使いのモデル名）。**印刷ジョブの表示**をクリックします。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。メニューバーで**プリンタ**をクリックし、**プリンタをオフラインで使用する**が選択されていないことを確認します。 • Windows 7 および Windows Server 2008 R2 **(スタート)** > **デバイスとプリンター**をクリックします。**Brother XXX-XXXX Printer** を右クリックし（XXX-XXXX はお使いのモデル名）、**印刷ジョブの表示**をクリックします。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。メニューバーの**プリンタ**をクリ

問題	対応
	ックします。**プリンタをオフラインで使用する**が選択されていないことを確認します。 • Windows Server 2008 **(スタート) > コントロール パネル > ハードウェアとサウンド > プリンタ** **Brother XXX-XXXX Printer** を右クリックします（XXX-XXXX はお使いのモデル名）。**プリンタをオフラインで使用する**が一覧にないことを確認します。一覧にある場合、このオプションをクリックして、ドライバーをオンラインで設定します。
	1 色または複数のインクカートリッジがなくなりました。 「関連情報」をご覧ください：インクカートリッジを交換する
	プリンタードライバーのスプーラーに印刷に失敗した古いデータが残っているため、新しい印刷ジョブのデータが印刷されません。プリンターのアイコンを開き、すべてのデータを削除します。 • Windows 10、Windows Server 2016、および Windows Server 2019 **> Windows システム ツール > コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示 > プリンター**をクリックします。 • Windows 8.1 マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定 > コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示 > プリンター**をクリックします。 • Windows Server 2012 R2 **スタート**画面で**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示 > プリンタ**をクリックします。 • Windows Server 2012 マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定 > コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示 > プリンタ**をクリックします。 • Windows 7 および Windows Server 2008 R2 **(スタート) > デバイスとプリンター > プリンターと FAX** をクリックします。 • Windows Server 2008 **(スタート) > コントロール パネル > ハードウェアとサウンド > プリンタ**をクリックします。 • Mac **システム環境設定 > プリンタとスキャナ**をクリックします。
画面上では文書のヘッダーまたはフッターが表示されるが、印刷すると表示されない。	ページの上部と下部に印刷できない領域があります。この領域を考慮に入れて、文書の上下の余白を調整してください。 「関連情報」をご覧ください：印刷できない範囲
「レイアウト」印刷ができない。	（Windows ） アプリケーションとプリンタードライバーの用紙サイズ設定が同一であることを確認します。
印刷速度が遅すぎる。	（Windows） プリンタードライバーの設定を変更してください。解像度を一番高く設定していると、データの処理、送信、および印刷の時間が長くなります。以下のように、プリンタードライバーで印刷品質を設定してみます。 プリンタードライバーで、**色補正**チェックボックス（**拡張機能**タブ）の選択を外します 。
	ふちなし印刷機能をオフにします。ふちなし印刷では通常印刷よりも速度が遅くなります。 「関連情報」をご覧ください：印刷設定（*Windows*）

問題	対応
	静音モード設定をオフにします。静音モードでは速度が遅くなります。「関連情報」をご覧ください：印刷音を軽減する
	プリンタードライバーまたはアプリケーションの用紙種類設定または本製品の用紙タイプ設定が、お使いの用紙と一致していることを確認します。 「関連情報」をご覧ください： 用紙サイズと用紙タイプを変更する 「関連情報」をご覧ください：印刷設定（*Windows*）

印刷品質の問題

問題	対応
印刷品質が悪い。	印刷品質を確認してください。 「関連情報」をご覧ください：印刷品質をチェックする
	プリンタードライバーまたはアプリケーションの用紙種類設定または本製品の用紙タイプ設定が、お使いの用紙と一致していることを確認します。 「関連情報」をご覧ください： 用紙サイズと用紙タイプを変更する 「関連情報」をご覧ください：印刷設定（*Windows*）
	インクカートリッジが新しいことを確認します。以下の原因により、インクが詰まっている可能性があります。 • カートリッジのパッケージに記載された有効期限が切れています。 • インクカートリッジが、使用前に正しく保管されていなかった可能性があります。
	純正のブラザーインクを使用していることを確認してください。ブラザーでは、ブラザー純正以外のカートリッジの使用や、使用済のカートリッジに他のインクを詰め替えることを推奨しておりません。
	お使いの用紙が推奨されている用紙であることを確認してください。 「関連情報」をご覧ください：使用可能な印刷用紙について
	本製品は、20°C～33°C の環境で使用することを推奨します。
文字や画像に白い筋が入る。 	プリントヘッドをクリーニングしてください。 「関連情報」をご覧ください：本製品からプリントヘッドのクリーニングをする 「関連情報」をご覧ください：*Web Based Management* を使用してプリントヘッドをクリーニングする 「関連情報」をご覧ください：パソコンからプリントヘッドのクリーニングをする（*Windows*）
	用紙送りを確認し、調整してください。「関連情報」をご覧ください：用紙送りを調整して縦線をなくす
	純正のブラザーインクを使用していることを確認してください。
	推奨されている種類の用紙を使ってみてください。 「関連情報」をご覧ください：使用可能な印刷用紙について
	プリントヘッドの寿命を延ばしたり、インクカートリッジを節約したり、印刷品質を維持するために、電源プラグを頻繁に抜くことや、長期間電源プラグを抜いたままにしておくことは推奨しておりません。本製品の電源を切る場合は、⏻を使うことをお勧めします。⏻を使うと、最小限の電力で定期的に、頻繁にはならない周期でプリントヘッドをクリーニングします。
濃い筋が周期的に入る。	用紙送りを確認し、調整してください。 「関連情報」をご覧ください：用紙送りを調整して縦線をなくす

問題	対応
空白ページが印刷される。	印刷品質を確認してください。 「関連情報」をご覧ください：印刷品質をチェックする
	純正のブラザーインクを使用していることを確認してください。
	プリントヘッドの寿命を延ばしたり、インクカートリッジを節約したり、印刷品質を維持するために、電源プラグを頻繁に抜くことや、長期間電源プラグを抜いたままにしておくことは推奨しておりません。本製品の電源を切る場合は、⏻を使うことをお勧めします。⏻を使うと、最小限の電力で定期的に、頻繁にはならない周期でプリントヘッドをクリーニングします。
文字や線がぼやける。  	罫線ずれのチェックを行ってください。 「関連情報」をご覧ください： 罫線ずれ、文字ぶれを改善する
	印刷設定オプションを変更してください。 「関連情報」をご覧ください：印刷設定オプションを変更して印刷結果を改善する
文字や画像が斜めに印刷される。	用紙が用紙トレイに正しくセットされ、用紙ガイドが正しく合わせられているか確認してください。 「関連情報」をご覧ください：用紙のセット
	紙詰まり解除カバーが正しく閉まっているか確認してください。
印刷面の中央上部に汚れやしみがある。	用紙が厚すぎないか、カールしていないか確認してください。 「関連情報」をご覧ください：使用可能な印刷用紙について
印刷が汚れたりインクがにじんで見える。	推奨されている種類の用紙を使用しているか確認してください。インクが乾くまで用紙に触らないでください。 「関連情報」をご覧ください：使用可能な印刷用紙について
	用紙が印刷したい面を下にしてトレイにセットされているか確認してください。
	純正のブラザーインクを使用していることを確認してください。
	写真用紙を使用している場合、光沢面を下にしてトレイにセットされているか、正しい用紙タイプを設定しているか確認してください。パソコンから写真を印刷する場合は、プリンタードライバーまたは印刷に使用するアプリケーションで用紙種類を設定します。
写真光沢紙を使うとインクがにじんだり乾きにくい。	用紙の表裏を確認してください。光沢面（印刷したい面）を下にしてセットしてください。 「関連情報」をご覧ください： 用紙サイズと用紙タイプを変更する
	写真光沢紙を使用している場合は、用紙タイプの設定が正しいか確認してください。
裏面やページの下部にしみがつく。	プラテンがインクで汚れていないか確認してください。 「関連情報」をご覧ください：本製品のプラテンを清掃する
	純正のブラザーインクを使用していることを確認してください。
	排紙ストッパーを使用しているか確認してください。 「関連情報」をご覧ください：用紙のセット
	排紙ローラーがインクで汚れていないか確認してください。 「関連情報」をご覧ください：排紙ローラーを清掃する
印刷された用紙がしわになる。	（Windows）

問題	対応
	プリンタードライバーで**拡張機能**タブを選択し、**その他特殊機能**をクリックして**カラー詳細設定**をクリックします。**双方向印刷**チェックボックスの選択を外します。
	純正のブラザーインクを使用していることを確認してください。
自動両面印刷のとき、用紙の裏面が汚れる。	（Windows） プリンタードライバーのプロパティーまたは詳細設定で用紙汚れの低減オプションを変更します。 「関連情報」をご覧ください：にじみや紙詰まりを防ぐ（*Windows*）

用紙の取り扱いの問題

問題	対応
製品に用紙が送り込まれていかない。	用紙トレイが、固定される位置までしっかり押し込まれていることを確認します。
	本製品背面の紙詰まり解除カバーが閉まっていることを確認します。
	本製品の画面に用紙詰まりメッセージが表示され、解決できない場合は、「関連情報」をご覧ください： エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
	用紙トレイが空の場合は、新しい用紙の束を用紙トレイにセットします。
	用紙トレイに紙が残っている場合は、曲がっていないか確認します。用紙がカールしている場合は、まっすぐな状態に伸ばします。一旦用紙の束を取り出し、裏表を逆にしてから用紙トレイへ戻すと問題が解決する場合があります。
	用紙トレイにある用紙の量を減らし、再度印刷してください。
	給紙ローラーを掃除してください。 「関連情報」をご覧ください：用紙トレイ*#1* の給紙ローラーを清掃するまたは、用紙トレイ*#2* と用紙トレイ*#3* の給紙ローラーを清掃する
	本製品の仕様に合った用紙が使われていることを確認します。 「関連情報」をご覧ください：用紙トレイにセットできる用紙の向きと容量について
写真用紙がうまく給紙されない。	写真用紙に印刷するときは、実際に印刷したい枚数より 1 枚多く用紙トレイにセットしてください。
用紙が複数枚送り込まれる。	• 用紙トレイに用紙が正しくセットされているか確認してください。 • トレイからすべての用紙を取り出し、用紙をよくさばいてからトレイに入れ直してください。 • 用紙を押し込みすぎないでください。 「関連情報」をご覧ください：用紙のセット
	紙詰まり解除カバーが正しく閉まっているか確認してください。 「関連情報」をご覧ください：用紙が詰まったときは
	用紙トレイにあるベースパッドが汚れていないか確認してください。 「関連情報」をご覧ください：ベースパッドを清掃する
用紙が詰まる。	「関連情報」をご覧ください：用紙が詰まったときは 用紙ガイドが正しい用紙サイズに調整されていることを確認してください。
	紙詰まり防止の設定を使用してください。 コピーの場合： 「関連情報」をご覧ください：印刷設定オプションを変更して印刷結果を改善する 印刷の場合： 「関連情報」をご覧ください：にじみや紙詰まりを防ぐ（*Windows*）
用紙が何度も詰まる。	紙詰まりを繰り返す場合は、小さな紙片が製品に挟まっている可能性があります。製品内にまだ紙が詰まっていないか確認します。 「関連情報」をご覧ください：紙片を取り除く

問題	対応
両面印刷時に紙詰まりが発生する。	両面印刷中に紙詰まりが頻発する場合は、排紙ローラーがインクで汚れている可能性があります。排紙ローラーを清掃します。 「関連情報」をご覧ください：排紙ローラーを清掃する

受信したファクスの印刷

問題	対応
• 偏って印刷される。 • 横筋が入る。 • 上部と下部の文字が切れている。 • 印刷されない行がある。	この問題は通常、電話回線の状況がよくないために起こります。コピーをしてみて品質に問題がなければ、電話回線に障害や干渉など接続に問題が起きている可能性があります。相手に、ファクスの再送信を依頼してください。
受信した用紙に黒い線が現れる。	送信者のファクス機の読み取り部分が汚れています。送信者にコピーをするように依頼して、送信者のファクス機に問題がないかどうか確認します。 他のファクス機から送信してもらうように依頼してください。
左右の余白が切れたり、1 つのページが 2 枚の用紙に印刷される。	受信ファクスが分割されて、2 ページに分かれて印刷される場合、または余分な空白ページが出力される場合は、使用している用紙に対して、用紙サイズ設定が正しくない可能性があります。 「関連情報」をご覧ください：用紙サイズと用紙タイプを変更する
	自動縮小機能をオンにします。 「関連情報」をご覧ください：サイズを超えた受信ファクスのサイズを縮小する
受信したカラーファクスがモノクロでしか印刷されない。	残り少なくなっているカラーインクカートリッジを交換し、送信者にカラーファクスを再度送信してもらうよう依頼してください。 「関連情報」をご覧ください：インクカートリッジを交換する

関連情報

- 本製品に問題がある場合は

関連トピック：

- トラブルシューティング
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- インクカートリッジを交換する
- 印刷品質をチェックする
- 使用可能な印刷用紙について
- 本製品からプリントヘッドのクリーニングをする
- Web Based Management を使用してプリントヘッドをクリーニングする
- パソコンからプリントヘッドのクリーニングをする（Windows）
- 罫線ずれ、文字ぶれを改善する
- 用紙のセット
- 本製品のプラテンを清掃する
- 排紙ローラーを清掃する
- 用紙トレイ#1 の給紙ローラーを清掃する
- 用紙トレイ#2 と用紙トレイ#3 の給紙ローラーを清掃する
- 用紙が詰まったときは
- サイズを超えた受信ファクスのサイズを縮小する
- 印刷設定（Windows）
- にじみや紙詰まりを防ぐ（Windows）
- ベースパッドを清掃する
- 印刷設定オプションを変更して印刷結果を改善する

- 印刷音を軽減する
- 紙片を取り除く
- 用紙送りを調整して縦線をなくす
- 印刷できない範囲
- 用紙サイズと用紙タイプを変更する
- 用紙トレイにセットできる用紙の向きと容量について

電話とファクスの問題

>> 電話回線や接続
>> 着信電話の取り扱い
>> ファクス受信
>> ファクス送信

電話回線や接続

問題	対応
電話発信できない。（ダイヤルトーン（ツーという音）が聞こえない）	すべての回線接続を確認します。電話機コードが、壁側の電話用差し込み口および、本製品の LINE と示された差し込み口に差し込まれていることを確認します。
	電話回線の状態を確認してください。 「関連情報」をご覧ください： 現在の電話回線状態を確認する
	プッシュ回線／ダイヤル回線を変更します。 「関連情報」をご覧ください：プッシュ回線またはダイヤル回線を設定する
	ダイヤルトーンが聞こえない場合、別の使用可能な電話機と電話機コードを、 差し込み口に接続します。その後、接続した電話の受話器を取り、ダイヤルトーンが聞こえるかどうか確認します。これでもダイヤルトーンが聞こえない場合、電話会社に問い合わせて、回線および／または壁側の差し込み口を調べてもらいます。
着信音がなっても製品が応答しない。	本製品の設定で、正しい受信モードになっていることを確認します。 「関連情報」をご覧ください：正しい受信モードを選択する ダイヤルトーンを確認します。可能であれば、本製品に電話をかけ、応答するかどうか確認します。それでも応答がない場合、電話機コードが壁側の電話用差し込み口および、本製品の LINE と示された差し込み口に差し込まれていることを確認します。本製品に電話をかけても着信音が鳴らない場合、電話会社に問い合わせて回線を調べてもらいます。
ダイヤルインが機能しない。	本製品は、NTT のダイヤルインサービスには対応していません。

着信電話の取り扱い

問題	対応
電話を受けたときにすぐ電話が切れてしまう。	電話会社のナンバーディスプレイサービスを契約している場合、本製品での設定も必要です。 「関連情報」をご覧ください： ナンバーディスプレイを利用する
電話番号が本製品に表示されない。	電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約の有無をご確認の上、状況に合わせて再度設定をしてください。 「関連情報」をご覧ください： ナンバーディスプレイを利用する
	電話機コードをブランチ接続（並列接続）にしていないか確認してください。正しい接続については、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

ファクス受信

問題	対応
ファクスを受信できない。	すべての回線接続を確認します。電話機コードが、壁側の電話用差し込み口および、本製品の LINE と示された差し込み口に差し込まれていることを確認します。
	電話回線の状態を確認してください。 「関連情報」をご覧ください： 現在の電話回線状態を確認する
	本製品が適切な受信モードになっていることを確認します。 「関連情報」をご覧ください：正しい受信モードを選択する

問題	対応
	• 専用ファクス回線をお持ちで、本ブラザー製品に全てのファクスに自動的に応答させたい場合は、ファクス専用モードを選択する必要があります。 • 本ブラザー製品に外付け留守番電話機を接続している場合は、留守=外付け留守電モードを選択する必要があります。留守=外付け留守電モードでは、本ブラザー製品が自動的にファクスを受信し、音声通話者は留守番電話機にメッセージを残すことができます。 • 本ブラザー製品に外付け電話を接続し、全てのファクスを本製品で自動受信させたい場合は、F/T=自動切換えモードを選択します。F/T=自動切換えモードでは、本製品は自動的にファクスを受信し、再呼出ベルを鳴らして、ユーザーに音声通話に応答するよう知らせます。 • 本ブラザー製品が受信ファクスに自動的に応答しないようにするには、TEL=電話モードに設定する必要があります。TEL=電話モードでは、お客様がすべての着信に応答し、本製品を手動で操作してファクスを受信する必要があります。
	通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスを送受信する場合は、安心通信モードの設定を変更してみてください。 「関連情報」をご覧ください：安心通信モードを設定する
	本製品を PBX（構内交換機）または ISDN などの回線に接続している場合、電話回線種類のメニューで、お使いの電話回線を指定します。 「関連情報」をご覧ください：電話回線タイプを設定する
	転送電話（ボイスワープ）の設定をしていると、電話とファクスはすべて転送先へ送られます。詳しくはご利用の電話会社にお問い合わせください。

ファクス送信

問題	対応
ファクスを送信できない。	すべての回線接続を確認します。電話機コードが、壁側の電話用差し込み口および、本製品の LINE と示された差し込み口に差し込まれていることを確認します。
	電話回線の状態を確認してください。 「関連情報」をご覧ください： 現在の電話回線状態を確認する
	送信結果レポートを印刷し、エラーについて確認します。 「関連情報」をご覧ください：レポートを印刷する
	管理者に問い合わせて、お客様のセキュリティ機能ロックの設定値を確認します。
	送信相手のファクス機に用紙がセットされていることを確認します。
送信結果が良くない。	解像度設定を、ファインまたはスーパーファインに変更してみてください。コピーをして本製品の読み取り動作を確認します。コピー品質が良くない場合、スキャナーを清掃してください。 「関連情報」をご覧ください：スキャナーを清掃する
送信結果レポートに「結果：エラー」と出力される。	回線上の一時的なノイズや雑音が原因の場合があります。もう一度ファクスを送信してみてください。PC-FAX でファクスを送信し、送信結果レポートに「結果：エラー」と出力された場合、本製品のメモリーが不足している可能性があります。 メモリーの空き容量を確保するには、メモリー保持のみ設定をオフにする、メモリー内のファクスを印刷する、またはタイマー予約したファクスをキャンセルしてください。 問題が解決しない場合は、電話会社に問い合わせて、お使いの電話回線を確認します。 「関連情報」をご覧ください： メモリー受信をオフにする 「関連情報」をご覧ください：本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する 「関連情報」をご覧ください：ファクス送信をキャンセルする 「関連情報」をご覧ください：送信待ちファクスを確認、キャンセルする
	本製品を PBX（構内交換機）や ISDN 回線に接続している場合、設定メニューで電話回線種別をお使いの電話回線に合わせてください。 「関連情報」をご覧ください：電話回線タイプを設定する

問題	対応
	通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスを送受信する場合は、安心通信モードの設定を変更してみてください。 「関連情報」をご覧ください：安心通信モードを設定する
送信したファクスが空白ページになる。	送信する原稿を必ず正しくセットしてください。 「関連情報」をご覧ください： *ADF*（自動原稿送り装置）に原稿をセットする 「関連情報」をご覧ください：原稿台ガラスに原稿をセットする
原稿サイズと違うサイズでファクスが送信される。	色が濃い原稿や透明シートなど、原稿によってはサイズが正しく検知されない場合があります。お使いの原稿サイズに合わせて、原稿サイズ設定で正しいサイズを選択してください。
	（MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）ADF（自動原稿送り装置）の原稿センサーが、誤った原稿サイズを検出している可能性があります。ADF（自動原稿送り装置）の原稿センサーを清掃してください。 「関連情報」をご覧ください：*ADF*（自動原稿送り装置）の原稿センサーを清掃する
送信ファクスに黒い縦線が入る。	送信ファクスに現れる黒い縦線の多くは、ADF 読み取り部の汚れまたは、修正液が原因で発生します。ADF 読み取り部を掃除してください。 「関連情報」をご覧ください：スキャナーを清掃する

関連情報

- 本製品に問題がある場合は
  - 電話回線タイプを設定する
  - ダイヤルトーン検出を設定する
  - 安心通信モードを設定する
  - 現在の電話回線状態を確認する

関連トピック：

- トラブルシューティング
- プッシュ回線またはダイヤル回線を設定する
- 正しい受信モードを選択する
- 親切受信を設定する
- 本製品が着信応答するまでの着信音の回数を設定する（呼出ベル回数）
- レポートを印刷する
- スキャナーを清掃する
- ADF（自動原稿送り装置）の原稿センサーを清掃する
- メモリー受信をオフにする
- 本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する
- ファクス送信をキャンセルする
- 送信待ちファクスを確認、キャンセルする
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする
- 原稿台ガラスに原稿をセットする
- ナンバーディスプレイを利用する

電話回線タイプを設定する

ファクス送受信用に PBX、ひかり、または、ISDN の回線を本製品に接続する場合、お使いの回線に合わせて電話回線種類を選択します。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [特別回線対応] を押します。
2. [一般]、[PBX]、または [光・ISDN] を押します。

[PBX] に設定すると、ナンバーディスプレイの設定が無効になります。[ナンバーディスプレイ] の設定を [あり] にするときは、[特別回線対応] の設定を [一般] にしてください。

3. を押します。

関連情報

- 電話とファクスの問題

ダイヤルトーン検出を設定する

話し中や番号間違いでないのに、ファクスが送信できない場合は、ダイヤルトーンの設定を変更することで、改善される可能性があります。

[検知する] に設定している場合、使用している PBX や IP 電話のアダプターによっては、発信できなくなる場合があります。その場合は [検知しない] に設定してください。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [ダイヤルトーン設定] を押します。
2. [検知する] または [検知しない] を押します。
3. を押します。

関連情報

- 電話とファクスの問題

安心通信モードを設定する

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送信・受信したい場合は、[安心通信モード]の設定を変えます。お買い上げ時は[高速]に設定されているので、[安心(VoIP)]に設定してお試しください。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [安心通信モード]を押します。
2. [安心(VoIP)]を押します。
   設定を戻すときは、[高速]または[標準]を選びます。

- [安心(VoIP)]に設定すると、カラーファクスの受信ができません。カラーファクスを受け取る機会が多い場合は、[標準]に設定してください。
- 送受信時間は[高速]、[標準]、[安心(VoIP)]の順で遅くなりますが 、[標準]または[安心(VoIP)]に設定することによって送受信できる可能性が高くなります。[標準]、[安心(VoIP)]の順にお試しください。
- IP フォンで送信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」(ゼロを 4 つ)を付けておかけください。この場合、通信料金は NTT などのお客様がご利用になっている電話会社からの請求となります。

3. を押します。

関連情報

- 電話とファクスの問題

関連トピック:

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

現在の電話回線状態を確認する

現在の回線状態を診断し、結果を印刷することができます。

1. 用紙をセットします。
2. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [電話回線診断] を押します。
3. [はい] を押します。
   回線診断が始まります。診断が終わると、電話回線診断レポートが印刷されます。

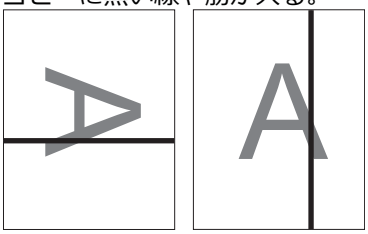
関連情報

- 電話とファクスの問題

その他の問題

>> コピーの問題
>> スキャンの問題
>> ダイレクトプリントの問題
>> ソフトウェアの問題

コピーの問題

問題	対応
コピーできない。	管理者に問い合わせて、お客様のセキュリティ機能ロックの設定値を確認します。
コピーに黒い線や筋が入る。 	コピーの黒い線の多くは、読み取り部の汚れや修正液によって起こります。読み取り部、原稿台ガラス、白色の部分、上部の白いプラスチック面を清掃してください。 「関連情報」をご覧ください：スキャナーを清掃する
コピーに黒いしみや汚れがつく。	コピーの黒いしみや汚れの多くは、原稿台ガラスの汚れや修正液によって起こります。原稿台ガラスと上部の白いプラスチック面を清掃してください。 「関連情報」をご覧ください：スキャナーを清掃する
コピーが空白のまま出てくる。	原稿を必ず正しくセットしてください。 「関連情報」をご覧ください： *ADF*（自動原稿送り装置）に原稿をセットする 「関連情報」をご覧ください：原稿台ガラスに原稿をセットする
ADF(自動原稿送り装置)を使うとコピー結果が良くない。	原稿台ガラスの使用をお試しください。 「関連情報」をご覧ください：原稿台ガラスに原稿をセットする
ADF(自動原稿送り装置)を使うと、想定より大きいサイズでコピーされる。 （MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW）	ADF（自動原稿送り装置）の原稿センサーが、誤った原稿サイズを検出している可能性があります。ADF（自動原稿送り装置）の原稿センサーを清掃してください。 「関連情報」をご覧ください：*ADF*（自動原稿送り装置）の原稿センサーを清掃する
用紙に合わせる機能が働かない。	原稿台ガラスに置いた原稿が傾いていないか確認してください。原稿をセットし直して、再度操作してください。
	色が濃い原稿や透明シートなど、原稿によってはサイズが正しく検知されない場合があります。そのため、用紙に合わせる機能が働かない場合があります。 原稿と用紙のサイズに応じて、用紙に合わせる以外の拡大縮小率を選択してください。
両面コピーのとき、用紙の裏面が汚れる。	印刷設定オプションを変更してください。 「関連情報」をご覧ください：印刷設定オプションを変更して印刷結果を改善する

スキャンの問題

問題	対応
スキャン開始時に TWAIN エラーや WIA エラーが表示される。（Windows）	ブラザーの TWAIN または WIA ドライバーが、お使いのスキャンアプリケーションで選択されていることを確認してください。例えば、Nuance™ PaperPort™ 14SE で、**デスクトップ** > **スキャン設定** > **選択**をクリックしてブラザー TWAIN/WIA ドライバーを選択します。
OCR が動作していません。	スキャン解像度を上げてください。
ADF(自動原稿送り装置)を使うとスキャン結果が良くない。（スキャンしたデータに黒い線が入る。）	ADF 読み取り部と白色の部分を清掃してください。 「関連情報」をご覧ください：スキャナーを清掃する
	原稿台ガラスの使用をお試しください。

問題	対応
	「関連情報」をご覧ください：原稿台ガラスに原稿をセットする
原稿サイズと違うサイズでスキャンされる。	色が濃い原稿や透明シートなど、原稿によってはサイズが正しく検知されない場合があります。お使いの原稿サイズに合わせて、原稿サイズ設定で正しいサイズを選択してください。
	（MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）ADF（自動原稿送り装置）の原稿センサーが、誤った原稿サイズを検出している可能性があります。ADF（自動原稿送り装置）の原稿センサーを清掃してください。 「関連情報」をご覧ください：*ADF*（自動原稿送り装置）の原稿センサーを清掃する

ダイレクトプリントの問題

問題	対応
印刷した写真の一部が欠けている。	ふちなし印刷および画像トリミングがオフになっていることを確認してください。 「関連情報」をご覧ください：*USB* フラッシュメモリーからふちなし印刷を行う 「関連情報」をご覧ください：画像トリミングして印刷する

ソフトウェアの問題

問題	対応
印刷できない。	ドライバー（Windows）とブラザーソフトウェアをアンインストールし、両方の最新バージョンを再インストールしてください。
パソコン画面に「本製品が動作中です」と表示される。	本製品の画面にエラーメッセージがないか確認してください。

関連情報

- 本製品に問題がある場合は

関連トピック：

- トラブルシューティング
- スキャナーを清掃する
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする
- 原稿台ガラスに原稿をセットする
- USB フラッシュメモリーからふちなし印刷を行う
- 画像トリミングして印刷する
- ADF（自動原稿送り装置）の原稿センサーを清掃する
- 印刷設定オプションを変更して印刷結果を改善する

ネットワークの問題

- ネットワーク診断修復ツールを使用する （Windows）
- 本製品のネットワーク設定を確認する
- 本製品のネットワークに問題がある場合
- トラブルシューティング

ネットワーク診断修復ツールを使用する （Windows）

ネットワーク診断修復ツールを使用して本製品のネットワーク設定を修正してください。これにより IP アドレスとサブネットマスクの割り当てが行われます。

本製品の電源がオンになっており、パソコンと同じネットワークに接続されていることを確認してください。

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**ツール**をクリックして、**ネットワーク診断修復ツール**をクリックします。
3. 画面の指示に従います。
4. ネットワーク設定リストを印刷し、診断結果を確認します。

ステータスモニターで**接続状態を常に監視する**オプションを選択した場合、 ネットワーク診断修復ツールが自動的に開始します。ステータスモニターを右クリックし、**その他の設定** > **接続状態を常に監視する**をクリックします。ネットワーク管理者が IP アドレスを「Static」に設定している場合は、IP アドレスが自動的に変更されるため推奨しません。

ネットワーク診断修復ツールを使用しても正しい IP アドレスとサブネットマスクが割り当てられない場合は、ネットワーク管理者にこれらの設定値をお問い合わせください。

関連情報

- ネットワークの問題

関連トピック：

- ネットワーク設定リストを印刷する
- 本製品のネットワークに問題がある場合

本製品のネットワーク設定を確認する

- ネットワーク設定リストを印刷する
- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

本製品のネットワークに問題がある場合

技術的なサポートについては、ブラザーコールセンターへお問い合わせください。

本製品に問題があると思われる場合は、以下の項目を確認してください。ほとんどの問題はご自身で解決できます。

さらに情報が必要な場合は、support.brother.co.jp にアクセスし、**よくあるご質問 (Q&A)**ページを参照してください。

>> 無線ネットワーク設定を完了できません
>> 本製品で、ネットワーク経由の印刷、スキャン、または PC-FAX の受信ができません
>> 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

無線ネットワーク設定を完了できません

無線 LAN アクセスポイント/ルーターの電源を切って、電源を入れ直してください。その後で、再度、無線設定を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、次の手順に従ってください。

無線 LAN レポートで問題について調べます。

原因	対処方法	インターフェイス
セキュリティの設定（SSID/ネットワークキー）が正しくありません。	• **無線 LAN 情報確認ツール**を使用して、セキュリティの設定を確認します。ユーティリティの詳細とダウンロードについては、support.brother.co.jp で、本モデルの**ソフトウェアダウンロード**ページを参照してください。 • セキュリティ設定が正しいことを確認します。 - セキュリティ設定については、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターに付属の取扱説明書をご覧ください。 - セキュリティの初期設定に、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの製造元の名前やモデル番号が使用されている可能性があります。 - アクセスポイント/ルーターの製造元、インターネットプロバイダー、またはネットワーク管理者に確認します。	無線 LAN
本製品の MAC アドレスが許可されていません。	本製品の MAC アドレスがフィルターで許可されていることを確認してください。MAC アドレスは、本製品の操作パネルで確認できます。	無線 LAN
無線 LAN アクセスポイント／ルーターが、ステルスモード（SSID を表示させない設定）です。	• 正しい SSID 名またはネットワークキーを手動で入力します。 • お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターに付属の取扱説明書に記載されている SSID 名やネットワークキーを確認し、無線ネットワークを再設定します。	無線 LAN
セキュリティの設定（SSID／パスワード）に誤りがあります。	• SSID とパスワードを確認します。 - ネットワークを手動で設定する際、本製品の操作パネルに SSID とパスワードが表示されます。お使いの携帯端末が手動設定に対応している場合は、お使いの携帯端末の画面に SSID とパスワードが表示されます。	Wi-Fi Direct
Android™ 4.0 を使用しています。	携帯端末との接続が切れる場合（Wi-Fi Direct を約 6 分使用した後）は、WPS によるワンプッシュ方式を使用して（推奨）、本製品をグループオーナーに設定してみてください。	Wi-Fi Direct
本製品と携帯端末が離れすぎています。	Wi-Fi Direct のネットワーク設定を行うときは、本製品と携帯端末を 1 メートル程度まで近づけてください。	Wi-Fi Direct
本製品と携帯端末の間に、障害物（壁や家具など）があります。	本製品を障害物のない場所へ移動してください。	Wi-Fi Direct

原因	対処方法	インターフェイス
本製品または携帯端末の近くに、無線パソコン、Bluetooth®対応機器、電子レンジ、またはデジタルコードレス電話があります。	これらすべての機器を、本製品と携帯端末から離してください。	Wi-Fi Direct
上記をすべて確認した後も、Wi-Fi Direct の設定ができない場合：	• 本製品の電源を切って、電源を入れ直してください。その後で、再度、Wi-Fi Direct の設定を行ってください。 • 本製品をクライアントとして使用している場合は、現在の Wi-Fi Direct ネットワークで接続可能な機器の台数を調べ、何台接続されているか確認してください。	Wi-Fi Direct

Windows の場合

無線接続が中断し、上記のすべてを確認して試した後でも問題が解決しない場合は、ネットワーク診断修復ツールを使用することをお勧めします。

本製品で、ネットワーク経由の印刷、スキャン、または PC-FAX の受信ができません

原因	対処方法	インターフェイス
お使いのセキュリティソフトウェアにより、本製品のネットワークへのアクセスがブロックされています。（ネットワークスキャン機能が動作していません。）	• Windows ネットワークスキャンを許可するように、サードパーティのセキュリティ／ファイアウォールソフトウェアの設定を行ってください。ネットワークスキャンにポート 54925 を追加するには、以下の情報を入力します。 - **名前**: ブラザー NetScan など、説明を入力します。 - **ポート番号**: 54925 を入力します。 137 を入力します。 161 を入力します。 - **プロトコル**: UDP が選択されます。 サードパーティのセキュリティ／ファイアウォールのソフトウェアに添付された説明書を参照するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせてください。 • Mac （Brother iPrint&Scan） **Finder** メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、Brother iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。**製品を選択**ボタンをクリックし、画面の指示に従ってお使いのネットワーク機器を再度選択します。	有線/無線
お使いのセキュリティソフトウェアにより、本製品のネットワークへのアクセスがブロックされています。（ネットワーク PC-FAX 受信機能が動作していません。） （Windows）	PC-FAX 受信を許可するように、サードパーティのセキュリティ／ファイアウォールソフトウェアの設定を行ってください。ネットワーク PC-FAX 受信にポート 54926 を追加するには、以下の情報を入力します。 • **名前**: ブラザー PC-FAX Rx など、説明を入力します。 • **ポート番号**: 54926 を入力します。 • **プロトコル**: UDP が選択されます。	有線/無線

原因	対処方法	インターフェイス
	サードパーティのセキュリティ／ファイアウォールのソフトウェアに添付された説明書を参照するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせてください。	
お使いのセキュリティソフトウェアが、本製品のネットワークへのアクセスをブロックしています。	正常にインストールできた場合でも、一部のセキュリティソフトウェアは、セキュリティ警告のダイアログボックスを表示しないでアクセスをブロックする場合があります。 アクセスを許可するには、セキュリティソフトウェアの説明書を参照するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせてください。	有線/無線
本製品に、有効な IP アドレスが割り当てられていません。	• IP アドレスとサブネットマスクを確認します。 お使いのパソコンと本製品の、IP アドレスとサブネットマスクがいずれも正確で、同一のネットワーク上に存在することを確認します。 IP アドレスとサブネットマスクを確認する方法についての詳細は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 • Windows ネットワーク診断修復ツールを使用して、IP アドレスとサブネットマスクを確認します。 • Mac ping コマンドを使ってネットワーク機器を確認します。ネットワーク設定の確認方法に関する詳細は「関連情報」をご覧ください：ネットワーク機器を確認する	有線/無線
失敗した印刷ジョブが、パソコンの印刷キューに残っています。	• 失敗した印刷ジョブがパソコンの印刷キューに残っている場合は、そのジョブを削除します。 • または、以下のフォルダーでプリンターアイコンをダブルクリックし、すべての文書をキャンセルします。 - Windows 10、Windows Server 2016、および Windows Server 2019 > **Windows システム ツール** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。 - Windows 8.1 マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。 - Windows Server 2012 R2 **スタート**画面で**コントロールパネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。 - Windows Server 2012 マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示** > **プリンタ**をクリックします。 - Windows 7 **(スタート)** > **デバイスとプリンター**をクリックします。 - Windows Server 2008 **スタート** > **コントロール パネル** > **プリンタ**をクリックします。 - Mac **システム環境設定** > **プリンタとスキャナ**をクリックします。	有線/無線
お使いのブラザー製品は無線ネットワークに接続されていません。	無線 LAN レポートを印刷して、エラーコードを確認します。	無線 LAN

上記のすべての対応を確認して試しても、本製品で印刷およびスキャンができない場合、ドライバー（Windows）とブラザーソフトウェアをアンインストールし、最新バージョンを再インストールしてください。

使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

確認	対処方法	インターフェイス
本製品、アクセスポイント／ルーター、またはネットワークハブの電源が入っていることを確認します。	**次の点を確認してください。** • 電源コードが正しく接続され、本製品の電源が入っている。 • 無線 LAN アクセスポイント/ルーターまたはハブの電源が入った状態で、リンクランプが点滅している。 • すべての保護用梱包材が本製品から取り除かれている。 • インクカートリッジが正しく取り付けられている。 • 本体カバーと紙詰まり解除カバーが完全に閉まっている。 • 用紙トレイに用紙が正しく挿入されている。 • （有線 LAN の場合）ネットワークケーブルが、本製品と、ルーターまたはハブに確実に接続されている。	有線/無線
ping コマンドを使用してパソコンと本製品の接続を確認します。	Windows のコマンドプロンプトまたは Mac Terminal アプリケーションで、IP アドレスまたはノード名を使用して、パソコンから本製品に対して ping を実行します。 [<ipaddress>]または[<nodename>]を ping します。 • 成功：本製品は正しく動作していて、お使いのパソコンと同じネットワークに接続されています。 • 失敗：本製品は、お使いのパソコンと同じネットワークに接続されていません。 Windows： 管理者に IP アドレスとサブネットマスクを問い合わせてから、ネットワーク診断修復ツールを使用してください。 Mac： IP アドレスとサブネットマスクが正しく設定されていることを確認してください。	有線/無線
本製品が無線 LAN に接続されていることを確認します。	無線 LAN レポートを印刷して、エラーコードを確認します。	無線 LAN

上記の対策をすべて試みても問題が解決しない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイント／ルーターの説明書で SSID（ネットワーク名）とネットワークキー（パスワード）の情報を参照し、それらを正しく設定してください。

関連情報

- ネットワークの問題
  - ネットワーク機器を確認する

関連トピック：

- SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する
- Wi-Fi Direct®を使用する
- 無線 LAN レポートを印刷する
- 無線 LAN レポートのエラーコードについて
- ネットワーク設定リストを印刷する
- ネットワーク診断修復ツールを使用する （Windows）

ネットワーク機器を確認する

パソコンと本製品の IP アドレスを確認し、ネットワークが正しく動作しているかどうかを確認します。

>> パソコンの IP アドレスを設定する(Windows)
>> パソコンの IP アドレスを設定する(Mac)
>> 本製品の IP アドレスを設定する

パソコンの IP アドレスを設定する(Windows)

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 10

     > **Windows システム ツール** > **コマンド プロンプト**をクリックします。
   - Windows 8.1

     マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**検索** > **コマンド プロンプト**をクリックします。
   - Windows 7

     (スタート) > **すべてのプログラム** > **アクセサリ** > **コマンド プロンプト**をクリックします。
2. "ipconfig"と入力し、キーボードの Enter キーを押します。
3. IPv4 アドレスとサブネットマスクの値を確認します。
4. "exit"と入力し、キーボードの Enter キーを押します。

パソコンの IP アドレスを設定する(Mac)

1. Apple メニューから**システム環境設定**を選択します。
2. **ネットワーク** > **詳細** > **TCP/IP** をクリックします。
3. IPv4 アドレスとサブネットマスクの値を確認します。

本製品の IP アドレスを設定する

ネットワーク設定リストを印刷し、IP アドレスとサブネットマスクの値を確認します。

パソコンと本製品の IP アドレスを確認します。ネットワークアドレス部分が同じであることを確認します。例えば、サブネットマスクが「255.255.255.0」の場合、通常はホストアドレス部分だけが異なります。

	ネットワークアドレス	ホストアドレス	
IP アドレス	192.168.100.	250	サブネットマスクの「0」に対応する最後の数字を 1-254 に設定します。
サブネットマスク	255.255.255.	0	通常、サブネットマスクが「255.255.255.0」であれば問題ありません。すべてのパソコンに同じ値を使用します。

関連情報

- 本製品のネットワークに問題がある場合

AirPrint の問題

問題	対応
本製品がプリンター一覧に表示されません。	本製品の電源が入っていることを確認します。
	ネットワーク設定を確認します。
	携帯端末を無線 LAN アクセスポイント／ルーター、または本製品の近くに移動させます。
印刷できません。	本製品の電源が入っていることを確認します。
	ネットワーク設定を確認します。
iOS 機器から複数ページの文書を印刷しようとしていますが、最初のページしか印刷されません。	最新版の OS を実行していることを確認してください。

関連情報

- 本製品に問題がある場合は

関連トピック：

- トラブルシューティング

本製品の情報を確認する

以下の指示に従って、本製品のシリアルナンバー、ファームウェアのバージョンとファームウェアの更新を確認してください。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [製品情報] を押します。
2. 以下のオプションのいずれかを押します。

オプション	詳細
[シリアル No.]	製品のシリアルナンバーを確認します。
[ファームウェアバージョン]	製品のファームウェアバージョンを確認します。
[ファームウェア更新]	製品を最新のファームウェアに更新します。パスワードを入力するよう求められます。[1]
[ファームウェア更新通知]	ホーム画面でファームウェアの情報を確認します。
[印刷枚数表示]	製品が印刷した合計ページ数を確認します。

1 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

3. を押します。

関連情報

- トラブルシューティング

本製品を初期状態に戻す

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [設定リセット] を押します。
2. 使用したいリセットのオプションを押します。
3. [OK] を 2 秒以上押して本製品を再起動します。
4. 本製品の電源を切らずに、本製品が再起動して LED 電源ランプが点灯するまでお待ちください。

関連情報

- トラブルシューティング
  - リセット機能の概要

関連トピック：

- ファクスや通信管理レポートの転送

リセット機能の概要

以下のリセット機能があります。

1. ［機能設定リセット］
   変更したすべての設定をリセットできます。
   電話帳、ファクスレポート、および通信履歴は残ります。
2. ［ネットワーク設定リセット］
   パスワードや IP アドレス情報など、プリントサーバーをお買い上げ時の設定に戻します。
3. ［電話帳&ファクスリセット］
   電話帳&ファクスリセットでは、次の設定がリセットされます。
   - 電話帳とグループ登録
   - メモリーに予約されているファクスジョブ
     タイマー送信ととりまとめ送信
   - 発信元登録
     名前と電話番号
   - メモリー受信オプション
     ファクス転送
   - レポート
     送信結果レポート、電話帳リスト、および通信管理レポート
   - 履歴
     着信履歴と発信履歴
   - メモリー内のファクス
4. ［全設定リセット］
   本製品のすべての設定をお買い上げ時の設定に戻すには、このリセット機能を使用します。
   本製品を廃棄するときにこの操作を実行することを強くお勧めします。

［ネットワーク設定リセット］または［全設定リセット］を選択する前に、インターフェイスケーブルを抜きます。

関連情報

- 本製品を初期状態に戻す

関連トピック：

- ファクスや通信管理レポートの転送
- 本製品を廃却するときは

本製品を廃却するときは

本製品を廃却する場合は、本製品に設定している内容など、保存されているすべての情報を消去し、お買い上げの状態に戻してください。「関連情報」をご覧ください。

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。

- 事業所

  産業廃棄物処理業者に委託してください。またはブラザーホームページを参照してください。

- 一般家庭

  小型家電リサイクル法に基づいて収集を実施している市町村にお住まいの方は、「小型家電回収市町村マーク」を表示している市町村の窓口や、「小型家電認定事業者マーク」を表示している事業者に引き渡してください。また、市町村の小型家電リサイクルの対象となっていない家電製品については、従来どおり、お住まいの市町村の廃棄方法に従って廃棄してください。対象品目や回収方法に関する詳しい情報は、お住まいの市町村におたずねください。

関連情報

- トラブルシューティング

関連トピック：

- 本製品を初期状態に戻す
- リセット機能の概要

日常のお手入れ

- インクカートリッジを交換する
- お使いのブラザー製品を清掃する
- お使いのブラザー製品を確認する
- 用紙送りを調整して縦線をなくす
- 印刷設定オプションを変更して印刷結果を改善する
- 本製品を梱包して輸送する

インクカートリッジを交換する

本製品には、インクドットカウンター機能が搭載されています。インクドットカウンターは、各色のカートリッジのインク残量を自動でチェックします。インクカートリッジのインク残量が少なくなってきていることを検知すると、本製品はメッセージを表示します。

交換が必要なインクカートリッジが画面に表示されます。インクカートリッジ交換の際には、画面が指示する順番に従ってインクカートリッジを取り付けるようにしてください。

インクカートリッジを交換するように指示が出ても、インクカートリッジには少量のインクが残っています。（MFC-J7100CDW/MFC-J7300CDW）気泡が入り乾燥してプリントヘッドが損傷するのを防ぐため、インクカートリッジ内に少量のインクが残っている必要があります。

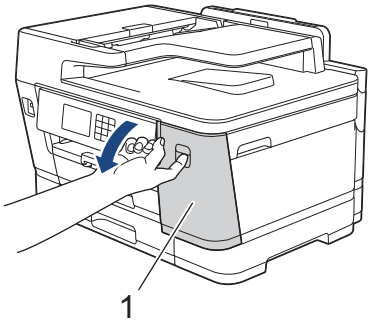
⚠ 注意

インクが目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのままにしておくと、目の充血や軽度の炎症を引き起こすことがあります。異常がある場合は、医師にご相談ください。

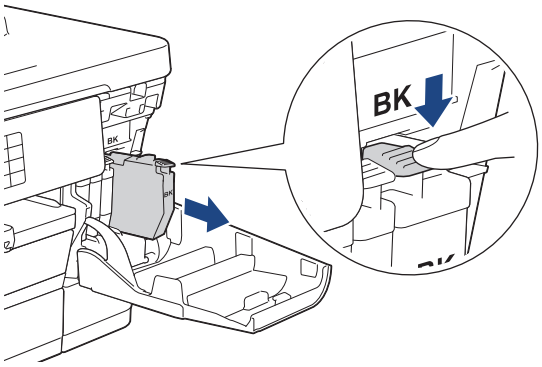
重要

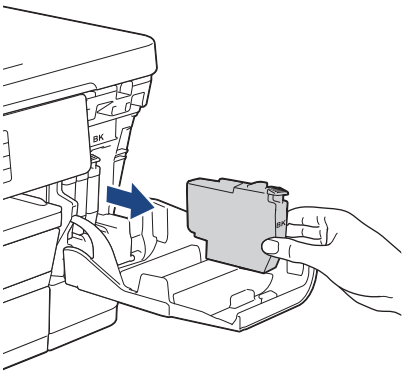
本製品付属のインクカートリッジにインクを補充して使わないでください。ブラザー純正インクカートリッジをお使いいただくことをお勧めします。純正以外のインクカートリッジをブラザー製品で使用すると、製品を損傷したり、印刷品質を低下させる原因に繋がる恐れがあります。純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。本ブラザー製品の最適な性能を維持するために、ブラザー純正インクカートリッジを使用することを強くお勧めします。

1. インクカバー（1）を開きます。



2. 画面に表示された色のインクカートリッジのリリースレバーを押してロックを解除し、図のように本製品からインクカートリッジを取り外します。



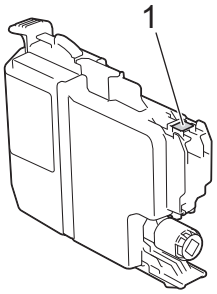


3. 画面に表示された色の新しいインクカートリッジの袋を開けて、インクカートリッジを取り出します。

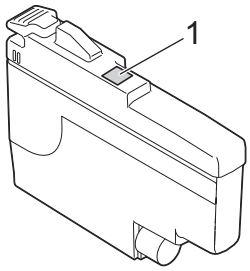
重要

- インクカートリッジの基板（1）に触れないでください。本製品がインクカートリッジを検知できなくなる恐れがあります。

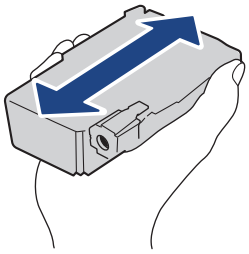
(MFC-J7100CDW/MFC-J7300CDW)



(MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)

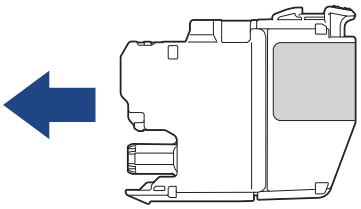


- **ブラック**のインクカートリッジのみ、本製品に挿入する前に、図のように水平方向にすばやく 15 回振ってください。

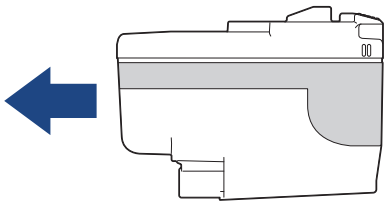


4. インクカートリッジのラベルに印刷された矢印の方向に、インクカートリッジを取り付けます。
各色には、それぞれの取り付け位置が決められています。

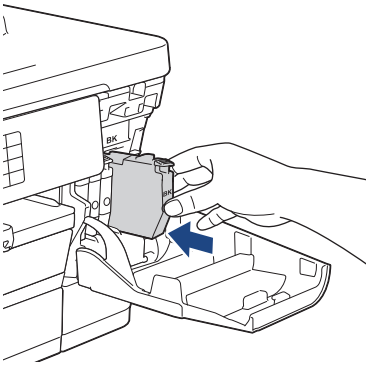
(MFC-J7100CDW/MFC-J7300CDW)



(MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)



5. インクカートリッジが止まるまで、「押」の部分をやさしく押し込み、インクカバーを閉じます。



インクドットカウンターがリセットされます。

インクカートリッジを取り付けた後、インクカートリッジが検出されない場合は、インクカートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。インクカートリッジを取り出して、所定の位置に固定されるまで、もう一度ゆっくり取り付けます。

重要

- インクカートリッジを本製品に装着した後は、インクカートリッジを振らないでください。インクが皮膚や衣服に付着したときは、すぐに石けんや洗浄剤で洗い流してください。
- 交換の必要がない限り、インクカートリッジを取り出さないでください。カートリッジのインク残量を検知できなくなります。
- インクカートリッジの挿入部スロットを触らないでください。インクが皮膚につく恐れがあります。
- インクカートリッジの取り付け位置を間違えて、インクの色を混合させた場合、画面に［ｶｰﾄﾘｯｼﾞ の色が違います］と表示されます。

  どのインクカートリッジの色が取り付け位置と合っていないか確認し、正しい位置に変更してください。
- 未開封のインクカートリッジは、パッケージに記載されている使用期限内に使用してください。
- インクカートリッジを分解または改造しないでください。インクカートリッジからインクが漏れる原因となります。

インクカートリッジを捨てるときは

使用済みのインクカートリッジは、インクが飛び散らないように注意し、地域の規則に従って廃棄してください。（インクカートリッジに貼られているラベルは、剥がす必要はありません。）

また、弊社では使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。詳しくは下記ホームページをご参照ください。

http://www.brother.co.jp/product/support_info/recycle/ink/index.htm

関連情報

- 日常のお手入れ

関連トピック：

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- 本製品を梱包して輸送する

お使いのブラザー製品を清掃する

- 本製品からプリントヘッドのクリーニングをする
- Web Based Management を使用してプリントヘッドをクリーニングする
- パソコンからプリントヘッドのクリーニングをする（Windows）
- プリントヘッドのノズル状態を自動で検知して改善する
- スキャナーを清掃する
- ADF（自動原稿送り装置）の原稿センサーを清掃する
- 本製品のタッチパネルを清掃する
- 本製品の外側を清掃する
- 本製品のプラテンを清掃する
- 排紙ローラーを清掃する
- ベースパッドを清掃する
- 用紙トレイ#1 の給紙ローラーを清掃する
- 用紙トレイ#2 と用紙トレイ#3 の給紙ローラーを清掃する

本製品からプリントヘッドのクリーニングをする

印刷品質を維持するために、本製品は必要に応じて自動的にプリントヘッドをクリーニングします。印刷品質に問題がある場合は、手動でクリーニングを行うこともできます。

- 印刷されたページの文字や画像に横筋や空白が入る場合は、プリントヘッドのクリーニングをしてください。
- プリントヘッドのクリーニングを行うと、インクを消費します。

重要

プリントヘッドには触らないでください。プリントヘッドに触れると、回復不能な損傷につながり、保証が無効になる場合があります。

1. [インク] > [ヘッドクリーニング] を押します。
2. [スタート] を押します。
   プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

お願い

プリントヘッドを数回クリーニングしても印刷品質が改善されない場合は、スペシャルクリーニングを試してください。スペシャルクリーニングでは、プリントヘッドを強力にクリーニングしますが、インクの消費量が最も多くなります。

1. [インク] > [ヘッドクリーニング] を押します。
2. を 5 秒間押します。
   本製品はクリーニングを開始します。

- スペシャルクリーニングでは、プリントヘッドのクリーニングに大量のインクが必要です。
- スペシャルクリーニングは、プリントヘッドを数回クリーニングしても、印刷品質が改善されなかった場合にのみ行ってください。
- プリントヘッドのクリーニングはパソコンからでも操作できます。

関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- パソコンからプリントヘッドのクリーニングをする（Windows）
- Web Based Management を使用してプリントヘッドをクリーニングする

Web Based Management を使用してプリントヘッドをクリーニングする

印刷品質を維持するために、本製品は必要に応じて自動的にプリントヘッドをクリーニングします。印刷品質に問題がある場合は、手動でクリーニングを行うこともできます。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**基本設定** > **ヘッドクリーニング**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. 印刷品質に問題がある場合は、プリントヘッドを数回クリーニングしてください。印刷品質が改善しない場合は、**スペシャル**オプションを使用してください。**スペシャル**オプションでは、プリントヘッドを強力にクリーニングしますが、インクの消費量が最も多くなります。
6. **スタート** をクリックします。

- **スペシャル**オプションでは、プリントヘッドをクリーニングするために大量のインクが必要です。

7. **はい** をクリックします。

   本製品はクリーニングを開始します。

（Windows）プリンタードライバーを使用してプリントヘッドをクリーニングすることもできます。

関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- Web Based Management にアクセスする
- 本製品からプリントヘッドのクリーニングをする
- パソコンからプリントヘッドのクリーニングをする（Windows）

パソコンからプリントヘッドのクリーニングをする（Windows）

印刷品質を維持するために、本製品は必要に応じて自動的にプリントヘッドをクリーニングします。印刷品質に問題がある場合は、手動でクリーニングを行うこともできます。

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - Windows 10、Windows Server 2016、および Windows Server 2019 の場合

     > **Windows システム ツール** > **コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
   - Windows 8.1 の場合

     マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックして、**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェアとサウンド**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
   - Windows Server 2012 R2 の場合

     スタート画面で**コントロールパネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
   - Windows Server 2012 の場合：

     マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックして、**コントロール パネル**をクリックします。**ハードウェア**グループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
   - Windows 7 および Windows Server 2008 R2 の場合：

     (スタート) > **デバイスとプリンター**をクリックします。
   - Windows Server 2008 の場合：

     (スタート) > **コントロール パネル** > **ハードウェアとサウンド** > **プリンタ**をクリックします。
2. **Brother XXX-XXXX Printer** アイコンを右クリックし（XXX-XXXX はお使いのモデル名）、**印刷設定**を選択します。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。

   プリンタードライバーのダイアログボックスが表示されます。
3. **メンテナンス**タブをクリックします。
4. 以下のオプションのいずれかを選択します。

オプション	説明
印刷品質のチェック...	テスト印刷を行って印刷品質を確かめるときに使用します。
ヘッド クリーニング...	手動でクリーニング処理を開始するときに使用します。テストページの文字や画像の上に線または空白が表示される場合に選択します。

5. **スタート** をクリックします。

関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- 本製品からプリントヘッドのクリーニングをする
- Web Based Management を使用してプリントヘッドをクリーニングする

プリントヘッドのノズル状態を自動で検知して改善する

印刷の色や文字が薄かったり、筋が入ったり、または、表示されていない文字がある場合は、プリントヘッドのノズルが詰まっている可能性があります。この設定が［オン］の場合、本製品はプリントヘッドのノズルの状態を自動で検知し、必要に応じてプリントヘッドをクリーニングします。

- お買い上げ時の設定は［オン］です。
- プリントヘッドのクリーニングを行うと、インクを消費します。

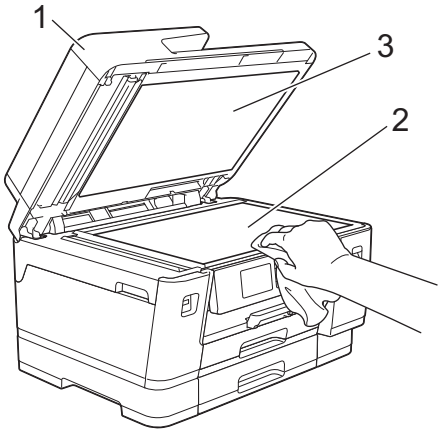
1. ［インク］＞［自動ノズルチェック機能］を押します。
2. ［オン］または［オフ］を押します。
3. を押します。

関連情報

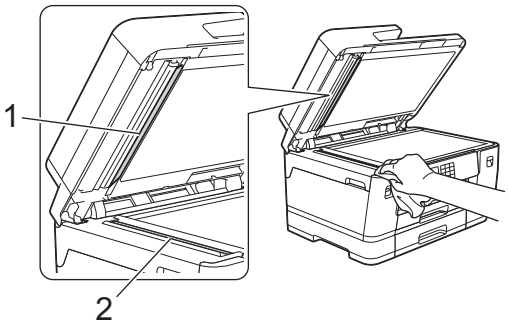
- お使いのブラザー製品を清掃する

スキャナーを清掃する

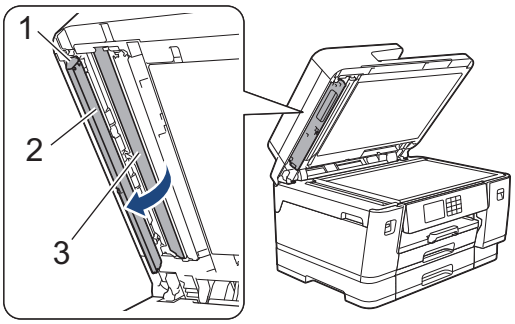
1. 製品の電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 原稿台カバー（1）を持ち上げます。原稿台ガラス（２）と白いプラスチック部分（３）を、水を含ませて固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で拭きます。



3. ADF(自動原稿送り装置)の内部は、白色の部分（１）と ADF 読み取り部（２）を水を含ませて固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で拭きます。



4. （MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）カバー（１）を開き、白色の部分（２）と ADF 読み取り部（３）を水を含ませて固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で拭きます。



汚れやゴミが残っている場合は、再度原稿台ガラスを清掃してください。必要に応じて清掃作業を 3～4 回繰り返します。清掃が終わったら、テストコピーをします。

ADF 読み取り部に汚れや修正液が残っていると、印刷結果に縦線が表示されます。

ADF 読み取り部がきれいになると、縦線がなくなります。

関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

関連トピック：

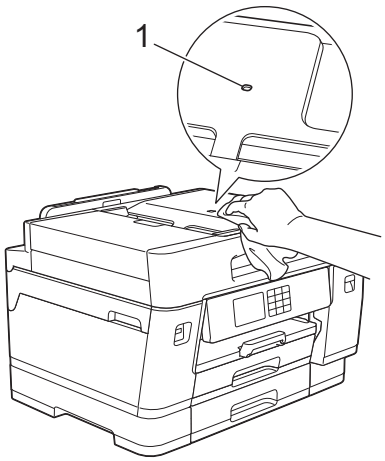
- 電話とファクスの問題
- その他の問題

ADF（自動原稿送り装置）の原稿センサーを清掃する

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

定期的に ADF（自動原稿送り装置）の原稿センサーを清掃することで、誤った原稿サイズが検出されるのを防ぐことができます。

1. 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で ADF(自動原稿送り装置)の原稿センサー（1）を拭きます。



関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

関連トピック：

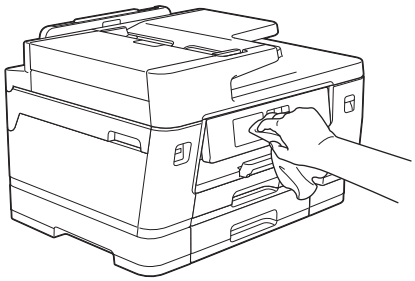
- 電話とファクスの問題
- その他の問題

本製品のタッチパネルを清掃する

重要

エタノールなど、液体クリーナーは絶対に使用しないでください。

1. を長押しして本製品の電源を切ります。画面に［電源をオフにします］と数秒間表示され、電源が切れます。
2. 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で画面を拭きます。



関連情報

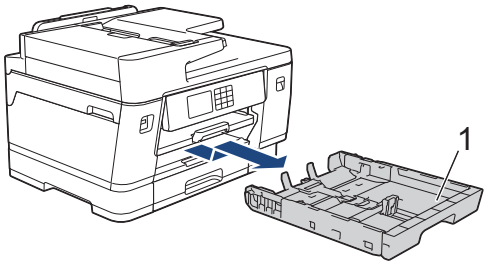
- お使いのブラザー製品を清掃する

本製品の外側を清掃する

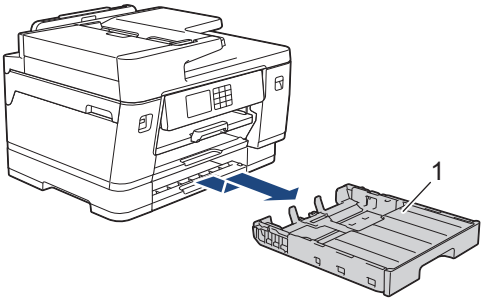
重要

- シンナーやベンジンなど揮発性の洗剤を使うと製品を傷つけるおそれがあります。
- アンモニアの成分を含んでいる洗剤は使わないでください。
- イソプロピルアルコールで操作パネルを拭かないでください。操作パネルにひびが入るおそれがあります。

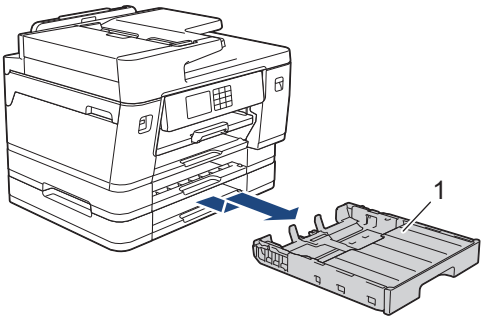
1. 排紙ストッパーが開いている場合は、閉じて格納します。
2. 矢印のように、用紙トレイ（1）を本製品から完全に引き出します。
   - 用紙トレイ#1



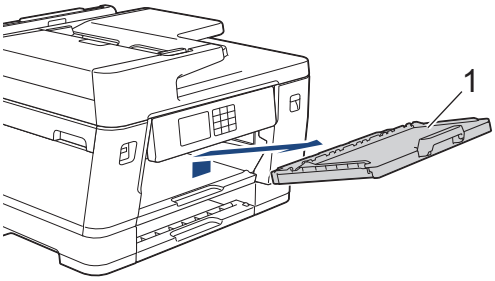
   - 用紙トレイ#2（MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）



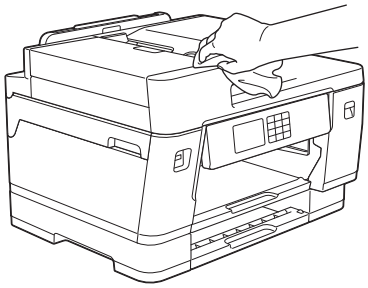
   - 用紙トレイ#3（MFC-J7600CDW）



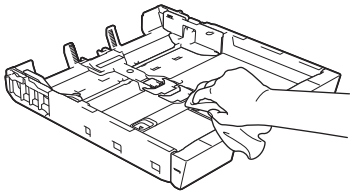
3. 排紙トレイ（1）を持ち上げ、矢印のように、本製品から引き出せる角度にして、完全に引き出します。



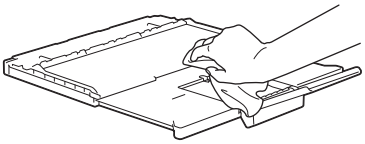
4. 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で、本製品の外側を拭いてほこりを取り除きます。



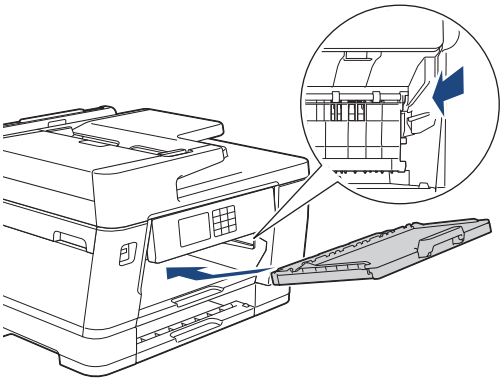
5. 用紙トレイ内を空にします。柔らかくて繊維の出ない乾いた布で、用紙トレイの内側と外側を拭いてほこりを取り除きます。



6. 排紙トレイの外側を、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で拭いてほこりを取り除きます。



7. 排紙トレイを本製品にしっかりと取り付けます。排紙トレイがしっかりと溝にはまっているか確認してください。



8. 用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けます。

関連情報

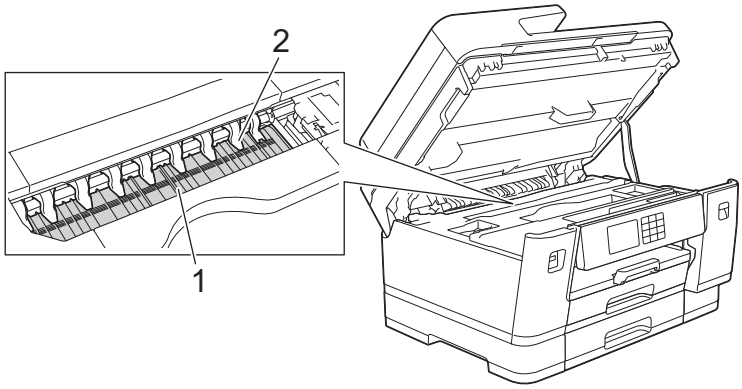
- お使いのブラザー製品を清掃する

本製品のプラテンを清掃する

警告

感電する恐れがあるため、プラテンを清掃するときは必ず電源プラグを抜いてください。

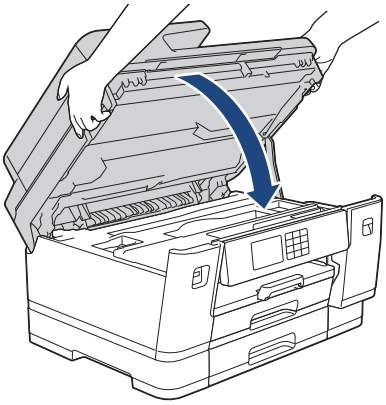
1. 本製品の左右側面にある指掛け部に指をかけて、両手で本体カバーを保持される位置まで開きます。
2. 柔らかくて繊維の出ない乾いた布でプラテン（1）やその周辺に飛び散ったインクをふき取ります。



重要

ツメ （2）（9 箇所）を折り曲げたり、強い力を加えないでください。破損する恐れがあります。

3. 本製品の左右側面にある指掛け部に指をかけて、本体カバーをゆっくりと閉じます。



4. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

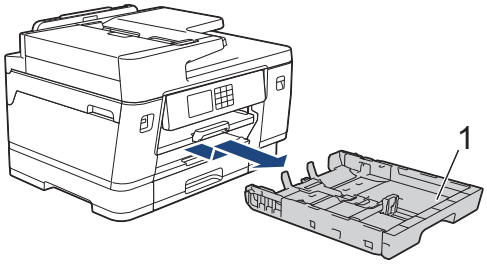
関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題

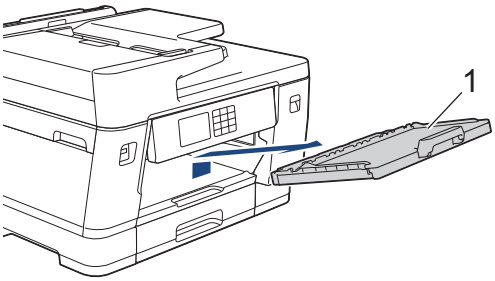
排紙ローラーを清掃する

排紙ローラーがインクで汚れていたり、紙粉がたまっていると、用紙送りトラブルを起こすおそれがあります。

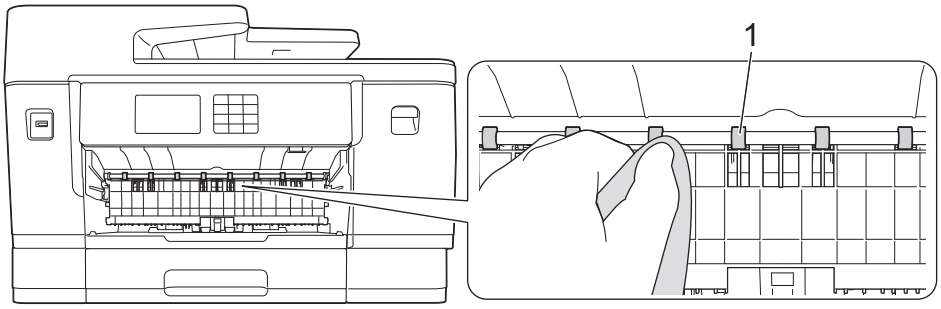
1. 製品の電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 排紙ストッパーが開いている場合は、閉じて格納します。
3. 矢印のように、用紙トレイ（1）を本製品から完全に引き出します。



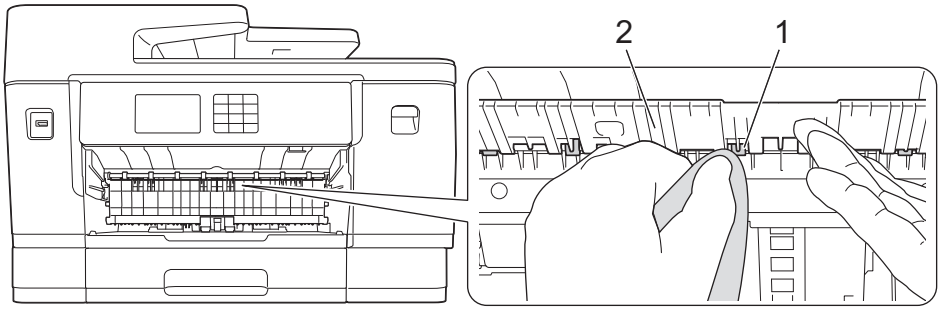
4. 排紙トレイ（1）を持ち上げ、矢印のように、本製品から引き出せる角度にして、完全に引き出します。



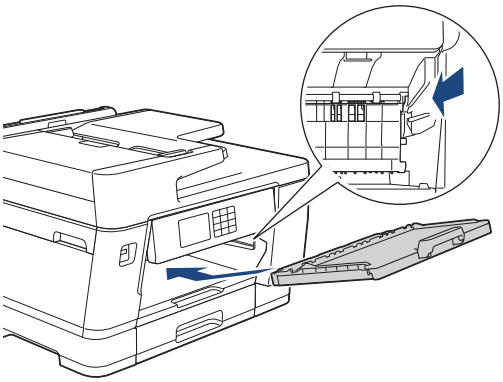
5. 水を含ませて固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で、排紙ローラー（1）を左右に拭きます。清掃後は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でローラーの水分を拭き取ってください。



6. フラップ（2）を持ち上げ、水を含ませて固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で排紙ローラー（１）の裏側を拭きます。清掃後は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でローラーの水分を拭き取ってください。



7. 排紙トレイを本製品にしっかりと取り付けます。排紙トレイがしっかりと溝にはまっているか確認してください。



8. 用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けます。
9. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

ローラーが乾くまで本製品を使用しないでください。ローラーが湿った状態で使用すると、給紙トラブルが起きるおそれがあります。

関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

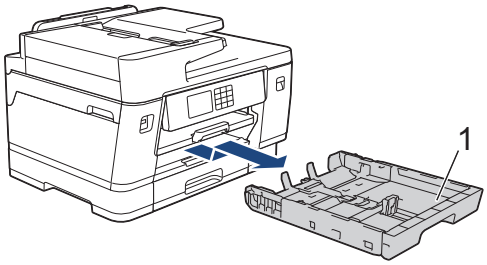
関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題

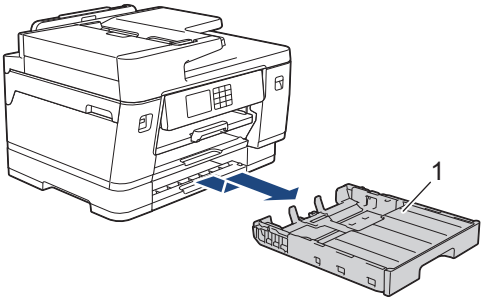
ベースパッドを清掃する

定期的にベースパッドを清掃することで、トレイに数枚しか用紙がない場合の重送を防ぐことができます。

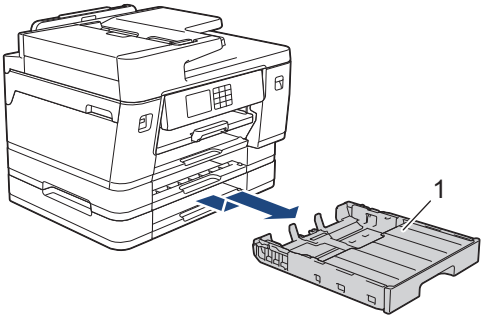
1. 排紙ストッパーが開いている場合は、閉じて格納します。
2. 矢印のように、用紙トレイ（1）を本製品から完全に引き出します。
   - 用紙トレイ#1



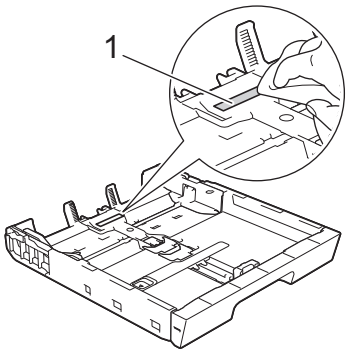
   - 用紙トレイ#2（MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW）



   - 用紙トレイ#3（MFC-J7600CDW）



3. ベースパッド（1）を、水を含ませて固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で拭きます。
   清掃後は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でパッドの水分を拭き取ってください。



4. 用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けます。

関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

関連トピック：

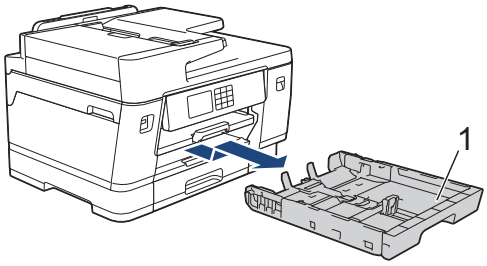
- 用紙の取り扱いと印刷の問題

用紙トレイ#1 の給紙ローラーを清掃する

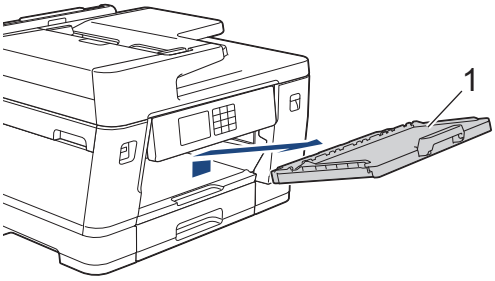
給紙ローラーの清掃を定期的に行うことで、給紙が適切に行われるようになり、紙詰まりを防ぎます。

本製品には、給紙ローラーのクリーニングキットが付属しています。キットを使って給紙ローラーを清掃してください。詳しくは、クリーニングキットの説明書をご覧ください。

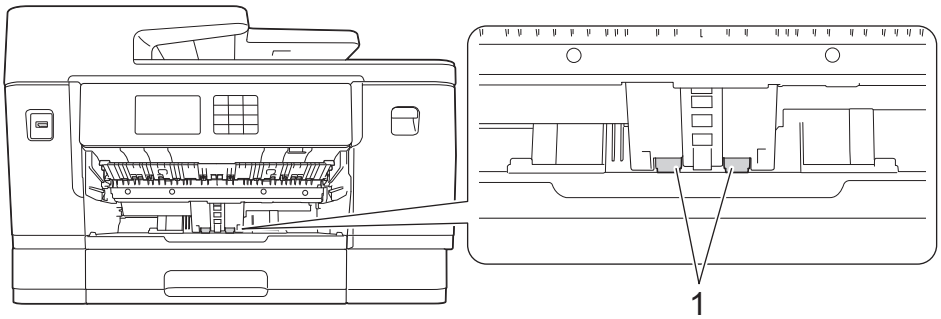
1. 製品の電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 排紙ストッパーが開いている場合は、閉じて格納します。
3. 矢印のように、用紙トレイ（1）を本製品から完全に引き出します。



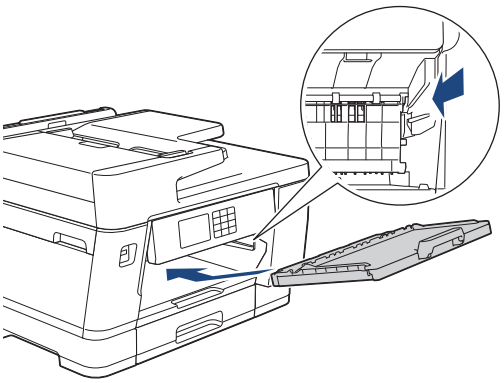
4. 排紙トレイ（1）を持ち上げ、矢印のように、本製品から引き出せる角度にして、完全に引き出します。



5. 水を含ませて固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で、給紙ローラー（1）を拭きます。ゆっくりとローラーを回転させ、すべての面を拭きます。清掃後は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でローラーの水分を拭き取ってください。



6. 排紙トレイを本製品にしっかりと取り付けます。排紙トレイがしっかりと溝にはまっているか確認してください。



7. 用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けます。
8. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

関連トピック：

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 用紙の取り扱いと印刷の問題

用紙トレイ#2 と用紙トレイ#3 の給紙ローラーを清掃する

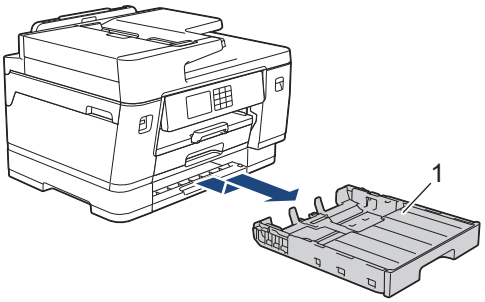
関連モデル: MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

ここでは、トレイ#2 の給紙ローラーの清掃方法を説明します。

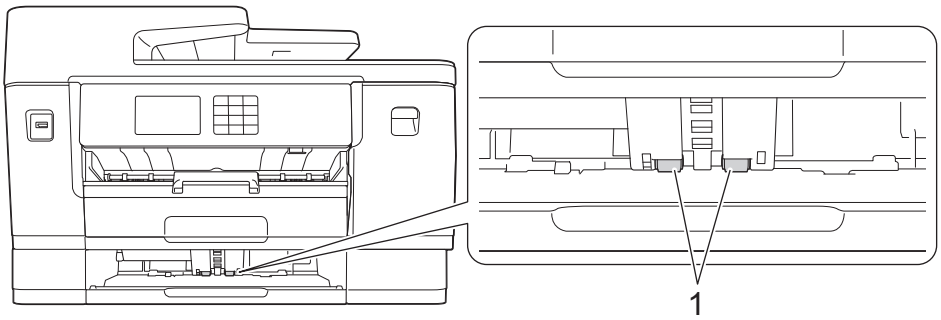
（MFC-J7600CDW）トレイ#3 の清掃も同様に行えます。

本製品には、給紙ローラーのクリーニングキットが付属しています。キットを使って給紙ローラーを清掃してください。詳しくは、クリーニングキットの説明書をご覧ください。

1. 製品の電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 排紙ストッパーが開いている場合は、閉じて格納します。
3. 矢印のように、用紙トレイ#2（1）を本製品から完全に引き出します。



4. 用紙トレイ#2 の給紙ローラー（1）を、水を含ませて固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で拭きます。ゆっくりとローラーを回転させ、すべての面を拭きます。清掃後は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でローラーの水分を拭き取ってください。



5. 用紙トレイ#2 をゆっくりと押して、本製品に確実に取り付けます。
6. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

関連情報

- お使いのブラザー製品を清掃する

関連トピック：

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 用紙の取り扱いと印刷の問題

お使いのブラザー製品を確認する

- 印刷品質をチェックする
- 罫線ずれ、文字ぶれを改善する
- インク残量を確認する
- 本製品の状態をパソコンで確認する（Windows）
- Brother iPrint＆Scan を使用して本製品の状態を確認する（Windows/Mac）

印刷品質をチェックする

印刷の色や文字が薄かったり、筋が入ったり、または、表示されていない文字がある場合は、プリントヘッドのノズルが詰まっている可能性があります。チェックシートを印刷して、ノズルチェックのパターンを確認してください。

1. [インク] > [印刷品質のチェックと改善] > [印刷品質のチェックと改善] を押します。
2. [スタート] を押します。
   チェックシートが印刷されます。
3. チェックシートで 4 つの色の品質を確認します。
4. 画面に、印刷品質についての確認メッセージが表示されたら、以下のいずれかを行ってください。
   - すべての線がはっきりと見える場合は、[いいえ] を押し、を押して印刷品質のチェックを完了します。
   - 線が欠けている（以下の**悪い例**を参照）場合は、[はい] を押します。

良い例

悪い例

5. 画面に、各色の印刷品質を確認するように促すメッセージが表示されたら、印刷結果にもっとも近いパターンの番号（1～4）を押します。
6. 以下のいずれかを行ってください：
   - プリントヘッドのクリーニングが必要な場合は、[スタート] を押してクリーニングへ進みます。
   - プリントヘッドのクリーニングが必要でない場合は、メニュー画面が再度表示されます。を押します。
7. クリーニングが完了すると、チェックシートを再度印刷するか確認されます。[はい] を押し、[スタート] を押します。
   再度、チェックシートが印刷されます。チェックシートで 4 つの色の品質を再度確認します。

プリントヘッドを数回クリーニングしても印刷品質が改善されない場合は、スペシャルクリーニングを試してください。「関連情報」をご覧ください。

重要

プリントヘッドには触らないでください。プリントヘッドに触れると、回復不能な損傷につながり、保証が無効になる場合があります。

プリントヘッドのノズルが詰まると、次のように印刷されます。

プリントヘッドのノズルをクリーニングすると、筋が解消されます。

関連情報

- お使いのブラザー製品を確認する

関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- 本製品からプリントヘッドのクリーニングをする
- 罫線ずれ、文字ぶれを改善する
- 用紙送りを調整して縦線をなくす

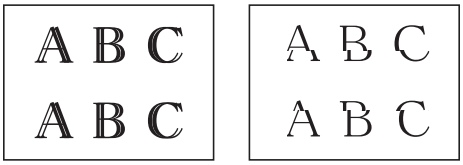
罫線ずれ、文字ぶれを改善する

本製品を移動させた後などに、印刷された文字がずれていたり、画像がぼやけている場合は、罫線補正を行ってください。

罫線補正を行う前に、[インク] > [印刷品質のチェックと改善] > [印刷品質のチェックと改善] を押して、印刷品質を確認してください。

1. [インク] > [印刷品質のチェックと改善] > [罫線ずれの補正] を押します。
2. [次へ] を押します。
3. 画面に印刷品質チェック完了を確認するメッセージが表示されたら、[はい] を押します。
4. [自動] または [手動] を押します。
   - [自動] モードを選択した場合は、チェックシートをスキャンすると印刷の罫線ずれが自動で補正されます。
   - [手動] モードを選択した場合は、チェックシートに印刷された情報を手動で入力します。
5. 印刷するチェックシートの用紙サイズを選択します。
   - [手動] モードを選んだ場合は、[かんたん補正] または [高度な補正] を選び、次の手順に進みます。
6. トレイに指定したサイズの用紙を入れ、[スタート] を押します。
   チェックシートが印刷されます。
7. 画面のメッセージに従います。

印刷位置が正しく調整されていないと、次のように文字がぼやけたりゆがんだりして見えます。



印刷位置が正しく調整されると、文字が次のように見えます。

関連情報

- お使いのブラザー製品を確認する

関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題

インク残量を確認する

画面上のインク残量アイコンに加え、各カートリッジに残っているおおよそのインク残量をより大きなグラフで見ることができます。

>> MFC-J7100CDW/MFC-J7300CDW
>> MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

MFC-J7100CDW/MFC-J7300CDW

1. [インク] > [インク残量] を押します。

   画面にインク残量と印刷可能枚数[1]が表示されます。

   a. カートリッジのインク残量が表示されます。
   b. 押すと印刷可能枚数の表示設定を変更できます。
   c. 印刷可能枚数[1]には、現在セットされているカートリッジで印刷可能な枚数の目安が表示されます。

- インクカートリッジの寿命が近づくか、問題が起きた場合、以下のいずれかのアイコンが表示されます。

!	インクの残量が少なくなっています。
✕	インクカートリッジの交換が必要です。
?	インクカートリッジに問題があります。

- インクカートリッジの型番を確認または印刷するには（戻る）を押して、[インク] メニュー画面に戻ってください。
  [インクカートリッジ型番] を押し、画面の指示に従います。

2. を押します。

- インク残量はパソコンでも確認できます。
- 印刷可能枚数の測定方法について詳しくは、support.brother.co.jp/j/d/bkfo/にアクセスしてください。

MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

1. [インク] > [インク残量] を押します。

   画面にインク残量と印刷可能枚数[2]が表示されます。

1 印刷可能枚数は目安の情報であり、実際の印刷可能枚数とは異なります。実際のカートリッジの印刷可能枚数については、support.brother.co.jp/j/d/bkfo/を参照してください。

2 印刷可能枚数は目安の情報であり、実際の印刷可能枚数とは異なります。実際のカートリッジの印刷可能枚数については、support.brother.co.jp/j/d/bkfo/を参照してください。

a. カートリッジのインク残量が表示されます。

b. 本体内のインク残量が表示されます。

c. 押すと印刷可能枚数の表示設定を変更できます。

d. 印刷可能枚数 [2] には、現在セットされているカートリッジで印刷可能な枚数の目安が表示されます。

- インクカートリッジの寿命が近づくか、問題が起きた場合、以下のいずれかのアイコンが表示されます。

!	インクの残量が少なくなっています。
✕	インクカートリッジの交換が必要です。
?	インクカートリッジに問題があります。

- インクカートリッジの型番を確認または印刷するには（戻る）を押して、［インク］メニュー画面に戻ってください。
  ［インクカートリッジ型番］を押し、画面の指示に従います。

2. を押します。

- インク残量はパソコンでも確認できます。
- 印刷可能枚数の測定方法について詳しくは、support.brother.co.jp/j/d/bkfo/にアクセスしてください。

関連情報

- お使いのブラザー製品を確認する

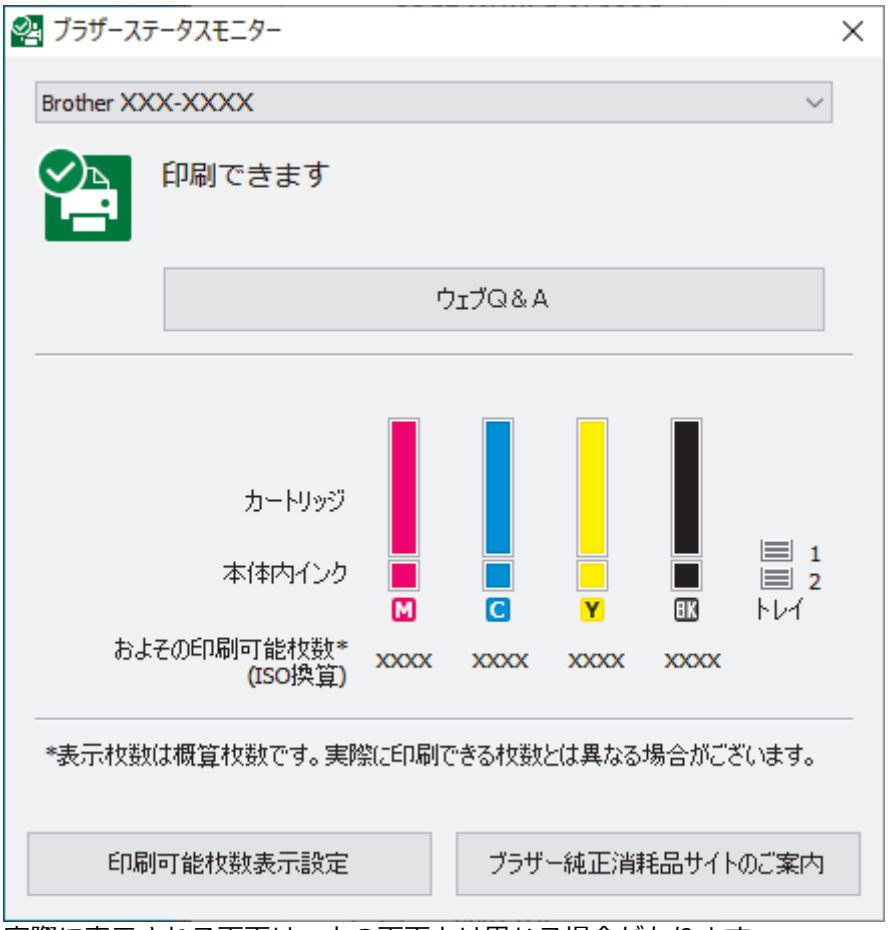
関連トピック：

- タッチパネル画面の概要
- 設定画面の概要
- 文書を印刷する（Windows）
- 本製品の状態をパソコンで確認する（Windows）
- Brother iPrint＆Scan を使用して本製品の状態を確認する（Windows/Mac）

本製品の状態をパソコンで確認する（Windows）

ステータスモニターは、1 台または複数台の製品の状態をモニターするためのツールで、エラー発生時には即座にお知らせします。

- 以下のいずれかを行ってください：
  - タスクトレイのアイコンをダブルクリックします。
  - （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。左ナビゲーションバーの**ツール**をクリックして、**ステータスモニター**をクリックします。



実際に表示される画面は、上の画面とは異なる場合があります。

ウェブQ＆A

ウェブQ＆Aボタンをクリックして、トラブルシューティングのウェブサイトにアクセスします。

印刷可能枚数表示設定

印刷可能枚数表示設定ボタンをクリックして、印刷可能枚数目安の表示設定を変更します。

ブラザー純正消耗品サイトのご案内

ブラザー純正消耗品については、**ブラザー純正消耗品サイトのご案内**ボタンをクリックしてください。

エラーアイコン

アイコン	詳細
	インクの残量が少なくなっています。
	インクカートリッジの交換が必要です。

アイコン	詳細
	インクカートリッジに問題があります。

- Web Based Management を使用してインク量を確認することもできます。

関連情報

- お使いのブラザー製品を確認する
  - ステータスモニターとは（Windows）
  - ステータスモニター機能をオフにする（Windows）
  - ステータスモニターを閉じる(Windows)

関連トピック：

- 印刷ジョブをキャンセルする（Windows）
- インク残量を確認する

ステータスモニターとは（Windows）

パソコンを起動すると、タスクトレイ上に**ブラザーステータスモニター**アイコンが表示されます。

- 緑色のアイコンは通常のスタンバイ状態を示しています。

- 黄色のアイコンは警告を示しています。

- 赤色のアイコンは何らかのエラーが起きていることを示しています。

- グレーのアイコンは本製品がオフラインの状態であることを示しています。

関連情報

- 本製品の状態をパソコンで確認する（Windows）

ステータスモニター機能をオフにする（Windows）

ステータスモニター機能により、お使いのパソコンから接続している本製品に問題があった場合に、通知を受けられます。お買い上げ時の設定は**この PC から印刷したときのみ**です。設定をオフにするには、以下の手順に従ってください。

1. （**ブラザーステータスモニター**）アイコンまたはウィンドウを右クリックし、**ステータスモニターの設定**を選択して、**オプション**をクリックします。

   オプションウィンドウが表示されます。
2. **通知設定**タブをクリックし、**ステータスモニター画面の表示対象:**で**なし**を選択します。
3. **OK** をクリックします。

ステータスモニター機能をオフにしている場合でも、ステータスモニターを表示させるといつでも本製品の状態を確認できます。

関連情報

- 本製品の状態をパソコンで確認する（Windows）

ステータスモニターを閉じる(Windows)

1. （**ブラザーステータスモニター**）アイコンまたはウィンドウを右クリックし、**閉じる**を選択します。
2. **OK** をクリックします。

関連情報

- 本製品の状態をパソコンで確認する（Windows）

Brother iPrint＆Scan を使用して本製品の状態を確認する（Windows/Mac）

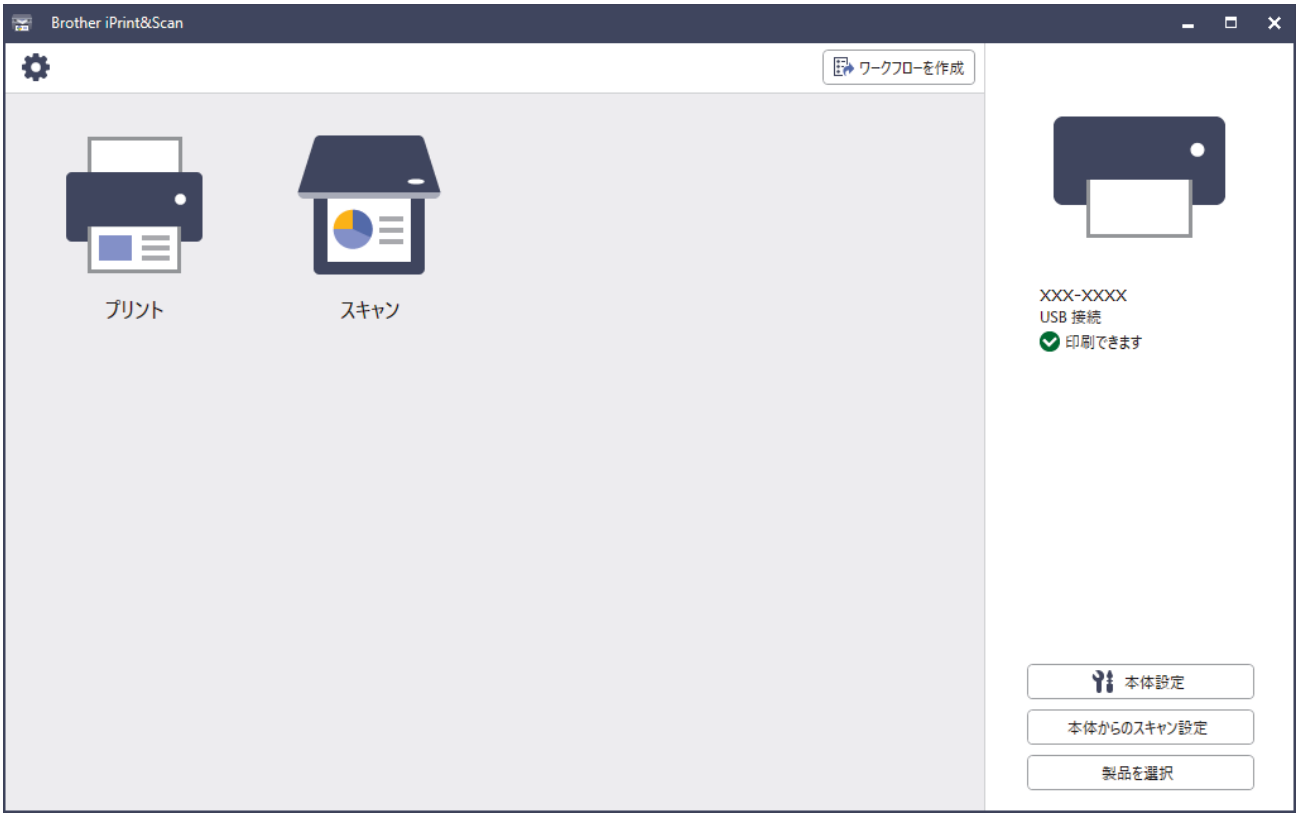
Brother iPrint&Scan では、本製品の状態を確認できます。

1. Brother iPrint&Scan を起動します。
   - Windows

     （**Brother iPrint&Scan**）を起動します。
   - Mac

     Finder メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

   Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。
2. 本製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧から本製品のモデル名を選択します。**OK** をクリックします。



ステータスアイコン

アイコン	詳細
	緑色のアイコンは、正常な待機状態を表します。
	黄色のアイコンは、警告を表します。
	赤色のアイコンは、エラーが発生していることを表します。

アイコン	詳細
	グレーのアイコンは、本製品がオフラインであることを表します。

エラーアイコン

アイコン	詳細
	インクの残量が少なくなっています。
	インクカートリッジの交換が必要です。
	インクカートリッジに問題があります。

- アプリケーションのバージョンによって、実際の画面と異なる場合があります。
- インク残量は目安であり、実際のインク残量とは異なる場合があります。
- Web Based Management を使用してインク残量を確認することもできます。

関連情報

- お使いのブラザー製品を確認する

用紙送りを調整して縦線をなくす

用紙送りを調整して縦線を減らします。

用紙送りを調整する前に、[インク] > [印刷品質のチェックと改善] > [印刷品質のチェックと改善] を押して、印刷品質を確認してください。

1. [インク] > [印刷品質のチェックと改善] > [用紙送り量の補正] を押します。
2. [次へ] を押します。
3. 画面に印刷品質チェック完了を確認するメッセージが表示されたら、[はい] を押します。
4. [自動] または [手動] を押します。
   - [自動] モードを選択した場合は、チェックシートを読み取って用紙送りが自動的に調整されます。
   - [手動] モードを選択した場合は、チェックシートに印刷された情報を手動で入力する必要があります。
5. 印刷するチェックシートの用紙サイズを選択します。
6. トレイに指定サイズの用紙を入れ、[スタート] を押します。
   チェックシートが印刷されます。
7. 画面のメッセージに従います。

関連情報

- 日常のお手入れ

関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題

印刷設定オプションを変更して印刷結果を改善する

印刷結果が期待どおりにならない場合は、本製品の印刷設定を変更して、印刷品質を改善してください。これらの設定を使用すると、印刷速度が遅くなる場合があります。

- これらの設定により、コピー、または、メディア/携帯端末からの印刷など本製品使用時における印刷結果を改善することができます。
- パソコンからの印刷時に印刷品質が低下する場合は、プリンタードライバーまたは印刷に使用するアプリケーションの設定を変更します。

1. [インク] > [印刷設定オプション] を押します。
2. 以下のオプションのいずれかを押します。

オプション	詳細
[用紙汚れの低減]	にじみや紙詰まり等の問題が起きる場合は、用紙タイプや片面印刷と両面印刷のどちらを使用しているかにあわせて、このオプションを選択してください。
[罫線ずれの低減]	罫線ずれが起きている場合は、用紙サイズにあわせてこのオプションを選択してください。
[片方向印刷]	印刷結果がずれる問題が発生する場合は、このオプションを選択します。

3. 画面の指示に従います。
4. を押します。

関連情報

- 日常のお手入れ

関連トピック：

- 用紙の取り扱いと印刷の問題
- その他の問題
- にじみや紙詰まりを防ぐ（Windows）
- 印刷設定（Windows）
- 両面コピーする

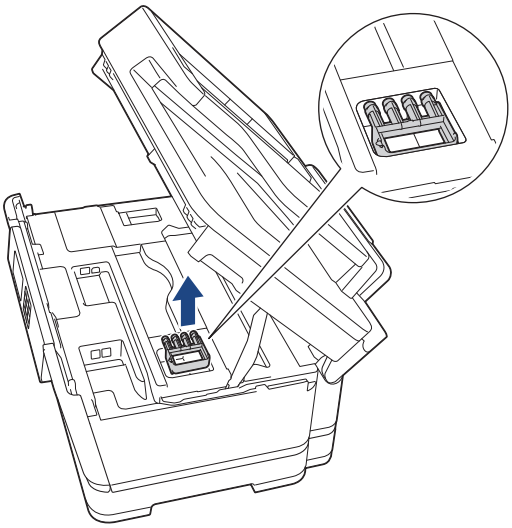
本製品を梱包して輸送する

- 製品を移動させる場合は、製品と同梱されていた梱包材をお使いください。製品を傾けたり、上下逆さまにしないでください。製品が正しく梱包されていない場合、輸送中に製品が損傷しても保証の対象外となる場合があります。
- 適切な保険をかけて本製品を輸送してください。

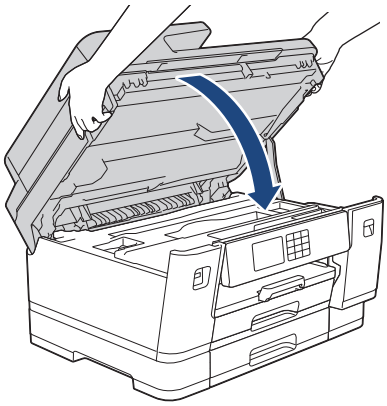
重要

印刷後にプリントヘッドが止まっていることを確認してください。すべての動作音が止まったかどうか、よく確認してから電源プラグを抜いてください。止まっていることの確認を怠ると、印刷時の問題やプリントヘッドの損傷につながる可能性があります。

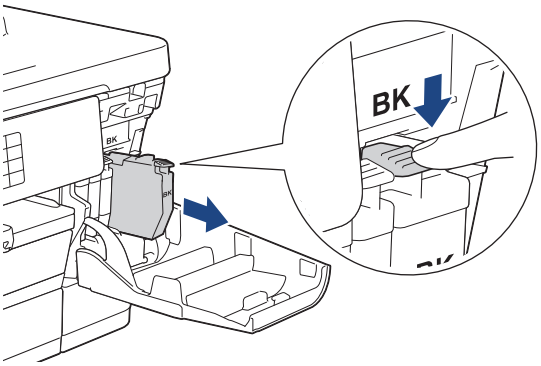
1. 製品の電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 本製品の左右側面にある指掛け部に指をかけて、両手で本体カバーを保持される位置まで開きます。壁側の電話用差し込み口から電話機コードを抜き、製品から電話機コードを取り外します。
3. インターフェイスケーブルが接続されている場合は、本製品から取り外します。
4. （MFC-J7100CDW/MFC-J7300CDW）本製品内に保管されている場所からオレンジ色の保護部材を取り外します。



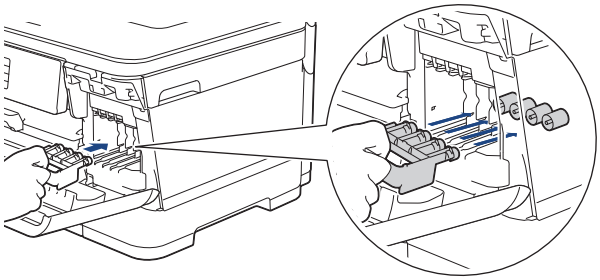
5. 本製品の左右側面にある指掛け部に指をかけて、本体カバーをゆっくりと閉じます。



6. インクカバーを開きます。
7. インクリリースレバーを押してインクカートリッジを外し、取り出します。

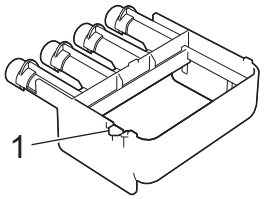


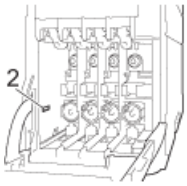
8. （MFC-J7100CDW/MFC-J7300CDW）オレンジ色の保護部材を取り付けます。



重要

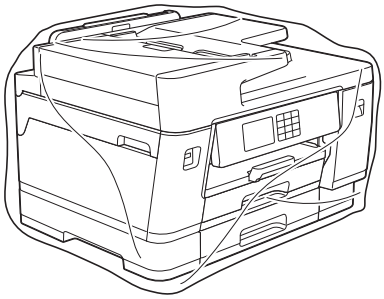
- オレンジ色の保護部材の左横にあるプラスチックタブ（1）が正しい位置（2）にカチッとはまることを確認します。



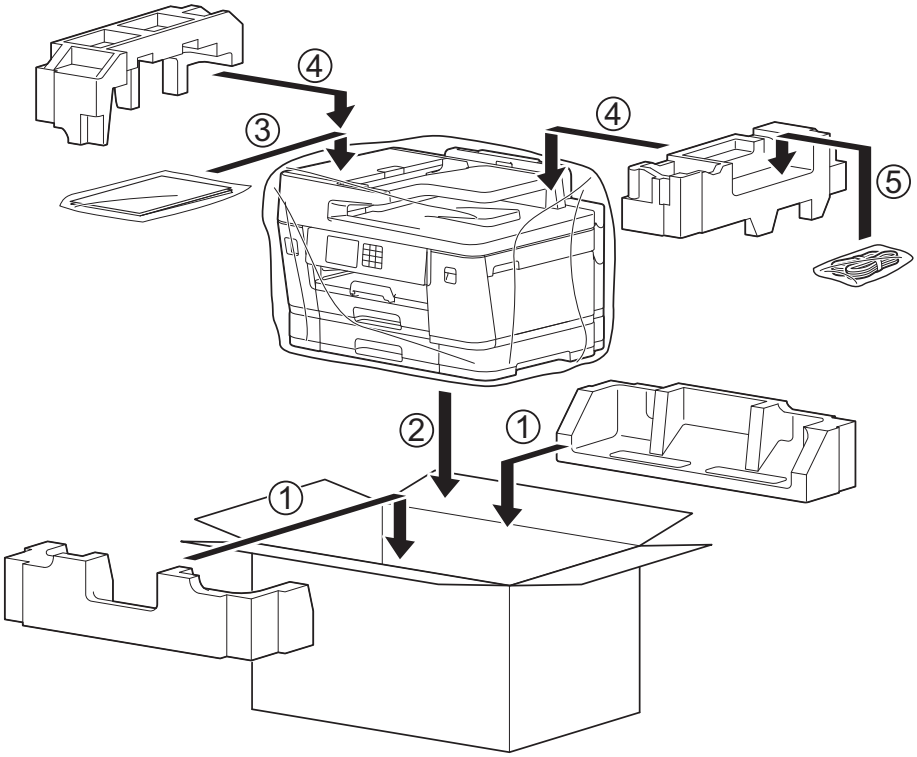


- オレンジ色の保護部材がない場合は、取り付けずに輸送してください。輸送中はインクカートリッジを製品内に残さないでください。

9. インクカバーを閉めます。
10. 製品を袋で包みます。



11. 下図のように同梱されていた梱包材を使用して購入時の箱に梱包します。
使用済みのインクカートリッジを箱の中に梱包しないでください。



12. 箱を閉めて封をします。

関連情報

- 日常のお手入れ

関連トピック：

- インクカートリッジを交換する

製品の設定

設定と機能をカスタマイズして、本製品をより効率的にご使用いただけます。

- 操作パネルから製品の設定を変更する
- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

操作パネルから製品の設定を変更する

- 停電になったときは（メモリー保存）
- 基本設定
- お好みの設定をショートカットとして登録する
- レポートを印刷する
- 設定と機能一覧

停電になったときは（メモリー保存）

- メニュー設定は永久に保存され、消去されません。
- 一時的な設定（例：コントラストや海外送信モード）は消去されます。
- 日付や時刻、予約されているファクスジョブ（タイマー送信など）の設定は約 24 時間保持されます。
- 製品のメモリーに保存された他のファクスジョブは消去されません。

関連情報

- 操作パネルから製品の設定を変更する

基本設定

- 音量を設定する
- スリープモードに入る時間を設定する
- 日時を設定する
- タイムゾーンを設定する
- 画面のバックライトの明るさを調整する
- 画面のバックライトの点灯時間を変更する
- 発信元を登録する
- プッシュ回線またはダイヤル回線を設定する
- 外線発信番号を設定する
- 間違った番号への発信を防ぐ（ダイヤル制限機能）
- 印刷音を軽減する
- 画面に表示される言語を変更する
- キーボード設定を変更する

音量を設定する

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [音量] を押します。
2. 以下のオプションのいずれかを押します：

オプション	詳細
[着信音量]	着信時のベルの音量を調整します。
[ボタン確認音量]	ボタンを押したとき、操作を誤ったとき、またはファクスを送受信した後に鳴る確認音量を調整します。
[スピーカー音量]	スピーカーの音量を調整します。

3. ▲または▼を押して [切]、[小]、[中]、または [大] を表示させ、使用したい設定を選択します。
4. を押します。

関連情報

- 基本設定

スリープモードに入る時間を設定する

スリープモード（または省電力モード）に設定すると、消費電力を節約することができます。製品がスリープモードに入ると、電源がオフになったように見えます。印刷ジョブまたはファクスを受信すると、起動し印刷を開始します。以下の手順で、製品がスリープモードに入るまでの時間を設定します。

- 製品でファクスまたは印刷ジョブを受信するなど、何らかの操作が行われると、タイマーが再度始動します。
- お買い上げ時の設定は 3 分です。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [スリープモード] を押します。
2. タッチパネルで設定する時間（1~60 分）を入力し、[OK] を押します。
3. を押します。

製品がスリープモードに入ると、画面のバックライトが消灯します。

関連情報

- 基本設定

日時を設定する

画面に日付と時刻が表示されます。現在の日時とずれている場合は、再設定してください。発信元登録がしてあれば、ファクスを送信したときに日時が印刷されます。

1. [メニュー] を押します。
2. [時計セット] を押します。
3. [日付] を押します。
4. 画面で西暦の下 2 桁を入力し、[OK] を押します。
5. 画面で月を 2 桁で入力し、[OK] を押します。
6. 画面で日を 2 桁で入力し、[OK] を押します。
7. [時刻] を押します。
8. 画面で時刻を 24 時間制で入力します。
   [OK] を押します。
   （例：午後 7:45 の場合は、19:45 と入力します。）
9. を押します。

関連情報

- 基本設定

関連トピック：

- 発信元を登録する

タイムゾーンを設定する

製品を使用する地域のタイムゾーンを設定します。

1. [メニュー] を押します。
2. [時計セット] > [タイム ゾーン] を押します。
3. 時間帯を入力します。
4. [OK] を押します。
5. を押します。

関連情報

- 基本設定

画面のバックライトの明るさを調整する

画面が見にくい場合は、明るさの設定を変えると見やすくなります。

1. ［メニュー］> ［全てのメニュー］> ［基本設定］> ［画面の明るさ］> ［画面の明るさ］を押します。
2. ［明るく］、［標準］、または［暗く］オプションを押します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

画面のバックライトの点灯時間を変更する

画面のバックライトが点灯する長さを設定します。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [画面の明るさ] > [照明ダウンタイマー] を押します。
2. ▲または▼を押して[10 秒]、[30 秒]、[1 分]、[2 分]、[3 分]、または[5 分]を表示させ、使用したい設定を選択します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

発信元を登録する

ファクスを送信するたびに、相手側の用紙に日付と時刻を印刷するには、製品の発信元登録をします。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [発信元登録] を押します。
2. [ファクス] を押します。
3. 画面でファクス番号（最大 20 桁）を入力し、[OK] を押します。
4. [名前] を押します。
5. 画面に表示されているキーボードで名前（16 文字まで）を入力し、[OK] を押します。

- あアA1@ を押して文字、数字、特殊記号を切り替えます。（地域によって使用できる文字は異なります。）
- 入力した文字を変更したい場合は ◀ または ▶ を押してカーソルを動かします。 を押し、正しい文字を入力します。
- スペースを入力するには、[スペース] を押します。

6. を押します。

関連情報

- 基本設定

関連トピック：

- 別のファクス機にファクスを転送する
- 別のファクス機に通信管理レポートを転送する
- 本製品にテキストを入力する
- 日時を設定する

プッシュ回線またはダイヤル回線を設定する

設置時に回線種別が自動設定できなかった場合や、引っ越しなどで電話回線の環境が変わったときなどに手動で回線種別を設定します。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [回線種別設定] を押します。
2. [プッシュ回線]、[ダイヤル 10PPS]、[ダイヤル 20PPS]、または[自動設定] を押します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

関連トピック：

- 電話とファクスの問題

外線発信番号を設定する

構内交換機（PBX）などを利用している電話回線の環境において、外線発信するときに必要な外線（識別）番号をあらかじめ登録しておくことができます。外線番号を押してからダイヤルしたり、外線番号を付けて電話帳に登録したりする必要がなくなります。

- 電話回線をご利用の環境が、外線番号を必要としない場合は登録しないでください。
- 0 から 9、#、*の番号と記号を使います。（他の番号、記号は使えません。）
- ！は、単独でしか使用できません。
- ダイヤル 10PPS、ダイヤル 20PPS 回線をご利用の場合は＊、＃が登録できません。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［初期設定］>［外線番号］を押します。
2. ［オン］または［オフ］を押します。
   - ［オン］
     ダイヤル時、外線番号を常に頭に付けて発信します。
   - ［オフ］
     外線番号機能を利用しません。
3. ［外線番号］を押します。
4. 画面を使って外線識別番号（5 桁まで）を入力し、［OK］を押します。

   外線識別番号を変更するには、◀または▶を押して、削除する番号を反転させ、バックスペースボタンを押します。その後、正しい番号を押します。
5. を押します。

関連情報

- 基本設定

間違った番号への発信を防ぐ（ダイヤル制限機能）

この機能を使用すると、ファクスの誤送信や電話のかけ間違いを防ぐことができます。ダイヤルパッド、アドレス帳、およびショートカットを使用している場合に、ダイヤルを制限するように本製品を設定できます。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [ダイヤル制限機能] を押します。
2. 以下のオプションのいずれかを押します。
   - [直接入力]
   - [電話帳]

     ダイヤル中に電話帳の番号を結合した場合は、番号はダイヤルボタンの入力として認識され、制限されません。
   - [ｼｮｰﾄｶｯﾄ]
3. 以下のオプションのいずれかを押します。

オプション	詳細
[2 度入力]	再度番号を入力するよう促すメッセージが表示されます。同じ番号を正しく再入力すると、本製品はダイヤルを開始します。再入力の番号に誤りがあると、画面にエラーメッセージが表示されます。
[オン]	設定されたダイヤル操作のすべてのファクス送信と外線発信を禁止します。
[オフ]	ダイヤル方式を制限しません。

- 番号を入力する前に、外付け電話を使用した場合、または [ｵﾝﾌｯｸ] を押した場合、[2 度入力] 設定は使用できません。再度番号を入力するよう促すメッセージは表示されません。
- [オン] または [2 度入力] を選択した場合、同報送信機能は使用できません。

4. を押します。

関連情報

- 基本設定

印刷音を軽減する

静音モードでは、印刷時の音を軽減することができます。静音モードが有効なときは、印刷速度が遅くなります。

お買い上げ時の設定は［オフ］です。

- 静音モードが有効になっている場合、ホーム画面にが表示されます。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［基本設定］>［静音モード］を押します。
2. ［オン］または［オフ］を押します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

関連トピック：

- タッチパネル画面の概要
- 用紙の取り扱いと印刷の問題

画面に表示される言語を変更する

必要な場合は画面の言語を変更します。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [表示言語設定] を押します。
2. 言語を選択します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

キーボード設定を変更する

画面のキーボードの種類を選択することができます。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [キーボード設定 (英字入力)] を押します。
2. [QWERTY 入力] または [かなめくり入力] を押します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

お好みの設定をショートカットとして登録する

- ショートカットを登録する
- ショートカットを変更、または削除する
- IC カードにショートカットを割り当てる

ショートカットを登録する

ファクス、コピー、スキャン、クラウド接続、お役立ちツールのメニューでよく使う設定条件をショートカットとして登録することができます。手動で毎回入力しなくても、ショートカットを呼び出して使うことができます。

モデルにより、ショートカット登録できるメニューは異なります。

ここではコピーのショートカットを登録する方法を説明しています。ファクスやスキャン、クラウド接続、お役立ちツールのショートカットの登録も類似しています。

1. ホーム画面が表示されたら、 [ｼｮｰﾄｶｯﾄ] を押します。
2. [1] から [3] のいずれかのタブを押します。
3. 未登録の + を押します。

ワンタッチボタンにショートカットを登録したい場合は、操作パネル上のワンタッチボタンを押してください。

4. ▲または▼を押して [コピー] を表示します。
5. [コピー] を押します。
6. [設定変更] を押します。
7. ▲または▼を押して利用可能な設定を表示し、変更したい設定を押します。
8. ▲または▼を押して利用可能なオプションを表示し、設定したいオプションを押します。

   上記の手順を繰り返し、ショートカットの設定を全て選択します。完了したら、 [OK] を押します。
9. [OK] を押します。
10. 選択した設定の一覧が表示されたら、内容を確認して、 [OK] を押します。
11. 画面でショートカットの名前を入力し、 [OK] を押します。

ファクスやスキャンをショートカットに追加するときは、直接スタート機能に設定するかどうかを尋ねられます。画面の指示に従います。

関連情報

- お好みの設定をショートカットとして登録する

ショートカットを変更、または削除する

ショートカットの設定を編集できます。

クラウド接続やお役立ちツールのショートカットは変更できません。変更する場合は、一度削除し、新たにショートカットを登録してください。

1. ホーム画面が表示されたら、 [ｼｮｰﾄｶｯﾄ] を押します。
2. [1] から [3] のいずれかのタブを押して、編集したいショートカットを表示させます。
3. 編集したいショートカットを長押しします。

ワンタッチボタンに登録したショートカットを変更、または削除する場合は、 [メニュー] > [全てのメニュー] > [ショートカット設定] を押してから、操作パネル上のワンタッチボタンを押します。

4. [編集] を押します。

ショートカットを削除するには、[消去] を押します。ショートカットの名前を編集するには、[名前の変更] を押して、画面の指示に従います。

5. [設定変更] を押します。
6. ▲ または ▼ を押して利用可能な設定を表示し、変更したい設定を押します。
7. 選択したショートカットの設定を編集します。[OK] を押します。
8. 設定の編集が完了したら、[OK] を押します。
9. [OK] を押して確認します。

ファクスやスキャンのショートカットを変更するときは、直接スタート機能に設定するかどうかを尋ねられます。画面の指示に従います。

関連情報

- お好みの設定をショートカットとして登録する

関連トピック：

- 本製品にテキストを入力する

IC カードにショートカットを割り当てる

- NFC を使用して IC カードにショートカットを割り当てる
- IC カードリーダーを使用して IC カードにショートカットを割り当てる

NFC を使用して IC カードにショートカットを割り当てる

関連モデル: MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW

IC カードにショートカットを割り当てることができます。本製品の NFC タッチ部分に IC カードをタッチすると、画面に個人用ショートカットが自動的に表示されます。

- 複数の異なるショートカットに同じ IC カードを使用することはできません。
- IC カードを別のショートカットに使用するには、まずカードの登録を解除してから、新しいショートカットに登録します。

1. ホーム画面が表示されたら、 ＋ [ｼｮｰﾄｶｯﾄ] を押します。
2. IC カードに割り当てるショートカットが含まれたタブを押します。
3. オプションが表示されるまで、ショートカットを長押しします。
4. ▲ または ▼ を押して [NFC カードの登録] を表示させ、それを押します。
5. IC カードを NFC タッチ部分にタッチします。
6. [登録] を押します。
   ショートカットが IC カードに割り当てられます。

関連情報

- IC カードにショートカットを割り当てる

IC カードリーダーを使用して IC カードにショートカットを割り当てる

IC カードにショートカットを割り当てることができます。本製品に接続された IC カードリーダーに IC カードをタッチすると、画面に個人用ショートカットが自動的に表示されます。

- 複数の異なるショートカットに同じ IC カードを使用することはできません。
- IC カードを別のショートカットに使用するには、まずカードの登録を解除してから、新しいショートカットに登録します。

IC カードにショートカットを割り当てる前に、外付け IC カードリーダーを登録します。Web Based Management を使用してカードリーダーを登録します。本製品は、HID クラスのドライバーに対応している外付け IC カードリーダーをサポートしています。

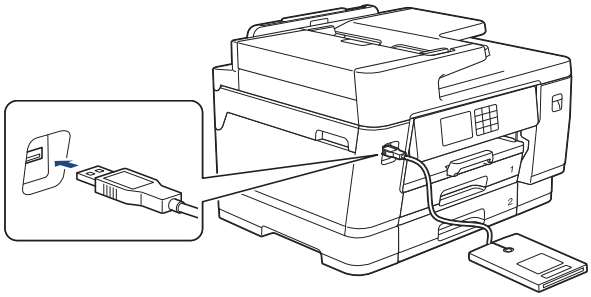
1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定** > **外付けカードリーダー**をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。
5. 必要な情報を入力し、**OK** をクリックします。
6. 本製品を再起動して、設定を有効にします。
7. カードリーダーを本製品に接続します。



8. ホーム画面が表示されたら、画面の ＋ [ｼｮｰﾄｶｯﾄ] を押します。
9. [1]～[3] のタブを押して、IC カードに割り当てるショートカットが含まれたショートカット画面を選択します。
10. オプションが表示されるまで、ショートカットを長押しします。
11. ▲ または ▼ を押して [NFC カードの登録] を表示させ、それを押します。
12. 本製品に接続された IC カードリーダーに IC カードをタッチします。
13. [登録] を押します。

    ショートカットが IC カードに割り当てられます。

関連情報

- IC カードにショートカットを割り当てる

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

レポートを印刷する

- レポート種類
- レポートを印刷する
- 送受信テストとファクスレポート
- 電話とファクスの問題

レポート種類

以下のレポートを印刷できます：

送信結果レポート

送信結果レポートでは、本製品から最後に送ったファクスの詳細が印刷されます。

電話帳リスト

電話帳リストでは、電話帳メモリーに登録されている名前と番号の一覧が印刷されます。

通信管理レポート

通信管理レポートでは、最近送受信した、200 件分の通信結果が印刷されます。（TX は送信、RX は受信を指します。）

設定内容リスト

本製品の現在の設定内容を印刷します。

ネットワーク設定リスト（ネットワークモデル）

ネットワークの設定状況を印刷します。

無線 LAN レポート（無線モデル）

無線 LAN の接続状態や無線 LAN 情報を一覧にします。

着信履歴リスト

着信履歴リストでは、最新 30 件の受信ファクスおよび電話の着信履歴の一覧が印刷されます。

関連情報

- レポートを印刷する

レポートを印刷する

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [レポート印刷] を押します。
2. ▲または▼を押してレポート印刷項目を表示させ、ご希望の設定項目を押します。
3. [はい] を押します。
4. を押します。

関連情報

- レポートを印刷する

設定と機能一覧

- 設定一覧（2.7 型（67.5mm） / 3.5 型（87.6mm）タッチパネルモデル）
- 機能一覧（2.7 型（67.5mm） / 3.5 型（87.6mm）タッチパネルモデル）

設定一覧（2.7 型（67.5mm） / 3.5 型（87.6mm）タッチパネルモデル）

本製品で設定できる内容や機能は次の表のとおりです。

>> ［メニュー］
>> ［基本設定］
>> ［ショートカット設定］
>> ［ファクス］
>> ［プリンター］
>> ［ネットワーク］
>> ［レポート印刷］
>> ［製品情報］
>> ［初期設定］

［メニュー］

［メニュー］

設定項目 1	設定項目 2	設定項目 3	説明
（［時計セット］）	-	-	日付と時刻設定メニューにアクセスします。
［ﾒﾝﾃﾅﾝｽ］	-	-	メンテナンス設定メニューにアクセスします。
［ネットワーク］	［有線 LAN］	-	有線 LAN 設定メニューにアクセスします。
	［無線 LAN（Wi-Fi）］	-	無線 LAN 設定メニューにアクセスします。
	［Wi-Fi Direct］	-	Wi-Fi Direct 設定メニューにアクセスします。
	［有線/無線切替え］	-	ネットワーク接続の種類を選択します。
［用紙トレイ設定］	-	-	トレイ設定メニューにアクセスします。
［みるだけ受信］	-	-	受信したファクスを画面に表示します。
［Wi-Fi Direct］	-	-	Wi-Fi Direct 設定メニューにアクセスします。
［全てのメニュー］	-	-	詳細設定を行います。

［基本設定］

［全てのメニュー］ > ［基本設定］

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
［メンテナンス］	［印刷品質のチェックと改善］	［印刷品質のチェックと改善］	画面の指示に従って、印刷品質、罫線ずれ、給紙を確認し調整をします。
		［罫線ずれの補正］	
		［用紙送り量の補正］	
	［ヘッドクリーニング］	-	画面の指示に従って、プリントヘッドのクリーニングをします。
	［詰まった紙片の除去］	-	画面の指示に従って、本製品に詰まった紙片を取り除きます。
	［給紙ロ－ラ－のクリ－ニング］	-	画面の指示に従って、ローラーをクリーニングします。
	［インク残量］	-	使用可能なインクの残量を確認します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[メンテナンス]	**[インクカートリッジ型番]**	-	インクカートリッジ型番を確認します。
	[印刷設定オプション]	**[用紙汚れの低減]**	印刷中にできるにじみや紙詰まりを減らします。
		[罫線ずれの低減]	印刷中にできる罫線ずれを減らします。
		[片方向印刷]	印刷品質を高め、印刷ずれを減らします。
	[インクカートリッジ純正情報]	-	インクカートリッジの情報を表示します。
	[自動ノズルチェック機能]	-	プリントヘッドの状態を自動で検知し、必要に応じてプリントヘッドをクリーニングします。
[用紙トレイ設定]	**[用紙トレイ 1]**	**[用紙タイプ]**	用紙トレイ#1 の用紙タイプを設定します。
		[用紙サイズ]	用紙トレイ#1 の用紙サイズを設定します。
	[用紙トレイ 2] (MFC-J7300CDW/ MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	**[用紙サイズ]**	用紙トレイ#2 の用紙サイズを設定します。
	[用紙トレイ 3] (MFC-J7600CDW)	**[用紙サイズ]**	用紙トレイ#3 の用紙サイズを設定します。
	[多目的トレイ]	**[用紙タイプ]**	多目的トレイの用紙タイプを設定します。
		[用紙サイズ]	多目的トレイの用紙サイズを設定します。
	[トレイ設定:コピー]	**[用紙トレイ選択]**	コピーに使う用紙トレイを設定します。
		[トレイ優先順位]	コピーに使う用紙トレイの優先順位を変更します。
	[トレイ設定:ファクス]	**[用紙トレイ選択]**	ファクスに使う用紙トレイを設定します。
		[トレイ優先順位]	ファクスに使う用紙トレイの優先順位を変更します。
	[トレイ設定:プリント]	**[トレイ優先順位]**	パソコンからの印刷に使う用紙トレイの優先順位を変更します。
	[トレイ設定:JPEG プリント(メディア)]	**[用紙トレイ選択]**	USB フラッシュメモリーから写真を印刷するときに使う用紙トレイを選択します。
		[トレイ優先順位]	USB フラッシュメモリーから写真を印刷するときに使う用紙トレイの優先順位を変更します。
	[除外トレイ設定] (MFC-J7600CDW)	-	異なるサイズの用紙がセットされている場合に、使用しない特定のトレイを選択します。
	[用紙残量通知] (MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	-	用紙の残り枚数が少なくなったことを知らせるメッセージを表示するかどうかを設定します。
	[トレイ確認]	-	本製品からトレイを抜き出したとき、または多目的トレイに用紙をセット

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[用紙トレイ設定]			したときに、用紙タイプと用紙サイズを確認するか設定します。
[静音モード]	-	-	印刷音を軽減します。
[音量]	[着信音量]	-	着信音量を調整します。
	[ボタン確認音量]	-	ボタン確認音量を調整します。
	[スピーカー音量]	-	スピーカーの音量を調整します。
[画面の明るさ]	[画面の明るさ]	-	画面のバックライトの明るさを調整します。
	[照明ダウンタイマー]	-	最後に画面を押してから、画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。
[画面設定]	[待機画面]	-	を押したときに表示される画面を設定します。
	[スキャン画面]	-	スキャン画面の初期値を設定します。
[通知画面設定]	[原稿取り忘れ]	-	原稿台ガラスに原稿が残っている場合にメッセージを表示します。
	[ｺﾋﾟｰ原稿ｾｯﾄｶﾞｲﾀﾞﾝｽ]	-	原稿台カバーを開いたときに、原稿の置き方の案内を表示します。
	[スキャン結果 (白紙除去)]	-	スキャン完了後に、除去した空白ページ数が表示されます。
[キーボード設定 (英字入力)]	-	-	画面のキーボードの種類を選択します。
[スリープモード]	-	-	本製品がスリープモードに入るまでの待機時間を設定します。

[ショートカット設定]

[全てのメニュー] > [ショートカット設定]

設定項目 3	設定項目 4	説明
(ショートカットボタンを選択します。)	[名前の変更]	ショートカット名を変更します。
	[編集]	ショートカット設定を編集します。
	[消去]	ショートカットを削除します。
	[NFC カードの登録]	IC カードにショートカットを割り当てます。
	[NFC カード削除]	IC カードからショートカットを削除します。

[ファクス]

[全てのメニュー] > [ファクス]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[かんたんファクス設定]	-	-	ガイドに沿って電話とファクスの受け方を設定します。
[受信設定]	[呼出ベル回数]	-	「ファクス専用モード」と「自動切換えモード」のとき、自動受信するまでの呼出ベル回数を設定します。
	[受信モード]	-	最適な受信モードを選択します。
	[再呼出ベル回数]	-	「自動切換えモード」での、再呼出ベル回数の長さを設定します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[受信設定]	[みるだけ受信]	-	受信したファクスを画面に表示します。
	[親切受信]	-	着信応答時にファクス受信音を聞くと、自動的にファクスを受信します。
	[リモート受信]	-	内線電話または外付け電話で着信に応答し、暗証番号を使ってリモートコードをオンまたはオフにします。好きな暗証番号を設定することができます。
	[自動縮小]	-	受信ファクスのサイズを縮小します。
	[PC ファクス受信]	-	パソコンにファクスを送信するように設定します。 本製品で印刷する／しないを設定できます。
	[メモリ受信]	-	ファクスメッセージを転送したり、（製品から離れている間も取り出すことができるように）受信ファクスをメモリーまたはクラウドサービスに保存したりするように設定します。 ファクス転送、またはファクスクラウド転送を選択している場合は、本製品で印刷する／しないを設定できます。
	[受信スタンプ]	-	受信ファクスの上部に受信日時を印刷します。
[電話回線診断]	-	-	現在の回線の状態を診断し、結果を印刷します。
[レポート設定]	[送信結果レポート]	-	送信結果レポートの初期設定を選択します。
	[通信管理レポート]	-	通信管理レポートの自動印刷の間隔を設定します。 レポート出力しない、または 50 件ごと、以外を選択すると、時間を設定できます。 7 日ごとを選択した場合は曜日を指定できます。
[ファクス出力]	-	-	製品のメモリー内に保存された受信ファクスを印刷します。
[暗証番号]	-	-	リモコン機能の暗証番号を設定します。
[ダイヤル制限機能]	[直接入力]	-	ダイヤルパッドを使用するときに、ダイヤルを制限します。
	[電話帳]	-	電話帳を使用するときに、ダイヤルを制限します。
	[ｼｮｰﾄｶｯﾄ]	-	ショートカットを使用するときに、ダイヤルを制限します。
[通信待ち一覧]	-	-	製品のメモリー内の送信待ちジョブを確認したり、送信をやめたりできます。
[ナンバーディスプレイ]	-	-	ナンバーディスプレイサービスを使用する/ しないを設定します。
[データコネクト設定]	[IP ファクス]	-	IP ファクスを使ってファクスを送信するときに設定します。
	[送信速度]	-	IP ファクスを使ってファクスを送信するときの通信速度を設定します。

[プリンター]

[全てのメニュー] > [プリンター]

(MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[エミュレーション]	-	-	エミュレーションモードを設定します。
[プリンター オプション]	[フォント リスト]	[HP LaserJet]	製品の内部フォントの一覧を印刷します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[プリンター オプション]	[フォント リスト]	[BR-Script 3]	製品の内部フォントの一覧を印刷します。
	[テストプリント]	-	テストページを印刷します。
[両面印刷]	[両面印刷]	-	両面印刷をするかどうかを設定します。また、とじ方向を長辺または短辺から選びます。
[HP トレイ コマンド]	-	-	エミュレーションを HP LaserJet にした場合のバージョンを設定します。
[プリンター リセット]	-	-	プリンター設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[ネットワーク]

[全てのメニュー] > [ネットワーク]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[有線 LAN]	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	最適な IP 取得方法を選択します。
		[IP アドレス]	-	IP アドレスを入力します。
		[サブネット マスク]	-	サブネットマスクを入力します。
		[ゲートウェイ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。
		[ノード名]	-	ノード名を入力します。
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。
		[WINS サーバー]	-	プライマリーまたはセカンダリー WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS サーバー]	-	プライマリーまたはセカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[APIPA]	-	リンクローカルアドレスの範囲から、自動的に IP アドレスを割り当てるように製品を設定します。
		[IPv6]	-	IPv6 プロトコルをオンまたはオフにします。
	[イーサネット]	-	-	イーサネットリンクモードを選択します。
	[有線 LAN 状態]	-	-	現在の有線 LAN の状態を確認します。
	[MAC アドレス]	-	-	製品の MAC アドレスを確認します。
[無線 LAN (Wi-Fi)]	[ネットワーク選択 (SSID)]	-	-	無線ネットワークを手動で設定します。
	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	最適な IP 取得方法を選択します。
		[IP アドレス]	-	IP アドレスを入力します。
		[サブネット マスク]	-	サブネットマスクを入力します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[無線 LAN(Wi-Fi)]	[TCP/IP]	[ゲートウエイ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。
		[ノード名]	-	ノード名を入力します。
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。
		[WINS サーバー]	-	プライマリーまたはセカンダリー WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS サーバー]	-	プライマリーまたはセカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[APIPA]	-	リンクローカルアドレスの範囲から、自動的に IP アドレスを割り当てるように製品を設定します。
		[IPv6]	-	IPv6 プロトコルをオンまたはオフにします。
	[WPS(プッシュボタン)]	-	-	ワンプッシュボタン方式を使って無線ネットワークを設定します。
	[WPS(PIN コード)]	-	-	WPS の PIN を使って無線ネットワークの設定をします。
	[無線状態]	[接続状態]	-	現在の無線ネットワークの状態を確認します。
		[電波状態]	-	現在の無線ネットワークの信号強度を確認します。
		[SSID]	-	現在の SSID を確認します。
		[通信モード]	-	現在の通信モードを確認します。
	[MAC アドレス]	-	-	製品の MAC アドレスを確認します。
[Wi-Fi Direct]	[手動接続]	-	-	Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定します。
	[グループ オーナー]	-	-	お使いの製品をグループオーナーに設定します。
	[プッシュボタン接続]	-	-	ワンプッシュ方式を使用して、Wi-Fi Direct ネットワークを設定します。
	[PIN コード接続]	-	-	WPS の PIN コードを使って Wi-Fi Direct ネットワークの設定をします。
	[デバイス情報]	[デバイス名]	-	お使いの製品のデバイス名を確認します。
		[SSID]	-	グループオーナーの SSID を確認します。 製品が接続されていないときは、画面に「未接続」と表示されます。
		[IP アドレス]	-	製品の現在の IP アドレスを確認します。
	[接続情報]	[接続状態]	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの状態を確認します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[Wi-Fi Direct]	[接続情報]	[電波状態]	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの信号強度を確認します。 製品がグループオーナーとして動作しているときは、画面には常に強い信号が表示されます。
	[インターフェース有効]	-	-	Wi-Fi Direct 接続をオンまたはオフにします。
[NFC] (MFC-J7300CDW/ MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	-	-	-	NFC 機能をオン、またはオフに切り替えます。
[E メール/IFAX]	[メール アドレス]	-	-	本製品のメールアドレスを設定します。 (60 文字まで)
	[サーバー設定]	[SMTP]	[サーバー]	SMTP サーバーの名前とアドレスを入力します。
			[ポート]	SMTP ポート番号を入力します。
			[SMTP Auth.]	E メール通知のセキュリティ方式を選択します。
			[SSL/TLS]	安全な SSL/TLS 通信を必要とする E メールサーバーを経由して、E メールを送受信します。
			[証明書の検証]	SMTP サーバー認証を自動的に確認します。
		[POP3/IMAP4]	[プロトコル]	サーバーから E メールを受信するためのプロトコルを選択します。
			[サーバー]	サーバーの名前とアドレスを入力します。
			[ポート]	ポート番号を入力します。
			[アカウント名]	メールボックス名を入力します。 (60 文字まで)
			[パスワード]	サーバーにログインするパスワードを入力します。 (128 文字まで)
			[フォルダ選択]	IMAP4 プロトコルを使用する場合にメールボックス内で指定するフォルダを選択します。
			[SSL/TLS]	安全な SSL/TLS 通信を必要とする E メールサーバーを経由して、E メールを送受信します。
			[証明書の検証]	サーバー認証を自動的に確認します。
			[APOP]	APOP をオンまたはオフにします。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[E メール/IFAX]	[メール 受信設定]	[自動受信]	[自動受信]	自動的にサーバーの新しいメッセージを確認します。
			[ポーリング間隔]	サーバーの新しいメッセージを確認する間隔を設定します。
		[ヘッダー印刷]	-	印刷する E メールヘッダーの内容を選択します。
		[エラーメール削除/閲覧]	-	エラーメールを自動的に消去するよう設定します。
		[受信確認]	-	通知メッセージを受信します。
	[メール 送信設定]	[メール タイトル]	-	件名を確認します。
		[サイズ制限]	[サイズ制限]	E メール文書のサイズを制限します。
			[最大サイズ (MB)]	
		[受信確認要求]	-	通知メッセージを送信します。
	[リレー 設定]	[リレー 許可]	-	別のファクス機にリレー配信を行います。
		[許可 ドメイン]	-	ドメイン名を登録します。
		[リレー レポート]	-	リレー配信レポートを印刷します。
	[手動受信]	-	-	POP3 または IMAP4 サーバーに新しいメッセージが届いているかを手動で確認します。
[ブラザーからのお知らせ]	[ブラザーからのお知らせ]	-	-	ブラザーからのメッセージやお知らせを表示します。
	[ステータス]	-	-	
[Web 接続設定]	[プロキシ設定]	[プロキシ経由接続]	-	Web 接続設定を変更します。
		[アドレス]	-	
		[ポート]	-	
		[ユーザー名]	-	
		[パスワード]	-	
[有線/無線切替え]	-	-	-	ネットワーク接続の種類を選択します。
[IPsec]	-	-	-	IPsec は、IP プロトコルの任意のセキュリティ機能であり、認証と暗号化のサービスを提供します。ネットワーク管理者に問い合わせてからこの設定を変更することを推奨します。
[ネットワーク設定リセット]	-	-	-	すべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[レポート印刷]

[全てのメニュー] > [レポート印刷]

設定項目 3	説明
[送信結果レポート]	最後に送信したファクスの送信結果レポートを印刷します。
[電話帳リスト]	電話帳に登録されている名前と番号の一覧を印刷します。
[通信管理レポート]	最新 200 件の受信および送信ファクス情報の一覧を印刷します。 （TX は送信を意味します。RX は受信を意味します。）
[設定内容リスト]	設定の一覧を印刷します。
[ネットワーク設定リスト]	ネットワーク設定の一覧を印刷します。
[無線 LAN レポート]	無線ネットワーク接続結果を印刷します。
[着信履歴リスト]	ファクス・電話の最新 30 件の着信履歴の一覧を印刷します。

[製品情報]

[全てのメニュー] > [製品情報]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[シリアル No.]	-	製品のシリアルナンバーを確認します。
[ファームウェアバージョン]	[Main バージョン]	製品のファームウェアバージョンを確認します。
	[Security バージョン]	
[ファームウェア更新]	-	製品を最新のファームウェアに更新します。
[ファームウェア更新通知]	-	ホーム画面でファームウェアの情報を確認します。
[印刷枚数表示]	-	製品が印刷した合計ページ数を確認します。

[初期設定]

[全てのメニュー] > [初期設定]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[時計セット]	[日付]	画面および送信ファクスの見出しに日付と時刻を追加します。
	[時刻]	
	[タイム ゾーン]	タイムゾーンを設定します。
[発信元登録]	[ファクス]	送信ファクスに表示する名前とファクス番号を入力します。
	[名前]	
[回線種別設定]	-	回線種別を選択します。
[ファクス自動再ダイヤル]	-	回線が混雑してファクス通信ができなかった場合は、送信したファクス番号をかけ直すように製品を設定します。
[ダイヤルトーン設定]	-	ダイヤルトーンの検出をするかどうかを設定します。
[外線番号]	-	ダイヤル時に毎回ファクス番号の先頭に付ける番号を設定します。
[特別回線対応]	-	電話回線の種類を選択します。
[安心通信モード]	-	通信エラーを調整します。 ファクス通信エラーがたびたび起こる場合は、安心（VoIP）を選択します。
[設定リセット]	[機能設定リセット]	日時設定など、すべての機能設定をお買い上げ時の状態に戻します。

設定項目 3	設定項目 4	説明
[設定リセット]	**[ネットワーク設定リセット]**	すべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[電話帳&ファクスリセット]	登録されているすべての電話番号とファクス設定を消去します。
	[全設定リセット]	製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。
[表示言語設定]	-	画面の言語を変更します。

関連情報

- 設定と機能一覧

機能一覧（2.7 型（67.5mm） / 3.5 型（87.6mm）タッチパネルモデル）

本製品で設定できる機能や一時オプションは次の表のとおりです。

>> [ファクス]
>> [コピー]
>> [スキャン]
>> [セキュリティ印刷]
>> [クラウド]
>> [お役立ちツール]
>> [メディア]
>> [便利な A3 コピー]
>> [ｿﾌﾄｳｪｱﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ]
>> [ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]
>> [ｼｮｰﾄｶｯﾄ]
>> [インク]
>> Wi-Fi 設定
>> USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込んだとき

[ファクス]

（[みるだけ受信] が [オフ（受信したら印刷）] の場合）

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[ｵﾝﾌｯｸ]	-	-	ファクス機が応答するのを聞きたい場合は、ダイヤルする前に押して、ファクススタートを押します。
[電話帳]	（[検索：]）	-	電話帳を検索します。
	[登録/編集]	-	電話帳の番号を登録したり、同報送信のグループダイヤルを設定したり、電話帳の番号を変更、削除します。
	-	[送信先に設定]	電話帳を使ってファクス送信を開始します。
[履歴]	[再ダイヤル]	-	最後にダイヤルした番号に再ダイヤルします。
	[発信履歴]	[送信先に設定]	発信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
		[設定]	
	[着信履歴]	[送信先に設定]	着信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
		[設定]	
[設定変更]	[ファクス画質]	-	送信ファクスの解像度を設定します。
	[原稿濃度]	-	コントラストを調整します。
	[両面ファクス] (MFC-J7300CDW/ MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	-	両面読み取りの形式を設定します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[設定変更]	[原稿サイズ]	-	送信ファクスの原稿サイズを設定します。
	[長尺原稿送信]	-	ADF(自動原稿送り装置)を使って長い原稿をスキャンします。
	[同報送信]	[番号追加]	複数のファクス番号に同じファクスメッセージを送信します。
	[みてから送信]	-	送信前にファクス内容を確認します。
	[カラー設定]	-	ファクスをモノクロまたはカラーで送信するかどうかを設定します。
	[タイマー送信]	[タイマー送信]	タイマー送信でファクスを送信する時刻を指定します。
		[指定時刻]	
	[とりまとめ送信]	-	ファクス番号と予約時刻が同じファクスを、1 回のタイマー送信にまとめます。
	[リアルタイム送信]	-	メモリーを使わずにファクスを送信します。
	[海外送信モード]	-	海外へのファクス送信がうまくいかない場合、オンに設定します。
	[履歴]	[再ダイヤル]	最後にダイヤルした番号に再ダイヤルします。
		[発信履歴]	発信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
		[着信履歴]	着信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
	[電話帳]	（[検索：]）	電話帳を検索します。
		[登録/編集]	電話帳の番号を登録したり、同報送信のグループダイヤルを設定したり、電話帳の番号を変更、削除します。
	[設定を保持する]	-	設定を初期値として保存します。
	[設定をリセットする]	-	すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。
[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	-	-	現在の設定をショートカットとして保存します。

（[みるだけ受信]が[オン（画面で確認）]の場合）

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[ファクス送信]	[ｵﾝﾌｯｸ]	-	-	ファクス機が応答するのを聞きたい場合は、ダイヤルする前に押して、ファクススタートを押します。
	[電話帳]	（[検索：]）	-	電話帳を検索します。
		[登録/編集]	-	電話帳の番号を登録したり、同報送信のグループダイヤルを設定したり、電話帳の番号を変更、削除します。
		-	[送信先に設定]	電話帳を使ってファクス送信を開始します。
	[履歴]	[再ダイヤル]	-	最後にダイヤルした番号に再ダイヤルします。
		[発信履歴]	[送信先に設定]	発信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
			[設定]	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[ファクス送信]	[履歴]	[着信履歴]	[送信先に設定]	着信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
			[設定]	
	[設定変更]	[ファクス画質]	-	送信ファクスの解像度を設定します。
		[原稿濃度]	-	コントラストを調整します。
		[両面ファクス] (MFC-J7300CDW/ MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	-	両面読み取りの形式を設定します。
		[原稿サイズ]	-	送信ファクスの原稿サイズを設定します。
		[長尺原稿送信]	-	ADF(自動原稿送り装置)を使って長い原稿をスキャンします。
		[同報送信]	[番号追加]	複数のファクス番号に同じファクスメッセージを送信します。
		[みてから送信]	-	送信前にファクス内容を確認します。
		[カラー設定]	-	ファクスをモノクロまたはカラーで送信するかどうかを設定します。
		[タイマー送信]	[タイマー送信]	タイマー送信でファクスを送信する時刻を指定します。
			[指定時刻]	
		[とりまとめ送信]	-	ファクス番号と予約時刻が同じファクスを、1 回のタイマー送信にまとめます。
		[リアルタイム送信]	-	メモリーを使わずにファクスを送信します。
		[海外送信モード]	-	海外へのファクス送信がうまくいかない場合、オンに設定します。
		[履歴]	[再ダイヤル]	最後にダイヤルした番号に再ダイヤルします。
			[発信履歴]	発信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
			[着信履歴]	着信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
		[電話帳]	(検索:)	電話帳を検索します。
			[登録/編集]	電話帳の番号を登録したり、同報送信のグループダイヤルを設定したり、電話帳の番号を変更、削除します。
		[設定を保持する]	-	設定を初期値として保存します。
		[設定をリセットする]	-	すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	-	-	現在の設定をショートカットとして保存します。
[受信ファクス]	[印刷/消去]	[全て印刷 (新着ファクス)]	-	新着ファクスを印刷します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[受信ファクス]	[印刷/消去]	[全て印刷 (既読ファクス)]	-	既読ファクスを印刷します。
		[全て消去 (新着ファクス)]	-	新着ファクスを消去します。
		[全て消去 (既読ファクス)]	-	既読ファクスを消去します。
[電話帳]	(検索:)	-	-	電話帳を検索します。
	[登録/編集]	-	-	電話帳の番号を登録したり、同報送信のグループダイヤルを設定したり、電話帳の番号を変更、削除します。
	-	[送信先に設定]	-	電話帳を使ってファクス送信を開始します。
[履歴]	[再ダイヤル]	-	-	最後にダイヤルした番号に再ダイヤルします。
	[発信履歴]	[送信先に設定]	-	発信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
		[設定]	-	
	[着信履歴]	[送信先に設定]	-	着信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
		[設定]	-	

[コピー]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	-	-	現在の設定をショートカットとして保存します。
[ID]	-	-	ID カードのコピーを作成します。
[プレビュー] (MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)	-	-	本製品が印刷を開始する前にコピー結果を画面でプレビューします。
[設定変更]	[コピー画質]	-	原稿の種類に合ったコピー解像度を選択します。
	[原稿サイズ]	-	利用したい原稿サイズを選択します。
	[用紙トレイ選択]	-	コピーモードで使用するトレイを選択します。
	[用紙タイプ]	-	トレイ内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。
	[用紙サイズ]	-	トレイ内の用紙に合わせて用紙サイズを選択します。
	[拡大/縮小]	[等倍 100%]	-
		[用紙に合わせる]	セットした用紙サイズに合うようにコピーサイズを調整します。
		[拡大]	次のコピーで使用する拡大率を選択します。
		[縮小]	次のコピーで使用する縮小率を選択します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[設定変更]	[拡大/縮小]	[カスタム (25-400%)]	拡大率または縮小率を入力します。
	[コピー濃度]	-	濃度を調整します。
	[地色除去コピー]	[モノクロコピー設定]	除去する地色の量を変更します。
		[カラーコピー設定]	
	[両面コピー]	-	両面コピーのオフ／オンを設定したり、長辺とじまたは短辺とじを選択します。
	[スタック/ソート]	-	スタックまたはソートコピーを選択します。
	[レイアウト コピー]	-	N in 1、2 in 1 ID、2 枚分割、またはポスターコピーをします。
	[傾き補正]	-	傾いたコピーを補正するよう設定します。
	[便利なコピー設定]	-	便利なコピー設定を選択します。
	[プレビュー] (MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)	-	本製品が印刷を開始する前に、コピー結果を画面でプレビューします。
	[設定を保持する]	-	設定を初期値として保存します。
	[設定をリセットする]	-	すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[スキャン]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[メディア] (USB フラッシュメモリーが差し込まれているとき)	[ｽｷｬﾝ機能切り替え]	-	-	パソコンを使わずに、原稿をスキャンして USB フラッシュメモリーに直接保存します。
	[設定変更]	-	-	
	[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	-	-	
[自分宛] (MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	-	-	-	モノクロまたはカラー原稿を、E メールアドレスにスキャンします。
[自分のﾌｫﾙﾀﾞ] (MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	-	-	-	ローカルネットワークまたはインターネット上の CIFS サーバーにあるフォルダに、スキャンしたデータを送信します。
[PC]	[ファイル]	[ｽｷｬﾝ機能切り替え]	-	原稿をスキャンし、お使いのパソコンのフォルダに保存します。
		(USB またはパソコンを選択します)	[設定変更]	
			[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	
	[OCR]	[ｽｷｬﾝ機能切り替え]	-	スキャンした原稿を編集可能なテキストファイルに変換します。
		(USB またはパソコンを選択します)	[設定変更]	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[PC]	[OCR]	(USB またはパソコンを選択します)	[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	スキャンした原稿を編集可能なテキストファイルに変換します。
	[イメージ]	[ｽｷｬﾝ機能切り替え]	-	画像アプリケーションに写真または画像をスキャンします。
		(USB またはパソコンを選択します)	[設定変更]	
			[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	
	[E メール添付]	[ｽｷｬﾝ機能切り替え]	-	スキャンした原稿を E メールの添付ファイルとして送信します。
		(USB またはパソコンを選択します)	[設定変更]	
			[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	
[E メール送信]	[ｽｷｬﾝ機能切り替え]	-	-	本製品とネットワークおよび E メールサーバーとの通信を許可することで、スキャンしたデータを E メールサーバーに送信します。
	[手動入力]	[次へ]	[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	
			[プレビュー] (MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	
			[設定変更]	
			[送信先一覧]	
		[アドレス追加]	-	
		[送信先一覧]	-	
	[電話帳]	[次へ]	[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	
			[プレビュー] (MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	
			[設定変更]	
			[送信先一覧]	
		[アドレス追加]	-	
		[送信先一覧]	-	
[FTP サーバー] (MFC-J7100CDW/ MFC-J7300CDW)	[ｽｷｬﾝ機能切り替え]	-	-	FTP サーバーに原稿を直接スキャンします。
	(プロファイル名を選択します)	[設定変更]	-	
		[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	-	
[(S) FTPｻｰﾊﾞｰ] (MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	[ｽｷｬﾝ機能切り替え]	-	-	FTP/SFTP 経由でスキャンデータを送信します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[(S) FTPｻｰﾊﾞｰ] (MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	(プロファイル名を選択します)	[プレビュー]	-	FTP/SFTP 経由でスキャンデータを送信します。
		[設定変更]	-	
		[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	-	
[ネットワーク]	[ｽｷｬﾝ機能切り替え]	-	-	スキャンした原稿を、ネットワーク上の CIFS サーバーに直接送ることができます。
	(プロファイル名を選択します)	[プレビュー] (MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	-	
		[設定変更]	-	
		[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	-	
[SharePoint] (MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	[ｽｷｬﾝ機能切り替え]	-	-	スキャンしたデータを SharePoint サーバー経由で送信します。
	(プロファイル名を選択します)	[プレビュー]	-	
		[設定変更]	-	
		[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	-	
[クラウド]	-	-	-	スキャンしたデータをインターネットサービスにアップロードします。
[Web サービス] (パソコンのネットワークエクスプローラーに表示される、Web サービススキャナーをインストールした場合に表示されます。)	[ｽｷｬﾝ機能切り替え]	-	-	Web サービスプロトコルを使ってデータをスキャンします。
	[スキャン]	-	-	
	[電子メール用にスキャン]	-	-	
	[FAX 用にスキャン]	-	-	
	[印刷用にスキャン]	-	-	

[セキュリティ印刷]

(MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)

設定項目 1	設定項目 2	設定項目 3	説明
[セキュリティ印刷]	(ユーザーを選択)	-	4 桁のパスワードを入力すると、製品のメモリーに保存されたデータを印刷することができます。 製品にセキュリティ印刷データがあるときのみ有効です。

[クラウド]

設定項目 1	説明
[クラウド]	本製品をインターネットサービスに接続します。

[お役立ちツール]

設定項目 1	説明
[お役立ちツール]	本製品をお役立ちツールに接続します。

[メディア]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[PDF プリント] (MFC-J7500CDW / MFC-J7600CDW)	(PDF ファイルを選択します。)	[印刷設定]	-	USB フラッシュメモリーから直接 PDF ファイルを印刷します。
[JPEG プリント]	[画像選択]	[OK]	[印刷設定]	オプションを使って、写真を調整します。
		[全選択]	-	USB フラッシュメモリー内の全ての写真を印刷します。
	[インデックス]	[インデックスシート]	[印刷設定]	サムネイルのページを印刷します。
		[番号指定プリント]	[印刷設定]	インデックスシートの番号を選んで、写真を印刷します。
[スキャン：メディア]	-	-	-	原稿を USB フラッシュメモリーにスキャンします。
[クラウド]	-	-	-	本製品をインターネットサービスに接続します。

[便利な A3 コピー]

設定項目 2	設定項目 3	設定項目 4	説明
[A3 2in1] [A3 等倍] [A4⇒A3 拡大] [A3⇒A4 縮小] [A4 + ノート(横)] [A4 + ノート(縦)] [A4 + 方眼] [A4 + メモ] [A4 センター]	[設定変更]	[コピー画質]	原稿の種類に合ったコピー解像度を選択します。
		[原稿サイズ]	利用したい原稿サイズを選択します。
		[用紙トレイ選択]	最適な用紙が入っているトレイを自動的に選択するように設定します。
		[用紙タイプ]	使用可能な用紙タイプを確認します。
		[用紙サイズ]	用紙トレイの用紙サイズを設定します。
		[コピー濃度]	濃度を調整します。
		[傾き補正]	傾いたコピーを補正するよう設定します。

[ｿﾌﾄｳｪｱﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ]

設定項目 1	説明
[ｿﾌﾄｳｪｱﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ]	モバイル機器とパソコンを対象としたソフトウェアの、ダウンロードとインストールについての情報を表示します。

[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]

設定項目 1	説明
[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]	画面の指示に従って、プリントヘッドのクリーニングをします。

[ｼｮｰﾄｶｯﾄ]

設定項目 2	設定項目 3	設定項目 4	説明
[ｼｮｰﾄｶｯﾄ登録]	[コピー]	-	コピーオプションで設定を変更します。
	[ファクス]	-	ファクスオプションで設定を変更します。
	[スキャン]	[メディア]	パソコンを使わずに、原稿をスキャンして USB フラッシュメモリーに直接保存します。
		[PC (ファイル)]	原稿をスキャンし、お使いのパソコンのフォルダに保存します。
		[PC (OCR)]	スキャンした原稿を編集可能なテキストファイルに変換します。
		[PC (イメージ)]	画像アプリケーションに写真または画像をスキャンします。
		[PC (E メール添付)]	スキャンした原稿を E メールの添付ファイルとして送信します。
		[E メール送信]	モノクロまたはカラー原稿を、E メールサーバーにスキャンします。
		[ネットワーク]	ローカルネットワークまたはインターネット上の CIFS サーバーに、スキャンしたデータを送信します。
		[FTP サーバー] (MFC-J7100CDW/ MFC-J7300CDW)	FTP 経由でスキャンしたデータを送信します。
		[FTP/SFTP サーバー] (MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	FTP/SFTP 経由でスキャンデータを送信します。
		[SharePoint] (MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	スキャンしたデータを SharePoint サーバー経由で送信します。
	[クラウド]	-	本製品をインターネットサービスに接続します。
	[お役立ちツール]	-	本製品をお役立ちツールに接続します。
この一覧は、ショートカットアイコンを 2 秒間押し続けると表示されます。	[名前の変更]	-	ショートカット名を変更します。
	[編集]	-	ショートカット設定を編集します。
	[消去]	-	ショートカットを削除します。
	[NFC カードの登録]	-	IC カードにショートカットを割り当てます。

設定項目 2	設定項目 3	設定項目 4	説明
この一覧は、ショートカットアイコンを 2 秒間押し続けると表示されます。	[NFC カード削除]	-	IC カードからショートカットを削除します。
[編集/消去]	（ショートカットボタンを選択します。）	[名前の変更]	ショートカット名を変更します。
		[編集]	ショートカット設定を編集します。
		[消去]	ショートカットを削除します。
		[NFC カードの登録]	IC カードにショートカットを割り当てます。
		[NFC カード削除]	IC カードからショートカットを削除します。

[インク]

設定項目 2	設定項目 3	説明
[インク残量]	-	使用可能なインクの残量を確認します。
[インクカートリッジ型番]	-	インクカートリッジ型番を確認します。
[印刷品質のチェックと改善]	[印刷品質のチェックと改善]	画面の指示に従って、印刷品質、罫線ずれ、給紙を確認し調整をします。
	[罫線ずれの補正]	
	[用紙送り量の補正]	
[ヘッドクリーニング]	-	画面の指示に従って、プリントヘッドのクリーニングをします。
[詰まった紙片の除去]	-	画面の指示に従って、本製品に詰まった紙片を取り除きます。
[給紙ロ－ラ－のクリ－ニング]	-	画面の指示に従って、ローラーをクリーニングします。
[印刷設定オプション]	[用紙汚れの低減]	印刷中にできるにじみや紙詰まりを減らします。
	[罫線ずれの低減]	印刷中にできる罫線ずれを減らします。
	[片方向印刷]	印刷品質を高め、印刷ずれを減らします。
[インクカートリッジ純正情報]	-	インクカートリッジの情報を表示します。
[自動ノズルチェック機能]	-	プリントヘッドの状態を自動で検知し、必要に応じてプリントヘッドをクリーニングします。

Wi-Fi 設定

設定項目 2	説明
[ネットワーク選択 (SSID)]	無線ネットワークを手動で設定します。
[WPS (プッシュボタン)]	ワンプッシュボタン方式を使って無線ネットワークを設定します。

USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に差し込んだとき

設定項目 1	説明
[PDF プリント] (MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)	USB フラッシュメモリーから直接 PDF ファイルを印刷します。
[JPEG プリント]	写真のメニューを選択します。
[スキャン： メディア]	原稿を USB フラッシュメモリーにスキャンします。

設定項目 1	説明
[クラウド]	本製品をインターネットサービスに接続します。

関連情報

- 設定と機能一覧

Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

Web Based Management は、ハイパーテキスト転送プロトコル（HTTP）またはセキュアソケットレイヤー（SSL）上のハイパーテキスト転送プロトコル（HTTPS）を使用して本製品を管理するための標準的なウェブブラウザーを使用したユーティリティです。

- Web Based Management とは
- Web Based Management にアクセスする
- Web Based Management へのログインパスワードを設定または変更する
- Web Based Management を使用して本製品のアドレス帳を設定する

Web Based Management とは

Web Based Management は、ハイパーテキスト転送プロトコル（HTTP）またはセキュアソケットレイヤー（SSL）上のハイパーテキスト転送プロトコル（HTTPS）を使用して本製品を管理するための標準的なウェブブラウザーを使用するユーティリティです。

- Windows の場合は Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Edge、Mac の場合は Safari 13、Android（4.x 以降）の場合は Google Chrome™、iOS（10.x 以降）の場合は Google Chrome™/Safari が推奨されます。どのウェブブラウザーの場合も、JavaScript および Cookies を有効にして使用してください。
- ネットワーク上で TCP/IP プロトコルを使用し、プリントサーバーとパソコンに有効な IP アドレスがプログラムされている必要があります。

- 実際に表示される画面は、上の画面とは異なる場合があります。

関連情報

- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

Web Based Management にアクセスする

- Windows の場合は Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Edge、Mac の場合は Safari 13、Android（4.x 以降）の場合は Google Chrome™、iOS（10.x 以降）の場合は Google Chrome™/Safari が推奨されます。どのウェブブラウザーの場合も、JavaScript および Cookies を有効にして使用してください。
- 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。本製品への不正なアクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。お買い上げ時のパスワードは、ネットワーク設定リストでも確認できます。
- パスワードを数回間違えて入力すると、一定時間ログインできなくなります。ロックアウト設定は、Web Based Management で変更できます。
- 最大 8 台のパソコンまたは携帯端末を同時に Web Based Management にログインできます。9 番目の機器でログインすると、最初の機器がログアウトされます。
- Web Based Management で設定を行う場合、HTTPS セキュリティプロトコルを使用することをお勧めします。Web Based Management を使用して設定を変更するときに HTTP を使用する場合は、画面の指示に従って、安全な HTTPS 接続に切り替えてください。
- Web Based Management 設定に HTTPS を使用すると、ブラウザーに警告ダイアログボックスが表示されます。警告ダイアログボックスが表示されないようにするには、自己署名証明書をインストールして SSL/TLS 通信を使用します。詳細については、「関連情報」をご覧ください。

>> ウェブブラウザーから開始する
>> Brother iPrint&Scan から開始する（Windows/Mac）
>> Brother Utilities から開始する（Windows）
>> Brother Mobile Connect から開始する

ウェブブラウザーから開始する

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
4. 画面左側のナビゲーションメニューを固定するには、≡をクリックしてから📌をクリックします。

これで本製品の設定の変更を行うことができます。

プロトコル設定を変更する場合、設定を有効にするには、**OK** をクリックした後、本製品を再起動する必要があります。

設定を変更した後、**ログアウト**をクリックします。

Brother iPrint&Scan から開始する（Windows/Mac）

1. Brother iPrint&Scan を起動します。

- Windows

  （**Brother iPrint&Scan**）を起動します。

- Mac

  Finder メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。

2. 本製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧から本製品のモデル名を選択します。**OK** をクリックします。
3. （**本体設定**）をクリックします。
4. **すべての設定** をクリックします。

   Web Based Management が表示されます。
5. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
6. 画面左側のナビゲーションメニューを固定するには、≡をクリックしてからをクリックします。

これで本製品の設定の変更を行うことができます。

プロトコル設定を変更する場合、設定を有効にするには、**OK** をクリックした後、本製品を再起動する必要があります。

設定を変更した後、**ログアウト**をクリックします。

Brother Utilities から開始する（Windows）

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**ツール**をクリックして、**本体設定**をクリックします。

   Web Based Management が表示されます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
4. 画面左側のナビゲーションメニューを固定するには、≡をクリックしてからをクリックします。

これで本製品の設定の変更を行うことができます。

プロトコル設定を変更する場合、設定を有効にするには、**OK** をクリックした後、本製品を再起動する必要があります。

設定を変更した後、**ログアウト**をクリックします。

Brother Mobile Connect から開始する

お使いの携帯端末に Brother Mobile Connect をインストールして設定する必要があります。

1. 携帯端末で Brother Mobile Connect を起動します。
2. 画面上部に表示されているモデル名をタップします。
3. **すべての本体設定**をタップします。

   Web Based Management が表示されます。
4. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をタップします。
5. 画面左側のナビゲーションメニューを固定するには、≡をタップしてからをタップします。

これで本製品の設定の変更を行うことができます。

プロトコル設定を変更する場合、設定を有効にするには、**OK** をタップした後、本製品を再起動する必要があります。

設定を変更した後、**ログアウト**をタップします。

関連情報

- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

関連トピック：

- ネットワーク設定リストを印刷する
- 自己署名証明書を作成する
- 管理者権限を持つ Windows ユーザー用の自己署名証明書をインストールする

Web Based Management へのログインパスワードを設定または変更する

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。本製品への不正なアクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
  - 例：

    https://SharedPrinter

  NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
  - 例：

    https://brnxxxxxxxxxxxx

  NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 以下のいずれかを行ってください：
   - 事前にパスワードを設定してある場合は、そのパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
   - 事前にパスワードを設定していない場合は、初期ログインパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定** > **ログインパスワード**をクリックします。

画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. パスワードを変更する場合は、**変更前のパスワードの入力**欄に現在のパスワードを入力します。
6. 画面の**ログインパスワード**ガイドラインに従って、**新しいパスワードの入力**欄にパスワードを入力します。
7. **新しいパスワードの確認**欄に、パスワードをもう一度入力します。
8. **OK** をクリックします。

ログインパスワードメニューでロックアウト設定を変更することもできます。

関連情報

- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

Web Based Management を使用して本製品のアドレス帳を設定する

- Web Based Management で設定を行う場合、HTTPS セキュリティプロトコルを使用することをお勧めします。
- Web Based Management 設定に HTTPS を使用すると、ブラウザーに警告ダイアログボックスが表示されます。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     - 例：

       https://SharedPrinter

     NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     - 例：

       https://brnxxxxxxxxxxxx

     NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**アドレス帳** > **アドレス XX-XX** をクリックします。

   画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. 必要に応じて、電話帳の情報を追加または更新します。

   - 本製品の漢字は、JIS 第一水準および第二水準に対応しています。
   - 電話番号およびファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバーディスプレイの名前や着信履歴が正しく表示されない場合があります。

6. **OK** をクリックします。

関連情報

- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

関連トピック：

- Web Based Management にアクセスする

付録

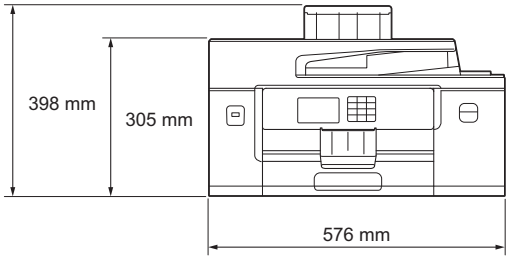
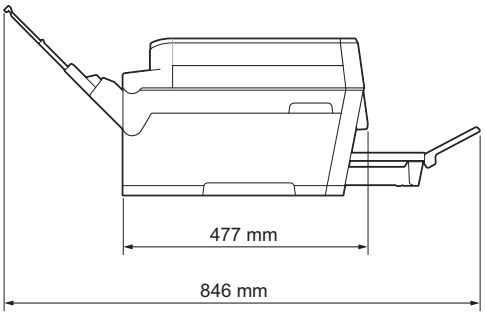
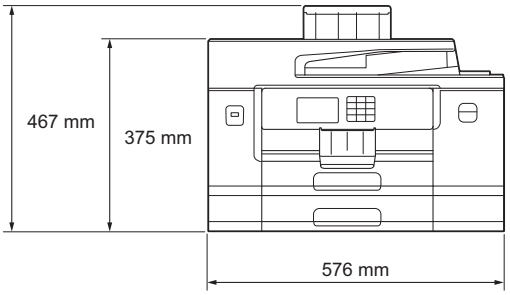
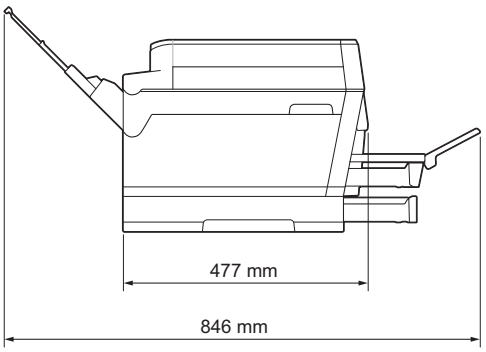
- 仕様
- アフターサービスのご案内

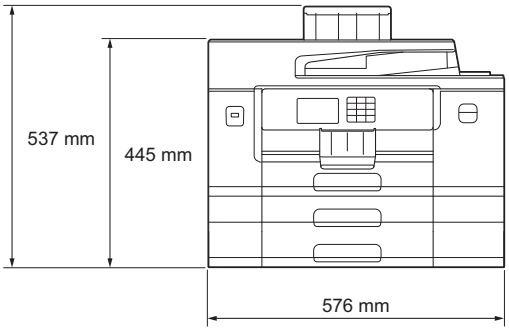
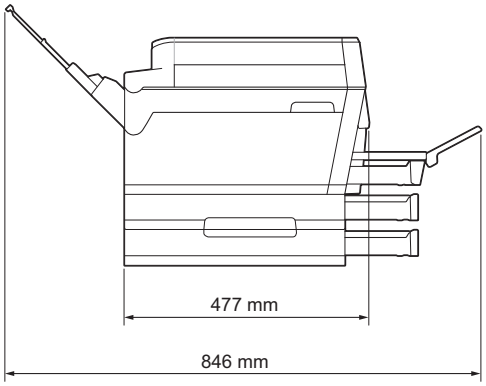
仕様

>> 基本仕様
>> 原稿サイズ
>> 印刷用紙
>> ファクス
>> コピー
>> USB フラッシュメモリー
>> スキャナー
>> プリンター
>> インターフェイス
>> ネットワーク
>> パソコン使用環境

基本仕様

記録方式		インクジェット
プリントヘッド	**ブラック**	圧電アクチュエータ 420 ノズル×1
	カラー	圧電アクチュエータ 420 ノズル×3
メモリー容量		• MFC-J7100CDW/MFC-J7300CDW 256MB • MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW 512MB
液晶ディスプレー [1]		• MFC-J7100CDW 2.7 型（67.5mm）TFT カラー LCD • MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW 3.5 型（87.6mm）TFT カラー LCD
電源		AC100V 50/60Hz
消費電力 [2]		• MFC-J7100CDW/MFC-J7300CDW **コピー時** [3]: 約 30W **稼動準備時** [4]: 約 5.5W **スリープモード時** [4]: 約 0.9W **電源オフ時** [4 5]: 約 0.02W • MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW **コピー時** [3]: 約 30W **稼動準備時** [4]: 約 6.5W **スリープモード時** [4]: 約 0.9W **電源オフ時** [4 5]: 約 0.02W

外形寸法	• MFC-J7100CDW   • MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW  

			• MFC-J7600CDW  
製品重量			• MFC-J7100CDW 19.8kg • MFC-J7300CDW 23.4kg • MFC-J7500CDW 24.0kg • MFC-J7600CDW 27.5kg
稼動音	**音圧レベル** [6]	**動作時**	• 印刷時 約 50.0 dB(A) • コピー時（原稿台ガラス使用時） 約 51.5 dB(A)
	音響レベル	**印刷時**	• MFC-J7100CDW/MFC-J7300CDW LWAd = 6.54 B(A)（モノクロ） LWAd = 6.54 B(A)（カラー） • MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW LWAd = 6.60 B(A)（モノクロ） LWAd = 6.64 B(A)（カラー）
温度	**動作保証温度**		10～35°C
	最高印刷品質保証温度		20～33°C
湿度	**動作保証湿度**		20～80%（結露なきこと）
	最高印刷品質保証湿度		20～80%（結露なきこと）
ADF(自動原稿送り装置)			最大 50 枚 用紙：80g/m²

1 四つ角を対角線上に測定。

2 全モード USB 接続時。消費電力値は使用環境、部品磨耗などにより若干異なることがあります。

3 ADF 使用、片面印字・片面読取、画質：標準、原稿：ISO/IEC24712 印刷パターン。

4 IEC 62301 Edition 2.0 による測定値。

5 ヘッドクリーニングなどのために定期的に電源 OFF が解除されます。必要な処理終了後は再度、解除前の状態となります。
6 印刷環境によって、稼動音の数値は変わります。

原稿サイズ

原稿サイズ	**ADF（自動原稿送り装置）使用時（幅）**	105～297mm
	ADF（自動原稿送り装置）使用時（長さ） [1]	148～431.8mm
	原稿台ガラス使用時（幅）	最大 297mm
	原稿台ガラス使用時（長さ）	最大 431.8mm

1 長尺原稿機能使用時は最大 900mm。

印刷用紙

給紙	**用紙トレイ#1**	**用紙タイプ** [1]	普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙、再生紙	
		用紙サイズ	（横方向） A4、レター、エグゼクティブ、B5 (JIS) （縦方向） A3、レジャー、B4 (JIS)、リーガル、A5、B6 (JIS)、A6、インデックスカード、L 判、2L 判、はがき、往復はがき、ポストカード、DL 封筒、Com-10、角形 2 号封筒、長形 3 号封筒、長形 4 号封筒、洋形 2 号封筒、洋形 4 号封筒	
		最大用紙容量	最大 250 枚（80g/m² 普通紙）	
	用紙トレイ#2 (MFC-J7300CDW/ MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	**用紙タイプ**	普通紙、再生紙	
		用紙サイズ	（横方向） A4、レター （縦方向） A3、レジャー、B4（JIS）、リーガル	
		最大用紙容量	最大 250 枚（80g/m² 普通紙）	
	用紙トレイ#3 (MFC-J7600CDW)	**用紙タイプ**	普通紙、再生紙	
		用紙サイズ	（横方向） A4、レター （縦方向） A3、レジャー、B4（JIS）、リーガル	
		最大用紙容量	最大 250 枚（80g/m² 普通紙）	
	多目的トレイ [2]	**用紙タイプ** [1]	普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙、再生紙	
		用紙サイズ / 最大用紙容量	（横方向） A4、レター、エグゼクティブ、B5 (JIS) （縦方向） A3、レジャー、B4 (JIS)、リーガル、A5、B6 (JIS)、A6、インデックスカード、L 判、2L 判、はがき、往復はがき、ポストカード、DL 封筒、Com-10、角形 2 号封筒、長形 3 号封筒、長形 4 号封筒、洋形 2 号封筒、洋形 4 号封筒	100 枚（80g/m² 普通紙）、50 枚（220g/m²普通紙はがき/インクジェット紙はがき）

			長尺用紙 (210 x 900mm、297 x 900mm、297 x 1200mm)	最大 1 枚
排紙 [1]			• A4/レターサイズまで 最大 100 枚（80g/m² 普通紙）（印刷面を上にして排紙トレイに排出されます。） • A4/レターより大きいサイズ 最大 50 枚（80g/m² 普通紙）（印刷面を上にして排紙トレイに排出されます。）	

1 光沢紙を使用する場合は、出力紙の汚れを避けるために、速やかに排紙トレイから出力紙を取り除いてください。
2 光沢紙、封筒、はがきには多目的トレイを使用することを推奨します。

ファクス

形式	• ITU-T Super Group 3
通信速度	• 自動フォールバック：33,600bps
最大有効読取幅 （片面原稿）	288mm (A3)
最大有効読取領域 （両面原稿） (MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)	幅：288mm (A3) (ADF) 長さ：425.8mm (ADF)
最大印刷幅	291mm (A3)
グレースケール	モノクロ：8 ビット（256 階調） カラー：24 ビット（一色につき 8 ビット／256 階調）
解像度 **（主走査）**	203dpi
解像度 **（副走査）**	標準： 98dpi（モノクロ） 196dpi（カラー）
	ファイン： 196dpi（モノクロ） 196dpi（カラー）
	スーパーファイン： 392dpi（モノクロ）
	写真： 196dpi（モノクロ）
電話帳	100 件×2 番号または E メールアドレス
グループ	最大 6 件
同報送信	250 件（200 件　電話帳／50 件　直接入力）
自動再ダイヤル	3 回／5 分
メモリー送信	最大 400 枚 [1]
メモリー代行受信	最大 400 枚 [1]

1 ITU-T テストチャート#1（一般的なビジネスレター程度の原稿、標準的画質、MMR 圧縮）の数値です。

コピー

カラー／モノクロ	対応／対応

コピー読み取り幅		291mm [1]
連続複写枚数		スタック／ソート　最大 999 枚
拡大縮小		25～400%（1%刻み）
解像度		最大 1200 × 4800dpi
自動両面 (MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)	**用紙タイプ**	普通紙、再生紙
	用紙サイズ	A3、B4 (JIS)、A4、B5 (JIS)、A5

1　A3 サイズコピー時。

USB フラッシュメモリー

互換のあるメディア		USB フラッシュメモリー [1]
JPEG プリント	**解像度**	最大 1200 x 4800dpi
	用紙タイプ	普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙、再生紙
	用紙サイズ	A3、A4、はがき、L 判、2L 判
	ファイル形式	JPEG（プログレッシブ JPEG 形式には対応していません）
PDF プリント (MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)	**解像度**	最大 1200 x 1800dpi
	用紙タイプ	普通紙、再生紙
	用紙サイズ	A3、B4 (JIS)、A4、B5 (JIS)、A5、A6
	ファイル形式	PDF バージョン 1.7
スキャン to メディア	**ファイル形式**	JPEG、PDF（カラー、グレー） TIFF、PDF（モノクロ）

1　USB フラッシュメモリーは同梱されていません。USB2.0 規格（フルスピード）。USB マスストレージ規格。サポート形式：FAT12/FAT16/FAT32/exFAT

スキャナー

カラー／モノクロ	対応／対応
TWAIN 対応	対応 （Windows 7 SP1 / Windows 8.1 / Windows 10 / Windows 11）
WIA 対応	対応 （Windows 7 SP1 / Windows 8.1 / Windows 10 / Windows 11）
カラー階調	48 ビットカラー処理（入力） 24 ビットカラー処理（出力）
グレースケール	16 ビットカラー処理（入力） 8 ビットカラー処理（出力）
解像度	最大 19200 × 19200dpi（補間） [1] 最大 1200 × 2400dpi（光学）（原稿台ガラスより） 最大 600 × 600dpi（光学）（ADF（自動原稿送り装置）より）
最大読取領域 （片面原稿）	（原稿台ガラス） 幅：最大 295mm 長さ：最大 429.8mm （ADF（自動原稿送り装置 ）） 幅：最大 295mm 長さ：最大 429.8mm

最大読取領域 （両面原稿） (MFC-J7300CDW/MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	幅：最大 295mm (ADF) 長さ：最大 429.8mm (ADF)

1 Windows 7 SP1、Windows 8.1、Windows 10、および Windows 11 で WIA ドライバーをご使用の場合は、最大 1200×1200dpi までの読み取りとなります（Scanner Utility を使用すれば、19200×19200dpi まで利用できます）。

プリンター

エミュレーション (MFC-J7500CDW/MFC-J7600CDW)		PCL6、BR-Script3、PDF バージョン 1.7、XPS バージョン 1.0
解像度		最大 1200 x 4800dpi
最大印刷幅 [1]		291mm ふちなし印刷 [2]：297mm
ふちなし印刷		A3、レジャー、A4、レター、A6、ポストカード、インデックスカード、はがき、L 判、2L 判、長尺用紙（297 x 900mm、297 x 1200mm）
自動両面印刷	**用紙タイプ**	普通紙、再生紙
	用紙サイズ	A3、レジャー、B4 (JIS)、リーガル、A4、レター、エグゼクティブ、B5 (JIS)、A5、B6 (JIS)、はがき

1 A3 サイズ印刷時。

2 ふちなし印刷機能がオンの場合。

インターフェイス

USB [1 2]	5m 以下の USB2.0 インターフェイスケーブルをご使用ください。
LAN	カテゴリー 5 以上のイーサネット非シールドツイストペアケーブル（UTP）をご使用ください。
無線 LAN	IEEE 802.11a/b/g/n（インフラストラクチャ） IEEE 802.11a/g/n（Wi-Fi Direct）
NFC (MFC-J7300CDW/ MFC-J7500CDW/ MFC-J7600CDW)	対応

1 USB2.0 ハイスピードインターフェイスを使用できます。USB1.1 インターフェイスに対応したパソコンにも接続可能です。

2 サードパーティ製の USB ポートには対応していません。

ネットワーク

本製品をネットワークに接続することで、ネットワーク印刷やネットワークスキャン、PC-FAX 送信、PC-FAX 受信（Windows のみ）が可能になります。

ネットワークセキュリティ（有線）	APOP, SMTP-AUTH, SSL/TLS (IPPS, HTTPS, FTPS, SMTP, POP3, IMAP4), SNMP v3, 802.1x (EAP-MD5, EAP-FAST, PEAP, EAP-TLS, EAP-TTLS), Kerberos, IPsec
ネットワークセキュリティ（無線）	APOP, SMTP-AUTH, SSL/TLS (IPPS, HTTPS, FTPS, SMTP, POP3, IMAP4), SNMP v3, 802.1x (EAP-FAST, PEAP, EAP-TLS, EAP-TTLS), Kerberos, IPsec
無線セキュリティ [1]	WEP 64/128 bit, WPA-PSK (TKIP/AES), WPA2-PSK (TKIP/AES), WPA3-SAE (AES)

無線セットアップサポートユーティリティー	**WPS**	対応

[1] Wi-Fi Direct は WPA2-PSK（AES）のみ対応しています。

パソコン使用環境

対応している OS とソフトウェア機能

OS		**インターフェイス**			**プロセッサー**	**必要なディスク容量** [1]	
		USB [2]	**有線 LAN**	**無線 LAN（Wi-Fi）**		**ドライバー**	**その他のソフトウェア（ドライバーを含む）**
Windows	Windows 7 SP1 [3 4 5] Windows 8.1 [3 4]	印刷 PC-FAX [6] スキャン			32 ビット（x86）、もしくは 64 ビット（x64）プロセッサー	650 MB	1.3 GB
	Windows 10 Home [3 4] Windows 10 Pro [3 4] Windows 10 Education [3 4] Windows 10 Enterprise [3 4]						
	Windows 11 Home [3 4] Windows 11 Pro [3 4] Windows 11 Education [3 4] Windows 11 Enterprise [3 4]				64 ビット（x64）プロセッサー		
	Windows Server 2008 [5]	印刷 スキャン	印刷		32 ビット（x86）、もしくは 64 ビット（x64）プロセッサー	80 MB	80 MB
	Windows Server 2008 R2 [5] Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2016 Windows Server 2019				64 ビット（x64）プロセッサー		
	Windows Server 2022						

Mac [7]	macOS v10.15.x macOS v11 macOS v12	印刷 PC-Fax（送信）[6] [8] スキャン	64 ビット（x64）プロセッサー	-	550 MB

1 本製品に CD-ROM が付属していない場合、ソフトウェアをインストールするにはインターネット接続が必要です。
2 サードパーティ製の USB ポートには対応していません。
3 WIA ドライバーは解像度 1200 x 1200 dpi まで対応しています。Brother Scanner Utility は解像度 19200 x 19200 dpii まで対応できます。
4 Nuance™ PaperPort™ 14SE は、Windows 7 SP1、Windows 8.1、Windows 10 および Windows 11 に対応しています。
5 Windows 7 SP1 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 は、2023 年 1 月 10 日まで拡張セキュリティ更新プログラムでサポートされています。
6 PC-FAX ではモノクロのみサポートされています。
7 Mac OS の免責事項
AirPrint 対応：Mac を経由して印刷したり、スキャンしたりするには、AirPrint を使用する必要があります。本製品には Mac 用ドライバーは付属されていません。
8 AirPrint のみ。

最新のドライバーアップデートについては、support.brother.co.jp にアクセスし、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページを参照してください。

記載の商標及び、ブランド名、製品名の所有権は各社にあります。

関連情報

- 付録

アフターサービスのご案内

>> 製品登録
>> 各種サポート情報
>> ブラザーコールセンター
>> 安心と信頼の修理サービス

製品登録

Brother Online マイ製品サポート

ご登録いただくと、お持ちの製品をより便利に、安心にご利用いただけるようになります。

オンラインユーザー登録 ▶ https://online.brother.co.jp

各種サポート情報

サポートサイト

よくあるご質問（Q&A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー　検 索

support.brother.co.jp

Brother SupportCenter は、ブラザー製品の最新サポート情報を提供するモバイルアプリです。ダウンロードするには App Store または Google Play™ にアクセスしてください。

ブラザーコールセンター

0570-061017

ファクスや電話等の通信に関するトラブルの場合は、本製品を電話回線に接続して動作テストを行います。お問い合わせの際は、携帯電話などをご利用くださいますようお願いいたします。

受付時間：月～土　9:00～18:00　日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

※本書に乱丁、落丁があったときは、ブラザーコールセンターにご連絡ください。

※受付時間、電話番号については事前予告なく変更になる場合がございます。最新の情報はサポートサイトでご確認ください。

安心と信頼の修理サービス

メーカー保証修理

メーカー保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。

保証事項については、保証書をご覧ください。

修理サービス（有料）

メーカー保証期間後も、「お手軽引き取りサービス」と「出張修理サービス」でサポートいたします。

※ご利用の機種により、修理サービスの内容は異なります。詳しくはブラザーホームページをご覧ください。

ブラザー　修理サービス　検 索

https://www.brother.co.jp/product/support_info/repair_serv/index.htm

ブラザーサービスパック（定額保守サービス）

ブラザーが提供する 1～5 年の定額保守サービスです。

サービスパックをご購入いただくことで、お客様のニーズにあわせた充実したサポートを提供いたします。

※ご利用の機種により保守期間は異なります。

各定額保守サービスの内容、該当機種 、保守料金などの詳細は下記窓口へお問い合わせください。

TEL : 052-824-3253

ブラザー サービスパック　検 索

https://www.brother.co.jp/product/support_info/s-pack/index.htm

関連情報

- 付録

brother

Brother Earth

www.brotherearth.com

JPN
Version 0